

平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

**介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等に関する
調査研究事業 報告書**

平成30年3月

介護人材の働き方調査研究班
株式会社 日本総合研究所

介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等に関する調査研究 報告書

目次

第1章 本調査研究の概要.....	4
1. 背景・目的.....	4
2. 調査の概要・実施内容.....	5
(1) 調査・検討の進め方及び対象範囲.....	5
(2) 各調査の概要.....	6
(3) 研究班の構成.....	11
(4) 前提条件・留意点.....	12
第2章 介護人材の需給及び人材確保の状況.....	13
1. 介護人材の需給の状況.....	13
(1) 日本の将来人口推計.....	13
(2) 要介護度別認定者数の推移.....	13
(3) 介護(予防)サービス受給者数の推移.....	14
(4) 介護保険制度施行以降の介護職員数の推移.....	14
(5) 介護職員の需給の将来推計.....	15
2. 介護人材の確保に向けた取り組みの状況.....	15
(1) 介護人材確保の方向性.....	15
(2) 介護人材確保対策.....	16
(3) 介護人材の構造転換への取り組み.....	17
3. 検討課題・論点.....	18
第3章 事業所・施設調査の分析.....	20
1. 主なポイント.....	20
2. 集計・分析結果.....	21
(1) 事業所・施設の基本属性.....	21
(2) 人手不足の認識.....	22
(3) 介護人材確保・定着に向けた取り組みの状況.....	23
(4) 人材の定着率に対する認識(他の介護事業所・施設との比較).....	31
(5) 採用の状況.....	32
(6) 採用が困難になっている要因.....	33
(7) 中途採用時に設けている要件.....	35
第4章 介護従事者調査の分析.....	37
1. 主なポイント.....	37
2. 集計・分析結果.....	40
(1) 回答者の基本属性.....	40
(2) 介護業界入職以前の経歴.....	46
(3) キャリア意向.....	49
(4) 介護業界での就業継続意向.....	52

(5) 介護の仕事に対する認識.....	53
(6) 事業所・施設に対する認識.....	55
(7) 介護業界に対するイメージ.....	56
(8) 利用者へのサポートの提供方法.....	58
(9) 就業地域に関する意向.....	59
第5章 事業所・施設の取り組みと従事者認識の分析.....	60
1. 主なポイント.....	60
2. 集計・分析結果.....	61
(1) 人材確保・定着・離職防止に向けた取り組み施策及びその効果の認識.....	61
(2) 事業所・施設への就業を決める際に重視する要素の認識.....	67
第6章 潜在介護人材調査の分析.....	69
1. 主なポイント.....	69
2. 集計・分析結果.....	70
(1) 回答者の基本属性.....	70
(2) 介護職経験有無別の入職促進施策に対する認識.....	74
(3) 性・年齢別の入職促進施策に対する認識.....	76
第7章 介護福祉士養成施設の学生向け調査の分析.....	79
1. 主なポイント.....	79
2. 集計・分析結果.....	80
(1) 回答者の基本属性.....	80
(2) 卒業後の進路.....	81
(3) 就業先の希望.....	82
(4) キャリア目標.....	83
(5) 就業地域の意向.....	84
第8章 インフォーマルケア調査の分析.....	85
1. 主なポイント.....	85
2. 集計・分析結果.....	86
(1) 回答者の基本属性.....	86
(2) 介護を受けている方の基本属性.....	89
(3) 家族介護の今後の継続意向及び必要な支援.....	90
(4) 認知症ケアの負担感.....	93
(5) 介護経験の今後の活用意向.....	94
第9章 調査結果のまとめと考察.....	95
1. 調査結果の整理.....	95
2. 考察・提言.....	98

参考資料1 調査票

参考資料2 データ編

第1章 本調査研究の概要

1. 背景・目的

2025年には団塊の世代が75歳を迎え、介護需要の更なる増大が見込まれる一方、我が国の総人口及び労働人口は継続的な減少が見込まれている。地域包括ケアシステムの構築を進めていく上では、今後の人口減少や高齢化の進展を踏まえると、人的資源の制約に着目し、その対応策を検討・推進することが重要である。

今後必要とされる介護サービスを安定的・継続的に提供する為には、2020年代初頭まで追加的に25万人の介護人材を確保する必要があるとされ、さらに、2025年には約38万人の需給ギャップが生じると推計されており、介護人材の確保は我が国にとっての喫緊の課題である。2025年に約38万人の需給ギャップが生じると推計されているが、これは成り行きベースを基本とした自然体推計であることに留意しなければならない。国・自治体レベルで展開されている施策の効果や従事する人材の意向・考え方の変化などは十分に考慮できていない面があり、将来必要とされる人的資源の規模に対して、人材確保に効果的な施策の検討、適切な施策の推進につなげることには一定の難しさがあると考えられる。

現状、「ニッポン一億総活躍プラン」を踏まえ、介護の仕事の魅力の向上、介護人材の処遇改善、多様な人材の確保・育成を柱として、様々な人材確保施策が検討・推進されている。今後のより効果的な施策検討には、地域性を考慮した現状把握・課題分析、施策の検討・推進、継続的なモニタリング・評価、施策の再検討・改善というPDCAの運用が重要と考えられる。厚生労働省は、介護人材の確保のために、ワークシートを活用した介護人材需給推計、離職防止・定着促進、生産性向上といった各種施策を推進しており、一定の成果が得られている。しかし、一層の効果を発揮していくには、さらに精度の高い需給推計の実施、各人材の特性を踏まえた施策の推進などが期待される。これらを実現するためには、介護業界に従事する人材について、業務の実態や仕事に対する考え方・意向について詳細かつ具体的に把握し、適切な対応策を検討することが重要である。

「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」(平成29年4月6日)においても、一層の労働力確保、職場定着、働き方改革等が課題であり、先に実施された医師に対する働き方実態調査と同様に、介護従事者に対する働き方実態調査を実施し、地域、年齢、職種等ごとの実情を把握し、具体策の検討に活用すべきという提言がなされており、詳細な調査を踏まえた施策の推進が期待されている。

これまで、介護従事者の働き方等に関しては、先行調査研究等で業務状況等の把握が試みられてきたが、サービス別あるいは職種別等、対象が限定されているもの、業務内容・業務量を主眼としたものが大半であり、横断的、網羅的な調査は少ない。本調査研究は、介護業界で従事する方の働き方の実態・意向を幅広く把握するための調査・検討を行うことを目的とした。

働き方・業務内容の把握を行うことに加え、今後の働き方に関する意向・希望についても把握することで、将来を考慮した施策の検討等の基礎資料となるように配慮し、調査の実施・分析に際しては、介護人材の特性(女性比率が高い、非常勤職員が多い、シニア人材が多い等)を踏まえて検討を行った。本調査研究の結果は今後の介護人材確保策の検討や需給推計への活用が想定されることから、今後の対策が検討しやすい単位での調査・分析に留意した。

2. 調査の概要・実施内容

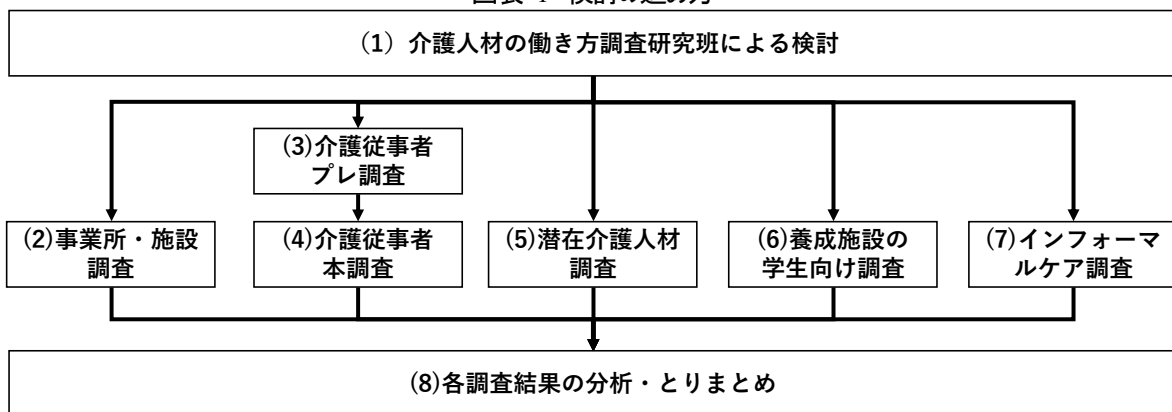
(1) 調査・検討の進め方及び対象範囲

本調査研究は、以下の流れで検討及び調査を実施した。

本調査研究では、研究班(介護人材の働き方調査研究班)を組成し、調査における仮説検討、対象設定、調査事項の検討、調査結果の解釈等に関して適宜助言・支援を得ながら推進した。

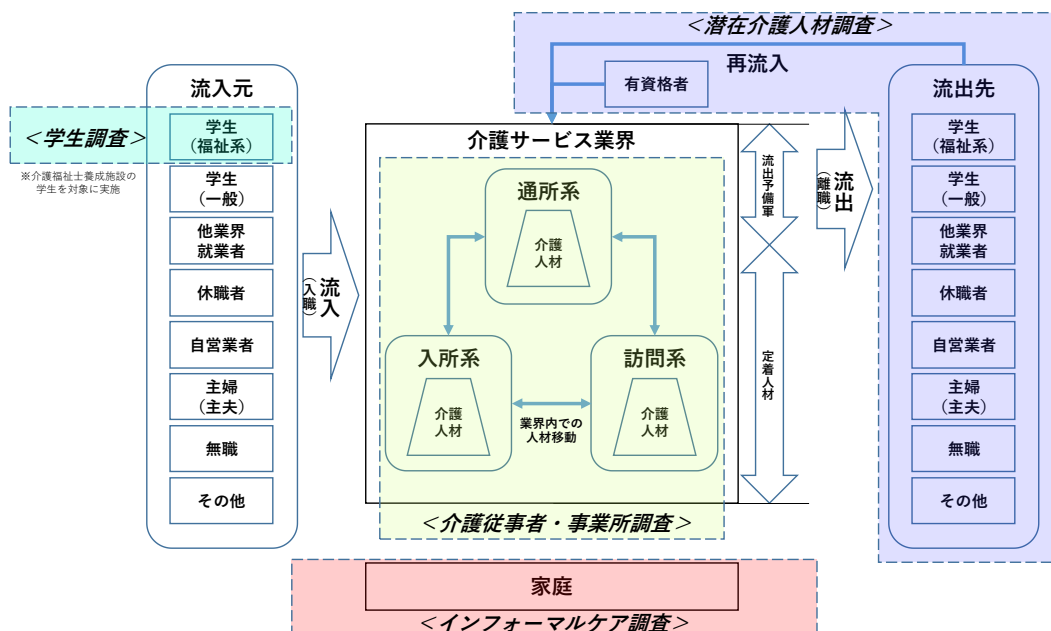
本調査では、介護従事者向けの調査を中心としたが、従事者が従事する事業所・施設についてもその状況を把握することが必要と考え、事業所・施設も調査対象とした。加えて、介護人材確保を検討するうえでは、現に介護業界に従事している人材だけではなく、今後の流入可能性等を考慮すべきことなどから、養成施設の学生や、以前は介護業界で従事していたが現在は離れてしまっている人材、介護関連の資格は有しているが業界に従事したことがない人材等も対象とすべきと考え、それらも調査対象とした。また、今後の人材の需給や人材要件の変化に影響する可能性を考慮し、自宅での介護の状況も概要を把握すべきと考え、調査対象とした。

図表 1 検討の進め方



※本調査は平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「介護人材の確保にかかる地域課題の分析及び効果的な人材確保策の検討に資する分析手法の開発等に関する調査研究事業」と一部連携して対応を行った。

図表 2 本調査研究の対象範囲(人材の流入・流出を考慮した整理)



(2) 各調査の概要

本調査研究では前述のとおり、「事業所・施設調査」、「介護従事者調査」、「潜在人材調査」、「介護福祉士養成施設の学生向け調査」、「インフォーマルケア調査」の5つを対象に実施した。「介護従事者調査」については中心的な対象であることから大規模・詳細な調査とし、プレ調査により簡易的に傾向を把握したうえで本調査を実施した。

事業所・施設調査では通所介護等の通所系サービス、訪問介護等の訪問系サービス、施設系サービスのそれぞれを対象とした。介護従事者調査では、介護職として介護業界で働いている介護従事者をそれぞれ調査対象とした。潜在介護人材調査では、介護業界から離職した人材及び介護関連の資格保有者を潜在介護人材と位置づけ、調査対象とした。図表2に示すように、潜在介護人材調査は主に人材の再流入に焦点をあてた調査である。学生向け調査では、今後、介護業界への入職が期待される介護福祉士養成施設に在籍している学生を調査対象とした。インフォーマルケア調査では、家族介護に焦点をあて、現在、家族等への介護を行っている方を調査対象とした。

各調査の実施概要を以下に示す。本調査研究においては、従事者調査を主眼としており、従事者向けの調査は大規模に実施し、そのほかに関しては簡易的な手法とした。

また、本調査の特徴的な点としては、事業所・施設のすべての介護職員大半に調査依頼を行ったことが挙げられる。これまでに実施された従事者向け調査の多くは、事業所・施設宛に調査票を発送し、指定した人数の従事者に調査票を手交・配付して回答を依頼する方法であり、限定されたサンプル調査となっている。本調査においては、事業所・施設から従事者への回答依頼の際の偏りを極力排するために、原則、事業所・施設の介護職員すべてに調査票を配布頂くように依頼した(事前に事業所情報を確認し、介護職員数より多くの調査票を発送した)。よって本調査の従事者向け調査においては、例えば事業所・施設が依頼しやすい従事者に偏るバイアスをできるだけ排除し、より実態に近いデータを得ることができたものと考えている。

事業所・施設調査

調査の目的	介護事業所・施設の概況(採用・離職の状況や人材確保・定着・離職防止に向けた取り組みの実施状況及びその効果認識など)を把握する。
調査方法	質問紙調査(郵送による発送・回収)
調査対象	<p>厚生労働省「介護サービス情報公開システム」(http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/)に登録されている訪問介護、通所介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)のいずれかのサービスを提供している事業所・施設の中から、地域と事業所・施設規模の偏りを考慮した上で、2,600件を抽出し、調査への協力を依頼した。なお、地域特性を踏まえた分析を実施することを企図し、可住地面積当たりの介護事業所数が多い地域と少ない地域として、以下の地域を選定し、該当の地域の介護事業所・施設は原則として、すべて留まる調査対象として抽出を行った。</p> <p><可住地面積当たりの介護事業所数が多い地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都港区、世田谷区、品川区 <p><可住地面積当たりの介護事業所数が少ない地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道夕張市、富良野市 ● 富山県朝日町、小矢部市
調査時期	2018年1月15日(月)～2018年2月9日(金) 回答入力・分析のスケジュールを考慮し、2月9日(金)を本報告書の分析対象となる回答としたが、調査票の回収は2018年3月16日(金)まで継続した。
サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> ● 配布数:2,600件 ● 総回収数:1,484件 ※2018年3月16日(金)時点 ● 分析対象回収数:1,381件 ※2018年2月9日(金)までに回収 ● 有効サンプル数:1,381件
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所・施設の概況 ● 採用・離職の状況 ● 職員確保・定着・離職防止に関する取り組みの状況について

介護従事者プレ調査

調査の目的	介護従事者の働き方の実態及び意向の概況を把握し、介護従事者本調査の調査票作成の基礎資料とする。
調査方法	WEB アンケート調査
調査対象	リサーチ会社の登録モニターのうち、介護事業所・施設で介護職として要介護の方のケアに実際に従事されている方をスクリーニング調査で抽出し、本調査の対象とした。
調査時期	スクリーニング調査:2017年11月8日(水)～2017年11月10日(金) 本調査:2017年11月11日(土)～2018年11月15日(水)
サンプル数	● 545 件
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本属性(性別、年齢、配偶関係など) ● 介護の知識・技術・経験に対する認識 ● 労働・生活の状況 ● 職業選択に関する意向・志向

介護従事者本調査

調査の目的	介護従事者の現状の働き方やキャリアに関する考え方など、働き方の実態及び働き方の意向等を把握する。
調査方法	質問紙調査(郵送による発送・回収) (調査票の返送は、事業所・施設票と介護従事者票を取りまとめて一括で返送するよう依頼した。なお、介護従事者票の匿名性を担保するために、介護従事者調査票は記入後に封入用封筒へ厳封するよう依頼した。)
調査対象	事業所・施設調査にて、抽出を行った介護事業所・施設で働く介護職員全数を調査対象とした。 ※調査対象として抽出した事業所・施設が提供しているサービスは、「介護サービス情報公開システム」に登録されている介護サービスコードにて確認を行った。複数の介護サービスを併設している場合には、対象のサービス以外に就業している介護従事者に調査票が配布されたケースも想定されるが、本調査では介護サービス情報公開システムに登録されているサービスにて就業を行っているとして取り扱うこととした。
調査時期	2018年1月15日(月)～2018年2月9日(金) 回答入力・分析のスケジュールを考慮し、2月9日(金)を本報告書の分析対象となる回答の締め切りとしたが、調査票の回収は2018年3月16日(金)まで継続した。
サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> ● 配布数:69,713 件 ※予備票を含む ● 総回収数:30,181 件 ※2018年3月16日(金)時点 ● 分析対象回収数:28,161 件 ※2018年2月9日(金)までに回収 ● 有効サンプル数:28,148 件 <p>白票 13 件については無効票として取り扱い、分析対象サンプルから除外した。なお、無効票は完全な白票のみとして、調査票に一部でも回答があるものについては有効サンプルとして分析対象とした。</p>
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の働き方の状況 ● キャリアパスの意向 ● 就業地域に関する意向 ● 事業所・施設の職員確保・定着・離職防止に関する取り組みに対する認識

潜在介護人材調査

調査の目的	潜在介護人材の実態(現在の就業状況、介護職として就業意向、潜在介護人材の再入職促進施策に対する認識など)の概況を把握する。																	
調査方法	WEB アンケート調査																	
調査対象	<p>【スクリーニング調査】</p> <p>リサーチ会社の登録モニター40,000名(20代以下7,470名、30代9,077名、40代7,794名、50代7,844名、60代以上7,806名)を対象にスクリーニング調査を実施し、以下の条件のいずれかに該当する方を本調査対象とした。</p> <p>(抽出条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある方 ● 介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護福祉士資格を保有している方 ● 介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員実務者研修修了者(訪問介護員養成研修1級・基礎研修修了者を含む) ● 介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員初任者研修修了者(訪問介護員養成研修2級修了者を含む) <table border="1" data-bbox="411 750 1388 1003"> <thead> <tr> <th>抽出条件</th> <th>該当者数</th> <th>母集団(4万人)に対する出現率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある方</td> <td>1,196</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護福祉士資格を保有している方</td> <td>857</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員実務者研修修了者(訪問介護員養成研修1級・基礎研修修了者を含む)</td> <td>278</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員初任者研修修了者(訪問介護員養成研修2級修了者を含む)</td> <td>1,102</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【本調査】</p> <p>スクリーニング調査にて抽出した登録モニターのうち、本調査配信後、回答を行った方1,030名。回答は先着順とし、予定サンプル数に達した段階で調査終了とした。</p>			抽出条件	該当者数	母集団(4万人)に対する出現率	現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある方	1,196	3.0%	介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護福祉士資格を保有している方	857	2.1%	介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員実務者研修修了者(訪問介護員養成研修1級・基礎研修修了者を含む)	278	0.7%	介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員初任者研修修了者(訪問介護員養成研修2級修了者を含む)	1,102	2.8%
抽出条件	該当者数	母集団(4万人)に対する出現率																
現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある方	1,196	3.0%																
介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護福祉士資格を保有している方	857	2.1%																
介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員実務者研修修了者(訪問介護員養成研修1級・基礎研修修了者を含む)	278	0.7%																
介護職として介護事業所に勤務していたことはないが、介護職員初任者研修修了者(訪問介護員養成研修2級修了者を含む)	1,102	2.8%																
調査時期	スクリーニング調査:2017年12月13日(水)～2018年1月29日(月) 本調査:2018年1月29日(月)～2018年1月30日(火)																	
サンプル数	● 回収数:1,030件																	
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本属性(性別、年齢、配偶関係など) ● 現在の暮らしの状況(現在の仕事、暮らし向きの意識など) ● 介護職として就業していた当時の状況(経験年数・サービス種別、職種など) ● 今後の介護職としての就業意向 ● 潜在介護人材の再入職促進施策に対する認識 																	

介護福祉士養成施設の学生向け調査

調査の目的	介護福祉士養成施設に在籍する学生の実態(進路の意向、キャリア意向の状況など)の概況を把握する。
調査方法	Web アンケート調査 (Web 調査画面へのアクセス用の URL と QR コードを掲載した調査協力依頼状を介護福祉士養成施設に郵送にて送付し、各養成施設にて依頼状を学生に配布してもらい、Web 上にて学生が回答を実施。)
調査対象	全国の介護福祉士養成施設に在籍している学生
調査時期	2018年1月26日(金)～2018年2月27日(火)
サンプル数	● 回収数:1,577件
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本属性(性別、年齢、配偶関係、経歴など) ● 進路の意向 ● 就職活動の実施状況 ● 将来のキャリアの意向 ● 介護業界に対するイメージ

インフォーマルケア調査

調査の目的	家族介護を行っている方の実態(現在の介護の実施状況、今後の介護継続意向など)の概況を把握する。						
調査方法	WEB アンケート調査						
調査対象	<p>【スクリーニング調査】</p> <p>リサーチ会社の登録モニター5,000名を対象にスクリーニング調査を実施し、以下の条件に該当する方を本調査対象とした。</p> <p>(抽出条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在、家族などの身近の人の介護を行っている方 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">抽出条件</th> <th style="text-align: center;">該当者数</th> <th style="text-align: center;">母集団(5千人)に対する出現率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">現在、家族などの身近の人の介護を行っている方</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">50.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【本調査】</p> <p>スクリーニング調査にて抽出した登録モニターのうち、本調査配信後、回答を行った方1,030名。回答は先着順とし、予定サンプル数に達した段階で調査終了とした。</p>	抽出条件	該当者数	母集団(5千人)に対する出現率	現在、家族などの身近の人の介護を行っている方	5,000	50.5%
抽出条件	該当者数	母集団(5千人)に対する出現率					
現在、家族などの身近の人の介護を行っている方	5,000	50.5%					
調査時期	スクリーニング調査:2018年1月24日(水)～2018年1月25日(木) 2018年1月26日(金)～2018年1月27日(土)						
サンプル数	回収数:1,030件						
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本属性(性別、年齢、配偶関係、被介護者との続柄など) ● 現在の暮らしの状況(現在の仕事、暮らし向きの意識など) ● 家族介護の実施状況(介護の内容、介護頻度など) ● 今後の家族介護の継続意向 ● 介護継続のために必要な支援 ● 今後の家族介護の経験の活用意向 						

(3) 研究班の構成

本調査研究では、学識経験者、実務者等の有識者からなる研究班を組成し各種検討を行った。研究班の構成メンバーを以下に示す。

図表 3 研究班メンバー

(50音順、敬称略) ○印:座長

氏名	所属先・役職名
石本 淳也	日本介護福祉士会 会長
○井元 清哉	東京大学医科学研究所ヘルスイテリジェンスセンター 健康医療データサイエンス分野 教授
大磯 義一郎	浜松医科大学医療法学 教授
岸田 研作	岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授
菅野 雅子	フォスターリンク株式会社 組織人材開発コンサルタント
滝山 真也	株式会社ベネッセスタイルケア 代表取締役社長
田宮 菜奈子	筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 教授
坪倉 正治	南相馬市立総合病院 医師
中村 利仁	夕張市立診療所 医師
橋本 英樹	東京大学大学院医学系研究科保健社会行動学分野 教授
長谷川 嵩矩	東京大学医科学研究所ヘルスイテリジェンスセンター 健康医療データサイエンス分野 助教
林 浩文	日本介護福祉士養成施設協会 理事/ 広島文教女子大学人間福祉学科 准教授
古谷 知之	慶應義塾大学総合政策学部 教授
宮田 裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授
森田 知宏	相馬中央病院 医師
森田 麻里子	南相馬市立総合病院 医師
山口 類	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターDNA 情報解析分野 准教授
湯地 晃一郎	東京大学医科学研究所国際先端医療社会連携研究部門 特任准教授
渡辺 直子	東京大学医科学研究所附属病院 ソーシャルワーカー

(オブザーバ) 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室、厚生労働省老健局振興課

(4) 前提条件・留意点

<用語の定義>

本調査では各用語を以下のように定義し、調査・分析を行っている。

図表 1 用語の定義

用語	定義
訪問介護員	介護保険法の指定を受けた訪問介護または夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所で働き、高齢者等の家庭に訪問して家事などの生活援助、入浴などの身体介護を行う者
介護職員	訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者
正規職員	期間を定めない雇用契約を締結している職員
非正規職員	期限を定めた雇用契約を締結している職員
常勤職員	1週間あたりの労働時間が40時間以上の職員
非常勤職員	1週間あたりの労働時間が40時間未満の職員
身体介助	利用者の身体に直接触れる介助及びその準備・後始末(入浴、排泄、食事介助等)
生活援助	利用者の身体に直接触れない介助及びその準備・後始末(洗濯、食事の準備・後始末、掃除等)

<介護保険サービス類型の区分>

本調査では、調査対象とした6つの介護サービスの種類に基づき、以下のように施設系、訪問系、通所系の3つのサービス類型に区分して集計・分析を行っている。

図表 2 本調査研究でのサービス類型区分と介護保険サービスの対応

介護サービスの種類 (○:該当する区分)	本調査におけるサービス類型区分		
	施設系	訪問系	通所系
介護老人福祉施設	○		
介護老人保健施設	○		
認知症対応型共同生活介護	○		
特定施設入居者生活介護	○		
訪問介護		○	
通所介護			○

なお、調査対象として抽出した事業所・施設が提供しているサービスは、「介護サービス情報公開システム」に登録されている介護サービスコードにて確認を行った。複数の介護サービスを併設している場合には、調査対象として設定したサービス以外で就業している介護従事者に調査票が配布され、回収されていることも想定されるが、本調査では介護サービス情報公開システムに登録されているサービスにて就業を行っているものとして取り扱っている点には留意いただきたい。サービス類型に応じて、働き方の実態が大きく異なることが想定されるため、介護従事者調査と事業所・施設調査の分析は原則として、サービス類型別に実施している。

<集計・分析結果に関する留意事項>

- 百分率(%)で記載している構成比については小数点第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の場合は、構成比の和が100%を超えるものがある。
- 図表及び文章中、選択肢を一部省略している場合がある。

第2章 介護人材の需給及び人材確保の状況

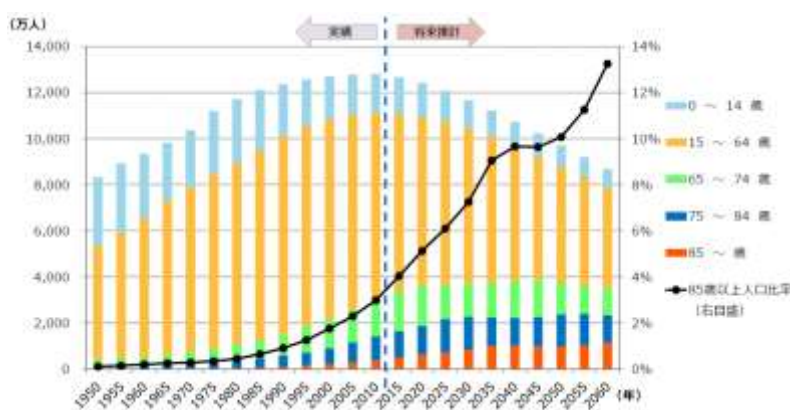
本調査研究では、介護人材の実態等の調査を実施するにあたり、介護人材の需給動向及び介護人材確保に向けた取り組み状況について整理し、これらを踏まえて調査設計を行った。本章では、調査した内容について概要を整理し、これらを踏まえて検討した検討課題・論点について示す。

1. 介護人材の需給の状況

(1) 日本の将来人口推計

今後、更なる少子高齢化が進展する中で、総人口は減少する一方で、高齢者人口比率は拡大していく見通しとなっている。特に85歳以上人口比率は急拡大が予想される。

図表 4 日本の将来人口推計

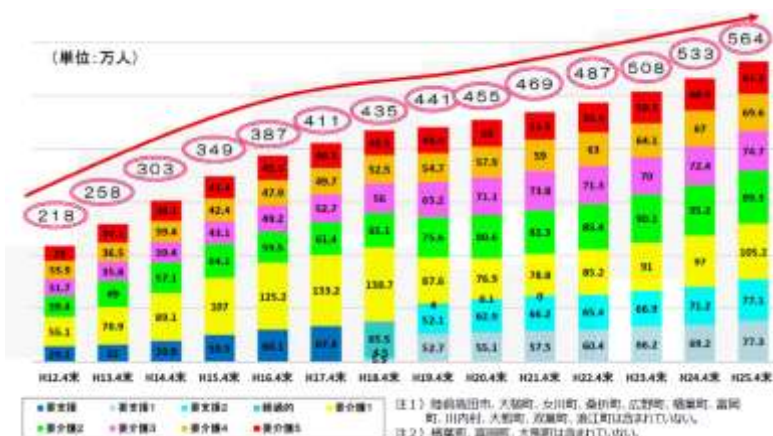


(資料) 経済産業省「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書」より

(2) 要介護度別認定者数の推移

要介護(要支援)の認定者数は、平成25年4月時点564万人で、介護保険制度の施行(平成12年度)時点比で、2.6倍に増加している。また近年、増加のペースが拡大している。

図表 5 要介護度別認定者数の推移



(資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」より

(3) 介護(予防)サービス受給者数の推移

要介護(要支援)度別の介護(予防)サービス受給者数は、2060年には要介護2以下の介護(予防)サービス受給者が2015年の1.6倍まで増加する見込みとなっている。また、要介護3以上の介護(予防)サービス受給者数は2015年の1.9倍まで増加する見込みとなっている。

図表 6 要介護度(要支援)度別の介護(予防)サービス受給者数の推移

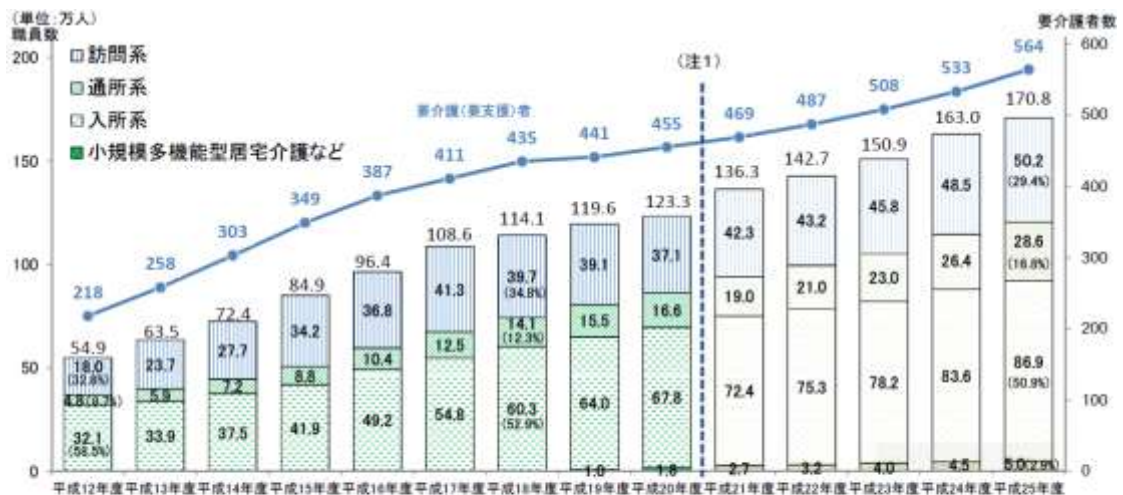


(資料) 経済産業省「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書」より

(4) 介護保険制度施行以降の介護職員数の推移

介護保険制度の施行後、上述のように要介護(要支援)認定者数は増加しており、サービス量の増加に伴い介護職員数も13年間で約3倍に増加している。

図表 7 介護保険制度施行以降の介護職員数の推移(補正後)



(資料) 厚生労働省「介護人材の確保について」より

(5) 介護職員の需給の将来推計

厚生労働省が実施した介護職員の需給の将来推計によると、現状のまま推移した場合、2025年時点で37.7万人の需給ギャップが生じることが見込まれている。

図表 8 介護職員の需給の将来推計

介護人材の需要見込み（2025年度）	253.0万人
現状推移シナリオによる 介護人材の供給見込み（2025年度）	215.2万人
需給ギャップ	37.7万人

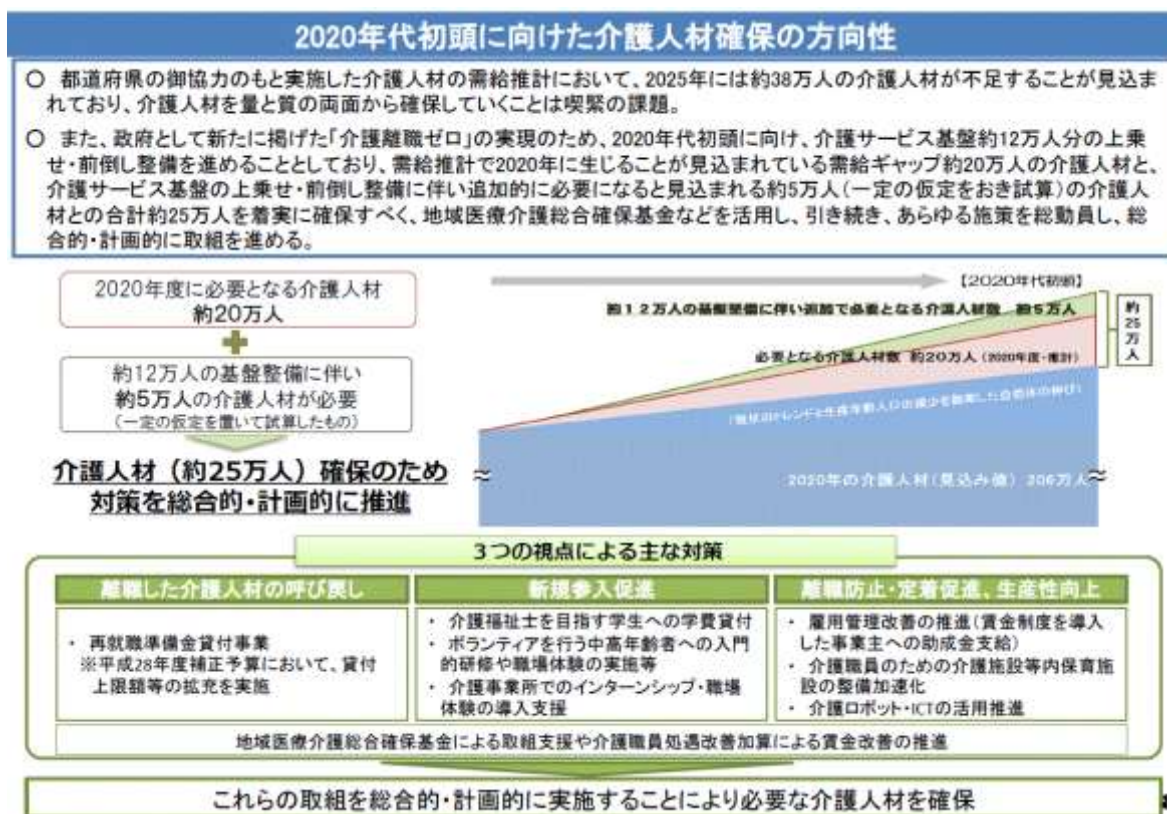
（資料）厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる受給推計（確定値）について」より

2. 介護人材の確保に向けた取り組みの状況

(1) 介護人材確保の方向性

介護人材を量と質の両方から確保していくことを喫緊の課題として、介護人材確保に向けて、各種施策が以下の方向に基づき展開されている。

図表 9 介護人材確保の方向性



（資料）厚生労働省「福祉・介護人材の確保に向けた取組について」より

(2) 介護人材確保対策

前掲の介護人材確保の方向性に基づき、「離職した介護人材の呼び戻し」、「新規参入促進」、「離職防止・定着促進、生産性向上」を対策の3つの視点として位置付け、介護人材の確保に向けた具体的な対策が進められている。

図表 10 介護人材確保対策

2020年代初頭に向けた総合的な介護人材確保対策	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療介護総合確保基金の活用や介護福祉士修学資金等貸付制度等により、3つの視点で2020年代初頭において追加的に必要となる25万人の介護人材の確保に取り組んでいく。 ○ 取組にあたっては、当初予算や補正予算により必要な財源を確保し、内容の充実を図っている。 	
対策の視点	介護人材の確保に向けた具体的な対策
潜在介護人材の呼び戻し 離職した介護人材の再就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 離職した介護人材に対する再就職準備金の貸付 <small>※平成28年度第2次補正予算において、人材確保が特に困難な地域の貸付額を倍増(20万円→40万円)等</small> ○ 離職した介護人材の届出システムの構築 ○ ハローワークにおけるマッチング機能の強化 ○ 離職した介護人材に対する知識や技術を再確認するための研修
新規参入促進 ① 介護職を目指す学生の増加・定着支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士養成施設の学生に対する修学資金等の貸付 ○ 学校の生徒や進路指導担当者等に対する介護の仕事の理解促進 ○ 介護事業所でのインターンシップ・職場体験の導入支援(平成29年度新規)
新規参入促進 ② 介護未経験の中高年齢者をはじめとした地域住民の参入促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初任者研修とマッチングの一体的な提供 ○ 福祉人材センター、シルバー人材センター、ボランティアセンターの連携による将来の就労を視野に入れている中高年齢者に対する入門的な研修、職場体験の実施 ○ ハローワークや福祉人材センターにおけるマッチング支援の実施
離職防止 定着促進 雇用管理改善や負担軽減に資する生産性向上等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護職員処遇改善加算の拡充(平成27年度介護報酬改定1.2万円相当の上乗せ加算) ○ 介護施設・事業所内保育施設の設置・運営の支援 ○ 子育て支援のための代替職員のマッチング(介護職員子育て応援人材ステーションの実施) ○ キャリアアップのための研修の受講負担軽減や代替職員の確保による研修受講機会の確保 ○ エルダー、メンター制度の導入支援 ○ 介護ロボットの活用推進、ICTの活用等による文書量の半減 ○ 新たに賃金制度を導入(賃金テーブルの設定等)した事業主への職場定着支援助成金の支給

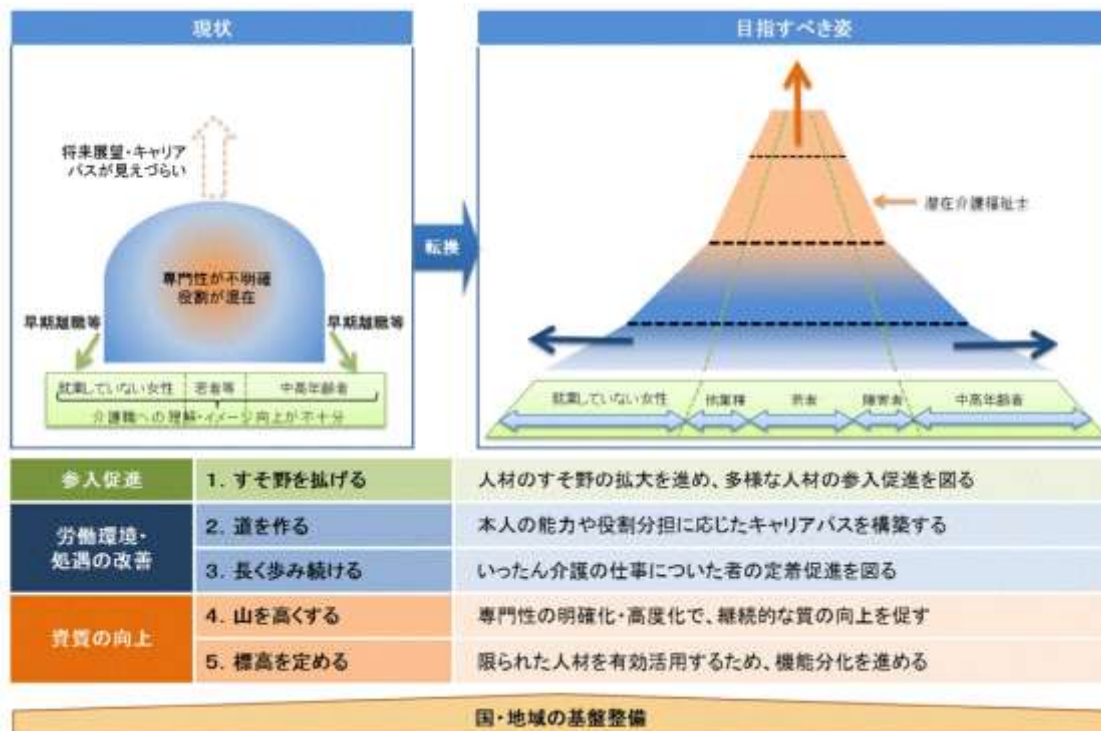
2020年代初頭までに約25万人を確保

(資料) 厚生労働省「福祉・介護人材の確保に向けた取組について」より

(3) 介護人材の構造転換への取り組み

平成27年2月に取りまとめられた報告書「2025年に向けた介護人材の確保」(社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会)では、若年者人口の減少、介護ニーズの高度化・多様化等、現在の介護人材にかかる課題を踏まえ、介護人材の構造について、対象とする人材のセグメントに応じた、きめ細かな施策を講じることにより、専門性が不明確で、役割が混在しており、将来展望・キャリアパスが見えづらい現行の「まんじゅう型」の人材構造から「富士山型」の人材構造への転換を図ることが必要であるとの提言がなされている。

図表 11 2025年に向けた介護人材の構造転換(イメージ)



(資料) 厚生労働省「2025年に向けた介護人材の確保～量と質の好循環の確立に向けて～」より

3. 検討課題・論点

以上で整理した介護人材の需給状況、人材確保の取り組み状況等を参考に、研究班での検討を踏まえ、本調査研究においては以下の検討課題・論点を設定し、調査設計、実査、分析を行った。ここまで示した需給予測や取り組みは、基本的に現在の環境や取り組みを前提としたものが多いが、将来の施策等を考えるうえでは、現状の詳細把握に加え、今後、発生しうる変化などにも留意することが必要となる。

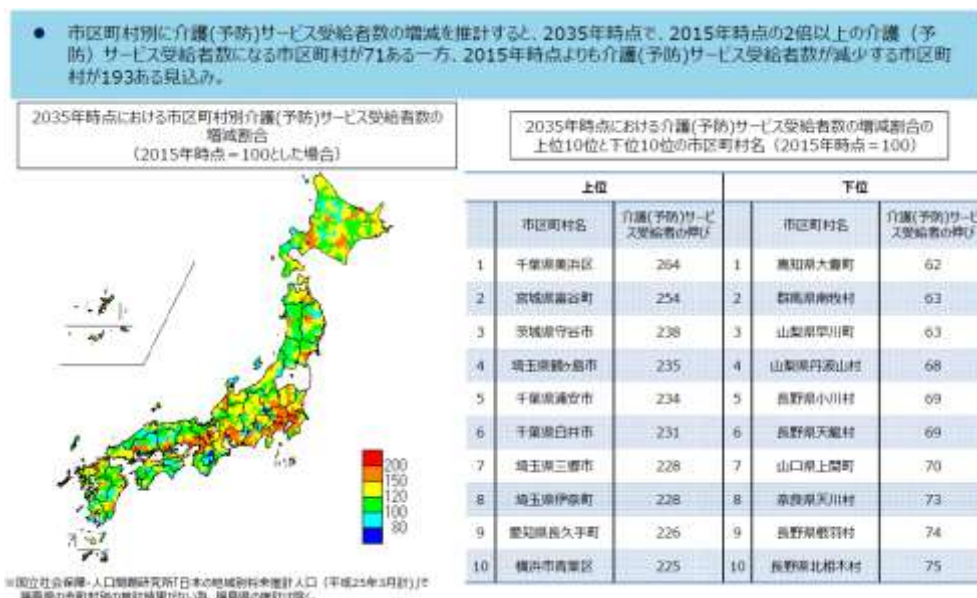
●介護人材の意向・考え方に基づく実態・構造を把握することが必要

現状、有資格者の数等は把握できているが、仕事や職場に関する満足感や将来の意向・希望、管理職志向か現場志向かといったキャリア意向等は十分に把握できていない可能性があり、属性情報以外に基づく介護人材の構造把握、整理ができていないと考えられる。今後の介護人材確保を考えるうえでは、キャリア意向や仕事に対する考え方等を踏まえ、その能力を十分に発揮できる環境を整えることが重要である。現在の実態として介護人材のそれらがどのような構造になっているのかを把握することが必要である。それらを踏まえて、将来の需給推計や人材確保策の検討を行うことが重要である。

●地域特性を考慮することが必要

人材需給や人材確保の難しさは地域の状況によって異なっており、調査・検討に際しては地域特性・地域差を考慮することが必須である。特に今後は地域差が拡大することが想定され、これまで以上の一層の配慮が必要と考えられる。単に地域ごとの人材の属性の相違に着眼するだけではなく、各地域の人材の意向や考え方まで含めて把握・検討することが重要となる。（「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書」（経済産業省経済産業政策局産業構造課）では、市区町村ごとに介護（予防）サービス受給者数の増減を推計すると、2035年時点で、2015年時点の2倍以上の介護（予防）サービス受給者数になる市区町村が71となる一方、2015年時点よりも介護（予防）サービス受給者数が減少する市区町村が193となる見込みとの報告がなされている。）

図表 12 介護(予防)サービス受給者数の増減割合の地域特性

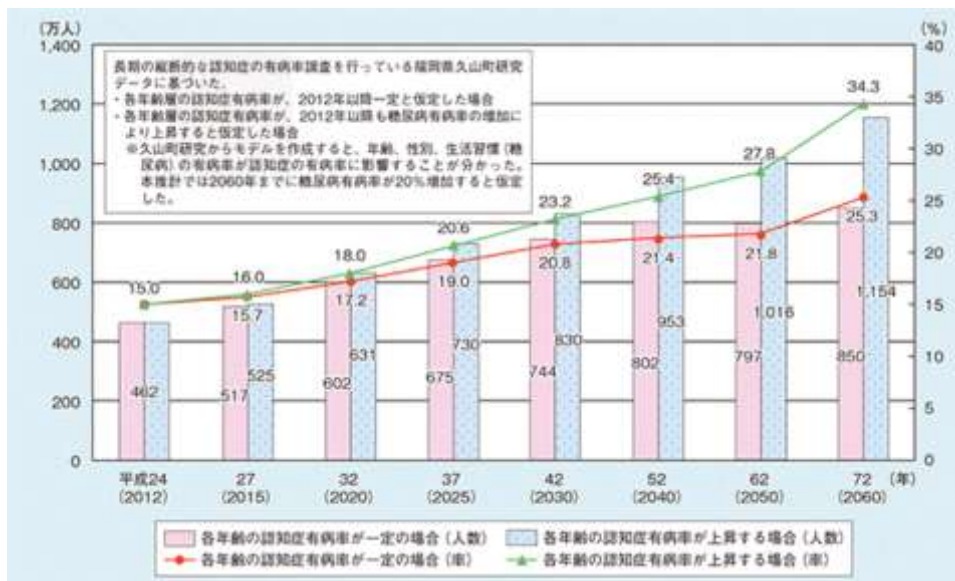


(資料)経済産業省「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究報告書」より

●将来の環境変化を見据えることが必要

女性の社会進出、世帯構成の変化、疾病構造の変化等を背景に介護人材の需給の構造や働き方の意向に大きな変化が生じることが予測される。現在の従事者がどのような環境に置かれており、今後どのように変化する可能性があるか、疾病構造の変化によりどういったスキルの人材が必要となるか、あるいは家庭内での介護が困難になる可能性がどの程度あるのかといった観点からの検討が重要である。例えば、今後、認知症患者が急増することが見込まれており、2012年は462万人(65歳以上の高齢者の7人に1人が発症)であった認知症患者数が2025年には700万人(65歳以上の高齢者の5人に1人が発症)を突破すると試算されている。疾病構造の変化を受けて、介護人材に求められるスキルも当然、変容していくことが予想される。

図表 13 65歳以上の認知症患者数と有病率の将来推計



(資料) 内閣府「平成28年版高齢社会白書」より

●現在の介護従事者以外にも目を向けることが必要

介護人材確保の実現に向けては、既存の対策強化に加え、今後、業界への流入可能性がある人材へのアプローチも重要である。今後業界に従事することが見込まれる養成施設やその他の学校の学生、かつて介護職として働いていたが現在は業界を離れてしまった人材、介護に係る資格は有しているが介護に従事した経験がない人材等が、将来流入可能性のある人材の大きなソースであると想定される。

新規流入が見込まれる学生の意向・希望や潜在化してしまっている人材の意向・希望等を把握することで、新規の流入や再流入の促進等に資するものとする。

第3章 事業所・施設調査の分析

本章では介護従事者が従事する事業所・施設向けに実施した調査結果について示す。事業所・施設の取り組み等は提供サービスによって異なると考え、基本的にサービス類型(施設系、訪問系、通所系)別に集計を実施している。はじめに調査結果の要点と結果を踏まえた考察について簡潔に示し、以降にて詳細な集計・分析結果を記載する。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

- 介護職員(正規)に関して、施設系の77.9%が人材の不足感を感じているなど、サービス類型や雇用形態によって多少の差はあるが、全般的に多くの介護事業所・施設が人手不足と認識している。
- 訪問介護員に関しては、特に「非正規」人材に不足を感じている傾向がみられる。
- いずれの類型においても、6~7割程度の事業所・施設が人材確保・定着・離職防止に向けた取り組みを行っているが、効果を実感していないものが多い。
- 人材の定着率については多くの事業所・施設が比較的肯定的な自己評価をしている一方で、採用に関してはサービス類型や雇用形態によって多少の差はあるが、採用を行っている事業所・施設の7~8割が苦戦していると認識している。
- 採用の苦戦に非常に影響があると考えている要因として、施設系の事業所・施設は「介護業界へのマイナスイメージ(44.3%)」、「定員割れで養成校からの採用が困難(42.0%)」、「地域の介護事業所・施設、事業者の増加(41.7%)」という回答が多い。訪問系、通所系においても「介護業界へのマイナスイメージ」の回答の割合が最も大きくなっている。また、多少影響があるまで含めると「希望する人材要件に合致する人材が不足しているため」との回答も多くなっている。
- 中途採用時に求める人材要件については、訪問系以外は、資格は問わない割合が多く、また、訪問系を含めても就業経験や年齢は問わないという事業所・施設が多い。ただし、施設系では、フルタイム勤務限定(19.8%)、夜勤ができる人に限定(16.7%)という割合が訪問系や通所系と比較して多い。

【結果を踏まえた考察】

- 訪問介護員に関して、特に「非正規」人材に不足を感じている傾向が顕著であるが、これは仕組みの面で、人件費を固定化せず流動化しておきたいとの理由から正規職員ではなく非正規職員に頼らざるを得ないことによるものと考えられる。介護職のキャリアを描くという観点からは、非正規職員が主体という状況が続くことは好ましくない面が強く、現状の仕組みを見直すことや事業者がより中長期目線で人材確保・育成について考えられるような取り組みを促進することが必要であろう。
- 採用に苦戦している要因としては人材要件に合致しないことが多く挙げられているが、資格や経験、年齢は問わないケースも多く、どのような点でミスマッチが生じているかまで踏み込んで明らかにするには至っていない。今後、この部分についても把握を試みる必要があるであろう。また、介護業界以外も含めて人材の不足感がある現状を踏まえると、期待する要件をすべて満たすような人材ではなくとも上手く活用できるような役割分担や仕組み・運用を事業者が考える必要もあると考える。

2. 集計・分析結果

(1) 事業所・施設の基本属性

① サービス類型

事業所・施設のサービスタイプの構成をみると、施設系 46.9%、訪問系 37.1%、通所系 15.9%となっている。施設系の構成をみると、介護老人福祉施設が 44.8%と最も多く、次いで認知症対応型共同生活介護が 19.9%と多い。

図表 3 サービスタイプの構成



図表 4 サービスタイプに占める各介護サービスの構成

	n	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	認知症対応型共同生活介護	訪問介護	通所介護
施設系	648	44.8%	18.8%	16.5%	19.9%	0.0%	0.0%
訪問系	513	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
通所系	220	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

② 法人種別

事業所・施設の法人種別をみると、施設系では「社会福祉法人(社協以外)」が 54.5%で最も多く、次いで「営利法人」が 23.0%となっている。訪問系、通所系では「営利法人」がそれぞれ 66.5%、40.0%で最も多い。

図表 5 法人種別

	n	営利法人	社会福祉法人(社協)	社会福祉法人(社協以外)	医療法人	NPO法人	生協・農協	地方公共団体	社団・財団	その他法人
施設系	648	23.0%	0.5%	54.5%	17.0%	1.4%	0.8%	1.1%	0.3%	1.5%
訪問系	513	66.5%	7.8%	10.5%	4.1%	4.9%	2.1%	1.0%	1.0%	2.1%
通所系	220	40.0%	11.8%	35.5%	5.5%	2.7%	2.7%	0.5%	0.0%	1.4%

③ 展開事業所・施設数

事業所・施設の展開事業所・施設数をみると、施設系、通所系では「11以上の事業所・施設」がそれぞれ 33.6%、36.8%で最も多く、訪問系では「1事業所・施設のみ」が 37.2%で最も多い。

図表 6 展開事業所・施設数

	n	1事業所・施設のみ	2事業所・施設	3~5 事業所・施設	6~10 事業所・施設	11以上の 事業所・施設	無回答
施設系	648	12.0%	7.6%	25.5%	20.2%	33.6%	1.1%
訪問系	513	37.2%	10.3%	19.9%	9.6%	20.5%	2.5%
通所系	220	25.5%	6.4%	18.2%	12.7%	36.8%	0.5%

(2) 人手不足の認識

① 介護職員・正規職員、非正規職員

サービス類型別に介護職員(正規職員)の過不足感をみると、通所系では「適切」との回答が 39.1%となっている一方で、施設系では「大いに不足」が 22.5%となっており、施設系を中心に不足感がみられる。

図表 7 人材の過不足感:介護職員・正規職員

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	22.5%	26.7%	28.7%	17.9%	1.4%	0.0%	2.8%
訪問系	513	9.9%	11.5%	10.1%	9.6%	0.6%	0.2%	58.1%
通所系	220	11.8%	18.6%	25.0%	39.1%	1.4%	0.0%	4.1%

介護職員(非正規職員)の過不足感は、施設系において「大いに不足」が 15.3%、「不足」が 21.6%と、ほかのサービス類型と比較してやや不足感が大きい。

図表 8 人材の過不足感:介護職員・非正規職員

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	15.3%	21.6%	29.0%	22.5%	1.7%	0.8%	9.1%
訪問系	513	11.3%	11.9%	9.6%	5.5%	0.0%	1.2%	60.6%
通所系	220	13.6%	20.9%	25.5%	30.5%	0.5%	0.5%	8.6%

② 訪問介護員

訪問介護員の過不足感をみると、正規職員は「大いに不足」が 19.1%であるのに対し、非正規職員は「大いに不足」が 35.9%となっており、正規職員と比較して、非正規職員の不足感が大きい。

図表 9 人材の過不足感:訪問介護員(訪問系)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	無回答	無回答
正規職員	513	19.1%	24.2%	20.5%	23.8%	1.6%	0.4%	10.5%
非正規職員	513	35.9%	25.5%	18.9%	7.8%	0.0%	0.4%	11.5%

(3) 介護人材確保・定着に向けた取り組みの状況

① 職員の「確保」に向けた取り組みの実施状況

職員の「確保」に向けた取り組みの実施状況をみると、「行っていない」の割合はいずれの類型においても少ない。特に、施設系では「行っていない」の割合が 4.9%と訪問系・通所系と比較しても少なく、「積極的にやっている」割合は 17.4%と多い。施設系の事業所・施設は、訪問系や通所系と比較して人材確保・定着に力を入れている傾向がみられた。

図表 10 職員の「確保・定着・離職防止」に向けた取り組みの実施状況

	n	積極的に やっている	ある程度 やっている	行っていない	無回答
施設系	648	17.4%	50.2%	4.9%	27.5%
訪問系	513	11.1%	47.0%	12.9%	29.0%
通所系	220	12.7%	50.0%	11.4%	25.9%

② 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの実施状況

職員の「確保」に向けた各種取り組みの実施状況をみると、全般に求人条件に関する取り組みは実施されている割合が大きい。PR 方法についてはサービス種別でやや差異がみられる。多くの取り組みにおいて実施している割合が大きいのは施設系である。

図表 11 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの実施状況 : 施設系

施設系		n	実施している	実施していない
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	648	75.2%	24.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	648	79.0%	21.0%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	648	49.1%	50.9%
地 域 学 校 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	648	56.3%	43.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	648	81.8%	18.2%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	648	67.7%	32.3%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	648	40.7%	59.3%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	648	55.1%	44.9%
条 求 件 人	賃金体系の見直しを行っている	648	78.7%	21.3%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	648	80.7%	19.3%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	648	92.1%	7.9%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	648	48.9%	51.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	648	87.3%	12.7%
	夜勤専従職員を採用している	648	47.1%	52.9%
	職場体験や見学を実施している	648	84.9%	15.1%
	元職員への働きかけを行っている	648	61.6%	38.4%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	648	72.7%	27.3%

図表 12 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの実施状況 : 訪問系

訪問系		n	実施している	実施していない
P R 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	513	49.7%	50.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	513	65.9%	34.1%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	513	24.4%	75.6%
地 域 学 校 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	513	18.5%	81.5%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	513	45.2%	54.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	513	35.7%	64.3%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	513	14.8%	85.2%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	513	44.8%	55.2%
条 件 人	賃金体系の見直しを行っている	513	72.5%	27.5%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	513	72.9%	27.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	513	80.9%	19.1%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	513	44.8%	55.2%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	513	56.1%	43.9%
	夜勤専従職員を採用している	513	24.8%	75.2%
	職場体験や見学を実施している	513	42.3%	57.7%
	元職員への働きかけを行っている	513	53.4%	46.6%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	513	60.2%	39.8%

図表 13 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの実施状況 : 通所系

通所系		n	実施している	実施していない
P R 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	220	62.7%	37.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	220	68.6%	31.4%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	220	37.7%	62.3%
地 域 学 校 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	220	34.1%	65.9%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	220	63.2%	36.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	220	51.8%	48.2%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	220	25.0%	75.0%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	220	41.8%	58.2%
条 件 人	賃金体系の見直しを行っている	220	70.0%	30.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	220	67.3%	32.7%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	220	82.3%	17.7%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	220	30.0%	70.0%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	220	75.9%	24.1%
	夜勤専従職員を採用している	220	14.5%	85.5%
	職場体験や見学を実施している	220	66.8%	33.2%
	元職員への働きかけを行っている	220	45.5%	54.5%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	220	65.0%	35.0%

③ 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの効果認識

職員の「確保」に向けた取り組みの効果認識をみると、施設系では、「非常に効果がある」と回答された取り組みは「福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている」が16.6%と最も大きく、次いで、「未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている」が14.1%と大きい。

訪問系では、「非常に効果がある」とされた取り組みは「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している」が14.2%と最も大きい。

通所系では、いずれの施策も「非常に効果がある」の割合は低い水準にとどまっているが、そのうち、「職員による紹介謝礼金制度を導入している」が12.1%と最も大きい。

図表 14 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの効果認識：施設系

施設系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	487	6.8%	45.6%	42.1%	5.5%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	512	2.3%	40.8%	50.0%	6.8%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	318	8.2%	46.5%	38.4%	6.9%
地域交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	365	7.1%	43.6%	37.3%	12.1%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	530	5.1%	27.7%	55.1%	12.1%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	439	16.6%	41.0%	35.3%	7.1%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	264	5.7%	42.8%	46.6%	4.9%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	357	1.7%	28.9%	55.5%	14.0%
条件	賃金体系の見直しを行っている	510	10.4%	55.3%	31.2%	3.1%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	523	11.5%	60.2%	25.2%	3.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	597	9.2%	55.6%	30.7%	4.5%
その他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	317	10.4%	44.2%	37.9%	7.6%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	566	14.1%	56.4%	26.3%	3.2%
	夜勤専従職員を採用している	305	8.9%	49.8%	31.5%	9.8%
	職場体験や見学を実施している	550	9.6%	47.6%	36.2%	6.5%
	元職員への働きかけを行っている	399	5.0%	41.4%	42.9%	10.8%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	471	3.6%	41.4%	48.4%	6.6%

※「実施していない」を除いて集計

図表 15 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの効果認識：訪問系

訪問系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	255	4.7%	34.5%	49.0%	11.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	338	1.8%	32.5%	51.8%	13.9%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	125	7.2%	37.6%	45.6%	9.6%
地域交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	95	6.3%	37.9%	41.1%	14.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	232	1.3%	35.3%	48.3%	15.1%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	183	6.6%	31.7%	47.0%	14.8%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	76	9.2%	39.5%	39.5%	11.8%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	230	2.6%	23.0%	53.0%	21.3%
条件	賃金体系の見直しを行っている	372	10.2%	53.8%	29.0%	7.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	374	14.2%	55.9%	24.6%	5.3%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	415	12.3%	52.3%	29.2%	6.3%
その他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	230	13.9%	36.5%	39.6%	10.0%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	288	12.8%	49.0%	28.5%	9.7%
	夜勤専従職員を採用している	127	7.9%	47.2%	35.4%	9.4%
	職場体験や見学を実施している	217	7.4%	40.6%	39.2%	12.9%
	元職員への働きかけを行っている	274	5.1%	30.3%	46.4%	18.2%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	309	5.5%	35.6%	46.3%	12.6%

※「実施していない」を除いて集計

図表 16 職員の「確保」に向けた具体的な取り組みの効果認識 : 通所系

通所系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	138	3.6%	43.5%	48.6%	4.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	151	2.0%	41.1%	51.7%	5.3%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	83	1.2%	47.0%	44.6%	7.2%
地域 学 校 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	75	4.0%	49.3%	40.0%	6.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	139	3.6%	36.0%	49.6%	10.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	114	7.9%	39.5%	44.7%	7.9%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	55	5.5%	50.9%	36.4%	7.3%
条 件 人	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	92	2.2%	28.3%	50.0%	19.6%
	賃金体系の見直しを行っている	154	9.7%	62.3%	26.0%	1.9%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	148	10.1%	70.3%	18.2%	1.4%
そ の 他	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	181	7.7%	63.0%	27.1%	2.2%
	職員による紹介謝礼金制度を導入している	66	12.1%	34.8%	47.0%	6.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	167	9.0%	65.3%	19.2%	6.6%
	夜勤専従職員を採用している	32	6.3%	56.3%	28.1%	9.4%
	職場体験や見学を実施している	147	8.8%	50.3%	38.8%	2.0%
	元職員への働きかけを行っている	100	8.0%	35.0%	45.0%	12.0%
採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	143	3.5%	41.3%	46.9%	8.4%	

※「実施していない」を除いて集計

④ 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの実施状況

職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの実施状況をみると、資格取得支援や非正規職員から正規職員への登用等、7割前後の事業所・施設が広く実施している取り組みもみられた一方で、「介護キャリア段位制度の活用」、「ICTや介護ロボットの導入」の実施率は比較的低い水準となっている。

図表 17 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの実施状況：施設系

施設系		n	実施している	実施していない
配 置 処 遇 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	648	67.7%	32.3%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	648	53.5%	46.5%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	648	67.0%	33.0%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	648	72.1%	27.9%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	648	79.5%	20.5%
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	648	71.6%	28.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	648	70.5%	29.5%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	648	38.0%	62.0%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	648	86.0%	14.0%
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	648	83.0%	17.0%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	648	78.4%	21.6%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	648	87.3%	12.7%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	648	69.8%	30.2%
	ICTや介護ロボットを導入している	648	34.1%	65.9%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	648	79.2%	20.8%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	648	49.8%	50.2%
人 間 関 係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	648	72.8%	27.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	648	76.9%	23.1%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	648	49.7%	50.3%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	648	79.5%	20.5%

図表 18 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの実施状況 :訪問系

訪問系		n	実施している	実施していない
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	513	38.2%	61.8%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	513	44.8%	55.2%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	513	54.2%	45.8%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	513	63.9%	36.1%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	513	67.8%	32.2%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	513	53.0%	47.0%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	513	58.1%	41.9%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	513	40.4%	59.6%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	513	72.3%	27.7%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	513	74.1%	25.9%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	513	70.0%	30.0%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	513	73.5%	26.5%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	513	65.1%	34.9%
	ICTや介護ロボットを導入している	513	10.7%	89.3%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	513	64.3%	35.7%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	513	36.1%	63.9%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	513	65.1%	34.9%
人間関係	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	513	72.7%	27.3%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	513	47.2%	52.8%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	513	70.6%	29.4%

図表 19 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの実施状況 :通所系

通所系		n	実施している	実施していない
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	220	54.5%	45.5%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	220	45.5%	54.5%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	220	62.3%	37.7%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	220	63.6%	36.4%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	220	73.6%	26.4%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	220	55.9%	44.1%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	220	56.4%	43.6%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	513	40.4%	59.6%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	220	74.1%	25.9%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	220	74.5%	25.5%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	220	71.8%	28.2%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	220	78.2%	21.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	220	61.4%	38.6%
	ICTや介護ロボットを導入している	220	23.6%	76.4%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	220	71.4%	28.6%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	220	35.5%	64.5%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	220	60.5%	39.5%
人間関係	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	220	72.3%	27.7%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	220	45.9%	54.1%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	220	75.5%	24.5%

⑤ 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの効果認識

職員の「確保」に向けた取り組みの効果認識をみると、「非常に効果がある」との回答は施設系では「子育ての場合でも安心して働ける環境を整備している」が 22.0%と最も大きく、次いで、「非正規職員から正規職員への転換機会を設けている」が 17.3%であった。

訪問系では、「非常に効果がある」は「資格取得を奨励している」が 15.4%と最も大きかった。

通所系では、「子育ての場合でも安心して働ける環境を整備している」が 23.1%と最も大きかった。

図表 20 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの効果認識：施設系

施設系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
配 置 ・ 週 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	439	4.6%	50.1%	37.4%	8.0%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	347	6.9%	55.9%	32.3%	4.9%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	434	5.3%	50.0%	39.4%	5.3%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	467	6.0%	43.9%	42.6%	7.5%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	515	3.7%	40.4%	47.8%	8.2%
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	464	11.0%	61.4%	25.0%	2.6%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	457	6.6%	51.0%	38.7%	3.7%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	246	4.9%	42.3%	45.1%	7.7%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	557	13.5%	59.4%	24.1%	3.1%
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	538	7.4%	55.0%	32.7%	4.8%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	508	9.6%	64.0%	22.0%	4.3%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	566	17.3%	60.2%	19.6%	2.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	452	7.7%	57.3%	29.9%	5.1%
人 間 関 係	ICTや介護ロボットを導入している	221	4.1%	41.6%	41.6%	12.7%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	513	7.8%	56.1%	28.8%	7.2%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	323	22.0%	56.7%	18.0%	3.4%
人 間 関 係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	472	4.9%	46.2%	38.8%	10.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	498	6.6%	52.4%	34.5%	6.4%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	322	4.7%	45.0%	41.9%	8.4%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	515	5.2%	47.6%	39.2%	8.0%

※「実施していない」を除いて集計

図表 21 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの効果認識 : 訪問系

訪問系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
配 置 ・ 週 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	196	2.0%	44.4%	41.8%	11.7%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	230	10.0%	58.7%	24.8%	6.5%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	278	3.6%	48.9%	37.8%	9.7%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	328	4.9%	48.5%	38.4%	8.2%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	348	4.0%	41.4%	43.4%	11.2%
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	272	5.9%	59.2%	27.9%	7.0%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	298	4.0%	51.0%	34.6%	10.4%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	207	2.4%	42.0%	42.0%	13.5%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	371	15.4%	56.3%	22.6%	5.7%
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	380	8.2%	54.5%	31.6%	5.8%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	359	11.4%	64.1%	20.9%	3.6%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	377	13.5%	55.4%	26.0%	5.0%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	334	10.2%	55.7%	29.6%	4.5%
	ICTや介護ロボットを導入している	55	5.5%	36.4%	43.6%	14.5%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	330	10.6%	55.8%	27.3%	6.4%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	185	14.1%	63.2%	18.4%	4.3%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	334	8.4%	49.4%	35.3%	6.9%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	373	11.8%	59.2%	23.6%	5.4%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	242	6.2%	41.7%	39.7%	12.4%
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	362	7.2%	46.1%	38.7%	8.0%	

※「実施していない」を除いて集計

図表 22 職員の「定着・離職防止」に向けた具体的な取り組みの効果認識 : 通所系

通所系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
配 置 ・ 週 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	120	0.8%	55.0%	35.0%	9.2%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	100	7.0%	63.0%	28.0%	2.0%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	137	4.4%	48.2%	38.0%	9.5%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	140	4.3%	51.4%	36.4%	7.9%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	162	3.7%	42.6%	47.5%	6.2%
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	123	6.5%	65.9%	25.2%	2.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	124	6.5%	44.4%	44.4%	4.8%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	207	2.4%	42.0%	42.0%	13.5%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	163	14.7%	58.3%	23.9%	3.1%
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	164	6.7%	57.3%	31.7%	4.3%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	158	7.6%	70.3%	18.4%	3.8%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	172	13.4%	61.6%	19.2%	5.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	135	14.1%	60.7%	18.5%	6.7%
	ICTや介護ロボットを導入している	52	1.9%	46.2%	40.4%	11.5%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	157	8.3%	60.5%	24.8%	6.4%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	78	23.1%	56.4%	17.9%	2.6%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	133	5.3%	52.6%	35.3%	6.8%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	159	5.7%	60.4%	28.9%	5.0%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	101	2.0%	49.5%	38.6%	9.9%
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	166	6.0%	51.2%	36.1%	6.6%	

※「実施していない」を除いて集計

(4) 人材の定着率に対する認識(他の介護事業所・施設との比較)

他の介護事業所・施設と比較した自事業所・施設の職員の定着率の認識をみると、正規職員(新卒・中途)、非正規職員のいずれにおいても「定着率は低い」と認識している割合は7%以下となっており、自事業所・施設における人材の定着率を肯定的に捉えているところが多い。

図表 23 正規職員 新卒採用者の定着率

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	22.2%	39.0%	7.6%	1.2%	26.2%	3.7%
訪問系	513	6.2%	12.1%	4.5%	1.0%	62.0%	14.2%
通所系	220	14.1%	31.4%	6.8%	1.4%	37.3%	9.1%

図表 24 正規職員 中途採用者の定着率

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	14.4%	53.9%	22.4%	3.5%	2.9%	2.9%
訪問系	513	18.9%	42.5%	11.1%	4.1%	16.8%	6.6%
通所系	220	21.8%	45.0%	13.2%	5.5%	11.4%	3.2%

図表 25 非正規職員の定着率

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	14.5%	48.8%	22.1%	5.1%	3.7%	5.9%
訪問系	513	18.9%	51.7%	12.5%	4.1%	6.2%	6.6%
通所系	220	18.2%	55.5%	15.0%	4.5%	3.2%	3.6%

(5) 採用の状況

① 介護職員の採用の状況

介護職員の採用の状況をみると、正規職員に関しては施設系で新卒・中途ともに「非常に苦戦」の割合が45%超と大きい。施設系、訪問系、通所系でその認識に差が生じている。

図表 26 採用の状況 介護職員 正規職員 新卒採用

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用していない	無回答
施設系	648	1.2%	13.0%	15.3%	45.1%	22.7%	2.8%
訪問系	513	0.2%	1.8%	4.9%	10.5%	46.2%	36.5%
通所系	220	1.4%	7.3%	8.2%	23.2%	55.5%	4.5%

図表 27 採用の状況 介護職員 正規職員 中途採用

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用していない	無回答
施設系	648	1.1%	10.5%	26.9%	50.9%	8.3%	2.3%
訪問系	513	0.4%	2.7%	12.1%	15.6%	33.3%	35.9%
通所系	220	2.7%	11.4%	16.4%	32.3%	35.5%	1.8%

図表 28 採用の状況 介護職員 非正規職員

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用していない	無回答
施設系	648	0.6%	13.6%	30.9%	44.3%	7.6%	3.1%
訪問系	513	0.2%	4.5%	9.7%	19.1%	29.6%	36.8%
通所系	220	0.5%	15.9%	28.2%	36.4%	17.7%	1.4%

② 訪問介護員の採用の状況

訪問系において、訪問介護員の採用の状況をみると、「非常に苦戦」の割合が正規職員の新卒では17.7%、中途では30.0%となっている。非正規の訪問介護員の採用については、「非常に苦戦」の割合が50.7%となっている。

図表 29 訪問介護員 採用の状況

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用していない	無回答
訪問系（正規職員・新卒）	513	0.4%	2.3%	6.0%	17.7%	67.1%	6.4%
訪問系（正規職員・中途）	513	1.4%	9.4%	20.3%	30.0%	34.7%	4.3%
訪問系（非正規職員）	513	1.0%	8.2%	21.2%	50.7%	14.0%	4.9%

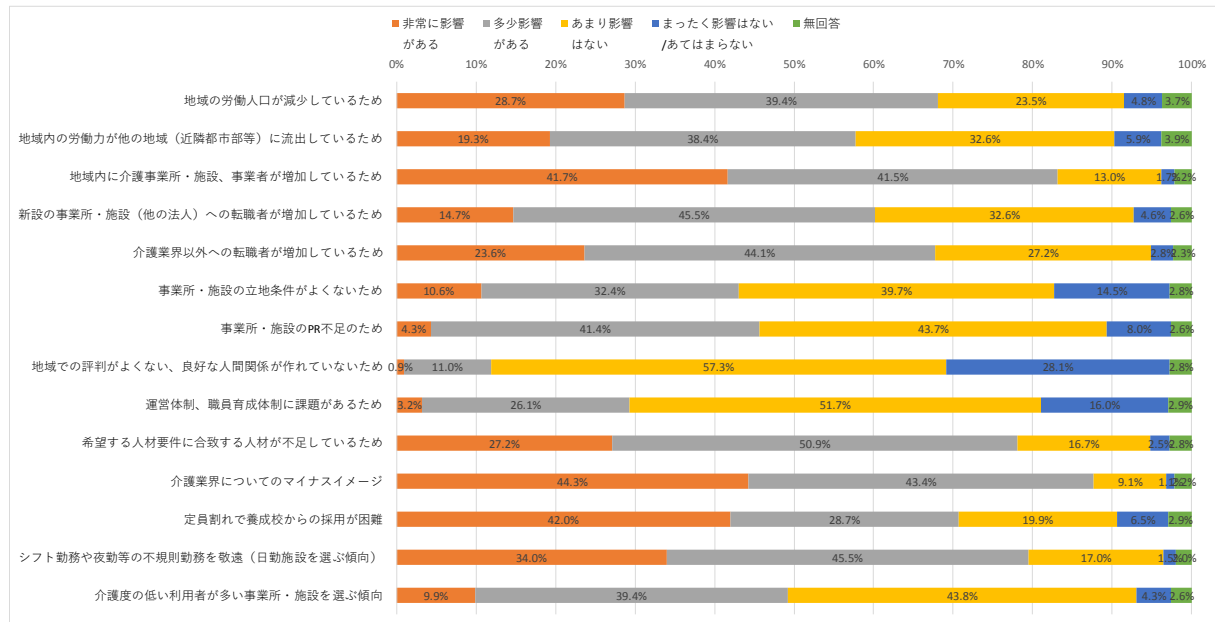
※訪問介護員については訪問系の事業所のみの集計としている

(6) 採用が困難になっている要因

① 施設系

施設系の事業所・施設で採用が困難になっている要因について、「非常に影響がある」ものは、「介護業界についてのマイナスイメージ」が44.3%と最も大きく、次いで「定員割れで養成校からの採用が困難」が42.0%、「地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため」が41.7%と大きい。

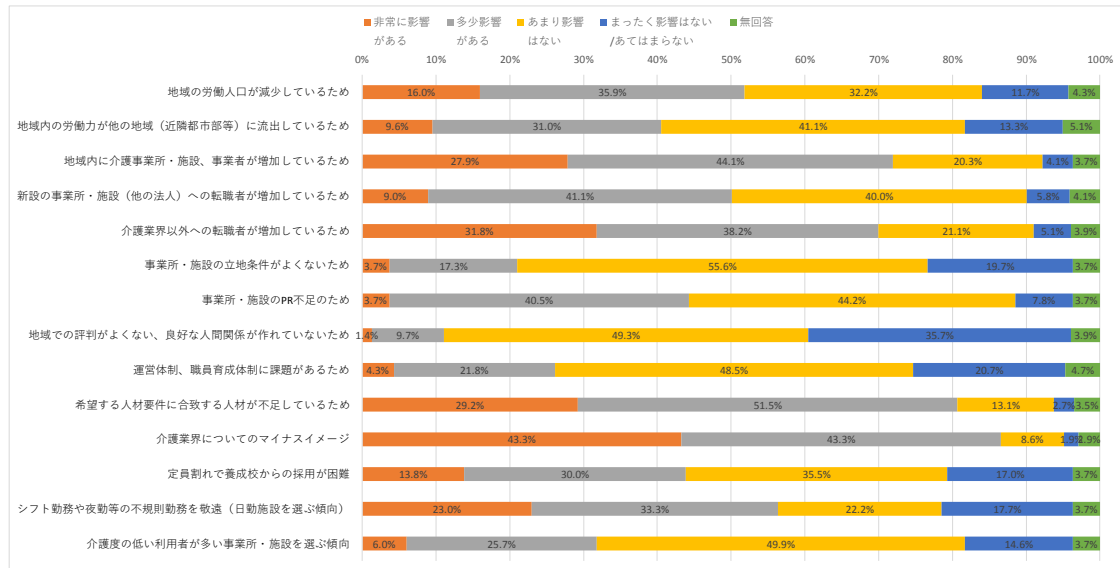
図表 30 採用が困難になっている要因:施設系 (n=648)



② 訪問系

訪問系では、採用が困難になっている要因のうち「非常に影響がある」ものとしては「介護業界についてのマイナスイメージ」が43.3%と最も大きく、次いで「介護業界以外への転職者が増加しているため」が31.8%、「希望する人材要件に合致する人材が不足しているため」が29.2%と大きい。

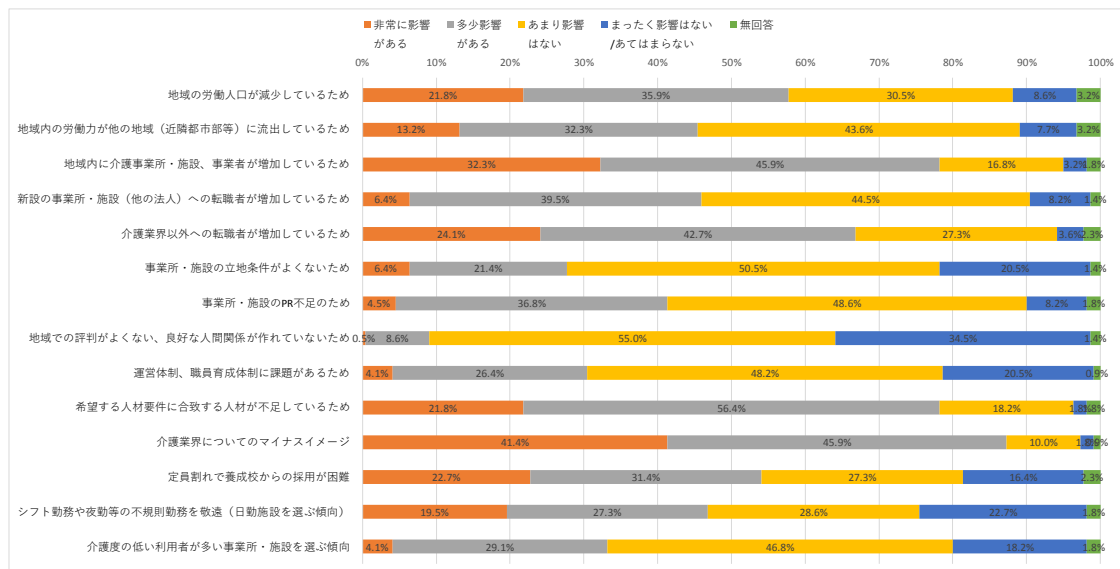
図表 31 採用が困難になっている要因:訪問系 (n=513)



③ 通所系

通所系では、採用が困難になっている要因のうち「非常に影響がある」ものとしては「介護業界についてのマイナスイメージ」が41.4%で最も大きく、次いで「地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため」が32.3%となっている。

図表 32 採用が困難になっている要因:通所系 (n=220)



(7) 中途採用時に設けている要件

① 介護業界での就業経験

中途採用時に設けている要件をみると、就業経験についてはいずれのサービス類型においても 6 割以上の事業所・施設が問わないとしている。

図表 33 中途採用時の条件:介護業界での就業経験

	n	経験者に 限定	経験者を 優先	就業経験は 問わない	無回答
施設系	648	1.9%	22.1%	75.6%	0.5%
訪問系	513	3.1%	28.1%	66.5%	2.3%
通所系	220	0.5%	31.8%	66.4%	1.4%

② 資格保有

資格保有について、訪問系は 66.1%が「資格保有者に限定」としているが、施設系と通所系の大半は「資格は問わない」としている。

図表 34 中途採用時の条件:資格保有

	n	資格保有者 に限定	資格は 問わない	無回答
施設系	648	13.6%	85.2%	1.2%
訪問系	513	66.1%	31.6%	2.3%
通所系	220	24.5%	73.2%	2.3%

③ 年齢(上限)

年齢については、「年齢は問わない」の割合がいずれのサービス類型でも 5 割を超えており、特に訪問系ではその割合が 72.1%と大きい。

図表 35 中途採用時の条件: 年齢(上限)

	n	概ね45歳未満	概ね60歳未満	年齢は問わない	無回答
施設系	648	7.1%	34.9%	56.9%	1.1%
訪問系	513	3.5%	22.6%	72.1%	1.8%
通所系	220	7.7%	33.6%	57.7%	0.9%

④ 時間制約

時間制約については、施設系で 19.8%、通所系で 14.1%が「フルタイム勤務限定」としているが、大半の事業所・施設において「時間制約がある人でも良い」としている。

図表 36 中途採用時の条件: 時間制約

	n	フルタイム勤務限定	時間制約がある人でも良い	無回答
施設系	648	19.8%	79.2%	1.1%
訪問系	513	6.2%	92.0%	1.8%
通所系	220	14.1%	83.2%	2.7%

⑤ 夜勤の可否

夜勤の可否については、施設系で、「夜勤ができる人に限定」の割合が 16.7%とやや多いが、大半は「夜勤の可否は問わない」としている。

図表 37 中途採用時の条件: 夜勤の可否

	n	夜勤ができる人に限定	夜勤の可否は問わない	無回答
施設系	648	16.7%	81.8%	1.5%
訪問系	513	2.1%	86.4%	11.5%
通所系	220	2.3%	75.0%	22.7%

第4章 介護従事者調査の分析

本章では介護従事者向けに実施した、現状の働き方や将来のキャリアに関する考え方など、働き方の実態及び意向等に関する調査結果を示す。従事者の意向等についても従事するサービス内容等によって異なるものと想定し、従事する事業所・施設のサービス類型(施設系、訪問系、通所系)別の集計を中心に記載している。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

<入職前の経歴>

- 介護業界入職以前の職歴をみると、常勤職員では「職歴あり」が施設系で 44.5%、訪問系で 57.9%、通所系で 52.4%と大半が職歴を有している。
- 介護業界入職以前の具体的な職歴・経歴をみると、福祉系の学校を卒業後に介護業界に入職した割合は施設系で 24.6%、訪問系で 9.2%、通所系で 15.8%となっており、新卒学生は比較的施設系への入職が多いことが分かる。
- 他の産業で就業した場合の就業していた産業区分としては「サービス業(他に分類されないもの)」(施設系:17.7%、訪問系:18.3%、通所系:17.5%)、「製造業」(施設系:19.1%、訪問系:14.4%、通所系:15.2%)が多い。職業区分としては「サービス職」(施設系:23.5%、訪問系:21.3%、通所系:22.0%)、「事務職」(施設系:17.2%、訪問系:23.2%、通所系:23.0%)が多い。
- 他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)が介護業界に入る以前に就業していた仕事を辞めた理由としては施設系、訪問系では「収入が少なかったため」がそれぞれ 12.2%、10.2%と最も多い。他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)の、介護業界入職時と前職での賃金水準の変化としては、「給与が上がった」割合は施設系で 30.0%、訪問系で 26.3%、通所系で 23.3%となっている。

<キャリア意向>

- 常勤職員では半数以上は何らかのキャリア目標を考えており、常勤以外の職員においても 4 割前後はキャリア目標を考えている。
- 具体的なキャリア目標としては「ケアマネジャー」(18.0%)、「介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル(認知症ケア等)」(15.9%)が多いが、「経営マネジメント担当」や「相談援助職(社会福祉士資格保有者等)」なども選択されており、その目標は多様であることが分かる。

<介護業界での継続就業意向>

- 常勤職員では介護業界で「できるだけ長く働き続ける予定」が施設系、訪問系、通所系それぞれで 46.9%、49.1%、46.6%と最も多くなっている。この傾向は介護福祉士資格保有者に限定した場合より顕著となる。既存の業界従事者の業界への継続就業意向は一定程度あるという結果となった。

<介護の仕事に対する認識>

- 常勤職員の業務のやりがいについては、全体的にやりがいがあると感じている傾向がみられる。業務の得意意識についてはどちらともいえないという回答が最も多く、やや自信があるという回答がやや多い。
- 介護の仕事の満足感については「普通」がどの類型でも 4 割前後で最も多く、それ以外は満足と不満に回

答が分かれている。

<事業所・施設に対する認識>

- 事業所・施設に対しては「人間関係・雰囲気」に関する不満は小さいが、「人事評価制度全般」に対しては不満の傾向がやや多くなっている。

<介護業界に対するイメージ>

- 常勤職員の入職前後のイメージギャップについては、「イメージ通りだった」がどの類型においても4割強と最も多い。施設系では他の類型と比較して「思ったよりも悪かった」がやや大きくなっている。
- 入職3年未満の常勤職員のみをみると、「思ったよりも良かった」という回答が「思ったよりも悪かった」の回答よりも多くなっており、経験年数が少ない方がポジティブな認識であることがうかがえた。

<利用者へのサポートの提供方法>

- 常勤職員の利用者へのサポートの提供方法の希望としては「複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい」がどの類型でも6割強と最も多い。
- 実態としては、利用者の生活全般のサポートができていると認識している割合は大きい。また、利用者の生活全般のサポートができていると感じている方が仕事の満足度がやや高い傾向がみられる。

<今後の就業地域に関する意向>

- 今後の就業地域に関する意向(常勤職員のみ)は、いずれのサービス類型においても「現在の勤務地域」での就業を希望する割合が最も大きい(施設系:51.4%、訪問系:59.0%、通所系:57.7%)。「勤務地域に特にこだわりはない」との回答も施設系で25.3%、訪問系で18.8%、通所系で20.3%あるが、「現在の勤務地域よりも都市部」や「現在の勤務地域よりも地方」という回答はいずれサービス類型でも5%未満である。

【結果を踏まえた考察】

- 介護人材は多くが他業界からの転職者であり、介護福祉系の学校出身者は施設系(特に社会福祉法人等と想定される)に多く入職しているとみられる(この傾向は介護福祉士養成校の学生調査からも明らかになってきている)。介護人材の確保・定着促進のためにはこれらの実態を考慮した検討が重要となる。現に他業界からの流入者が多数を占め、今後も新卒流入の大きな拡大を期待することが困難な状況が続くのであれば、他業界からの流入促進は継続的に実施することが必須である
- 多くの人材が何らかのキャリア目標を有している傾向が確認できた。その内容、現在の検討状況等を考慮した施策、取り組みの推進が期待される。具体的なキャリア目標としては、プロフェッショナル志向、ケアマネジャー志向が多くなっており、そのほかにも管理職志向など多様な目標が挙げられた。これらの意向を踏まえ、複数のキャリアパス・プランを整備することなども期待される。
- また、現状のキャリア目標や具体的な目標内容は個人の考え方等によって多様であり、一律に捉えることは適切ではない。各人の考え方・希望等を考慮した多様な選択が可能なキャリア形成の道筋を作ることが重要であろう。多様な選択ができるような業務分担、役割のあり方を模索することも検討すべきである。
- 介護人材の多くは業務にやりがいを感じており、大半はできるだけ長く業界で働こうという意向がある。また、業界イメージについても特に入職から間もない層においてはポジティブであり、これを維持することが

重要となる。ライフイベント等、何らかの理由によって現在の業務ができなくなるようなケースも想定されるが、そういった場合に備え、多様な働き方の提供なども検討していくことで、これまではやむを得なかった離職の抑制等の可能性もあるものとする。

- 入職前後の業界のイメージギャップについては、「思ったよりも良かった」、「イメージ通りであった」場合は業界での継続就業意向は高くなっており、入職後のイメージ悪化を防ぐことも重要といえるだろう。介護の業界のイメージアップはもちろん重要であるが、大変さや難しさもある業界であることの理解促進も合わせて進めることが必要であろう。
- 他業界での就業経験を有する従事者では転職によって給与が上がったという回答も2~3割みられる。業界全般に給与が低いというイメージがあるが、他業界と比較すると必ずしもそうでないことが分かる。給与水準が低いというイメージを変えていくための取り組みも検討すべきであろう。
- 利用者の生活全般をサポートしたいという意向は必ずしも多くないが、実態として生活全般のサポートに関わっていると認識している人材の満足度は高い傾向がある。仕事の満足度は継続就業意向にも関係すると考えられ、本人の希望との兼ね合いもあるが、ある程度対応する利用者の全般をサポートするといった経験も考えるべきであろう。ただし、責任・負担も大きくなることが想定され、その軽減策についても並行して検討が必要と考える。
- 介護人材の多くは現在の就業地域での勤務を希望していることから、人材確保は各地域で対応することが現実的である。人材確保においては地域の実情を把握したうえで対応を進めることが重要であり、少なくとも市区町村単位で考えることが必要であろう。地域によってはその実態からより詳細な地域単位で検討することも検討すべきである。

2. 集計・分析結果

(1) 回答者の基本属性

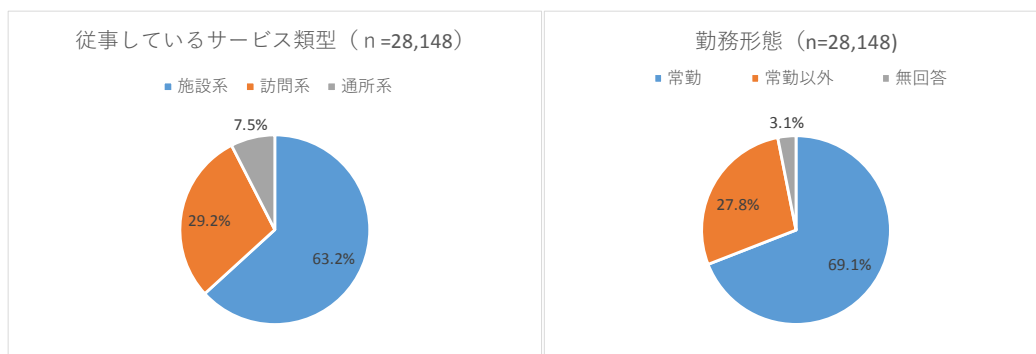
本調査の回答者基本属性については、公益財団法人介護労働安定センターが実施した平成 28 年度介護労働実態調査の回答者の属性との比較を実施し、偏りの有無を確認した。全体として回答者の基本属性に大幅な差異はみられなかったが、正規職員の割合、60 歳以上の割合など一部にやや傾向がある点には留意いただきたい。

① 従事しているサービス類型、勤務形態

回答者が従事しているサービス類型の構成は、施設系 63.2%、訪問系 29.2%、通所系 7.5%であった。勤務形態の構成は、常勤 69.1%、常勤以外 27.8%であった。

サービス類型別にみると、施設系では常勤が 80.2%となっており、訪問系では常勤 45.7%、常勤以外 49.4%と、サービス類型により差が生じている。

図表 38 従事しているサービス類型・勤務形態



図表 39 従事しているサービス類型別の勤務形態の状況

	n	常勤	常勤以外	無回答
施設系	17,795	80.2%	17.4%	2.4%
訪問系	8,231	45.7%	49.4%	4.9%
通所系	2,122	66.4%	31.3%	2.4%

② 年齢

本調査の回答者の年齢は、介護労働実態調査と比較して、全体の傾向の大幅な乖離はみられなかったが、30歳未満及び60歳以上の割合がやや大きい。

図表 40 回答者の年齢

年齢	本調査 (n=28,148)	平成28年度 介護労働実態調査 (n=21,661)
20歳未満	0.6%	0.2%
20歳以上25歳未満	6.0%	2.9%
25歳以上30歳未満	8.3%	6.7%
30歳以上35歳未満	9.5%	9.7%
35歳以上40歳未満	10.1%	12.5%
40歳以上45歳未満	11.1%	15.0%
45歳以上50歳未満	10.7%	13.6%
50歳以上55歳未満	10.4%	12.8%
55歳以上60歳未満	9.2%	11.2%
60歳以上	16.5%	11.8%
無回答	7.5%	3.6%

<常勤職員のみ>

サービス類型別に常勤職員のみを対象とした年齢分布をみると、施設系では30歳未満が22.6%、訪問系では60歳以上が16.9%とやや大きくなっている。

図表 41 回答者の年齢(常勤職員)

	n	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	無回答
施設系	14,275	0.9%	9.4%	12.3%	13.1%	12.7%	12.1%	10.2%	9.5%	7.7%	5.6%	6.5%
訪問系	3,760	0.2%	3.9%	5.5%	7.6%	8.5%	11.7%	13.1%	13.3%	12.0%	16.9%	7.2%
通所系	1,408	0.4%	4.9%	10.2%	10.4%	11.1%	12.6%	13.1%	12.0%	9.7%	7.7%	8.0%

③ 性別

性別については、介護労働実態調査と比較して、全体の傾向の大幅な乖離はみられず、男性 25.1%、女性 74.1%となっている。

図表 42 回答者の性別

性別	本調査 (n=28,148)	平成28年度 介護労働実態調査 (n=21,661)
男性	25.1%	21.4%
女性	74.1%	76.2%
無回答	0.8%	2.4%

<常勤職員のみ>

サービス類型別に常勤職員のみを対象にみると、施設系では男性が 36.0%とやや大きいが、全体的に女性が多い。

図表 43 回答者の性別(常勤職員)

	n	男性	女性	無回答
施設系	14,275	36.0%	63.5%	0.4%
訪問系	3,760	23.1%	76.5%	0.5%
通所系	1,408	27.2%	72.2%	0.6%

④ 配偶関係

配偶関係については、介護労働実態調査と比較して、大幅な傾向の乖離はみられなかったが、未婚者が31.7%と割合がやや大きい。

図表 44 回答者の配偶関係

配偶関係	本調査 (n=28,148)	平成28年度 介護労働実態調査 (n=21,661)
既婚	51.6%	58.6%
未婚	31.7%	22.0%
離死別	14.4%	13.5%
無回答	2.3%	6.0%

<常勤職員のみ>

本調査の回答者の配偶関係についてサービス類型別に常勤職員のみを対象にみると、施設系では未婚が44.1%、通所系では既婚が53.4%と、それぞれ他のサービス類型と比較してその割合がやや大きい傾向がみられた。

図表 45 回答者の配偶関係(常勤職員)

	n	既婚	未婚	離死別	無回答
施設系	14,275	41.9%	44.1%	12.2%	1.8%
訪問系	3,760	51.9%	27.8%	18.3%	2.1%
通所系	1,408	53.4%	31.3%	13.7%	1.6%

⑤ 経験年数

介護の仕事の経験年数については、介護労働実態調査と比較して、大幅な傾向の乖離はみられない。

図表 46 回答者の介護の仕事の経験年数

仕事の経験年数	本調査 (n=28,148)	平成28年度 介護労働実態調査 (n=21,661)
1年未満	4.5%	4.9%
1年以上2年未満	4.1%	6.5%
2年以上3年未満	5.1%	6.8%
3年以上4年未満	5.6%	7.5%
4年以上5年未満	5.5%	6.6%
5年以上7年未満	11.8%	12.8%
7年以上10年未満	14.8%	13.5%
10年以上15年未満	22.6%	20.8%
15年以上20年未満	14.7%	9.9%
20年以上	7.1%	7.8%
無回答	4.3%	3.1%

<常勤職員のみ>

仕事の経験年数についてサービス類型別に常勤職員のみを対象にみると、訪問系でわずかに経験年数 10 年以上の割合がやや多いが、大きな傾向の差はない。

図表 47 回答者の介護の仕事の経験年数(常勤職員)

	n	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答
施設系	14,275	4.8%	4.3%	5.8%	6.0%	5.8%	12.0%	15.8%	21.5%	12.9%	6.6%	4.5%
訪問系	3,760	3.5%	3.7%	3.8%	5.5%	5.1%	11.8%	14.8%	23.8%	17.7%	7.4%	3.0%
通所系	1,408	4.4%	4.2%	5.0%	5.1%	6.3%	13.4%	12.6%	22.0%	15.5%	8.2%	3.3%

⑥ 雇用形態

本調査の回答者の雇用形態についてみると、介護労働実態調査と比較して、概ね同様の傾向であるが正規職員の割合がやや小さい。

図表 48 回答者の雇用形態

雇用形態	本調査 (n=28,148)	平成28年度 介護労働実態調査 (n=21,661)
正規職員	65.0%	70.1%
非正規職員	28.8%	28.1%
介護職派遣	3.1%	-
無回答	3.1%	1.9%

本調査の回答者の雇用形態についてサービス類型別に常勤職員のみを対象にみると、施設系では他のサービス類型と比較して正規職員の割合がやや大きい傾向がみられた。

図表 49 回答者の雇用形態(常勤職員)

	n	正規職員	非正規職員
施設系	14,275	88.2%	11.8%
訪問系	3,760	78.9%	21.1%
通所系	1,408	77.6%	22.4%

<介護業界入職以前に就業していた産業の区分>

他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)の介護業界に入る以前に就業していた産業区分は、いずれの類型においても「サービス業(他に分類されないもの)」(施設系:17.7%、訪問系:18.3%、通所系:17.5%)、「製造業」(施設系:19.1%、訪問系:14.4%、通所系:15.2%)が多い。通所系では、「医療、福祉」が14.4%とやや多い。

図表 14 介護業界に入る以前に就業していた産業区分(常勤職員)

	n	農業・林業	漁業	採取業	鉱業・採石業・砂利	建設業	製造業	給・水道業	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業、保険業	業	不動産業、物品賃貸	術サービス業	学術研究、専門・技術	宿泊業・飲食業	業、生活関連サービス	医療、福祉	複合サービス業	類されない業(他に分類)	サービス業(他に分類)	その他	無回答
施設系	6,358	0.9%	0.2%	0.1%	4.1%	19.1%	1.1%	2.3%	3.5%	10.5%	3.1%	0.8%	1.8%	8.1%	4.4%	8.0%	2.5%	17.7%	5.5%	6.4%					
訪問系	2,177	1.1%	0.0%	0.1%	3.7%	14.4%	1.0%	2.7%	3.3%	9.3%	4.5%	0.9%	1.7%	8.2%	4.7%	9.0%	2.7%	18.3%	6.8%	7.8%					
通所系	738	0.7%	0.1%	0.1%	3.8%	15.2%	0.9%	1.6%	3.4%	8.0%	3.5%	0.5%	2.2%	7.2%	4.5%	14.4%	2.4%	17.5%	5.6%	8.4%					

<介護業界入職以前の職業等>

他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)の、介護業界に入る以前に就業していた職業区分は、いずれのサービス類型においても、「サービス職」(施設系:23.5%、訪問系:21.3%、通所系:22.0%)、「事務職」(施設系:17.2%、訪問系:23.2%、通所系:23.0%)が多い。

図表 15 介護業界に入る以前に就業していた職業区分(常勤職員)

	n	事務職	販売職	専門的・技術的職	生産工程職	サービス職	保安職	建設・採掘職	輸送・機械運転職	運搬・清掃・包装等職	農林漁業職	管理職	その他	無回答
施設系	6,358	17.2%	15.7%	11.6%	11.6%	23.5%	0.3%	1.2%	1.1%	2.5%	0.3%	1.6%	5.6%	7.8%
訪問系	2,177	23.2%	14.8%	10.2%	7.7%	21.3%	0.4%	0.8%	1.8%	2.3%	0.0%	1.9%	5.1%	10.6%
通所系	738	23.0%	11.4%	15.3%	8.3%	22.0%	0.1%	1.1%	0.8%	1.2%	0.0%	1.8%	5.6%	9.5%

<介護業界に入る以前に就業していた仕事を辞めた理由>

他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)が介護業界に入る以前に就業していた仕事を辞めた理由としては、「その他」を除くと、施設系、訪問系では「収入が少なかったため」がそれぞれ 12.2%、10.2%と最も多く、通所系では「会社倒産・事業所閉鎖のため」が 10.3%と最も多い。

図表 16 介護業界に入る以前に就業していた仕事を辞めた理由(常勤職員)

	n	会社倒産・事業所閉鎖のため	人員整理・推奨退職のため	事業不振や先行きの不安のため	定年のため	雇用契約満了のため	収入が少なかったため	労働条件が悪かったため	結婚のため	出産・育児のため	介護・看護のため	病気・高齢のため	自分に向かない仕事だった	一時的についた仕事だから	家族の転職・転勤又は事業	幅を広く上げるためやキャリア	その他	無回答
施設系	6,358	8.9%	4.7%	9.3%	0.7%	3.1%	12.2%	9.2%	3.4%	3.2%	2.9%	1.7%	9.4%	7.4%	1.7%	6.2%	10.6%	5.5%
訪問系	2,177	9.0%	3.5%	7.1%	2.1%	3.4%	10.2%	6.8%	6.0%	7.1%	3.1%	2.8%	6.2%	7.0%	1.9%	6.5%	9.8%	7.6%
通所系	738	10.3%	2.8%	5.6%	0.9%	4.2%	7.5%	9.5%	4.5%	6.6%	4.1%	1.1%	7.0%	6.5%	1.9%	6.6%	12.6%	8.3%

<介護業界への入職前後での給与水準>

他業界での就業経験を有する従事者(常勤職員のみ)の、介護業界入職時と前職での賃金水準の変化としては、「給与が上がった」割合は施設系で30.0%、訪問系で26.3%、通所系で23.3%である。給与が下がったという回答は約4割であり、「給与が30以上下がった」という回答も施設系で17.3%、訪問系で19.6%、通所系で17.6%となった。

図表 17 介護業界入職時の前職との賃金水準の変化(常勤職員)

	n	給与が10%前後下がった	給与が20%前後下がった	給与が30%以上下がった	給与は変わらない	給与が上がった	分からない	無回答
施設系	6,358	11.1%	13.5%	17.3%	12.4%	30.0%	10.1%	5.6%
訪問系	2,177	9.6%	12.5%	19.6%	12.4%	26.3%	11.9%	7.7%
通所系	738	10.4%	14.5%	17.6%	15.3%	23.3%	10.6%	8.3%

(3) キャリア意向

① キャリア目標の検討状況

<常勤職員>

常勤職員のキャリア目標の検討状況については、概ね 6 割程度は何らかの目標を考えているという結果となった。また、どのサービス類型においても 1 割強は具体的な計画を検討している状況となっている。

図表 53 キャリア目標の検討状況(常勤職員)

	n	目標を決め、 実現するための計画も 具体的に考えている	目標は決めたが、 実際の計画は 漠然としている	目標はなんとなく 考えている	考えていない	無回答
全体	19,443	11.3%	21.2%	27.3%	35.7%	4.4%
施設系	14,275	11.1%	21.9%	27.4%	35.4%	4.1%
訪問系	3,760	11.8%	18.9%	26.8%	36.7%	5.8%
通所系	1,408	11.8%	20.8%	27.4%	35.7%	4.3%

<常勤職員以外>

常勤職員以外を対象にキャリア目標の検討状況を見ると、常勤職員と比較するとやや割合が小さいものの、4割前後は考えていることが分かる。計画を具体的に考えている回答者も割合は小さいが存在する。

図表 54 キャリア目標の検討状況(常勤職員以外)

	n	目標を決め、 実現するための計画も 具体的に考えている	目標は決めたが、 実際の計画は 漠然としている	目標はなんとなく 考えている	考えていない	無回答
全体	7,830	7.0%	10.8%	22.4%	52.4%	7.4%
施設系	3,099	8.4%	11.9%	22.1%	50.1%	7.5%
訪問系	4,067	5.5%	9.6%	22.2%	55.2%	7.5%
通所系	664	9.8%	12.8%	25.0%	46.1%	6.3%

② キャリア目標の具体内容(常勤職員)

常勤職員のうち、キャリア目標について考えていると回答した従事者(「考えていない」「無回答」以外)の、最も実現したい目標をみると、いずれのサービス類型においても、「介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル」、「ケアマネジャー」の割合が大きい。

図表 55 最も実現したい目標(常勤職員)

	全体 (n=11,638)	施設系 (n=8,631)	訪問系 (n=2,162)	通所系 (n=845)
経営マネジメント担当	3.4%	3.0%	5.2%	3.3%
事業所・施設の管理責任者	3.7%	3.5%	4.6%	3.6%
サービス提供責任者	2.7%	2.0%	5.6%	2.7%
介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル(認知症ケア等)	15.9%	17.3%	11.7%	12.7%
介護の現場スタッフの教育リーダー、スーパーバイザー	4.1%	4.3%	3.6%	4.3%
介護の現場(ユニットケアやフロア等)のチームリーダー職	4.8%	5.5%	2.1%	4.0%
訪問介護員	1.6%	1.0%	4.0%	1.1%
訪問介護員以外の介護職員	3.1%	3.2%	2.5%	3.6%
独立開業	2.5%	2.3%	3.6%	1.9%
福祉分野の教育者(指導者)	2.6%	2.7%	2.5%	2.5%
ケアマネジャー	18.0%	18.7%	15.2%	18.3%
相談援助職(社会福祉士資格保有者等)	5.7%	5.6%	5.0%	8.5%
看護職	2.1%	2.3%	1.2%	3.1%
無回答	29.6%	28.6%	33.3%	30.5%

③ キャリア目標を考えていない理由

常勤職員のうち、キャリア目標について考えていないと回答した従事者について、キャリア目標を考えていない理由をみると、いずれのサービス類型においても、「現在の仕事が忙しいから」の割合が最も大きい。

図表 56 キャリア目標を考えていない理由(常勤職員)

	n	今はまだ必要ない と思うから	どうやって考えたら いいかわからないから	現在の仕事が 忙しいから	その他	無回答
施設系	5,057	15.0%	15.0%	38.4%	26.5%	5.0%
訪問系	1,381	16.8%	9.3%	38.7%	28.7%	6.4%
通所系	502	12.2%	14.5%	38.2%	29.1%	6.0%

④ キャリア意向の有無と目標内容による全体像の整理

<常勤職員>

「キャリア目標の有無」及び「キャリア目標の具体的な内容」の2点から、介護人材のキャリアの意向を常勤職員について整理すると、キャリア目標がある層が約60%、キャリア目標がない層が約35%の構成となった。目標の具体的な内容をみると、「介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル」、「ケアマネジャー」が大きいが、ほかの選択肢もわずかながら選択されており、目標は多様であることが分かる。人材確保を考えるうえでは、介護人材を一律に捉えることは適切ではないと考えられる。

図表 57 介護人材のキャリア意向の構造(常勤職員)

目標の有無		全体 (n=19,443)	施設系 (n=14,275)	訪問系 (n=3,760)	通所系 (n=1,408)
	キャリア目標の具体的な内容				
キャリア 目標あり	経営マネジメント担当	2.0%	1.8%	3.0%	2.0%
	事業所・施設の管理責任者	2.2%	2.1%	2.7%	2.1%
	サービス提供責任者	1.6%	1.2%	3.2%	1.6%
	介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル(認知症ケア等)	9.5%	10.5%	6.7%	7.6%
	介護の現場スタッフの教育リーダー、スーパーバイザー	2.5%	2.6%	2.0%	2.6%
	介護の現場(ユニットケアやフロア等)のチームリーダー職	2.8%	3.3%	1.2%	2.4%
	訪問介護員	1.0%	0.6%	2.3%	0.6%
	訪問介護員以外の介護職員	1.9%	2.0%	1.4%	2.1%
	独立開業	1.5%	1.4%	2.0%	1.1%
	福祉分野の教育者(指導者)	1.6%	1.6%	1.4%	1.5%
	ケアマネジャー	10.8%	11.3%	8.7%	11.0%
	相談援助職(社会福祉士資格保有者等)	3.4%	3.4%	2.9%	5.1%
	看護職	1.3%	1.4%	0.7%	1.8%
無回答	17.7%	17.3%	19.1%	18.3%	
キャリア目標なし		35.7%	35.4%	36.7%	35.7%
無回答		4.4%	4.1%	5.8%	4.3%

<常勤職員以外>

常勤職員以外では、4割程度はキャリア目標を有している。具体的な内容は常勤職員と概ね同様である。

図表 58 介護人材のキャリア意向の構造(常勤職員以外)

目標の有無		全体 (n=7,830)	施設系 (n=3,099)	訪問系 (n=4,067)	通所系 (n=664)
	キャリア目標の具体的な内容				
キャリア 目標あり	経営マネジメント担当	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%
	事業所・施設の管理責任者	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%
	サービス提供責任者	1.3%	0.8%	1.7%	1.1%
	介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル(認知症ケア等)	5.7%	6.6%	4.7%	7.4%
	介護の現場スタッフの教育リーダー、スーパーバイザー	0.7%	0.7%	0.6%	1.1%
	介護の現場(ユニットケアやフロア等)のチームリーダー職	0.7%	1.0%	0.3%	1.7%
	訪問介護員	3.0%	1.0%	4.6%	2.3%
	訪問介護員以外の介護職員	2.5%	3.2%	2.0%	2.9%
	独立開業	0.5%	0.6%	0.4%	0.9%
	福祉分野の教育者(指導者)	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%
	ケアマネジャー	5.4%	6.6%	4.2%	7.2%
	相談援助職(社会福祉士資格保有者等)	1.7%	1.7%	1.4%	3.6%
	看護職	0.7%	0.9%	0.4%	1.5%
無回答	16.5%	17.7%	15.5%	16.6%	
キャリア目標なし		52.4%	50.1%	55.2%	46.1%
無回答		7.4%	7.5%	7.5%	6.3%

(4) 介護業界での就業継続意向

① 介護業界での就業継続意向

常勤職員を対象に介護業界での就業継続意向をみると、施設系では 46.9%、訪問系では 49.1%、通所系では 46.6%が「できるだけ長く働き続ける予定」と最も多く、「できるだけ早く違う業界に転職したい」はいずれの類型でも非常に少ない。

図表 59 介護業界での就業継続意向(常勤職員)

	n	できるだけ長く働き続ける予定	当面2、3年程度は働き続ける予定	条件等があう介護以外の仕事があれば転職する	できるだけ早く違う業界に転職したい	分からない・未定	無回答
施設系	14,275	46.9%	19.1%	14.2%	3.5%	12.7%	3.6%
訪問系	3,760	49.1%	19.5%	11.5%	2.5%	12.9%	4.5%
通所系	1,408	46.6%	20.5%	12.7%	2.8%	13.3%	4.2%

② 介護福祉士資格保有者の介護業界での就業継続意向

介護福祉士資格保有者のみを対象に介護業界での就業継続意向をみると、「できるだけ長く働き続ける予定」の割合がいずれのサービス類型においても 5 割超と多い。「できるだけ早く違う業界に転職したい」の割合は 3%未満であり業界外への転職意向は非常に限定的となっている。

図表 60 サービス別の介護福祉士資格保有者の介護業界での就業継続意向の状況(常勤職員)

	n	できるだけ長く働き続ける予定	当面、2、3年程度は働き続ける予定	条件等があう介護以外の仕事があれば転職する	できるだけ早く違う業界に転職したい	分からない・未定
施設系で働く介護福祉士資格保有者	9,342	51.0%	18.6%	14.9%	2.8%	12.6%
通所系で働く介護福祉士資格保有者	828	51.7%	19.6%	13.0%	1.6%	14.1%
訪問系で働く介護福祉士資格保有者	2,223	54.7%	19.3%	11.5%	1.6%	12.8%

(5) 介護の仕事に対する認識

① 業務のやりがい

常勤職員を対象に業務の中で感じているやりがいの状況を、身体介護、生活援助、認知症の行動・心理症状への対応、それぞれについて確認した。全体的に身体介護、生活援助、認知症対応等のそれぞれに対してやりがいがあるというポジティブな回答が多くなっている。どのサービス類型においても、やりがいがないという回答は非常に限定的となっている。

図表 61 業務のやりがいの状況:身体介護(常勤職員)

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	13.9%	41.4%	35.1%	4.5%	2.0%	0.8%	2.2%
訪問系	3,760	24.3%	42.0%	25.1%	2.3%	0.7%	2.4%	3.2%
通所系	1,408	17.5%	44.6%	29.9%	3.3%	0.8%	1.8%	2.1%

図表 62 業務のやりがいの状況:生活援助(常勤職員)

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	10.4%	38.0%	38.5%	5.5%	2.2%	2.6%	2.7%
訪問系	3,760	11.5%	35.6%	36.1%	6.9%	2.4%	4.1%	3.3%
通所系	1,408	9.9%	33.2%	37.2%	4.8%	1.1%	10.9%	2.9%

図表 63 業務のやりがいの状況:認知症の行動・心理症状(BPSD)への対応(常勤職員)

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	12.0%	34.4%	40.5%	6.5%	3.0%	1.2%	2.5%
訪問系	3,760	16.4%	35.5%	35.0%	4.0%	1.1%	4.0%	4.0%
通所系	1,408	15.3%	39.2%	35.1%	3.6%	1.3%	3.0%	2.5%

② 介護の仕事の得意意識

常勤職員を対象に業務の得意意識を、身体介護、生活援助、認知症の行動・心理症状への対応、それぞれについて確認した。全般的に「どちらともいえない」という回答が多いが、「やや自信がある」という回答が多い。

認知症の行動・心理症状(BPSD)への対応の得意意識に関して、施設系では「非常に自信がある」が4.6%、「やや自信がある」が28.3%となっており、他のサービス類型と比較して得意意識を有している割合がわずかに小さくなっている。これは、症状がより重度な方のケアに携わっているケースが多く、難しい対応を求められる場面が多いためにそのような回答となっていることも想定でき、他の類型と単純比較することには留意を要する。この点についてはより詳細な実態把握が必要と考える。

図表 64 業務の得意意識:身体介護(常勤職員)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,837	8.7%	40.4%	43.3%	6.3%	0.9%	0.4%
訪問系	3,552	11.2%	41.3%	40.0%	6.1%	1.0%	0.4%
通所系	1,352	9.6%	42.1%	41.6%	5.6%	0.7%	0.4%

図表 65 業務の得意意識:生活援助(常勤職員)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,508	5.7%	34.4%	51.9%	6.5%	1.0%	0.4%
訪問系	3,483	7.3%	37.6%	47.1%	6.2%	1.4%	0.4%
通所系	1,214	6.4%	34.0%	51.6%	6.6%	1.0%	0.4%

図表 66 業務の得意意識:認知症の行動・心理症状(BPSD)への対応(常勤職員)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,746	4.6%	28.3%	52.3%	12.1%	2.2%	0.4%
訪問系	3,456	5.9%	32.5%	50.3%	9.3%	1.5%	0.5%
通所系	1,331	5.0%	35.5%	47.9%	9.9%	1.6%	0.2%

③ 介護の仕事の満足感

常勤職員を対象に現在の仕事の満足度をみると、どの類型においても「普通」が最も多く4割程度となっている。不満と満足に関しては概ね同程度の割合となっているが、施設系ではわずかながら不満の傾向がみられ、訪問系ではわずかに満足の方が大きくなっている。

図表 67 介護の仕事の満足度(常勤職員)

	n	大変満足している	やや満足している	普通	やや不満がある	大変不満がある	無回答
施設系	14,275	3.2%	17.8%	40.8%	25.8%	12.0%	0.5%
訪問系	3,760	6.8%	25.7%	40.3%	19.5%	7.0%	0.7%
通所系	1,408	4.7%	24.0%	39.1%	23.9%	8.0%	0.4%

(6) 事業所・施設に対する認識

① 人間関係・雰囲気への満足度

常勤職員を対象に現在の事業所・施設の人間関係・雰囲気への満足度をみると、全般に満足している割合が4割前後となっており、「どちらともいえない」が3割前後である。

図表 68 事業所・施設の人間関係・雰囲気への満足度(常勤職員)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	6.5%	32.4%	33.8%	11.0%	4.9%	11.5%
訪問系	3,760	12.3%	36.7%	26.7%	7.9%	4.3%	12.0%
通所系	1,408	8.2%	37.6%	30.0%	8.9%	3.6%	11.6%

② 人事評価制度全般への満足度

常勤職員を対象に現在の事業所・施設の人事評価制度全般への満足度をみると、いずれの類型でも「どちらともいえない」が4割強と最も大きい。全般的に不満が満足をやや上回っている傾向がある。

図表 69 事業所・施設の人事評価制度全般への満足度(常勤職員)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	1.5%	9.5%	46.1%	13.5%	9.7%	19.7%
訪問系	3,760	3.7%	12.2%	43.7%	11.4%	7.7%	21.4%
通所系	1,408	1.8%	9.6%	45.5%	14.3%	8.3%	20.5%

(7) 介護業界に対するイメージ

① イメージギャップ

常勤職員を対象に、介護業界に入職した後に感じた入職前とのイメージギャップをみると、全類型に共通して「イメージ通りだった」が4割強で最も大きい。施設系では「思ったよりも悪かった」が35.4%と他の類型と比較してやや大きくなっている。各類型ともに「思ったよりも良かった」との回答も2割以上あり、ばらつきがみられる。

経験年数3年未満の常勤職員に限定してイメージギャップをみると、いずれの類型においても「思ったよりも良かった」の割合が3割超となっており、経験年数が少ない方がポジティブな回答となっている。

経験年数3年未満の常勤職員について、イメージギャップの状況別に介護の仕事の継続意向をみると、いずれの類型でも「思ったよりも良かった」、「イメージ通りだった」という認識の場合は継続就業意向が大きいことが分かる。

図表 70 介護業界に入職した後に感じたイメージギャップ(常勤職員)

	n	思ったよりも良かった	思ったよりも悪かった	イメージ通りだった	無回答
施設系	14,275	21.9%	35.4%	40.3%	2.3%
訪問系	3,760	25.2%	29.4%	42.2%	3.3%
通所系	1,408	25.9%	28.4%	42.5%	3.3%

図表 71 介護業界に入職した後に感じたイメージギャップ(常勤職員・経験年数3年未満)

サービス	経験年数	n	思ったよりも良かった	思ったよりも悪かった	イメージ通りだった	無回答
施設系	3年未満	2,131	30.8%	25.8%	41.6%	1.8%
訪問系	3年未満	410	34.1%	21.2%	41.7%	2.9%
通所系	3年未満	191	39.3%	16.2%	42.9%	1.6%

図表 72 経験年数3年未満の介護の仕事の継続意向(常勤職員、イメージギャップの状況別)

サービス・経験年数	入職後のイメージギャップ	n	できるだけ長く働き続ける予定	当面2、3年程度は働き続ける予定	条件等があう仕事があれば転職する	できるだけ早く違う業界に転職したい	分からない・未定	無回答
施設系 3年未満	思ったよりも良かった	657	59.5%	23.7%	6.1%	1.4%	6.5%	2.7%
	思ったよりも悪かった	549	26.8%	25.1%	20.6%	13.3%	9.8%	4.4%
	イメージ通りだった	887	44.1%	24.8%	10.3%	4.5%	13.5%	2.8%
訪問系 3年未満	思ったよりも良かった	140	58.6%	18.6%	4.3%	3.6%	9.3%	5.7%
	思ったよりも悪かった	87	28.7%	21.8%	20.7%	8.0%	12.6%	8.0%
	イメージ通りだった	171	36.8%	24.6%	11.1%	5.3%	17.0%	5.3%
通所系 3年未満	思ったよりも良かった	75	48.0%	24.0%	8.0%	2.7%	13.3%	4.0%
	思ったよりも悪かった	31	22.6%	16.1%	25.8%	16.1%	12.9%	6.5%
	イメージ通りだった	82	42.7%	22.0%	8.5%	4.9%	17.1%	4.9%

② イメージギャップと現在の介護業界に対するイメージ

施設系の常勤職員を対象に、介護業界に入職した後に感じたイメージギャップ別に、現在、介護業界に抱いているポジティブなイメージをみると、「思ったよりも良かった」と感じている層において 85.9%、「思ったよりも悪かった」と感じている層において 76.4%が「社会において必要とされている業界だと思う」と回答しており、イメージギャップの状況を問わず、介護従事者が介護の仕事の社会的意義を感じていることが示唆された。一方で、「思ったよりも悪かった」と感じている層においては、「自分の仕事が人に感謝される機会が多い業界だと思う(34.7%)」、「やりがいがある仕事ができる業界だと思う(27.8%)」との回答の割合が、「思ったよりも良かった」と感じている層と比較して小さくなっている。

現在、介護業界に抱いているネガティブなイメージをみると、「思ったよりも良かった」と感じている層においても「体力的にきつい仕事の多い業界だと思う(73.9%)」、「給与水準が低めの業界だと思う(78.0%)」「離職率が高い業界だと思う(72.0%)」といったイメージを有している傾向がみられた。

図表 73 現在、介護業界に抱いているポジティブなイメージ(施設系、常勤職員、イメージギャップの状況別)

	n	社会において必要とされている	社会的地位・評判が高い業界だと思う	資格や専門知識を活かすことができる	職場の雰囲気が良い業界だと思う	自分の仕事に感謝される機会が多い	給料水準が高めの業界だと思う	資格取得や勉強の機会が充	やりがいがある仕事ができる	ポジティブなイメージは抱	無回答
思ったより良かった	3,128	85.9%	3.7%	45.7%	10.7%	53.7%	0.8%	16.9%	51.7%	3.9%	0.2%
思ったより悪かった	5,055	76.4%	1.9%	31.2%	2.3%	34.7%	0.6%	7.0%	27.8%	14.1%	0.8%
イメージ通りだった	5,757	80.4%	2.0%	37.5%	4.1%	42.4%	0.3%	10.0%	36.2%	8.7%	0.5%

図表 74 現在、介護業界に抱いているネガティブなイメージ(施設系、常勤職員、イメージギャップの状況別)

	n	体力的にきつい仕事の多い	精神的にきつい仕事の多い	給与水準が低めの業界だと思う	離職率が高い業界だと思う	高くない地位・評判があまり	職場の雰囲気が悪い業界だ	他の業界だと転職するのが難	働く人が特定の層に偏って	ネガティブなイメージは抱	無回答
思ったより良かった	3,128	73.9%	68.5%	78.0%	72.0%	48.2%	12.2%	20.2%	18.4%	1.5%	0.4%
思ったより悪かった	5,055	86.8%	86.8%	89.1%	82.2%	58.2%	32.7%	28.6%	30.2%	0.2%	0.1%
イメージ通りだった	5,757	80.4%	76.3%	84.8%	76.4%	48.8%	15.8%	21.0%	21.5%	0.5%	0.3%

(8) 利用者へのサポートの提供方法

① 利用者へのサポートの提供方法の希望

利用者へのサポートの提供方法の希望をみると、いずれのサービス類型においても「複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい」の割合が最も大きい。

図表 75 利用者へのサポートの提供方法の希望(常勤職員)

	n	主担当として利用者の生活を全般的にサポートしたい	複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい	どちらでもない・分からない	無回答
施設系	14,275	17.8%	62.2%	18.5%	1.5%
訪問系	3,760	16.2%	62.8%	18.7%	2.3%
通所系	1,408	9.3%	71.0%	18.1%	1.6%

② 利用者へのサポートの提供の状況

現在の事業所・施設において、介護職として利用者の生活全般のサポートが出来ているかどうかの認識をみると、いずれのサービス類型においても「やや出来ている」の割合が最も大きく、約 65%となっている。

図表 76 利用者の生活全般のサポート出来ているかの認識(常勤職員)

	n	非常に出来ている	やや出来ている	あまり出来ていない	まったくできていない	無回答
施設系	14,275	8.4%	64.1%	24.6%	2.1%	0.9%
訪問系	3,760	13.5%	66.6%	16.9%	1.6%	1.3%
通所系	1,408	8.2%	65.6%	23.5%	1.6%	1.1%

③ 利用者へのサポートの提供状況と介護の仕事の満足感の関係

利用者の生活全般のサポートが出来ていると感じている層と、そうでない層を比較すると、出来ていると感じている層の方が、いずれのサービス類型においても現在の介護の仕事の満足度が高い傾向がみられた。

図表 77 利用者へのサポートの提供状況と介護の仕事の満足感の関係(常勤職員)

サービス	全般のサポート	n	仕事の満足度					無回答	①+②
			①大変満足している	②やや満足している	③普通	④やや不満がある	⑤大変不満がある		
施設系	非常に出来ている +やや出来ている	10,345	4.1%	22.2%	44.3%	21.5%	7.6%	0.2%	26.4%
	あまり出来ていない +まったく出来ていない	3,800	0.7%	5.7%	31.5%	37.8%	24.1%	0.2%	6.4%
訪問系	非常に出来ている +やや出来ている	3,012	8.1%	29.5%	41.2%	16.1%	4.9%	0.1%	37.6%
	あまり出来ていない +まったく出来ていない	698	1.3%	10.6%	36.7%	34.5%	16.5%	0.4%	11.9%
通所系	非常に出来ている +やや出来ている	1,039	6.1%	27.9%	41.5%	19.5%	4.9%	0.1%	34.0%
	あまり出来ていない +まったく出来ていない	354	0.8%	12.7%	32.8%	37.0%	16.7%	0.0%	13.6%

(9) 就業地域に関する意向

今後の就業地域に関する意向については(常勤職員のみ)、いずれのサービス類型においても「現在の勤務地域」での就業を希望する割合が最も大きい(施設系:51.4%、訪問系:59.0%、通所系:57.7%)。「勤務地域に特にこだわりはない」との回答も施設系で 25.3%、訪問系で 18.8%、通所系で 20.3%となった。「現在の勤務地域よりも都市部」や「現在の勤務地域よりも地方」という回答はいずれサービス類型でも 5%に満たない結果となった。

図表 78 今後の就業地域に関する意向(常勤職員)

	n	現在の勤務地域	勤務地域に特に こだわりはない	現在の勤務地域以外 で、現在の勤務地域と 同程度の生活環境 がある地域	現在の勤務地域 よりも都市部	現在の勤務地域 よりも地方	無回答
施設系	14,275	51.4%	25.3%	10.3%	3.2%	2.3%	7.5%
訪問系	3,760	59.0%	18.8%	9.0%	1.5%	1.7%	10.0%
通所系	1,408	57.7%	20.3%	9.6%	2.3%	2.1%	8.0%

第5章 事業所・施設の取り組みと従事者認識の分析

本章ではここまで示した介護事業所・施設向けの調査と介護従事者向けの調査から、事業所・施設の取り組み・認識と従事者の認識が合致しているかという観点での整理結果について示す。人材確保に向けて実施している事業所・施設の取り組み及び取り組み効果の認識等別に従事者の認識について整理し、ミスマッチが生じているかについて分析する。

はじめに調査結果の要点と結果を踏まえた考察について示し、以降で詳細な集計・分析結果を記載する。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

- 各種人材確保等の取り組みに関して、事業所・施設側は「取り組みを行っていない」という回答は少数であるが(1割前後)、従事者は「行っていないと思う」という回答が一定割合存在しており(3割前後)、従事者が自身の所属する事業所・施設の取り組みを十分に認識できていない可能性がうかがえる。
- 職員の「確保」に向けた取り組みに対する従事者(施設系、常勤のみ)の効果認識としては、求人条件について4割以上が「非常に効果があると思う」と回答しており、「効果がないと思う」という回答は非常に少ない。一方、事業所・施設側は、求人条件に係る取り組みについて、実施している事業所・施設でもあまり効果がないと感じている割合が3割程度となっており、従事者と事業所・施設で一定のギャップがみられる。
- 「定着・離職防止」の取り組みについても、従事者は労働条件・労働環境に関するものを効果的と感じている一方、事業所・施設は大きな効果は認識していない。なお、「ICTや介護ロボットを導入している」ことについては従事者、事業所・施設ともにあまり効果を感じていない。
- 就業決定に際して重視する要素として、事業所・施設の大半は「賃金水準」が重要と認識しているが、従事者で入職時に賃金水準を重視していた割合は6割弱となっている。従事者が重視した要素の上位は、「立地条件」、「雇用の安定性」となっており、就業決定要因に関する認識についても、事業所・施設と従事者には認識の相違がみられる。

【結果を踏まえた考察】

- 全般に事業所・施設の認識と従事者の認識にはギャップが生じており、この点は解消していくことが期待される。特に事業所・施設としては実施しているが、従事者に実施していると認識されていないような取り組みがある場合、取り組みが不十分である可能性や適切ではない方法で行っている可能性も考えられる。介護分野においても口コミでの就職等も多い実態を鑑みると、事業所・施設の取り組みが外部に認識される以前に従事者にしっかりと理解されることも重要であろう。
- ICTやロボットの導入に関しては従事者、事業所・施設双方が効果を実感していない。ICTやロボットの導入を促進するためには、現状どういったものが導入されており、なぜ十分な効果が得られていないのかについて、より詳細な実態把握とそれに基づいた対応が必要となる。なお、ロボット導入に関しては、利用者の意見・意向も重要であり、その内容を考慮した対応が必要である。
- 就業決定に際して重視する要素に関する認識の相違については、早期に把握し、対応を行うべきである。通勤の利便性に関しては対応ができない部分も大きい、「雇用の安定性」は法人の意思決定による部分も大きく、行政の支援可能性もあるものと考えられる。単純な賃金によらない業界、事業所・施設の訴求のあり方についても模索すべきである。

2. 集計・分析結果

(1) 人材確保・定着・離職防止に向けた取り組み施策及びその効果の認識

① 事業所・施設の人材確保・定着に向けた取り組み・工夫の実施状況に関する認識

就業している事業所・施設が人材の確保・定着に向けた取り組み工夫を「積極的に行っていると思う」と回答した介護従事者の割合は、施設系 7.5%、訪問系 10.9%、通所系 7.7%であった。一方で、事業所・施設の認識をみると、「積極的に行っている」と回答した割合は、施設系 17.4%、訪問系 11.1%、通所系 12.7%であった。

従事者と事業所・施設間での認識を比較すると、事業所・施設の回答では「行っていない」という割合は1割に留まるが、従事者は「行っていないと思う」という回答が3割強であり、認識の相違がみられる。

図表 79 従事者の認識（常勤職員）

	n	積極的に 行っている と思う	ある程度は 行っている と思う	行っていない と思う	無回答
施設系	14,275	7.5%	39.5%	37.9%	15.2%
訪問系	3,760	10.9%	42.2%	28.3%	18.7%
通所系	1,408	7.7%	40.7%	35.4%	16.1%

図表 80 事業所・施設の認識 ※再掲

	n	積極的に 行っている	ある程度 行っている	行っていない	無回答
施設系	648	17.4%	50.2%	4.9%	27.5%
訪問系	513	11.1%	47.0%	12.9%	29.0%
通所系	220	12.7%	50.0%	11.4%	25.9%

② 職員の「確保」に向けた取り組みへの効果認識

施設系を対象に、職員の「確保」に向けた取り組みに対する介護従事者(常勤職員のみ)の効果認識をみると、「非常に効果があると思う」との回答は、「賃金体系の見直しを行っている(51.8%)」、「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している(43.1%)」が特に大きい。求人条件関連は効果がないと思っている割合は1割未満であり、効果的な取り組みとの認識が強い。

一方、事業所・施設側は、求人条件に係る取り組みについて、実施している場合においてもあまり効果がないと感じている割合が3割程度となっており、非常に効果があるとの認識は1割程度となっている。事業所・施設の取り組みの効果認識について、従事者と事業所・施設で相違がみられる。

訪問系及び通所系においても、従事者は求人条件に係る取り組みについて効果があると感じている。

図表 81 介護従事者の効果認識： 職員の「確保」に向けた事業所・施設の取り組み(施設系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所の個性をアピールする	14,275	7.8%	43.1%	29.8%	9.9%	9.4%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	14,275	6.5%	44.6%	31.4%	8.0%	9.4%
	インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入している	14,275	13.4%	52.5%	19.1%	5.4%	9.6%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	14,275	14.0%	50.6%	20.7%	5.1%	9.6%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	14,275	13.1%	50.7%	22.0%	4.7%	9.5%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	14,275	20.6%	53.2%	13.8%	3.3%	9.1%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	14,275	10.9%	48.6%	24.8%	5.5%	10.2%
条 求 人 条 件	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	14,275	10.5%	51.0%	23.4%	4.8%	10.3%
	賃金体系の見直しを行っている	14,275	51.8%	32.0%	5.8%	1.6%	8.8%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	14,275	43.1%	38.9%	7.1%	1.8%	9.1%
そ の 他	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	14,275	44.2%	38.4%	6.8%	1.6%	9.0%
	職員による紹介謝礼金制度を導入している	14,275	20.3%	35.6%	28.7%	5.7%	9.7%
	未経験者・無資格者の採用も積極的にしている	14,275	19.5%	44.8%	21.1%	5.5%	9.2%
	夜勤専従職員を採用している	14,275	16.2%	39.6%	28.7%	6.0%	9.5%
	職場体験や見学を実施している	14,275	19.6%	49.4%	18.1%	3.6%	9.3%
	元職員への働きかけを行っている	14,275	7.4%	28.2%	40.1%	14.8%	9.5%
採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	14,275	10.1%	45.0%	29.5%	5.5%	10.0%	

図表 82 事業所・施設の取り組みの実施状況： 求人条件に係る取り組み(施設系)

		n	実施している	実施していない
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	648	78.7%	21.3%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	648	80.7%	19.3%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	648	92.1%	7.9%

図表 83 事業所・施設の効果認識： 求人条件に係る取り組み(施設系)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	510	10.4%	55.3%	31.2%	3.1%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	523	11.5%	60.2%	25.2%	3.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	597	9.2%	55.6%	30.7%	4.5%

※該当の取り組みを実施していると回答した事業所・施設を対象に集計

図表 84 介護従事者の効果認識:職員の「確保」に向けた取り組み(訪問系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所の個性をアピールする	3,760	7.6%	41.4%	28.4%	7.8%	14.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	3,760	6.5%	43.0%	29.8%	6.1%	14.6%
	インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入している	3,760	9.9%	48.1%	20.9%	5.6%	15.6%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	3,760	9.8%	41.4%	26.4%	6.5%	16.0%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	3,760	10.1%	47.2%	21.6%	5.3%	15.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	3,760	14.1%	48.6%	17.8%	4.4%	15.2%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	3,760	7.7%	41.3%	28.1%	6.3%	16.6%
条 件	賃金体系の見直しを行っている	3,760	44.0%	34.4%	5.9%	1.5%	14.2%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	3,760	36.2%	40.4%	7.5%	1.5%	14.4%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	3,760	37.5%	39.8%	7.4%	1.3%	13.9%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	3,760	16.4%	34.9%	28.7%	4.7%	15.3%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	3,760	15.2%	40.7%	22.5%	6.5%	15.2%
	夜勤専従職員を採用している	3,760	11.7%	37.1%	25.3%	9.2%	16.7%
	職場体験や見学を実施している	3,760	14.3%	45.4%	19.8%	4.9%	15.5%
	元職員への働きかけを行っている	3,760	6.5%	29.9%	35.7%	12.7%	15.2%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	3,760	8.5%	43.2%	26.9%	5.4%	15.9%

図表 85 介護従事者の効果認識:職員の「確保」に向けた取り組み(通所系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所の個性をアピールする	1,408	8.6%	45.1%	28.3%	7.0%	11.1%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	1,408	7.8%	48.5%	26.7%	6.2%	10.8%
	インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入している	1,408	12.1%	53.7%	17.9%	5.0%	11.2%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	1,408	12.3%	49.1%	22.0%	4.6%	11.9%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	1,408	13.1%	54.3%	18.1%	3.3%	11.2%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	1,408	19.2%	54.8%	12.9%	2.4%	10.7%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	1,408	10.9%	48.7%	23.8%	4.6%	12.1%
条 件	賃金体系の見直しを行っている	1,408	52.6%	31.3%	4.6%	1.4%	10.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	1,408	44.7%	37.1%	6.3%	1.4%	10.5%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	1,408	45.6%	36.5%	5.8%	1.4%	10.7%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	1,408	17.7%	35.4%	29.1%	5.7%	12.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	1,408	19.1%	44.1%	21.4%	4.5%	10.9%
	夜勤専従職員を採用している	1,408	12.2%	39.9%	23.9%	9.2%	14.8%
	職場体験や見学を実施している	1,408	17.8%	52.3%	15.8%	3.0%	11.1%
	元職員への働きかけを行っている	1,408	7.2%	30.8%	37.4%	13.3%	11.3%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	1,408	9.6%	46.9%	26.3%	4.9%	12.2%

<事業所・施設の取り組み実施状況別の従事者の効果認識>

求人条件に関する取り組みについて、事業所・施設の実施状況の別で効果の認識を確認したが、事業所・施設が各取り組みを実施しているか否かによらず同様の回答傾向であった(施設系・常勤のみ抽出)。

図表 86 事業所・施設の取り組み実施状況別介護従事者の効果認識:求人条件に係る取り組み(施設系、常勤職員)

取り組みの内容	就業先での取り組みの実施状況	n	介護従事者の効果認識				無回答	
			非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う		
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	実施されている介護従事者	11,522	52.0%	31.8%	5.9%	1.5%	8.8%
		実施されていない介護従事者	2,753	51.1%	32.9%	5.2%	2.0%	8.9%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	実施されている介護従事者	11,877	43.2%	38.9%	7.0%	1.8%	9.1%
		実施されていない介護従事者	2,398	42.5%	38.9%	7.4%	2.0%	9.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	実施されている介護従事者	13,539	44.2%	38.5%	6.8%	1.6%	9.0%
		実施されていない介護従事者	736	44.2%	37.8%	6.9%	1.8%	9.4%

③ 職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みへの効果認識

施設系の常勤職員を対象に、職員の「定着・離職防止」に向けた事業所・施設の取り組みに対する効果認識をみると、「非常に効果があると思う」との回答は、「年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている(44.9%)」、「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている(44.4%)」などの労働条件・労働環境に係る取り組みに関するものが大きい。労働条件・労働環境に関するものでも、「ICT や介護ロボットを導入している」は非常に効果があると思うが 12.3%と小さい。また、「離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている」も 6.3%と小さい。

一方、事業所・施設は、労働条件・労働環境に係る取り組みについて、「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている」、「年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている」場合においても、あまり効果がない、効果がないとの回答の合算が 3 割を超えており、効果認識は薄い。「ICT や介護ロボットを導入している」は「あまり効果がないと思う」と「効果がないと思う」の合算で 5 割以上となっており、事業所・施設においても効果が認識されていない。

定着・離職防止の取り組みにおいても、事業所・施設の取り組みの効果認識について、従事者と事業所・施設で相違がみられる。

訪問系及び通所系においても、多少の差異はあるものの、従事者の効果認識は概ね同様の傾向であり、労働条件・労働環境に関するものが上位となっている。

図表 87 介護従事者の効果認識:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組み(施設系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
配置・週評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	14,275	6.1%	34.7%	41.4%	11.6%	6.3%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	14,275	26.3%	51.7%	13.0%	3.0%	6.1%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	14,275	16.5%	50.2%	23.1%	3.4%	6.8%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	14,275	20.5%	52.8%	17.7%	2.8%	6.2%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	14,275	12.7%	50.7%	26.2%	3.3%	7.0%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	14,275	19.9%	52.7%	18.1%	3.0%	6.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	14,275	16.4%	53.6%	20.6%	2.8%	6.6%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	14,275	11.9%	48.8%	28.6%	3.7%	6.9%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	14,275	26.6%	53.9%	11.1%	1.8%	6.5%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	14,275	44.4%	41.4%	6.2%	1.4%	6.7%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	14,275	36.6%	47.1%	8.4%	1.6%	6.4%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	14,275	31.8%	48.6%	11.5%	1.8%	6.2%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	14,275	44.9%	41.1%	6.4%	1.5%	6.1%
	ICTや介護ロボットを導入している	14,275	12.3%	31.8%	37.2%	12.0%	6.7%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	14,275	36.8%	45.9%	8.9%	2.2%	6.2%
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	14,275	40.3%	43.8%	7.2%	2.1%	6.5%
人間関係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	14,275	20.4%	41.5%	26.4%	5.5%	6.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	14,275	15.6%	42.8%	29.3%	6.2%	6.2%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	14,275	12.1%	42.4%	32.9%	6.2%	6.4%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	14,275	12.7%	40.9%	32.3%	7.6%	6.5%

図表 88 事業所・施設の取り組みの実施状況:労働条件・労働環境に係る取り組み(施設系)

		n	実施している	実施していない
労働条件	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	648	83.0%	17.0%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	648	78.4%	21.6%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	648	87.3%	12.7%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	648	69.8%	30.2%
労働環境	ICTや介護ロボットを導入している	648	34.1%	65.9%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	648	79.2%	20.8%
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	648	49.8%	50.2%

図表 89 事業所・施設の効果認識:労働条件・労働環境に係る取り組み (施設系)

施設系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が無いと思う
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	538	7.4%	55.0%	32.7%	4.8%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	508	9.6%	64.0%	22.0%	4.3%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	566	17.3%	60.2%	19.6%	2.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	452	7.7%	57.3%	29.9%	5.1%
	ICTや介護ロボットを導入している	221	4.1%	41.6%	41.6%	12.7%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	513	7.8%	56.1%	28.8%	7.2%
子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	323	22.0%	56.7%	18.0%	3.4%	

※該当の取り組みを実施していると回答した事業所・施設を対象に集計

図表 90 介護従事者の認識:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組み(訪問系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が無いと思う	無回答
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	3,760	4.7%	32.1%	41.2%	10.3%	11.7%
	長期勤務に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	3,760	21.8%	50.2%	14.3%	2.8%	10.9%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	3,760	13.5%	49.3%	22.2%	3.1%	11.9%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	3,760	17.0%	52.3%	17.6%	2.3%	10.8%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	3,760	11.6%	48.9%	24.9%	2.6%	12.0%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	3,760	16.3%	50.5%	19.4%	2.8%	11.1%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	3,760	13.1%	53.8%	20.2%	1.9%	11.0%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	3,760	10.3%	47.6%	27.3%	3.0%	11.8%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	3,760	23.7%	53.0%	10.9%	1.5%	11.0%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	3,760	37.0%	43.9%	6.9%	1.0%	11.2%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	3,760	30.9%	48.4%	8.6%	1.0%	11.0%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	3,760	27.3%	47.8%	12.8%	1.3%	10.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	3,760	35.1%	43.7%	8.8%	1.1%	11.4%
	ICTや介護ロボットを導入している	3,760	8.4%	26.8%	40.0%	12.7%	12.0%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	3,760	29.9%	47.6%	9.8%	2.0%	10.7%
人間関係	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	3,760	32.4%	46.5%	7.6%	2.3%	11.3%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	3,760	19.5%	45.0%	21.0%	4.3%	10.1%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	3,760	14.8%	46.4%	23.6%	4.7%	10.5%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	3,760	11.0%	43.0%	30.2%	5.2%	10.6%
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	3,760	12.4%	44.8%	26.5%	5.7%	10.7%	

図表 91 介護従事者の効果認識:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組み(通所系、常勤職員)

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が無いと思う	無回答
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	1,408	6.8%	36.5%	39.1%	9.4%	8.2%
	長期勤務に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	1,408	26.1%	50.4%	13.0%	2.4%	8.0%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	1,408	18.7%	50.4%	19.9%	2.4%	8.6%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	1,408	21.8%	53.7%	15.1%	1.8%	7.5%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	1,408	12.5%	53.2%	22.6%	2.6%	9.1%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	1,408	19.7%	53.9%	16.8%	1.8%	7.8%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	1,408	16.3%	56.8%	16.8%	1.9%	8.2%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	1,408	11.6%	50.9%	26.7%	2.4%	8.4%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	1,408	29.2%	53.6%	8.0%	1.4%	7.7%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	1,408	43.8%	42.4%	5.3%	0.9%	7.7%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	1,408	38.1%	46.6%	6.3%	1.2%	7.8%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	1,408	32.6%	48.1%	10.9%	1.1%	7.4%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	1,408	43.3%	42.2%	6.1%	0.9%	7.6%
	ICTや介護ロボットを導入している	1,408	9.2%	30.8%	39.8%	11.8%	8.5%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	1,408	35.8%	47.3%	8.0%	1.1%	7.9%
人間関係	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	1,408	40.8%	44.0%	6.0%	1.3%	7.7%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	1,408	20.0%	45.7%	22.7%	4.0%	7.7%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	1,408	15.3%	48.9%	24.4%	3.8%	7.7%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	1,408	12.6%	46.8%	28.5%	4.0%	8.1%
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	1,408	14.3%	45.7%	27.3%	4.5%	8.2%	

<事業所・施設の取り組み実施状況別の従事者の効果認識>

労働条件・労働環境に関する取り組みについて、事業所・施設の実施状況の別で効果の認識を確認した結果、事業所・施設が各取り組みを実施しているか否かによらず同様の回答傾向であった。

図表 92 事業所・施設の取り組み実施状況別介護従事者の効果認識：
労働条件・労働環境に係る取り組み（施設系、常勤職員）

取り組みの内容	就業先での 取り組みの実施状況	n	介護従事者の効果認識				
			非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	実施されている介護従事者	44.5%	41.3%	6.2%	1.4%	6.6%
		実施されていない介護従事者	43.7%	42.2%	5.7%	1.0%	7.3%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	実施されている介護従事者	36.5%	47.2%	8.5%	1.6%	6.3%
		実施されていない介護従事者	36.9%	46.7%	8.0%	1.6%	6.7%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	実施されている介護従事者	31.8%	48.8%	11.4%	1.8%	6.2%
		実施されていない介護従事者	31.7%	47.1%	12.1%	1.8%	7.2%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	実施されている介護従事者	43.8%	42.4%	6.4%	1.5%	6.0%
		実施されていない介護従事者	47.4%	38.2%	6.5%	1.7%	6.3%
	ICTや介護ロボットを導入している	実施されている介護従事者	12.5%	33.1%	37.5%	11.1%	5.8%
		実施されていない介護従事者	12.2%	31.0%	37.0%	12.6%	7.3%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	実施されている介護従事者	36.8%	46.1%	8.7%	2.1%	6.3%
		実施されていない介護従事者	36.7%	45.2%	9.6%	2.4%	6.0%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	実施されている介護従事者	41.2%	43.8%	6.7%	2.0%	6.3%
		実施されていない介護従事者	39.4%	43.8%	7.8%	2.2%	6.8%

(2) 事業所・施設への就業を決める際に重視する要素の認識

従事者調査から「現在の事業所・施設への就業を決める際に重視した要素」、事業所・施設調査から「事業所・施設への就業に応募した方が重視したと想定される要素」の結果について整理した。

介護従事者が、就業を決める際に重視した要素としては、いずれのサービス類型においても、「立地条件(通勤利便性)」を重視した割合が最も大きい。次いで、雇用の安定性が重視されている。

事業所・施設側が、応募者が重視したと想定している要素としては、「賃金水準」、「労働時間・休日等の労働時間」が大きくなっている。

9割程度の事業所・施設は「賃金水準」が重要視されていると認識しているものの、従事者で重要視していた割合は6割弱となっており、この部分においても認識の相違がみられる。

図表 93 介護従事者の認識: 現在の事業所・施設への就業を決める際に重視した要素(常勤職員)

	n	①非常に重視した	②ある程度重視した	③あまり重視していなかった	④まったく重視していなかった	無回答	①+②
①キャリアアップの機会							
施設系	14,275	4.1%	24.9%	45.3%	20.6%	5.2%	28.9%
訪問系	3,760	5.2%	27.5%	41.8%	18.3%	7.2%	32.7%
通所系	1,408	4.1%	27.5%	45.3%	17.2%	5.9%	31.6%
②賃金水準							
施設系	14,275	13.2%	44.8%	29.8%	8.4%	3.8%	58.0%
訪問系	3,760	10.3%	45.4%	29.8%	8.3%	6.1%	55.7%
通所系	1,408	10.2%	44.5%	32.2%	8.7%	4.4%	54.6%
③労働時間・休日等の労働条件							
施設系	14,275	14.4%	45.8%	27.9%	7.8%	4.0%	60.2%
訪問系	3,760	16.0%	46.7%	25.4%	6.3%	5.7%	62.7%
通所系	1,408	21.7%	48.7%	20.7%	5.4%	3.5%	70.4%
④人事評価・処遇のあり方							
施設系	14,275	4.2%	26.7%	49.1%	15.1%	4.9%	30.9%
訪問系	3,760	4.3%	29.7%	46.5%	12.0%	7.6%	33.9%
通所系	1,408	5.0%	28.3%	48.7%	12.5%	5.6%	33.2%
⑤立地条件(通勤利便性)							
施設系	14,275	27.5%	42.5%	20.3%	6.1%	3.5%	70.1%
訪問系	3,760	27.0%	43.3%	19.7%	4.8%	5.1%	70.3%
通所系	1,408	30.7%	43.5%	16.9%	5.4%	3.5%	74.2%
⑥人間関係・雰囲気							
施設系	14,275	14.3%	38.5%	32.8%	10.3%	4.0%	52.9%
訪問系	3,760	14.8%	43.5%	28.6%	7.9%	5.2%	58.3%
通所系	1,408	15.7%	41.6%	30.8%	7.9%	4.0%	57.3%
⑦雇用の安定性							
施設系	14,275	16.6%	48.5%	24.1%	7.0%	3.8%	65.1%
訪問系	3,760	15.6%	48.2%	24.9%	5.9%	5.5%	63.7%
通所系	1,408	17.5%	48.5%	24.1%	6.3%	3.7%	66.0%
⑧福利厚生							
施設系	14,275	15.1%	40.0%	31.7%	9.3%	3.9%	55.1%
訪問系	3,760	12.0%	36.2%	35.1%	10.5%	6.3%	48.2%
通所系	1,408	14.3%	41.3%	32.3%	7.8%	4.2%	55.7%
⑨教育訓練・能力開発のあり方							
施設系	14,275	4.7%	26.5%	50.3%	14.2%	4.4%	31.1%
訪問系	3,760	5.3%	28.6%	46.9%	12.4%	6.7%	33.9%
通所系	1,408	5.0%	25.9%	52.4%	11.8%	4.9%	30.9%
⑩知識や経験の活用可能性							
施設系	14,275	5.9%	34.3%	43.4%	12.2%	4.3%	40.1%
訪問系	3,760	7.8%	38.0%	38.5%	9.5%	6.3%	45.7%
通所系	1,408	7.1%	37.4%	41.3%	9.6%	4.6%	44.5%
⑪周囲(家族等)からの評判							
施設系	14,275	4.6%	27.1%	45.7%	18.3%	4.3%	31.7%
訪問系	3,760	4.9%	27.8%	44.2%	16.7%	6.4%	32.7%
通所系	1,408	5.5%	29.8%	44.2%	15.8%	4.8%	35.2%
⑫事業所の理念・方針							
施設系	14,275	4.8%	27.6%	46.3%	17.1%	4.2%	32.4%
訪問系	3,760	6.6%	30.8%	41.8%	14.9%	5.9%	37.4%
通所系	1,408	5.7%	31.5%	44.2%	14.4%	4.2%	37.2%

図表 94 事業所・施設の認識:就業を決める際に介護従事者が重視したと考える要素(施設系)

	n	非常に重視したと思う	ある程度重視したと思う	あまり重視していなかったと思う	まったく重視していなかったと思う	無回答
①キャリアアップの機会	648	9.4%	57.1%	28.9%	2.6%	2.0%
②賃金水準	648	44.0%	51.9%	3.2%	0.0%	0.9%
③労働時間・休日等の労働条件	648	38.7%	54.6%	5.6%	0.0%	1.1%
④人事評価・処遇のあり方	648	9.1%	51.7%	35.0%	2.3%	1.9%
⑤立地条件(通勤利便性)	648	25.8%	57.6%	15.0%	0.6%	1.1%
⑥人間関係・雰囲気	648	33.5%	57.7%	7.4%	0.3%	1.1%
⑦雇用の安定性	648	30.2%	56.5%	11.4%	0.8%	1.1%
⑧福利厚生	648	16.4%	55.4%	26.1%	1.2%	0.9%
⑨教育訓練・能力開発のあり方	648	11.4%	53.1%	32.3%	2.2%	1.1%
⑩知識や経験の活用可能性	648	7.1%	61.9%	28.4%	1.5%	1.1%
⑪周囲(家族等)からの評判	648	11.4%	56.6%	29.8%	1.2%	0.9%
⑫事業所・施設の理念・方針	648	8.8%	46.9%	39.7%	3.7%	0.9%

図表 95 事業所・施設の認識:就業を決める際に介護従事者が重視したと考える要素(訪問系)

	n	非常に重視したと思う	ある程度重視したと思う	あまり重視していなかったと思う	まったく重視していなかったと思う	無回答
①キャリアアップの機会	513	9.7%	49.5%	30.2%	5.3%	5.3%
②賃金水準	513	37.0%	53.8%	6.2%	0.4%	2.5%
③労働時間・休日等の労働条件	513	35.5%	58.1%	3.3%	0.4%	2.7%
④人事評価・処遇のあり方	513	11.5%	55.0%	27.1%	2.7%	3.7%
⑤立地条件(通勤利便性)	513	22.8%	58.5%	13.8%	1.6%	3.3%
⑥人間関係・雰囲気	513	29.0%	58.5%	9.0%	1.0%	2.5%
⑦雇用の安定性	513	21.2%	61.2%	12.7%	1.4%	3.5%
⑧福利厚生	513	16.2%	48.3%	28.5%	3.3%	3.7%
⑨教育訓練・能力開発のあり方	513	8.4%	50.5%	33.7%	4.1%	3.3%
⑩知識や経験の活用可能性	513	8.2%	65.7%	20.9%	2.1%	3.1%
⑪周囲(家族等)からの評判	513	11.9%	50.1%	30.8%	3.9%	3.3%
⑫事業所・施設の理念・方針	513	9.7%	50.3%	33.1%	3.5%	3.3%

図表 96 事業所・施設の認識:就業を決める際に介護従事者が重視したと考える要素(通所系)

	n	非常に重視したと思う	ある程度重視したと思う	あまり重視していなかったと思う	まったく重視していなかったと思う	無回答
①キャリアアップの機会	220	5.5%	53.2%	30.9%	6.4%	4.1%
②賃金水準	220	37.3%	56.4%	5.0%	0.0%	1.4%
③労働時間・休日等の労働条件	220	44.5%	50.5%	3.6%	0.0%	1.4%
④人事評価・処遇のあり方	220	5.5%	57.3%	31.4%	3.6%	2.3%
⑤立地条件(通勤利便性)	220	23.6%	56.4%	15.9%	2.3%	1.8%
⑥人間関係・雰囲気	220	32.7%	56.8%	7.3%	1.8%	1.4%
⑦雇用の安定性	220	23.6%	62.3%	10.5%	2.3%	1.4%
⑧福利厚生	220	15.9%	50.9%	28.2%	3.6%	1.4%
⑨教育訓練・能力開発のあり方	220	8.2%	45.0%	40.5%	5.0%	1.4%
⑩知識や経験の活用可能性	220	5.9%	64.1%	25.5%	3.2%	1.4%
⑪周囲(家族等)からの評判	220	8.2%	59.1%	29.5%	1.8%	1.4%
⑫事業所・施設の理念・方針	220	6.8%	49.1%	39.5%	3.2%	1.4%

第6章 潜在介護人材調査の分析

本章では潜在人材として定義した、以前に介護業界に従事していて現在は業界で働いていない人材、介護関連の資格は有しているが介護業界で就業したことがない人材に対して実施した調査結果を示す。

調査結果については、介護職としての就業経験によって差異があると考えられること、性別及び年齢層による差異があると考えられること、インターネット調査であり、一定のバイアスがあると考えられることから、全体集計ではなく、介護職としての就業経験の有無、性・年齢別での集計結果を中心に記載する。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

- 潜在人材の現在の職業は、介護職としての就業経験によらず「専業主婦(主夫)」が多く、就業経験ありの場合で 34.2%、就業経験なしの場合で 24.5%となっている。特に女性の場合は専業主婦が多くなっており、次いでパート、アルバイトが多い。男性に限ると、50 代以下では会社員が 3 割強となっており、60 代以上は無職が多い。
- 潜在人材のうち、全体の 4 割前後は現在就業していない状況にある。女性や年齢が高い方が働いていない割合が大きい。
- 今後の就業意向については、全体の 4 割超は介護業界で働きたいという意向がある。就業経験別では就業経験ありで 47.3%、就業経験なしで 35.6%の就業意向となっている。また、男女ともに 30 代以下では 5 割以上が少なくともいずれは介護業界で働きたいとの意向を有しており、男性においては 60 代以上でも 3 割近くが介護業界での就業の意向を有している。
- 就業経験別に入職促進施策に対する認識では、就業経験の有無によって、わずかに傾向がみられる。非常に効果があると感じる施策としては「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする」(経験あり:44.9%、経験なし:45.3%)、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」(経験あり:41.2%、経験なし:38.4%)が上位となった。
- 性・年齢別では女性・30 代の傾向が顕著であり、非常に効果があると感じるものとして、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」(52.5%)、「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する」(43.2%)が大きくなっている。一方で、法人内での配置転換等についてはあまり効果があるとは考えていない傾向がみられる。

【結果を踏まえた考察】

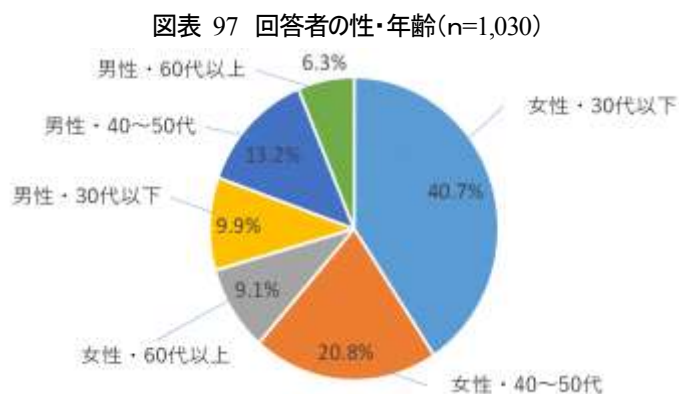
- 潜在化している人材のうち、いずれは介護業界で働きたいと考える割合は小さくない。一方で多くが専業主婦(主夫)などで現在働いていないという状況を鑑みると、子育て等のライフイベントの影響もあると推察できる。これは、入職促進策に関する認識として「子育てサポート」や「短時間勤務」等への期待がみられることからその可能性が高いと考えることができる。子育て等により働きたくとも働けないという女性は一定数存在すると考えられ、これらの対象向けの支援策を整備することで、早期の業界への流入・再流入の促進を図ることが期待される。
- 子育て期の女性以外にも 60 代以上の潜在人材も非常に多く、特に男性においては就業意向も小さくない。高齢者雇用施策の推進、法人における人事制度や勤務条件・勤務環境整備等、高齢者を受け入れる環境を整えることで誘引可能性があると考えられる。

2. 集計・分析結果

(1) 回答者の基本属性

① 回答者の性・年齢構成

性別構成は男性 29.4%、女性 70.6%となっており、性・年齢別にみると、女性・30代以下の構成が 40.7%と最も大きく、次いで、女性・40～50代が 20.8%となっている。

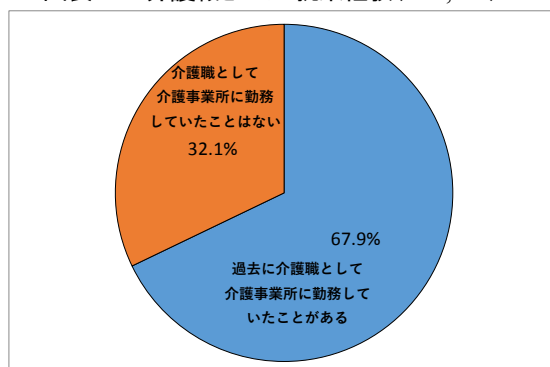


② 介護職としての就業経験

介護職としての就業経験については、「過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある」が 67.9%、「介護職として介護事業所に勤務してはいない」が 32.1%となっている。

性・年齢別にみると、男性・30代以下において就業経験ありの割合が 83.3%と最も大きくなっている。

図表 98 介護職としての就業経験(n=1,030)



図表 99 介護職としての就業経験(性・年齢別)

	n	現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある	介護職として介護事業所に勤務してはいない
女性・30代以下	419	68.5%	31.5%
女性・40～50代	214	63.6%	36.4%
女性・60代以上	94	67.0%	33.0%
男性・30代以下	102	83.3%	16.7%
男性・40～50代	136	67.6%	32.4%
男性・60代以上	65	55.4%	44.6%

③ 現在の職業

現在の職業を介護職の経験別にみると、いずれの場合も「専業主婦(主夫)」が最も大きい。概ね同様の傾向となっているが、就業経験なしの場合は「会社員(事務系)」の割合がわずかに大きくなっている。

性・年齢別にみると、女性はいずれの年代でも、「専業主婦(主夫)」の割合が最も大きく、次いで、「パート・アルバイト」となっている。男性は50代以下では「会社員(その他)」の割合が最も大きく、60代以上では無職の割合が最も大きくなっている。

図表 100 回答者の現在の職業(介護職経験別)

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
介護職としての就業経験あり	699	1.1%	1.0%	9.0%	4.9%	13.0%	5.2%	1.1%	34.2%	19.7%	1.3%	1.6%	7.9%
介護職としての就業経験なし	331	1.5%	1.2%	13.3%	3.9%	13.3%	3.9%	2.4%	24.5%	20.2%	2.7%	4.2%	8.8%

図表 101 回答者の現在の職業(性・年齢別)

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
女性・30代以下	419	1.4%	0.2%	8.1%	2.4%	6.9%	2.6%	0.0%	44.9%	22.9%	3.3%	2.6%	4.5%
女性・40～50代	214	0.5%	0.0%	12.6%	3.3%	8.9%	3.7%	1.9%	35.5%	26.6%	0.0%	3.7%	3.3%
女性・60代以上	94	1.1%	2.1%	5.3%	1.1%	0.0%	1.1%	3.2%	55.3%	13.8%	0.0%	1.1%	16.0%
男性・30代以下	102	2.0%	1.0%	15.7%	14.7%	30.4%	4.9%	1.0%	1.0%	17.6%	3.9%	2.0%	5.9%
男性・40～50代	136	1.5%	3.7%	16.2%	8.8%	34.6%	14.0%	5.1%	0.7%	5.1%	0.0%	2.2%	8.1%
男性・60代以上	65	1.5%	3.1%	4.6%	3.1%	13.8%	7.7%	1.5%	3.1%	21.5%	0.0%	0.0%	40.0%

④ 配偶関係(介護職経験別、性・年齢別)

配偶関係を就業経験別にみると、就業経験ありの場合にわずかに既婚の割合が大きい。性・年齢別では、女性はいずれの年代においても既婚の割合が60%超である。一方で、男性の既婚率は年代によって差があり、30代以下では既婚の割合は39.2%となっている。

図表 102 配偶関係(介護職経験別)

	n	既婚	未婚	離死別
介護職としての就業経験あり	699	66.2%	22.3%	11.4%
介護職としての就業経験なし	331	58.9%	29.0%	12.1%

図表 103 配偶関係(性・年齢別)

	n	既婚	未婚	離死別
女性・30代以下	419	70.4%	25.3%	4.3%
女性・40～50代	214	67.3%	13.1%	19.6%
女性・60代以上	94	64.9%	5.3%	29.8%
男性・30代以下	102	39.2%	57.8%	2.9%
男性・40～50代	136	55.1%	32.4%	12.5%
男性・60代以上	65	66.2%	15.4%	18.5%

⑤ 現在の就業形態(介護職経験別、性・年齢別)

現在の就業状況を介護職経験別にみると、いずれにおいても4割前後が「働いていない」となっている。

性・年齢別にみると、女性はいずれの年代でも「働いていない」の割合が最も大きく、特に60代以上は73.4%となっている。男性は50代以下では「フルタイムで働いている」が7割超となっている。女性、高齢の方が現在働いていない割合が大きい。

図表 104 現在の就業状況(介護職経験別)

	n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
介護職としての就業経験あり	699	34.3%	24.7%	40.9%
介護職としての就業経験なし	331	42.0%	21.8%	36.3%

図表 105 現在の就業状況(性・年齢別)

	n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
女性・30代以下	419	24.8%	29.6%	45.6%
女性・40～50代	214	30.4%	28.5%	41.1%
女性・60代以上	94	10.6%	16.0%	73.4%
男性・30代以下	102	78.4%	12.7%	8.8%
男性・40～50代	136	75.7%	13.2%	11.0%
男性・60代以上	65	26.2%	21.5%	52.3%

⑥ 今後の就業意向

今後の就業意向について介護職経験別にみると、「すぐにも介護職として働きたい」と「いつか介護職として働きたい」の回答を合わせた割合が、就業経験ありでは47.3%、就業経験なしで35.6%となっており、全体の4割超は介護業界で働く意向がある。

性・年齢別にみると、男女ともに30代以下では5割以上が働きたいとの意向を有している。男性においては60代以上でも3割近くが就業の意向を有している。就業経験ありで30代以下の女性が最も介護職として働きたいという意向がある。

図表 106 潜在介護人材の就業意向の状況(介護職経験別)

	n	すぐにも介護職として働きたい	いつか介護職として働きたい	介護職として働きたくない
介護職としての就業経験あり	699	5.7%	41.6%	52.6%
介護職としての就業経験なし	331	2.7%	32.9%	64.4%

図表 107 潜在介護人材の就業意向の状況(性・年齢別)

	n	すぐにも介護職として働きたい	いつか介護職として働きたい	介護職として働きたくない
女性・30代以下	419	4.5%	45.6%	49.9%
女性・40～50代	214	4.7%	35.0%	60.3%
女性・60代以上	94	2.1%	12.8%	85.1%
男性・30代以下	102	6.9%	48.0%	45.1%
男性・40～50代	136	7.4%	40.4%	52.2%
男性・60代以上	65	1.5%	27.7%	70.8%

図表 108 潜在介護人材の就業意向の状況(介護職経験・性・年齢別)

		n	すぐにも介護職として働きたい	いつか介護職として働きたい	介護職として働きたくない
介護職経験あり	女性・30代以下	287	5.6%	50.2%	44.3%
	女性・40～50代	136	5.9%	37.5%	56.6%
	女性・60代以上	63	1.6%	11.1%	87.3%
	男性・30代以下	85	5.9%	49.4%	44.7%
	男性・40～50代	92	9.8%	40.2%	50.0%
	男性・60代以上	36	2.8%	27.8%	69.4%
介護職経験なし	女性・30代以下	132	2.3%	35.6%	62.1%
	女性・40～50代	78	2.6%	30.8%	66.7%
	女性・60代以上	31	3.2%	16.1%	80.6%
	男性・30代以下	17	11.8%	41.2%	47.1%
	男性・40～50代	44	2.3%	40.9%	56.8%
	男性・60代以上	29	0.0%	27.6%	72.4%

(2) 介護職経験有無別の入職促進施策に対する認識

介護職としての就業経験別に入職促進施策に対する認識をみると、就業経験の有無によって、大きな差ではないものの多少の傾向の違いがある。インターンシップについては介護職として就業経験なしの場合に、効果があると思うとした割合がやや多い。

非常に効果があると思うという回答が多かったものとしては、「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする」(経験あり:44.9%、経験なし:45.3%)、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」(経験あり:41.2%、経験なし:38.4%)が挙げられる。

図表 109 インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	14.2%	54.1%	23.9%	7.9%
介護職としての就業経験なし	331	12.4%	61.0%	19.6%	6.9%

図表 110 時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	33.9%	50.5%	11.3%	4.3%
介護職としての就業経験なし	331	27.8%	58.3%	10.3%	3.6%

図表 111 賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	44.9%	40.3%	10.0%	4.7%
介護職としての就業経験なし	331	45.3%	42.9%	7.9%	3.9%

図表 112 夜勤専従職員を採用する

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	19.2%	50.2%	25.6%	5.0%
介護職としての就業経験なし	331	18.7%	50.2%	25.7%	5.4%

図表 113 モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	10.3%	38.5%	41.8%	9.4%
介護職としての就業経験なし	331	9.1%	40.8%	44.1%	6.0%

図表 114 経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	18.0%	52.9%	23.0%	6.0%
介護職としての就業経験なし	331	12.4%	58.0%	22.7%	6.9%

図表 115 子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	41.2%	45.8%	8.6%	4.4%
介護職としての就業経験なし	331	38.4%	47.7%	9.7%	4.2%

図表 116 潜在介護人材を対象に就職情報の提供を行う

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	16.6%	52.2%	24.9%	6.3%
介護職としての就業経験なし	331	14.2%	52.6%	26.3%	6.9%

図表 117 無利子の就職準備金貸付制度を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	15.0%	41.2%	34.3%	9.4%
介護職としての就業経験なし	331	14.8%	39.3%	36.3%	9.7%

図表 118 就職促進給付等、入職者を対象とした金銭の給付を行う

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
介護職としての就業経験あり	699	23.5%	50.6%	19.7%	6.2%
介護職としての就業経験なし	331	21.8%	52.3%	20.2%	5.7%

(3) 性・年齢別の入職促進施策に対する認識

性・年齢別で入職促進施策に対する認識をみた際に特に顕著な部分としては、「女性・30代」で「非常に効果があると思う」ものとして、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」(52.5%)、「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する」(43.2%)が大きい点である。一方で30代・女性は法人内での配置転換等についてはあまり効果があると感じていない。

図表 119 インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.0%	55.4%	22.7%	6.9%
女性・40～50代	214	15.4%	52.3%	24.8%	7.5%
女性・60代以上	94	7.4%	72.3%	11.7%	8.5%
男性・30代以下	102	15.7%	49.0%	23.5%	11.8%
男性・40～50代	136	12.5%	51.5%	27.2%	8.8%
男性・60代以上	65	6.2%	73.8%	18.5%	1.5%

図表 120 時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	43.2%	45.1%	8.8%	2.9%
女性・40～50代	214	29.0%	55.6%	12.1%	3.3%
女性・60代以上	94	27.7%	60.6%	7.4%	4.3%
男性・30代以下	102	24.5%	55.9%	12.7%	6.9%
男性・40～50代	136	19.1%	53.7%	19.1%	8.1%
男性・60代以上	65	13.8%	78.5%	6.2%	1.5%

図表 121 賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	48.7%	37.7%	9.8%	3.8%
女性・40～50代	214	47.2%	40.2%	8.9%	3.7%
女性・60代以上	94	47.9%	41.5%	6.4%	4.3%
男性・30代以下	102	36.3%	42.2%	13.7%	7.8%
男性・40～50代	136	36.8%	46.3%	9.6%	7.4%
男性・60代以上	65	41.5%	53.8%	4.6%	0.0%

図表 122 夜勤専従職員を採用する

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	22.0%	48.7%	25.1%	4.3%
女性・40～50代	214	17.8%	52.8%	25.2%	4.2%
女性・60代以上	94	14.9%	56.4%	22.3%	6.4%
男性・30代以下	102	22.5%	46.1%	24.5%	6.9%
男性・40～50代	136	15.4%	47.8%	28.7%	8.1%
男性・60代以上	65	12.3%	53.8%	30.8%	3.1%

図表 123 モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	9.3%	34.4%	48.2%	8.1%
女性・40～50代	214	7.5%	44.4%	43.9%	4.2%
女性・60代以上	94	6.4%	44.7%	39.4%	9.6%
男性・30代以下	102	18.6%	37.3%	33.3%	10.8%
男性・40～50代	136	13.2%	36.8%	36.8%	13.2%
男性・60代以上	65	6.2%	53.8%	32.3%	7.7%

図表 124 経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.0%	52.0%	28.2%	4.8%
女性・40～50代	214	16.8%	59.3%	18.7%	5.1%
女性・60代以上	94	14.9%	63.8%	13.8%	7.4%
男性・30代以下	102	20.6%	47.1%	21.6%	10.8%
男性・40～50代	136	18.4%	46.3%	25.0%	10.3%
男性・60代以上	65	12.3%	70.8%	13.8%	3.1%

図表 125 子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	52.5%	39.4%	5.7%	2.4%
女性・40～50代	214	36.4%	51.9%	8.9%	2.8%
女性・60代以上	94	39.4%	46.8%	8.5%	5.3%
男性・30代以下	102	31.4%	40.2%	17.6%	10.8%
男性・40～50代	136	25.0%	52.9%	14.0%	8.1%
男性・60代以上	65	21.5%	69.2%	6.2%	3.1%

図表 126 潜在介護人材を対象に就職情報の提供を行う

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.3%	51.1%	27.7%	6.0%
女性・40～50代	214	17.3%	54.2%	26.2%	2.3%
女性・60代以上	94	16.0%	61.7%	14.9%	7.4%
男性・30代以下	102	17.6%	45.1%	25.5%	11.8%
男性・40～50代	136	16.2%	43.4%	29.4%	11.0%
男性・60代以上	65	10.8%	70.8%	13.8%	4.6%

図表 127 無利子の就職準備金貸付制度を導入する

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	13.6%	43.0%	33.7%	9.8%
女性・40～50代	214	15.0%	36.4%	43.5%	5.1%
女性・60代以上	94	8.5%	35.1%	45.7%	10.6%
男性・30代以下	102	23.5%	38.2%	25.5%	12.7%
男性・40～50代	136	19.1%	38.2%	29.4%	13.2%
男性・60代以上	65	10.8%	55.4%	26.2%	7.7%

図表 128 就職促進給付等、入職者を対象とした金銭の給付を行う

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	24.8%	49.9%	19.3%	6.0%
女性・40～50代	214	20.1%	51.4%	24.3%	4.2%
女性・60代以上	94	13.8%	55.3%	25.5%	5.3%
男性・30代以下	102	31.4%	42.2%	18.6%	7.8%
男性・40～50代	136	22.8%	53.7%	14.7%	8.8%
男性・60代以上	65	20.0%	61.5%	13.8%	4.6%

第7章 介護福祉士養成施設の学生向け調査の分析

本章では介護福祉士養成施設に在籍する学生向けに実施した調査結果を示す。調査結果については在籍する養成施設の課程(年制)別の集計結果を記載する。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

- 性別では女性が多く(63.9%)、年齢としては20代以下が大半を占める。ただし、2年制の課程では30代、40代も一定数在席している(それぞれ7%程度)。
- 卒業後の進路については、就職先が決まっている場合でも、あるいは就職活動中やこれから就職活動を始める場合においても多くは高齢者介護の分野を予定あるいは希望している。4年制養成施設の在籍者はわずかながら介護・福祉以外の分野を希望する割合が大きい。
- 就業希望あるいは就業予定のサービス類型としては、施設・居住系のサービスが最も多く、いずれの課程でも半数以上となっている。また、法人種別では社会福祉法人を希望する割合がいずれの課程においても4割以上で最も多い。
- 介護の仕事のキャリア目標は、回答者の大半が目標の方向性を有している。方向性としては全体的に専門性の追求、現場で長く活動するというものが多い。
- すでに計画・方法を漠然とでも考えている割合は全体で5割以上であり、卒業年次が近い方がこの傾向は顕著になる。
- 将来は高齢者介護分野での就業を希望あるいは検討している学生では、現在の居住地よりも都会・都市部で「働いてもよい」と「ぜひ働きたい」という回答が合わせて5割を超える。地方部についても「働いてもよい」と「ぜひ働きたい」を合わせると5割以上となる。

【結果を踏まえた考察】

- 介護福祉士養成施設の学生の多くは高齢者介護分野での就業が見込まれ、介護人材の新規流入には効果的と考えられる。ただし、現状、養成施設の定員充足率が低いことを鑑みると、養成施設にいかにか人材を呼び込むかも重要である。高校生向けのPRも重要であるが、一部存在している30代以上の方のような、他業界経験者、あるいは介護業界での仕事を経験し資格取得のために養成施設に通うといった方を取り込むための施策の検討も必要であろう。
- 介護福祉士養成施設の学生は、現在の介護業界の従事者と比較しても前向きにキャリアプランを検討しているものと考えられ、これを具体化するための支援や実現に向けたサポートといった支援を行うことが長期的な就業実現の一つの方策となる可能性も考えられる。
- 学生は、現在の居住地よりも都会・都市部、あるいは地方部での就業に関して、働いてもよいとする割合が4割以上であり、居住地が変わることへの抵抗感が低い層もみられる。地域によって介護人材の需給には差が生じており、地域内ですべて確保することは難しい地域もあると考えられる。今後は、人材が不足する地域にほかの地域から人材を誘引することが必要であり、重要な候補の一つと考えることができる。これらの取り組みを進めるうえでは、ほかの地域で就業する際の希望や条件についてより詳細に把握することが重要である。

2. 集計・分析結果

(1) 回答者の基本属性

① 課程

2年制養成施設の所属者が78.1%と最も割合が大きく、次いで、4年制養成施設が10.1%となっている。

図表 129 養成施設の課程別の構成 (n=1,577)



② 性別

性別は全体では男性 36.1%、女性 63.9%となっており、4年制養成施設、1年制養成施設では他の課程と比較して女性の回答割合がやや大きくなっている。

図表 130 回答者の性別(課程別)

	n	男性	女性
全体	1,577	36.1%	63.9%
4年制養成施設	159	27.0%	73.0%
3年制養成施設	76	39.5%	60.5%
2年制養成施設	1,232	38.1%	61.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	22.6%	77.4%
その他	4	50.0%	50.0%

③ 年齢

回答者の年齢は20代が52.8%、10代が30.6%と20代以下が大半を占めている。2年制の課程では30代、40代も7%程度回答がある。

図表 131 回答者の年齢(課程別)

	n	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
全体	1,577	30.6%	52.8%	5.6%	6.2%	4.2%	0.6%
4年制養成施設	159	19.5%	79.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
3年制養成施設	76	18.4%	72.4%	1.3%	1.3%	3.9%	2.6%
2年制養成施設	1,232	35.4%	44.2%	7.1%	7.6%	5.0%	0.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

(2) 卒業後の進路

卒業後の進路について、就職先が決まっている回答者では、4年制養成施設では60.6%、3年制施設では72.7%、2年制施設では86.6%、1年制施設では44.2%が高齢者介護の分野への就業予定となっている。大半は介護・福祉分野への就業予定であるが、4年制の養成施設ではそれ以外の分野への就職予定が1割強となっている。

現在就職活動中または今後就職活動を開始する予定の回答者では、4年制養成施設では71.8%、3年制施設では67.5%、2年制施設では77.0%、1年制施設では81.8%が高齢者介護の分野への就業を希望している。

図表 132 卒業後の進路に関する状況

	n	就職先が決まっている	就職活動中 (具体的に活動)	就職活動中 (情報収集段階)	就職活動予定 (特に何もしていない)	進学予定	その他
4年制養成施設	159	20.8%	0.6%	23.3%	54.1%	0.6%	0.6%
3年制養成施設	76	43.4%	3.9%	11.8%	36.8%	0.0%	3.9%
2年制養成施設	1,232	43.0%	4.8%	15.7%	33.1%	2.4%	0.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	89.6%	1.9%	7.5%	0.9%	0.0%	0.0%

図表 133 就職予定先の状況（「就職先が決まっている」方、690名が対象）

	n	高齢者介護 の分野	障がい者介護 の分野	保育の分野	医療関係 の分野	上記以外の介護 ・福祉分野	介護・福祉以外 の分野
4年制養成施設	33	60.6%	12.1%	0.0%	9.1%	6.1%	12.1%
3年制養成施設	33	72.7%	21.2%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%
2年制養成施設	530	86.6%	9.1%	0.0%	2.5%	1.1%	0.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	95	44.2%	14.7%	36.8%	4.2%	0.0%	0.0%

図表 134 就職希望先の状況（「就職活動中」及び「就職活動予定」の方、840名が対象）

	n	高齢者介護 の分野	障がい者介護 の分野	保育の分野	医療関係 の分野	上記以外の介護 ・福祉分野	介護・福祉以外 の分野	未定・ 考えていない
4年制養成施設	124	71.8%	27.4%	6.5%	19.4%	20.2%	16.1%	11.3%
3年制養成施設	40	67.5%	40.0%	20.0%	12.5%	10.0%	10.0%	12.5%
2年制養成施設	661	77.0%	34.0%	5.0%	13.5%	8.6%	7.1%	10.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	81.8%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%

図表 135 進学予定先の状況（「進学予定」の方、31名が対象）

	n	高齢者介護 関連の学校	高齢者介護以外の 福祉関連の学校	介護・福祉 とは関係ない 学校を予定
4年制養成施設	1	100.0%	0.0%	0.0%
3年制養成施設	0	0.0%	0.0%	0.0%
2年制養成施設	30	36.7%	50.0%	13.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	0	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 就業先の希望

① 就業を希望するまたは就業予定のサービス類型

高齢者介護の分野で就業予定または就業を検討している方の就業を希望する(就業先が決まっている場合は、就業予定の)サービス類型をみると、いずれの課程においても「施設・居住系サービスの事業所」の割合が最も大きい。

図表 136 就業を希望するまたは就業予定のサービス類型

	n	訪問系サービスの事業所 (訪問介護等)	通所系サービスの事業所 (通所介護等)	施設・居住系 サービスの事業所 (特別養護老人ホーム等)	左記の複数サービス について検討中	未定・特に決めていない
4年制養成施設	109	1.8%	9.2%	56.9%	13.8%	18.3%
3年制養成施設	51	7.8%	2.0%	58.8%	3.9%	27.5%
2年制養成施設	968	2.2%	11.4%	62.7%	9.9%	13.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	0.0%	7.8%	78.4%	3.9%	9.8%

② 就業を希望するまたは就業予定の法人の種別

高齢者介護の分野で就業予定または就業を検討している回答者の就業を希望する(就業先が決まっている場合は、就業予定の)法人の種別をみると、いずれの課程においても「社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)」の割合が最も大きい。

図表 137 就業を希望するまたは就業予定の法人の種別

	n	社会福祉法人 (社会福祉協議会を 除く)	社会福祉協議会	(公益・一般) 社団法人・財団法人	営利法人(株式会 社・有限会社等)	特定非営利活動法人 (NPO法人)	医療法人	協同組合 (生協・農協)	地方自治体	その他	未定・特に決めてい ない・わからない
4年制養成施設	109	41.3%	4.6%	1.8%	5.5%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	44.0%
3年制養成施設	51	51.0%	2.0%	3.9%	2.0%	0.0%	5.9%	0.0%	3.9%	0.0%	31.4%
2年制養成施設	968	41.1%	5.1%	3.6%	4.4%	1.0%	11.6%	1.2%	1.2%	0.4%	30.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	66.7%	3.9%	3.9%	2.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	3.9%	7.8%

③ 就業を希望するまたは就業予定の法人規模

高齢者介護の分野で就業予定または就業を検討している回答者の就業を希望する(就業先が決まっている場合は、就業予定の)法人の規模をみると、いずれの類型においても「未定・わからない」の割合が最も大きかった。また、「業界トップ・大手法人」よりも「中堅・中小法人」を希望する割合の方が大きい傾向がみられた。

図表 138 就業を希望するまたは就業予定の法人の規模

	n	業界トップ ・大手法人	中堅・中小法人	規模にこだわり はない	未定・ わからない
4年制養成施設	109	5.5%	14.7%	36.7%	43.1%
3年制養成施設	51	7.8%	25.5%	17.6%	49.0%
2年制養成施設	968	9.5%	20.4%	20.2%	49.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	9.8%	27.5%	9.8%	52.9%

(4) キャリア目標

① キャリア目標の方向性

高齢者介護の分野で就業予定または就業を検討している回答者の、介護の仕事のキャリア目標の方向性をみると、大半は何らかの目標を持っている結果となった。全般に経営者・管理職志向よりは、専門性の追求、長く現場のスタッフとして活動するという方が多くなっている。

図表 139 介護の仕事のキャリア目標の方向性(複数回答)
 (「高齢者介護の分野での就業予定または検討中」の方、1,183 名が対象)

	n	経営者になる	管理職になる	高齢者介護における専門性を追求する	長く現場のスタッフとして活動する	その他	現時点では特に考えていない
4年制養成施設	109	15.6%	33.9%	59.6%	64.2%	1.8%	9.2%
3年制養成施設	51	13.7%	9.8%	45.1%	33.3%	0.0%	23.5%
2年制養成施設	968	15.2%	22.4%	40.9%	50.2%	1.5%	16.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	19.6%	31.4%	51.0%	47.1%	0.0%	17.6%

② キャリア目標を実現するための計画・方法の検討状況

キャリア目標について考えている学生に関して、目標実現に向けての計画・方法の検討状況を見ると、いずれの課程においても「具体的に考えている」の割合は 2 割未満だが、漠然とだが考えている割合は 4 割程度と合計すると 5 割以上が計画・方法について考えている状況である。

図表 140 キャリア目標を実現するための計画・方法の検討状況
 (「キャリア目標」について「現時点では特に考えていない」以外の回答をした方、981 名が対象)

	n	計画・方法を具体的に考えている	計画・方法を漠然とだが考えている	計画・方法はまだほとんど考えてはいない	計画・方法はまったく考えていない
4年制養成施設	98	10.2%	46.9%	30.6%	12.2%
3年制養成施設	39	17.9%	35.9%	35.9%	10.3%
2年制養成施設	801	15.4%	40.4%	33.3%	10.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	42	16.7%	47.6%	26.2%	9.5%

回答者の学年に着目し、各養成課程の最終学年及びその 1 年前の学生のみを対象として集計を行った場合には、「具体的に考えている」の割合が、大きくなる(2 年制及び 1 年制養成施設は全員が条件に該当するため上記の図表と同じ値となっている)。

図表 141 キャリア目標を実現するための計画・方法の検討状況
 (養成課程の最終年及びその 1 年前の学生のみを対象)

	n	計画・方法を具体的に考えている	計画・方法を漠然とだが考えている	計画・方法はまだほとんど考えてはいない	計画・方法はまったく考えていない
4年制養成施設	56	14.3%	50.0%	26.8%	8.9%
3年制養成施設	31	19.4%	38.7%	29.0%	12.9%
2年制養成施設	801	15.4%	40.4%	33.3%	10.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	42	16.7%	47.6%	26.2%	9.5%

※4 年制では 4 年生と 3 年生、3 年制では 3 年生と 2 年生、2 年制では 2 年生と 1 年生、1 年制では 1 年生を対象

(5) 就業地域の意向

① 現在の居住地での就業意向

高齢者介護分野への就業を希望あるいは検討している学生の、現在の居住地での就業意向についてみると、いずれの課程でも「ぜひ働きたい」、「働いてもよい」の合算で8割超となっている。3年制と4年制では、「あまり働きたくない」がそれぞれ17.5%、14.5%とやや多い。

図表 142 現在の居住地での就業意向

	n	①ぜひ働きたい	②働いてもよい	③あまり働きたくない	④絶対に働きたくない	①+②
4年制養成施設	124	26.6%	56.5%	14.5%	2.4%	83.1%
3年制養成施設	40	27.5%	52.5%	17.5%	2.5%	80.0%
2年制養成施設	661	36.3%	49.9%	11.3%	2.4%	86.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%

② 現在の居住地とは異なる場所での就業意向

高齢者介護分野への就業を希望あるいは検討している学生の、現在の居住地より都会・都市部での就業意向をみると、いずれの課程でも「働いてもよい」が4割以上と多く、「ぜひ働きたい」を含めると5割を超える。

図表 143 現在の居住地より都会・都市部での就業意向

	n	①ぜひ働きたい	②働いてもよい	③あまり働きたくない	④絶対に働きたくない	①+②
4年制養成施設	124	8.1%	50.0%	32.3%	9.7%	58.1%
3年制養成施設	40	20.0%	45.0%	30.0%	5.0%	65.0%
2年制養成施設	661	12.3%	47.5%	28.7%	11.5%	59.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	27.3%	63.6%	0.0%	9.1%	90.9%

高齢者介護分野への就業を希望あるいは検討している学生の、現在の居住地より地方部での就業意向をみると、いずれの課程でも「働いてもよい」が4割以上となっており、「ぜひ働きたい」を含めて5割を超える。

図表 144 現在の居住地より地方部での就業意向

	n	①ぜひ働きたい	②働いてもよい	③あまり働きたくない	④絶対に働きたくない	①+②
4年制養成施設	124	4.8%	54.8%	31.5%	8.9%	59.7%
3年制養成施設	40	7.5%	50.0%	32.5%	10.0%	57.5%
2年制養成施設	661	8.2%	45.4%	32.1%	14.4%	53.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	81.8%

第 8 章 インフォーマルケア調査の分析

本章では、現在家族に対する介護を実施している方を対象としたインフォーマルケアに関する調査結果について示す。本調査についてはインターネット調査で実施したものであり、回答者の属性に偏りがあるため、全体集計ではなく、性・年齢別の結果を記載する。

1. 主なポイント

【分析結果の概要】

- 家族介護の今後の継続意向は、年代が下がるにつれて継続できるという割合は小さくなる。また、いずれの性・年齢帯においても何らかの支援が整えば継続可能と考えている方が 4 割強存在する。被介護者の要介護・要支援度別では、要介護2以上の場合、「このまま続けていくことができる」割合はやや小さくなる。
- 家族介護を継続するための支援としては、30代以下及び40～50代では「介護期間の現金給付」が大きく、60代以上では「緊急時の短期入所(ショートステイ)制度」が大きい。介護の対象の方の要介護度が2以上の場合において、「緊急時の短期入所(ショートステイ)制度」へのニーズは特に大きくなる。育児を行っているか否か、及び実施している介護内容によって必要と考える支援内容にはやや差が生じている。
- 認知症がある場合、介護負担は大きい傾向がみられ、特に30代以下の女性においてはその傾向が顕著である。今後の家族介護の継続意向についても認知症がある場合は、継続できるという割合が小さい傾向があり、特に30代以下の男性でこの傾向が顕著である。
- 介護経験の今後の活用意向については、「分からない/特に考えていない」の割合が大きいが、「介護経験を活かして介護の仕事に就きたい」、「介護経験を活かしてボランティアとして活動したい」と考える割合も全体で1割程度存在する。特に30代以下の男性においてこの傾向が顕著である。

※サンプル数が少ない分類があるため解釈には留意いただく必要がある。

【結果を踏まえた考察】

- 年齢が下がると家族介護の継続意向がやや下がることを考慮すると、今後は家族介護で対応している部分もフォーマルなサービスに移っていく可能性が考えられる。支援があれば継続できると考える方が4割ほど存在することから、適切な支援によってある程度対応できる可能性がある。特に緊急時のショートステイの整備などは、家族介護の継続支援の一つの材料となる可能性がある。
- 認知症の方の介護は負担感が大きく、継続できると考える割合が小さくなっている。今後、認知症の患者数が増えることが予測されており、フォーマルな支援を適切に組み合わせて対応していくことがこれまで以上に重要となるであろう。
- 家族介護を経験した方の中には、少数派ではあるが、その経験を活かしたいと考える方がみられる。そのような層に向けて介護業界での就業をより積極的に働きかけることが重要である。

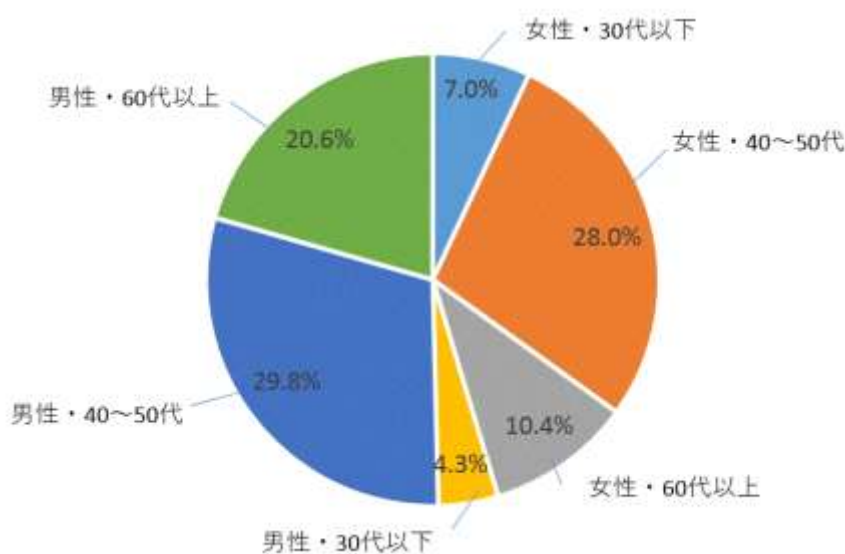
2. 集計・分析結果

(1) 回答者の基本属性

① 性・年齢

回答者の性・年齢の構成は以下の図表のとおりであり、男性・40～50代が29.8%で最も割合が大きく、次いで、女性・40～50代が28.0%と多い。

図表 145 回答者の性・年齢の構成



② 現在の職業

現在の職業については、女性はいずれの年代においても「専業主婦(主夫)」の割合が最も大きく、次いで「パート・アルバイト」の割合が大きい。男性は50代以下では会社員または自営業、60代以上では無職の割合が大きい。

図表 146 現在の職業

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
女性・30代以下	72	2.8%	0.0%	12.5%	6.9%	8.3%	2.8%	0.0%	22.2%	22.2%	1.4%	4.2%	16.7%
女性・40～50代	288	2.4%	0.0%	14.2%	1.7%	7.6%	5.2%	2.8%	31.3%	22.6%	0.0%	4.5%	7.6%
女性・60代以上	107	0.9%	0.0%	5.6%	0.9%	0.9%	3.7%	2.8%	57.0%	12.1%	0.0%	1.9%	14.0%
男性・30代以下	44	0.0%	2.3%	15.9%	18.2%	18.2%	15.9%	4.5%	2.3%	4.5%	0.0%	6.8%	11.4%
男性・40～50代	307	6.8%	5.5%	20.2%	11.7%	19.5%	12.7%	3.9%	0.7%	5.2%	0.0%	3.9%	9.8%
男性・60代以上	212	6.1%	5.7%	6.6%	6.1%	5.7%	11.3%	0.9%	1.9%	5.7%	0.0%	8.5%	41.5%

③ 就業形態

就業形態としては、女性はいずれの年代でも「働いていない」の割合が最も大きい。男性は50代以下では「フルタイムで働いている」の割合が大きい。

図表 147 就業形態

	n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
女性・30代以下	72	31.9%	19.4%	48.6%
女性・40～50代	288	30.6%	28.5%	41.0%
女性・60代以上	107	10.3%	21.5%	68.2%
男性・30代以下	44	68.2%	13.6%	18.2%
男性・40～50代	307	76.5%	9.1%	14.3%
男性・60代以上	212	34.4%	12.7%	52.8%

④ 配偶関係

配偶関係は、30代以下では男女ともに未婚率が50%超と大きい。

図表 148 配偶関係

	n	既婚	未婚	離死別
女性・30代以下	72	45.8%	52.8%	1.4%
女性・40～50代	288	59.7%	28.5%	11.8%
女性・60代以上	107	71.0%	15.9%	13.1%
男性・30代以下	44	31.8%	68.2%	0.0%
男性・40～50代	307	46.9%	47.2%	5.9%
男性・60代以上	212	77.4%	13.7%	9.0%

⑤ 生計維持者

回答者の生計維持者の状況は、いずれの年代においても女性は「自分(本人)以外」、男性は「自分(本人)」の割合がそれぞれ最も大きくなっている。

図表 149 生計維持者の状況

	n	自分(本人)	自分(本人)以外	生活費は折半等
女性・30代以下	72	22.2%	65.3%	12.5%
女性・40～50代	288	22.9%	67.7%	9.4%
女性・60代以上	107	15.0%	66.4%	18.7%
男性・30代以下	44	56.8%	27.3%	15.9%
男性・40～50代	307	77.5%	14.7%	7.8%
男性・60代以上	212	81.1%	10.4%	8.5%

⑥ 暮らし向きの認識

暮らし向きの認識については、30代以下は他の年代と比較して、「大変苦しい」の割合が大きい。

図表 150 暮らし向きの意識

	n	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
女性・30代以下	72	34.7%	31.9%	26.4%	4.2%	2.8%
女性・40～50代	288	22.2%	33.3%	34.7%	7.3%	2.4%
女性・60代以上	107	12.1%	25.2%	55.1%	6.5%	0.9%
男性・30代以下	44	38.6%	25.0%	31.8%	2.3%	2.3%
男性・40～50代	307	19.5%	37.5%	36.5%	5.5%	1.0%
男性・60代以上	212	8.5%	33.5%	47.2%	6.6%	4.2%

(2) 介護を受けている方の基本属性

① 続柄

回答者と介護を受けている方の続柄をみると、いずれの性・年齢においても「実父・実母」の割合が最も大きくなっている。また、「女性・30代以下」及び「男性・30代以下」では他の類型と比較して「祖父母」の割合が大きくなっている。

図表 151 回答者と介護を受けている方の続柄

	n	実父・実母	義父・義母	祖父母	配偶者(夫または妻)	兄弟・姉妹	子ども・子どもの配偶者	その他
女性・30代以下	72	41.7%	13.9%	33.3%	2.8%	0.0%	4.2%	4.2%
女性・40～50代	288	68.8%	14.2%	4.5%	5.2%	1.0%	4.9%	1.4%
女性・60代以上	107	67.3%	15.9%	0.0%	15.9%	0.0%	0.9%	0.0%
男性・30代以下	44	40.9%	2.3%	40.9%	2.3%	6.8%	4.5%	2.3%
男性・40～50代	307	83.7%	6.2%	4.2%	1.3%	1.0%	2.3%	1.3%
男性・60代以上	212	69.3%	6.1%	0.0%	18.4%	1.4%	4.2%	0.5%

② 要介護度

介護を受けている方の要支援・要介護度をみると、いずれの類型においても「要介護度2以上」の割合が5割超と大きい。また、60代以上の回答者では、対象の方の要介護度がやや高い傾向がある(介護の対象の方がさらに高齢であることの影響があると考えられる)。

図表 152 回答者が介護を行っている方の要支援・要介護度

	n	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援・要介護認定は受けていない	要介護度2以上
女性・30代以下	72	6.9%	5.6%	13.9%	26.4%	22.2%	2.8%	9.7%	12.5%	61.1%
女性・40～50代	288	6.6%	11.8%	16.7%	20.1%	13.5%	11.1%	9.0%	11.1%	53.8%
女性・60代以上	107	9.3%	7.5%	15.0%	28.0%	10.3%	15.0%	8.4%	6.5%	61.7%
男性・30代以下	44	6.8%	9.1%	15.9%	25.0%	20.5%	11.4%	0.0%	11.4%	56.8%
男性・40～50代	307	8.1%	8.5%	16.3%	24.4%	16.6%	9.4%	9.8%	6.8%	60.3%
男性・60代以上	212	5.7%	14.2%	14.6%	26.4%	13.2%	12.7%	9.9%	3.3%	62.3%

(3) 家族介護の今後の継続意向及び必要な支援

① 家族介護の今後の継続意向

家族介護の今後の継続意向をみると、年代が下がるにつれて「このまま続けていくことができる」の割合が小さくなる。また、いずれの性・年代においても、何らかの支援が整えば継続可能と考えている方が4割強存在する。被介護者の要介護・要支援度別では、要介護2以上の場合、「このまま続けていくことができる」割合はやや小さくなっている。

図表 153 家族介護の今後の継続意向(性・年齢別)

	n	このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい
女性・30代以下	72	30.6%	47.2%	13.9%	8.3%
女性・40～50代	288	36.5%	49.0%	9.4%	5.2%
女性・60代以上	107	43.9%	43.9%	6.5%	5.6%
男性・30代以下	44	34.1%	40.9%	15.9%	9.1%
男性・40～50代	307	38.8%	47.9%	10.4%	2.9%
男性・60代以上	212	51.4%	41.0%	7.1%	0.5%

図表 154 家族介護の今後の継続意向(要介護・要支援度・性・年齢別)

要介護・要支援度	回答者の性・年齢	n	このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい
2 要介護	女性・30代以下	44	27.3%	43.2%	15.9%	13.6%
	女性・40～50代	155	31.0%	49.7%	12.3%	7.1%
	女性・60代以上	66	36.4%	47.0%	7.6%	9.1%
	男性・30代以下	25	32.0%	40.0%	20.0%	8.0%
	男性・40～50代	185	35.7%	50.3%	13.0%	1.1%
	男性・60代以上	132	52.3%	40.9%	6.1%	0.8%
+ 要介護1	女性・30代以下	19	36.8%	47.4%	15.8%	0.0%
	女性・40～50代	101	44.6%	47.5%	5.9%	2.0%
	女性・60代以上	34	52.9%	44.1%	2.9%	0.0%
	男性・30代以下	14	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%
	男性・40～50代	101	42.6%	44.6%	6.9%	5.9%
認定なし	男性・60代以上	73	53.4%	38.4%	8.2%	0.0%
	女性・30代以下	9	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	女性・40～50代	32	37.5%	50.0%	6.3%	6.3%
	女性・60代以上	7	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%
	男性・30代以下	5	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	男性・40～50代	21	47.6%	42.9%	4.8%	4.8%
	男性・60代以上	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%

② 家族介護を継続するために必要な支援

家族介護を継続するために最も必要な支援としては、30代以下及び40～50代では「介護期間の現金給付」が大きく、60代以上では「緊急時の短期入所(ショートステイ)制度」へのニーズが大きい。

「緊急時の短期入所(ショートステイ)制度」は、被介護者の要介護度が2以上の場合において顕著に期待されている。

図表 155 家族介護を継続するために必要な支援(性・年齢別)

	n	相談機能の充実	市内会・自治会等の地域の支合い活動の充実	家族介護教室	福祉センターの充実	保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化	介護期間の現金給付	介護期間の年金保険料の補助	緊急時の短期入所(ショートステイ)制度	家族介護者のヘルパー研修受講の支援	家族介護者のリフレッシュ旅行	介護者の悩みや患病を聞いてくれる集まり(例:認知症の方の家族会、介護者の会等)	日常の家事を援助してくれるサービスや制度	その他	特になし
女性・30代以下	34	0.0%	2.9%	0.0%	5.9%	11.8%	32.4%	11.8%	11.8%	0.0%	8.8%	0.0%	5.9%	0.0%	8.8%
女性・40～50代	141	5.0%	0.7%	2.8%	3.5%	2.1%	31.2%	13.5%	19.9%	0.0%	5.0%	2.8%	8.5%	1.4%	3.5%
女性・60代以上	47	6.4%	2.1%	0.0%	6.4%	4.3%	17.0%	4.3%	23.4%	6.4%	2.1%	2.1%	14.9%	2.1%	8.5%
男性・30代以下	18	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	33.3%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%
男性・40～50代	147	5.4%	1.4%	0.7%	10.2%	6.8%	22.4%	16.3%	8.8%	2.7%	2.7%	4.1%	11.6%	0.0%	6.8%
男性・60代以上	87	2.3%	2.3%	0.0%	1.1%	5.7%	17.2%	9.2%	29.9%	1.1%	5.7%	4.6%	16.1%	1.1%	3.4%

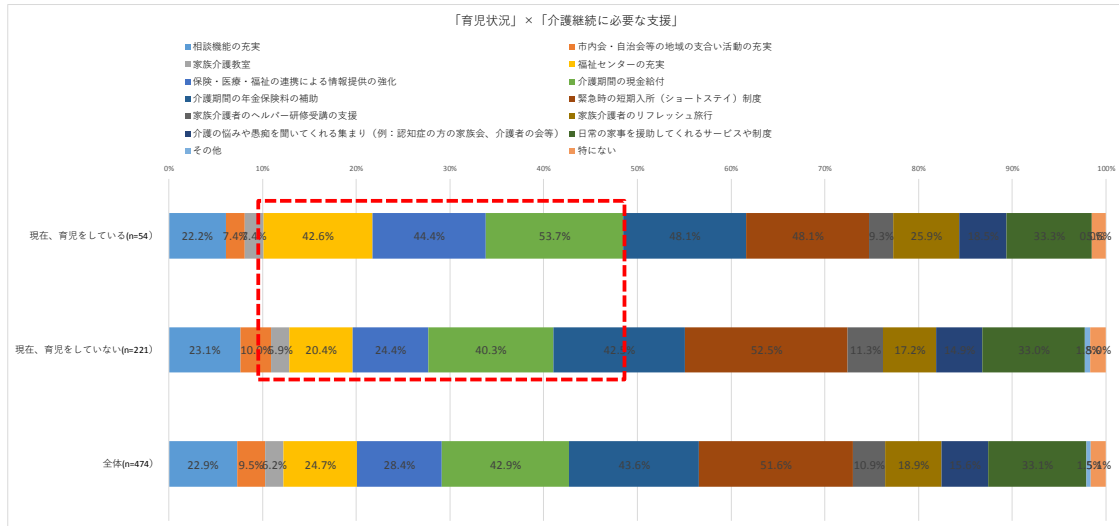
図表 156 家族介護を継続するために必要な支援(被介護者の要介護度・性・年齢別)

	n	相談機能の充実	市内会・自治会等の地域の支合い活動の充実	家族介護教室	福祉センターの充実	保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化	介護期間の現金給付	介護期間の年金保険料の補助	緊急時の短期入所(ショートステイ)制度	家族介護者のヘルパー研修受講の支援	家族介護者のリフレッシュ旅行	介護者の悩みや患病を聞いてくれる集まり(例:認知症の方の家族会、介護者の会等)	日常の家事を援助してくれるサービスや制度	その他	特になし
2 要介護	女性・30代以下	19	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	8.0%	1.0%	2.0%	0.0%	1.0%	2.0%	0.0%	2.0%
	女性・40～50代	77	4.0%	0.0%	3.0%	2.0%	2.0%	26.0%	11.0%	16.0%	0.0%	2.0%	1.0%	7.0%	1.0%
	女性・60代以上	31	2.0%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	4.0%	1.0%	8.0%	2.0%	1.0%	1.0%	4.0%	1.0%
	男性・30代以下	10	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	男性・40～50代	93	5.0%	0.0%	1.0%	7.0%	7.0%	22.0%	12.0%	10.0%	2.0%	3.0%	1.0%	14.0%	0.0%
+ 要介護1	女性・30代以下	9	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	2.0%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性・40～50代	48	2.0%	1.0%	1.0%	3.0%	0.0%	13.0%	8.0%	7.0%	0.0%	3.0%	3.0%	4.0%	1.0%
	女性・60代以上	15	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	4.0%	1.0%	3.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
	男性・30代以下	6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	4.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性・40～50代	45	2.0%	2.0%	0.0%	6.0%	3.0%	8.0%	10.0%	3.0%	2.0%	0.0%	5.0%	3.0%	0.0%
認定なし	女性・30代以下	28	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	6.0%	3.0%	9.0%	0.0%	1.0%	2.0%	4.0%	1.0%
	女性・40～50代	6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	女性・60代以上	16	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	男性・30代以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
	男性・40～50代	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・60代以上	9	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性・60代以上	5	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	

< 育児の実施有無別の家族介護を継続するために必要な支援 >

育児の実施状況別に、介護継続に必要な支援の内容をみると、「現在、育児をしている」方は「福祉センターの充実」、「保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化」、「介護期間の現金給付」を希望する割合が大きい。

図表 157 家族介護を継続するために必要な支援(育児状況別)



《注》今後の介護の継続見込みにおいて、「何らかの支援が整えば続けていくことができる」と回答した474名の方が対象
「介護継続に必要な支援」は複数回答可。 育児状況に関しては、「子供あり」の方のみを集計対象としている。

< 介護内容別の実施有無別の家族介護を継続するために必要な支援 >

介護内容別で介護継続に必要な支援の内容をみると、「夜間の排せ」、「医療面での対応」が介護内容に含まれる場合、金銭的な支援を求める割合がやや大きい。加えて、「医療面での対応」が含まれる場合には、相談・支え合い・情報提供の充実を希望する割合が大きい傾向がみられた。

図表 158 家族介護を継続するために必要な支援(介護内容別)

介護内容	n	介護を続けていくために必要な支援															
		相談機能の充実	市内会・自治会等の地域の支え合い活動の充実	家族介護教室	福祉センターの充実	保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化	介護期間の現金給付	介護期間の現金給付	緊急時の短期入所(ショートステイ)制度	家族介護者のリフレッシュ旅行	シニア族介護者	い介護の悩みや愚痴を聞	く日れ常のサ	その他	特になし		
日中の排せ	125	23.2%	12.0%	12.0%	24.0%	35.0%	55.2%	46.4%	56.8%	14.4%	24.0%	20.8%	35.0%	0.8%	3.2%		
夜間の排せ	98	24.5%	15.3%	16.3%	26.5%	36.7%	57.1%	53.1%	52.2%	15.3%	28.6%	24.5%	37.8%	1.0%	3.1%		
食事の介助(食べる時)	211	25.1%	14.7%	10.0%	29.4%	33.6%	53.6%	44.5%	51.7%	18.5%	18.0%	21.3%	32.2%	0.5%	2.8%		
入浴・洗身	133	26.3%	15.8%	10.5%	33.8%	39.1%	47.4%	43.6%	57.1%	18.8%	21.1%	21.1%	35.3%	0.8%	5.3%		
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	187	29.4%	15.5%	12.3%	29.9%	39.0%	48.7%	46.5%	58.3%	18.7%	23.0%	26.2%	35.8%	1.6%	2.7%		
衣服の着脱	218	28.4%	13.8%	10.1%	28.0%	34.9%	51.8%	52.8%	56.0%	17.0%	23.9%	21.1%	33.9%	1.4%	2.3%		
屋内の移乗・移動	212	26.4%	13.2%	8.0%	30.7%	34.9%	47.2%	54.2%	54.2%	15.6%	20.3%	20.3%	36.8%	1.4%	4.7%		
外出の付き添い、送迎等	355	23.4%	11.5%	8.5%	27.3%	31.5%	48.2%	44.8%	53.5%	13.5%	18.3%	20.3%	35.5%	1.4%	5.1%		
認知症への対応	226	26.5%	11.9%	9.7%	25.7%	34.5%	48.7%	46.9%	54.9%	14.2%	20.4%	23.5%	34.5%	2.2%	4.0%		
認知症状への対応	148	22.3%	12.8%	7.4%	23.6%	29.7%	50.0%	46.6%	55.4%	14.2%	18.9%	21.6%	38.5%	2.7%	4.7%		
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	58	37.3%	23.7%	10.3%	33.9%	44.1%	62.7%	50.8%	52.2%	23.7%	23.7%	27.1%	42.4%	0.0%	3.4%		
食事の準備(調理等)	303	23.8%	12.2%	7.6%	25.7%	30.7%	54.1%	46.2%	49.5%	13.5%	19.5%	19.5%	33.3%	1.3%	5.0%		
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	336	24.4%	11.3%	8.0%	24.1%	29.8%	49.4%	45.5%	51.5%	13.7%	17.6%	20.2%	36.3%	1.5%	4.2%		
金融管理や生活面に必要な手続き	322	23.6%	12.4%	9.0%	25.8%	30.7%	50.6%	44.7%	50.0%	13.4%	17.7%	21.7%	37.3%	1.9%	4.7%		
その他	8	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
全体	474	22.4%	11.0%	7.8%	25.7%	30.0%	44.4%	42.0%	46.6%	13.3%	17.5%	19.0%	32.3%	1.5%	5.7%		

相談機能、支え合い活動、福祉センターの充実、情報提供の推進を求める割合が大きい
金銭的な支援を求める割合が大きい

《注》今後の介護の継続見込みにおいて、「何らかの支援が整えば続けていくことができる」と回答した474名の方が対象
「介護継続に必要な支援」は複数回答可

(4) 認知症ケアの負担感

原因疾患における認知症の有無での介護の負担感を比較すると、特に「女性・30代以下」において顕著な傾向がみられる。女性・30代以下では、認知症なしの場合には「かなり」または「非常に大きな」負担であるの割合の合算値が25.5%であるのに対して、認知症ありの場合はその割合が58.8%となっている。全般に、認知症がある場合には介護の負担感が大きくなる傾向がみられた。

図表 159 認知症の有無別でみた介護の負担感

		まったく負担ではない	多少負担に思う	世間並みの負担だと思う	かなりの負担と思う	非常に大きな負担だと思う	かなり+非常に大きな負担
認知症なし	女性・30代以下	55	7.3%	40.0%	27.3%	12.7%	12.7%
	男性・30代以下	34	11.8%	29.4%	35.3%	8.8%	14.7%
	女性・40~50代	203	5.9%	30.0%	34.5%	18.2%	11.3%
	男性・40~50代	221	9.0%	26.2%	32.6%	20.8%	11.3%
	女性・60代以上	78	10.3%	23.1%	39.7%	15.4%	11.5%
	男性・60代以上	136	14.0%	25.0%	43.4%	14.7%	2.9%
認知症あり	女性・30代以下	17	5.9%	29.4%	5.9%	29.4%	29.4%
	男性・30代以下	10	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%
	女性・40~50代	85	2.4%	22.4%	43.5%	15.3%	16.5%
	男性・40~50代	86	7.0%	22.1%	40.7%	20.9%	9.3%
	女性・60代以上	29	10.3%	17.2%	27.6%	20.7%	24.1%
	男性・60代以上	76	6.6%	15.8%	43.4%	25.0%	9.2%

原因疾患における認知症の有無での家族介護の今後の継続意向を比較すると、「男性・30代以下」で特に傾向が顕著であった。認知症なしの場合には「できればもう続けたくない」または「すぐにやめたい」の割合が20.6%であるのに対して、サンプル数は少ないものの認知症ありの場合にはその割合が40.0%と大きくなる。全体に認知症があることにより、介護の継続がやや困難と感じている傾向がみられた。

図表 160 認知症の有無別でみた家族介護の今後の継続意向

		このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい	できれば+すぐにやめたい
認知症なし	女性・30代以下	55	36.4%	43.6%	14.5%	5.5%
	男性・30代以下	34	32.4%	47.1%	11.8%	8.8%
	女性・40~50代	203	39.9%	49.3%	6.9%	3.9%
	男性・40~50代	221	38.5%	46.6%	10.9%	4.1%
	女性・60代以上	78	44.9%	44.9%	5.1%	5.1%
	男性・60代以上	136	53.7%	41.2%	4.4%	0.7%
認知症あり	女性・30代以下	17	11.8%	58.8%	11.8%	17.6%
	男性・30代以下	10	40.0%	20.0%	30.0%	10.0%
	女性・40~50代	85	28.2%	48.2%	15.3%	8.2%
	男性・40~50代	86	39.5%	51.2%	9.3%	0.0%
	女性・60代以上	29	41.4%	41.4%	10.3%	6.9%
	男性・60代以上	76	47.4%	40.8%	11.8%	0.0%

(5) 介護経験の今後の活用意向

介護経験の今後の活用意向をみると、いずれの性・年齢においても「分からない/特に考えていない」の割合が最も大きい。また、「介護経験を活かして介護の仕事に就きたい」、「介護経験を活かしてボランティアとして活動したい」と考える割合は一定程度存在する。特に男性・30代以下において、「介護経験を活かして、介護の仕事に就きたい」が29.5%、「介護経験を活かして、ボランティアとして活動したい」が13.6%とその傾向が顕著である。

図表 161 介護経験の今後の活用意向

	n	介護経験を活かして、 介護の仕事に就きたい	介護経験を活かして、 ボランティアとして活動したい	その他	分からない/ 特に考えていない
女性・30代以下	72	5.6%	12.5%	5.6%	77.8%
女性・40～50代	288	6.9%	8.3%	2.8%	83.7%
女性・60代以上	107	2.8%	7.5%	1.9%	87.9%
男性・30代以下	44	29.5%	13.6%	0.0%	63.6%
男性・40～50代	307	8.5%	12.7%	1.3%	80.8%
男性・60代以上	212	2.4%	5.7%	0.5%	91.5%

第9章 調査結果のまとめと考察

1. 調査結果の整理

本調査の結果の整理として、介護人材等の働き方の実態及び意向等に関して、特にその実態を把握できた、明確にすることができたと考える内容を以下に示す。

【事業所・施設調査】

- サービス類型や雇用形態によって多少の差はあるが、全般的に多くの介護事業所・施設が人手不足と認識している。訪問介護員に関しては、特に「非正規」人材に不足を感じている傾向がみられる。
- 人材の定着率については多くの事業所・施設が比較的肯定的な自己評価をしている一方で、採用に関してはサービス類型や雇用形態によって多少の差はあるが、採用を行っている事業所・施設の7～8割程度が苦戦していると感じている。
- 中途採用時の際の要件については、訪問系以外は、資格は問わない割合が多く、また、訪問系を含めても就業経験や年齢は問わないという事業所・施設が多い。

【従事者調査】

- 業界入職以前の職歴をみると、どのサービス類型においても5割前後は職歴ありで他の業界からの転職者である。福祉系の学校の卒業者は比較的施設系への入職が多い。
- 常勤職員で6割程度、非常勤職員で4割程度が何らかのキャリア目標を考えており、具体的目標としては「ケアマネジャー」、「介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル（認知症ケア等）」が多い。ただし、このほかにも多様な目標が挙げられており、目標は一律ではない。
- 従事者は「できるだけ長く働き続ける予定」としている割合が全体としては多くなっている（常勤職員で4～5割）。介護福祉士資格保有者に限定した場合傾向がより顕著である（どのサービス類型でも5割以上）。
- 入職前後のイメージギャップについては、「イメージ通りだった」が多い（常勤職員では4割程度）。施設系では他の類型と比較して「思ったよりも悪かった」がやや大きくなる。入職3年未満の常勤職員では、「思ったよりも良かった」という回答が「思ったよりも悪かった」の回答よりも大きい。
- 常勤職員で利用者へのサポートの提供方法の希望としては「複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい」がどのサービス類型でも6～7割程度と多いが、実態として利用者の生活全般のサポートができていると認識している割合は大きい（「非常に出来ている」と「やや出来ている」を合わせて7～8割程度）。利用者の生活全般のサポートができていると感じている方が仕事の満足度がやや高い傾向がある。
- 今後の就業地域に関する意向（常勤職員のみ）は、いずれのサービス類型においても「現在の勤務地域」での就業を希望する割合が最も大きい（5割超）。「勤務地域に特にこだわりはない」との回答も2割前後あるが、「現在の勤務地域よりも都市部」や「現在の勤務地域よりも地方」という回答は5%未満である。

【事業所・施設調査及び従事者調査】

- 各種人材確保等の取り組みに関して、事業所・施設側は取り組みを行っていないという回答は少数で

あるものの、従事者は「行っていないと思う」という回答がある程度みられ、従事者が自身の所属する事業所・施設の取り組みを十分に認識できていない可能性がうかがえた。

- 職員の「確保」に向けた取り組みに対する従事者の効果認識としては求人条件が大きく、事業所・施設の認識とはギャップがある。「定着・離職防止」の取り組みについても、従事者は労働条件・労働環境に関するものを効果的と感じている一方、事業所・施設は大きな効果は認識していない。
- 就業決定の際の重視点として、事業所・施設の9割以上は「賃金水準」が重要と考えているが、従事者が重視した要素の上位は、「立地条件」(7割超)、「雇用の安定性」(6~7割程度)となっており、就業決定要因に関する認識についても、事業所・施設と従事者には認識のずれがみられる。

【潜在人材調査】

- 現在の職業は、「専業主婦(主夫)」が多い(介護業界で就業経験ありの場合で約34%、なしの場合で約25%)。特に女性の場合は専業主婦が多くなっており、次いでパート、アルバイトが多い。男性に限ると、50代以下では会社員が多く、60代以上は無職が多い。潜在人材のうち、全体の4割程度は現在就業していない状況にある。女性の方が現在働いていない割合が大きく、また、年齢が高い方が働いていない割合が大きい。
- 今後の就業意向については、全体の4割程度はすぐにあるいはいずれは介護業界で働きたいという意向がある。男女ともに30代以下では5割以上が少なくともいずれは働きたいとの意向を有しており、男性においては60代以上でも3割近くが就業の意向を有している。
- 入職促進施策に対する認識では、就業経験の有無によって、わずかに傾向がみられる。非常に効果があると感じる施策としては「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする」、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」が上位である。女性・30代は促進策に対する傾向が顕著であり、「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する」、「子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している」が大きい。

【学生調査】

- 属性としては女性が6割超、年齢は20代以下が8割超であるが、30代、40代も一定数在籍している。
- 進路としては、就職先が決まっているかによらず多くは高齢者介護の分野の予定・希望している。就業希望あるいは就業予定のサービス類型としては、施設・居住系のサービスが最も多く、いずれの課程でも半数以上となっている。また、法人種別では社会福祉法人を希望する割合がいずれの課程においても最も多い。
- 学生においても介護の仕事におけるキャリア目標について、8~9割程度が方向性を考えている。専門性の追求、現場で長く活動する方向で考えている割合が多い。すでに計画・方法を漠然とでも考えている割合は全体で5割以上である。
- 将来は高齢者介護分野での就業を希望あるいは検討している学生で、現在の居住地よりも都会・都市部で「働いてもよい」と「ぜひ働きたい」と考える割合は5割を超える。地方部についても「働いてもよい」と「ぜひ働きたい」を合わせると5割以上となる。

【インフォーマルケア調査】

- 家族介護の今後の継続意向は、年代が下がるにつれて継続できるという回答が少なくなる。また、何らかの支援が整えば継続可能と考えている方が4割強存在する。被介護者の要介護が重い場合は継続できるという割合は小さくなる。家族介護を継続するための支援としては、30代以下及び40～50代では「介護期間の現金給付」が大きく、60代以上では「緊急時の短期入所（ショートステイ）制度」への期待が大きい。被介護者の要介護度が2以上の場合は、「緊急時の短期入所（ショートステイ）制度」へのニーズが大きくなる。
- 認知症がある場合に介護負担は大きく、今後の家族介護の継続意向についても継続できるという割合が小さくなる。
- 介護経験を今後活用したいと考える割合も全体で1割程度存在する。

2. 考察・提言

本調査の結果の整理を踏まえ、調査結果に関する考察及び今後に向けた提言を示す。

安定雇用の実現に向けた官民が一体となった取り組みが必要

特に訪問介護員に関して、事業所・施設は「非正規職員」の不足感が強いと考えている。これは現在の仕組み上、人件費を固定化することがリスクであることが一因と考えられる。一方で、従事者側は雇用の安定性を比較的重視する傾向があり、この部分でミスマッチが生じている可能性がある。各法人の努力でカバーできる部分もあると考えられるが、抜本的な対応は個別には難しい面がある。行政も含め、潜在人材等も包含した人材の状況を考慮し、今後の方策を検討していくことが必要であろう。常勤職員を確保しやすいような経営面及び報酬面からの工夫が必要なものであり、思い切った構造転換を要する課題である。

構造を大きく変えるような検討と並行して、より着手しやすい範囲の取り組みを進めることも重要である。個別法人のみでの対応は難しいと考えるが、施設系サービスでの継続就業が困難となった際に、訪問介護への誘導を図ることなどは比較的取り組みやすいと想定できる。単に時間的な制約が少ないということをアピールするのではなく、訪問介護で形成できるキャリアを周知すること、長期目線でのキャリア形成支援を行うこと等も重要となる。この前提として、訪問介護事業者が事業所の取り組みを一層深め、その内容を広く発信していくことが必須であり、行政からのサポートも期待される。

事業所・施設と従事者の人材確保・定着策に関する認識ギャップを縮小するための方策が重要

介護人材の確保・定着策及びその効果に関する事業所・施設側と従事者側の認識には一定のギャップが存在しているとみられる。また、事業所・施設の取り組みが十分に従事者に伝わっていない可能性も想定される。より密接なコミュニケーションと双方の理解促進によって認識ギャップを解消していくことが重要となる。事業所・施設側が従事者の希望にすべて応じるべきというものではないが、より効果的な取り組みの検討・推進のためにも認識ギャップの縮小は重要となる。

従事者のキャリア目標等に応じた対応を進めることが重要

本調査から、常勤で約 6 割、非常勤でも約 4 割が何らかのキャリア目標を有しており、その内容は多様であることが確認できた。現在、多くの事業所・施設においてキャリアパスが設定されているが、キャリアパスの多様性・柔軟性についても考慮し、継続的に見直しを進めることが重要となる。自らの事業所・施設内だけでの対応が難しい場合は、地域や親しい法人の協力も得ながら対応を検討することも一案であろう。キャリア目標が明確ではない場合や、現状維持が目標というケースも少なくないため、こういった希望に対しても対応していくことが必要である。

将来の意向等も考慮し、役割分担・業務分担等の設計、研修等の支援、配置転換を進めるなど、多様な人材を意識して検討を進めることが重要である。

人材確保には地域ごとの実態把握に基づく対応が重要

介護従事者の多くは現在の就業地域での勤務を希望しており、他地域で働いても良いと考える割合は大きくはない。一方、学生では、都会・都市部、あるいは地方部で働いてもよいとする割合が4割以上であり、居住地が変わることへの抵抗感が高くない層もいる。地域間で人材の需給には差が生じており、今後も地域差は残ると考えると、ほかの地域からの人材誘引は重要な課題である。ほかの地域からの人材確保においては、学生は有望な候補の一つと考えられる。

新卒学生を確保できるか否かは近隣に養成施設が存在するかという点も大きく影響するものであり、地域の状況による部分も大きいと考えられる。現状及び今後のそれぞれの地域の実情を精緻に把握し、検討を進めることが重要である。地域の実態把握に際しては、地域によっては市町村単位より詳細な区分で検討することが必要となる可能性もあり、地域による個別の対応が必要と考える。

適正な業界イメージの醸成が重要

入職前後の業界に対するイメージギャップについては、イメージ通りだったというものが多く、イメージ通りだった場合とイメージより良かった場合においては、介護業界での継続就業意向が大きい。適切なイメージを持って業界で就業してもらうことが重要であり、入職前に実務における大変さや難しさも含めてイメージを醸成することが重要となる。

業務・役割設計のさらなる模索が必要

実態としては、生活全般のサポートに関わっていると認識している回答があった場合、仕事の満足度が高いという調査結果であった。本人の希望との兼ね合いもあるが、対応する利用者の生活全般をサポートするといった経験も積極的に積ませることが重要と考える。ある程度分担を進めることは効率や業務負担の観点から重要な面もあるが、人材の育成・確保の観点から一貫した流れを経験できるような育成プログラムも検討すべきであろう。ただし、前述のように、将来のキャリア意向には個人差があることから、個人の意向も踏まえ、役割分担を考える必要がある。

潜在人材への積極的なリーチ策の検討・具体的推進が必要

本調査に回答された潜在人材のうち、4割程度で介護業界での就業意向があるという結果となっており、積極的に対応を進めるべき対象と考える。業界経験がある場合は、特に結婚・出産・子育てなどの理由で離職した女性が比較的多いと考えられ、子育てサポートなどが就業を後押しできる可能性がある。また、60代以上の男性もある程度就業意向があり、高齢者でも働きやすい環境の整備、労働条件設計などにより就業につながるよう取り組みを検討・推進すべきである。

なお、本調査はインターネット調査による限定的なものであり、今後、より大規模・網羅的な実態把握を進めることも期待したい。

介護福祉士養成施設学生向けのキャリアプラン支援が重要

介護福祉士養成施設の学生は、前向きにキャリア目標を検討しているケースが多く、その具体化や実現に向けたサポートも重要と考えられる。特に長く働くことを前提とした場合、中長期的な計画が必要となるが、現状、それら検討することには一定の努力を要すると考えられる。様々な状況を考慮し、生活に係る変化等があっても介護業界で長く働き続けることができるようなモデルケース、キャリアプランを作り、示していくようなことも一案であろう。多様な選択肢があることを業界入職前から周知していくことは業界イメージの適切な醸成にも資すると考えられる。

今後も介護人材の確保は難しい状況が続くと思われるが、本調査により明らかになったような、介護業界を取り巻く人材の意向や考え方も考慮し、的確なコミュニケーションを図りつつ、多様な人材それぞれに効果的な対応が進められることを期待する。

【参考資料1 調査票】

(1)事業所・施設調査

(2)介護従事者調査

(3)潜在介護人材調査

(4)介護福祉士養成施設の学生向け調査

(5)インフォーマルケア調査

(1)事業所・施設調査

I 事業所・施設の概況について

問1-1 事業所・施設の開設年および回答担当者のご連絡先をご回答ください。(平成30年4月4日現在)

① 事業所・施設開設年	西暦	年	(介護事業の開帳年度 西暦 年)
② 連絡先	回答担当者ご氏名		
	電話番号		
	メールアドレス		

※ご連絡先につきましては、回答内容の正確性を確保したい場合に利用させていただきます。

問1-2 事業所・施設を運営している法人について、展開事業所・施設数、展開エリア(運営している事業所・施設の所在地)をご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

① 展開事業所・施設数	01 1事業所・施設のみ
② 展開エリア	01 一つの市区町村にのみ事業所・施設を展開 02 複数の市区町村に事業所・施設を展開(同一都道府県内のみ) 03 2つ以上の都道府県にまたがって事業所・施設を展開

問1-3 事業所・施設に勤務する職員の数(人数)および介護職員として要介護の方のケアに就業している人数(人数)を事業所・施設別に以下の枠組みに沿ってご回答ください。(平成30年1月1日現在)

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。雇の把握が難しい場合は概数で構いません。

	合計	うち、介護職員として要介護の方のケアに就業している人数
職員数全体	名	名
うち、正職員数	名	名
うち、非正規職員数	名	名
非正規	名	名

問1-4 介護職員として要介護の方のケアに就業している職員の年齢区分別の人数を以下の枠組みに沿ってご回答ください。(平成30年1月1日現在)

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。雇の把握が難しい場合は概数で構いません。

	年齢区分					
	10代	20代	30代	40代	50代	60代
介護職員として要介護の方のケアに就業している職員	名	名	名	名	名	名

介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等に関する調査

事業所・施設調査票

厚生労働省老人保健健康増進等事業 (老健局 社会・援護局)

※ご回答される事業所・施設の実務責任者の皆さまへ

○ 本調査研究は、今後の介護人材確保施策の検討や業務設計の観点向上等に活用することを想定しており、介護従事者及び介護サービス事業者・施設を対象に、現在の働き方やキャリアに関する考え、労働分野に関心を持った動機、人材確保・定着に向けた取組の実施状況や効果認識等、幅広くその実態を把握することを予定しています。多種な団体等から多くの類似調査の協力依頼があること存じますが、今後の介護従事者向けの施策や業務設計等の有用な基礎資料とさせていただきますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 本調査のテーマは、個別の介護事業所・施設が選択される形で集計を行うことではありません。

○ 本調査票は、事業所・施設の実務責任者の方がご回答ください。

○ ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。

○ ご記入は総業または業・書のフォーマットでお願いします。

○ 本調査票は、ご記入後必ず封筒に入れて郵送いたします。平成30年1月31日(水)までに介護従事者調査票と併せてご返送ください。

○ この調査は株式会社ケー・ビー・エイリサーチセンター(東京都港区三軒茶屋)業務委託しています。ご不明点の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：株式会社 ケー・ビー・エイリサーチセンター
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-13-4 KDX日本橋213ビル6階
担当：久太郎(オキナ)、和泉(イズミ)
電話番号：0120-966-326 (土日祝祭日を除く平日 10:00～12:00 13:00～17:00)

II 採用・離職の状況について

問II-1 介護職として要介護の方のケアに実際に従事している職員の雇用形態別の過不足感についてご回答ください。(正規・非正規・派遣のそれぞれ、あてはまるもの一つに○)

	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員はいない
訪問介護員	01	02	03	04	05	06
訪問介護員	01	02	03	04	05	06
介護職員	01	02	03	04	05	06
介護職員	01	02	03	04	05	06

問II-2 事業所・施設が所在する地域において、介護人材の確保が困難になっている要因として想定されるものの影響度に対する認識について、ご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	介護人材の確保が困難になっている要因として、					まったく影響はない/あてはまらない
	非常に影響がある	多少影響がある	あまり影響はない	まったく影響はない	あてはまらない	
地域の労働人口が減少しているため	01	02	03	04	05	06
地域内の労働力が他の地域(近隣都市部等)に流出しているため	01	02	03	04	05	06
地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため	01	02	03	04	05	06
新設の事業所・施設(他の法人)への転職者が増加しているため	01	02	03	04	05	06
介護業界以外への転職者が増加しているため	01	02	03	04	05	06
事業所・施設の立地条件がよくないため	01	02	03	04	05	06
事業所・施設のPR不足のため	01	02	03	04	05	06
地域での評判がよくない、良質な人間関係が作れていないため	01	02	03	04	05	06
運営体制、職員育成体制に課題があるため	01	02	03	04	05	06
希望する人材要件に合致する人材が不足しているため	01	02	03	04	05	06
介護業界についてのマイナスイメージ	01	02	03	04	05	06
定員確保で養成校からの採用が困難	01	02	03	04	05	06
シフト勤務や夜勤等の不規則勤務を敬遠(日勤増設を優先)	01	02	03	04	05	06
介護度の低い利用者が多い事業所・施設を優先傾向	01	02	03	04	05	06

問I-5 事業所・施設の要介護度別の利用者数をご回答ください。(平成30年1月1日現在)
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。値の把握が難しい場合は概数で構いません。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名	名

問I-6 国民健康保険団体連合会(国保連)に請求した、事業所・施設(平成29年12月の事業所・施設全体の加算減算等を含めた1ヶ月あたりの総単位数)をご回答ください。売り上げの額ではなく、総単位数をご回答ください。

*総単位数：介護給付費請求書の保険請求欄のサービス費用項目の単位数・点数の合計

億
 千
 万
 千
 万
 千
 万
 千
 万
 千
 万
 千
 万
 単位/月

総単位数のご回答が難しい場合には、右のチェックボックスに✓を記入してください

問II-5 事業所・施設における正規職員の採用の方法と試験等の内容をご回答ください。
(あてはまるもの全てに○)

【採用の方法】

01 採用は法人本部や地域の統括本部で行う	02 採用は事業所・施設ごとに行う
03 その他(具体的に:)	

問II-6 事業所・施設における高齢者、障がい者、外国人の活用への取組状況(雇用形態は問わない)についてご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、今後取り組みたい	取り組んでいないが、今後も取り組む予定はない
高齢者(60歳以上)の活用	01	02	03
障がい者の活用	01	02	03
外国人の活用	01	02	03

問II-7 事業所・施設における中途採用に際しての条件についてご回答ください。
(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

就業経験	01 介護業界での就業経験者に限定	02 介護業界での就業経験者を優先
	03 介護業界での就業経験は問わない	
資格	01 資格保有者に限定	02 資格は問わない
年齢(上限)	01 概ね45歳未満	02 概ね60歳未満
時間制約	01 フルタイム勤務できる人に限定	02 時間制約がある人でもよい
夜勤の可否	01 夜勤ができる人に限定	02 夜勤の可否は問わない

問II-8 事業所・施設への応募者が重視して希望されるものについて、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	事業所・施設への応募時に		
	非常に重視したと思う	ある程度重視したと思う	あまり重視していなかったと思う
キャリアアップの機会	01	02	03
賃金水準	01	02	03
労働時間・休日等の労働条件	01	02	03
人事評価・処遇のあり方	01	02	03
立地条件(通勤利便性)	01	02	03
人間関係・雰囲気	01	02	03
雇用の安定性	01	02	03
福利厚生	01	02	03
教育訓練・能力開発のあり方	01	02	03
知識や経験の活用可能性	01	02	03
周囲(家族等)からの評判	01	02	03
事業所・施設の理念・方針	01	02	03

問II-3 事業所・施設における、直近1年間の職員の雇用形態別の採用活動の状況に対する認識についてご回答ください。なお、正規職員に関しては、新卒採用・中途採用のそれぞれについてご回答ください。
(正規・非正規・派遣のそれぞれ、あてはまるもの一つに○)

	採用活動は			
	非正規に順調	中途採用	新卒採用	採用していない
訪問介護員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04
介護職員	01	02	03	04

問II-4 事業所・施設において、採用ルートおよび採用に関する情報発信ルートとして利用されているルート・方法とそれぞれの効果に関する認識についてご回答ください。正規(新卒・中途)・非正規のそれぞれについて、活用しているもの効果があるものを以下の選択肢から選び、番号を回答記入欄に記入してください。
(あてはまるもの全てをご記入ください)

【選択肢】

01 ハローワーク	02 福祉人材センター	03 新聞や雑誌等の求人広告・チラシ
04 求人情報誌	05 電車やバスの車内広告	06 転職フェア、自治体等が主催する合同説明会
07 人材紹介会社の紹介・推薦	08 学校の紹介・推薦	09 家族・友人・知人の紹介
10 法人・事業所・施設のHP	11 SNS(ブログ、Twitter等)	
12 法人・事業所・施設のHP以外のWEBサイト	13 その他	

【回答記入欄】

	採用ルートおよび採用に関する情報発信ルートとして活用しているもの	効果があるもの
正規職員		
新卒採用		
中途採用		
非正規職員		

「13 その他」を選択された場合、具体的な内容をご記入ください。

III 職員確保・定着・離職防止に関する取組の状況について

問Ⅲ-1 事業所・施設における、職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組や工夫の実施状況についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 取組・工夫を積極的にやっている ⇒問Ⅲ-2へ
- 02 取組・工夫はある程度は行っている ⇒問Ⅲ-2へ
- 03 特に取組・工夫は行っていない ⇒問Ⅲ-3へ

問Ⅲ-2 問Ⅲ-1で「0」取組・工夫を積極的にやっている」又は「02取組・工夫はある程度は行っている」と回答した場合、事業所・施設における職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組や工夫の具体的な内容および感じられる効果について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

PR方法	実施して効果がある	実施しており、職員の確保に		実施していない
		非常に効果がある	あまり効果がない	
事業所・施設やSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所の魅力をアピールする	01	02	03	04
事業所・施設の特徴を視覚化するパンフレットやチラシを作成している	01	02	03	04
インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入している	01	02	03	04
一般大学・高校にも訪問して求人情報を行っている	01	02	03	04
地域行事への参加や地域の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	01	02	03	04
福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	01	02	03	04
大学や専門学校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	01	02	03	04
地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	01	02	03	04
資金体系の見直しを行っている	01	02	03	04
時短勤務など、職員の勤務時間や時間差等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	01	02	03	04
賞金、労働時間などの求人条件を明確にしている	01	02	03	04
職員による紹介制度を導入している	01	02	03	04
未経験者・新卒格者の採用も積極的に行っている	01	02	03	04
夜勤常駐職員を採用している	01	02	03	04
職場体験や見学を実施している	01	02	03	04
元職員への働きかけを行っている	01	02	03	04
採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	01	02	03	04

上記選択肢以外に、職員の確保のために実施している取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

問Ⅱ-9 事業所・施設における昨年1年間(平成29年1月1日～平成29年12月31日)の雇用形態別の採用人数を以下の枠組みに沿ってご回答ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

	合計	うち、介護職として要介護の方のケアに従事している人数
西暦1年間の採用者数全体	名	名
うち、正規職員数	名	名
うち、非正規職員数	名	名
常勤	名	名
非常勤	名	名

問Ⅱ-10 事業所・施設における昨年1年間(平成29年1月1日～平成29年12月31日)の離職者数を以下の枠組みに沿ってご回答ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

	合計	うち、定年・契約満了者数	うち、一年未満離職者数
西暦1年間の離職者数全体	名	名	名
うち、正規職員数	名	名	名
うち、非正規職員数	名	名	名
常勤	名	名	名
非常勤	名	名	名

問Ⅱ-11 事業所・施設における社員の定着率について、他の介護事業所・施設と比較してどのように評価しているかご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	定着率は十分に高い	他の介護事業所・施設と比較して		採用者はいない
		定着率はあまり高くない	定着率は低い	
正規職員	01	02	03	04
中途採用者	01	02	03	04
非正規職員	01	02	03	04

問Ⅱ-12 事業所・施設における、介護職員が離職する理由として想定されるものについて、影響が大きいと考えられるものを3つまで選択してください。(あてはまると思うもの上位3つに○)

- 01 キャリアアップ等の機会
- 02 体調不良
- 03 職員・同僚との人間関係
- 04 利用者やその家族との人間関係
- 05 結婚
- 06 賃金水準
- 07 出産・育児
- 08 親族の介護・看護
- 09 分らない

問III-3 事業所・施設において、職員の確保・継続防止に向けた独自の取組や工夫を行う中で感じている課題や必要としている支援があれば、その具体的な内容を下記に入ってください。

問III-4 事業所・施設の職員向けの福利厚生の取組として、実施しているものについてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

- 01 研修の充実・補助をしている
- 02 退職共済への加入
- 03 法人独自の退職金の支給
- 04 退職者後援支援
- 05 単身寮
- 06 事業所内保育所を設置
- 07 保育費用補助
- 08 社宅
- 09 健康管理・レクリエーション奨励
- 10 その他（具体的に ）

問III-5 事業所・施設の職員向けの資格取得支援の取組として、実施しているものについてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

- 01 実習日等の勤務調整
- 02 資格取得費用の助成
- 03 資格取得後の手当（月例賃金に上乘せ）
- 04 奨励金等の支給（資格取得祝い金等の一時金）
- 05 勤務としての研修参加（有給）
- 06 その他（具体的に ）

問III-6 事業所・施設における、ICTおよび機器・ロボット等の活用に関して、導入実績のあるものについてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）

- 01 利用者請求システム
- 02 介護・業務記録（バイタルチェック等）システム
- 03 勤怠管理システム
- 04 移乗介護機器（パワーアシスト装置型機器等）
- 05 移動支援機器（歩行支援機器（移動可能トイレ等）
- 06 排泄支援機器（移動可能トイレ等）
- 07 見守り機器（カメラ、センサー等）
- 08 入浴支援機器（出入り用リフト等）
- 09 事業所内グループウェア*
- 10 事業所間グループウェア
- 11 その他（具体的に ）

*グループウェア：組織の内部でのスケジュールやタスクなどの共有やコミュニケーションを目的としたソフトウェア。主な機器は、社内SNSや電子メール、スケジュール管理、ドキュメント共有、ワークフロー等。

【職員の定着・継続防止に向けた独自の取組や工夫に関して】

	実施しており、非常に効果がある	実施しており、効果がある		あまり効果がない		実施していない
		効果がある	効果がない	効果がない	効果がない	
配属・評価・処遇	01	02	03	04	05	
継続防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配属転換を行っている	01	02	03	04	05	
本別働隊に対して手当支給・褒賞・メッセージカードを手交を行っている	01	02	03	04	05	
人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	01	02	03	04	05	
昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	01	02	03	04	05	
従業員に対してキャリアパスを告知している	01	02	03	04	05	
新人の指導担当やアドバイザーを置いている	01	02	03	04	05	
経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	01	02	03	04	05	
能力開発	01	02	03	04	05	
「介護キャリアアップ制度」を活用し、職員の実践スキルの研習を行っている	01	02	03	04	05	
資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	01	02	03	04	05	
賃金水準を把握や業務改善などからみて新待遇のあるものとしている	01	02	03	04	05	
労働条件・労働環境	01	02	03	04	05	
勤務時間、時間外等の調整や福袋景品など、職員の希望を反映できる制度を導入している	01	02	03	04	05	
非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	01	02	03	04	05	
年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	01	02	03	04	05	
ICTや介護ロボットを導入している	01	02	03	04	05	
心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	01	02	03	04	05	
子育ての場でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	01	02	03	04	05	
悩み、不安などの相談窓口を設けている	01	02	03	04	05	
人間関係のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	01	02	03	04	05	
近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	01	02	03	04	05	
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	01	02	03	04	05	

上記選択肢以外に職員の定着・継続防止のために実施している取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

問Ⅲ-7 本調査の一環として、介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等に関して、事業所・施設を対象としたヒアリング調査を実施することを予定しております。ヒアリング調査へのご協力の可否をご回答ください。

ヒアリング調査へのご協力 (可能 ・ 不可)

問Ⅲ-8 最後に、どのようなことでも結構ですので、ご意見・ご提案があれば、ご記入ください。

--

※この欄の記載について報告書等への取録を (許可する ・ 許可しない)

介護従事者調査票の配布部隊把握のため、貴事業所・施設の従業員に配布した介護従事者調査票の部数をご記入ください。

部

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
添付の封筒に入れ、封をしておいただき、平成30年1月31日(水)までに
介護従事者調査票と併せてご返送ください。

(2) 介護従事者調査

介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等

に関する調査

介護従事者調査票

厚生労働省老人保健健康増進等事業 (老健局 社会・援護局)

I 現在の働き方の状況について

問 I-1 ご本人の情報についてお答えください。(平成 30 年 1 月 1 日現在)

① 年齢	歳
② 性別	01 男性 02 女性
③ 学歴	01 高等学校(介護福祉関係の学科) 02 高等学校(左記以外) 03 高等、短大(介護福祉関係の学科) 04 高等、短大(左記以外) 05 大学・大学院(介護福祉関係の学科) 06 大学・大学院(左記以外) 07 小・中学校 08 その他(具体的に)
④ 専修・専門学校への通学経験	01 専修・専門学校に通学していない 02 介護福祉関係の専修・専門学校を卒業(中退含む) 03 介護福祉関係以外の専修・専門学校を卒業(中退含む)
⑤ 居住地	都・道・府・県 市・区・町・村
⑥ 出身地※	都・道・府・県 市・区・町・村
⑦ 配偶関係	※高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い場所 01 既婚 02 未婚 03 離別
⑧ 子供の有無	01 0歳児 ⇒ (1人・2人・3人以上) 02 未就学児(1歳以上) ⇒ (1人・2人・3人以上) 03 小学生 ⇒ (1人・2人・3人以上) 04 中学生 ⇒ (1人・2人・3人以上) 05 上記に該当する子供はいない
⑨ 介護の仕事の経験年数	年 月 日
⑩ 就業前の介護経験	01 家族などの身近な人の介護をしたことがある 01-1 現在も行っている 01-2 現在は行っていない 02 ボランティアとして介護をしたことがある 03 学校の実習・インターンとして介護をしたことがある 04 上記以外の介護経験がある(具体的に) 05 介護経験はない
⑪ 保有資格	01 介護福祉士 02 社会福祉士 03 介護職員実務者研修修了者(期間介護職員養成施設研修1級・高専研修修了者を含む) 04 介護職員初任者研修修了者(期間介護職員養成施設研修2級修了者を含む) 05 医師的ケア(呼吸吸引等)研修修了者 06 保健師 07 介護支援専門員(ケアマネジャー) 08 管理栄養士・栄養士 09 精神保健福祉士 10 機能訓練指導員(PT・OT・ST) 11 認知症介護実践研修修了者 12 臨床心理士 13 看護師・准看護師 14 該当する資格はもっていない

※ご回答される介護従事者の皆さまへ

- 本調査研究は、今後の介護人材確保施策の検討や需給推計の精度向上等に活用することを想定しており、介護従事者及び介護サービス事業者・施設を対象に、現状の働き方やキャリアに関する考え、介護分野に関心を持った動機、人材確保・定着に向けた取組の実施状況や効果認識等、幅広くその実態を把握することを予定しています。多様な団体等から多くの類似調査の協力依頼があることと存じますが、今後の介護従事者向けの施策や需給推計等の有用な基礎資料となるものでありますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 本調査のデータは、個人が識別される形で集計を行うことはありません。また、皆さまが勤務されている介護事業所・施設等に、個人が特定される形で、調査票・データを提供することはありません。
- 正規職員、非正規職員、常勤、非常勤等の雇用形態を問わず、全員ご記入いただきますようお願いいたします。
- 複数の介護事業所・施設で勤務されている場合でも、本調査票は一部のみ提出するようお願いいたします。
- ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いします。
- 本調査票は、ご記入後添付の茶封筒に入れて郵送したのち、平成 30 年 1 月 31 日(水)までに勤務されている事業所・施設の責任者さまにご提出ください。
- この調査は株式会社サーベイリサーチセンターに業務委託しています。ご不明点の点がございましたら、下記までお問い合わせください。
お問い合わせ先：株式会社サーベイリサーチセンター
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-5 KDX 日本橋 313 ビル 5 階
担当：久木原(クキハラ)、和泉(イズミ)
電話番号：0120-966-326 (土日祝祭日を除く 平日 10:00~12:00 13:00~17:00)

問1-4 ご本人の現在の事業所・施設での労働日・労働時間等をお答えください。(平成30年1月1日現在)

(1-4-1) 現在の事業所・施設での通常の1週間(月曜日～日曜日まで)に働く日数及び時間数をお伺いします。(シフト勤務等の変動がある場合は、平均的な日数・時間数をご記入下さい)

① 1週間に働いた日数 _____ 日
② 1週間に働いた時間数 _____ 時間(就業時間もご記入下さい)

(1-4-2) 現在の事業所・施設での通常の1週間(月曜日～日曜日まで)での就業時間数及び通常の1ヶ月ににおける夜勤勤務(夜10時～朝5時)の実施回数をお伺いします。

(シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な時間・回数をご記入下さい)
① 1週間の就業時間数 _____ 時間(就業がない場合は『0』をご記入下さい)
② 1ヶ月の深夜勤務の回数 _____ 回(深夜勤務がない場合は『0』をご記入下さい)

問1-5 ご本人の現在の賃金・収入等についてお答えください。

(1-5-1) 賃金の支払い形態(○は1つ)及びその支払形態に該当する金額をご記入下さい。
※従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値をご記入下さい。

【賃金の支払い形態】

① 時給制 _____ 円/時
② 日給制 _____ 円/日
③ 月給制 _____ 円/月
④ 訪問件数に応じた出来高払い制(歩合制) _____ 円/件
⑤ その他(具体的に _____)

(1-5-2) 現在あなたが働いている事業所・施設での通常月の税込月収をご記入下さい。

(① 時給制)及び(② 日給制)の方も「② 日給制」の方もご記入ください。なお、税込み月収は賞与、残業代、休日出勤手当を除き、通勤費等毎月決まって支給される各種手当を含む賃金額(税込み)とします。

① 税込で 平均 _____ 円 _____ 千 _____ 円/月

(1-5-3) あなたの家庭での主たる生計の維持者(世帯で最も生活費を負担されている方)として、該当するものを一つ選択してください。(あてはまるもの一つに○)

① 自分(本人) _____ ② 自分(本人)以外 _____ ③ 生活費が折半等 _____

(1-5-4) 本調査票を渡された職場以外で、収入を伴う仕事(兼業・業務)をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

① 兼業・業務はしていない _____
② 同一の事業所・施設内で、介護サービスの業務をしている _____
③ 複数の介護事業所・施設で働いている(事業所・施設をまたいで、介護サービスの兼業をしている) _____
④ 介護以外の仕事もしている(介護サービスの兼業をしている) _____

問1-2 ご本人の現在の事業所・施設での仕事についてお答えください。(平成30年1月1日現在)

① 主として従事しているサービス種別(あてはまるもの一つに○)

01 訪問介護
02 訪問入浴介護
03 通所介護
04 通所リハビリテーション
05 短期入所生活介護
06 特定施設入居者生活介護
07 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
08 夜間対応型訪問介護
09 小規模多機能型居宅介護
10 認知症対応型通所介護
11 認知症対応型共同生活介護
12 地域密着型特定施設入居者生活介護
13 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
14 看護小規模多機能型居宅介護
15 地域密着型介護老人福祉施設
16 介護老人保健施設
17 介護療養型医療施設
18 その他(具体的に _____)

② 役職・役割(あてはまるもの一つに○)

01 訪問介護員(一般職)(注1) ② 訪問介護員以外の介護職員(一般職)(注2)
03 ユニットやフロア等のチームリーダー
04 介護の現場スタッフの教育担当、スーパーバイザー(専任)
05 サービス提供責任者(管理職、経営職以外)
06 介護支援専門員(ケアマネジャー) 07 その他専門職(看護師、機能訓練指導員等)
08 管理職
09 経営職
10 その他(具体的に: _____)

(注1) 訪問介護員:介護保険法の指定を受けた訪問介護又は夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所で働き、高齢者等の要援を訪問して家事などの生活援助、入浴などの身体介護を行う者。
(注2) 介護職員:訪問介護以外の介護保険の指定事業所で働き、直接介護を行う者。

③ 事業所・施設の勤続年数 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(その内、現在の役職・役割での勤続年数 _____ 年 _____ 月 _____ 日)

④ 勤務形態(あてはまるもの一つに○)

01 正規職員・常勤
02 正規職員・非常勤
03 非正規職員・常勤
04 非正規職員・非常勤
05 介護職派遣

正職:期間を定めない雇用契約を締結している職員
正並:期間を定めた雇用契約を締結している職員
正並兼:1週間あたりの労働時間が40時間以上
正並兼:1週間あたりの労働時間が40時間未満

問1-3 ご本人の現在の主な通勤手段(最も所要時間が長いもの)および通勤時間についてお答えください。なお、訪問先に直行されている訪問介護員等の方は訪問先までの所要時間ではなく、事業所・施設までの所要時間をご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

【通勤手段】

01 徒歩
02 自転車
03 電車・バス
04 自動二輪車
05 自家用車
06 その他(具体的に: _____)

【通勤時間】

01 5分未満
02 5分以上20分未満
03 20分以上40分未満
04 40分以上60分未満
05 60分以上80分未満
06 80分以上 _____

問I-1-1 現在の仕事から生じる疲労感や悩み、休暇・賞金に対する認識等について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	全く その通り	その通り	どちら でもない	やや違う	全く違う
同業他社と比べて労働時間(残業時間を含めて)は多い方だと思う。	01	02	03	04	05
仕事が終わるととても疲れてしまうことがある。	01	02	03	04	05
仕事がつらくて辞めてしまいたいと思うことがある。	01	02	03	04	05
休みがあつたり健康状態が悪くても上司や周囲の人達に言いたくないようなことがある。	01	02	03	04	05
業務の繁忙期でなくても休暇が取にくいことがある。	01	02	03	04	05
休暇中でも家で仕事をしなければいけないことがある。	01	02	03	04	05
同業他社に比べて自分の給与・賞与はある程度満足いくものだと思う。	01	02	03	04	05
同期や同僚と比べて自分の給与・賞与の結果はある程度納得のいくものになっている。	01	02	03	04	05

II 介護業界のイメージについて

問II-1 現在、あなたが介護業界へ抱いているポジティブなイメージとして、該当するものを全て選択してください。(あてはまるもの全てに○)(平成30年1月1日現在)

01 社会において必要とされている業界だと思う	02 社会的地位・評判が高い業界だと思う
03 資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	04 職場の雰囲気が良い業界だと思う
05 自分の仕事で人に感謝される機会が多い業界だと思う	06 給料水準が高い業界だと思う
07 資格取得や勉強の機会が充実している業界だと思う	08 やりがいがある仕事ができる業界だと思う
09 ポジティブなイメージは抱いていない	

問II-2 現在、あなたが介護業界へ抱いているネガティブなイメージとして、該当するものを全て選択してください。(あてはまるもの全てに○)(平成30年1月1日現在)

01 体力的にきつい仕事の多い業界だと思う	02 精神的にきつい仕事の多い業界だと思う
03 給料水準が低めの業界だと思う	04 離職率が高い業界だと思う
05 社会的地位・評判があまり高くない業界だと思う	06 職場の雰囲気が悪い業界だと思う
07 他の業界に転職するのが難しい業界だと思う	08 働く人が特定の層に偏っている業界だと思う
09 ネガティブなイメージは抱いていない	

問II-3 介護業界に入職する前にご自身が抱いていた介護業界のイメージと入社後のイメージのギャップについて、該当するもの一つを選択してください。(あてはまるもの一つに○)

01 思ったよりも良かった
02 思ったよりも悪かった
03 イメージ通りだった

(I-5-5) 昨年1年間(平成29年1月1日~12月31日)の就業状況及び個人収入・世帯収入について、該当するものを1つ選択してください。(あてはまるもの一つに○)

【昨年1年間の就業状況】

01 昨年は1年を通して働いた
02 昨年は途中から働いた
03 昨年は働いていなかった

【昨年1年間の個人収入】 ※収入は、賞与及び残業・交通費等の諸手当等を含みます。(あてはまるもの一つに○)

01 1.03万円未満(課税対象とならず、配偶者控除が受けられる)		
02 1.03~1.30万円未満(社会保険の被保険者とならない)		
03 1.30~2.00万円未満	04 2.00~2.50万円未満	05 2.50~3.00万円未満
06 3.00~4.00万円未満	07 4.00~6.00万円未満	08 6.00万円以上

【昨年1年間の世帯収入】 ※収入は、賞与及び残業・交通費等の諸手当等を含みます。(あてはまるもの一つに○)

01 1.00万円未満	02 1.00~2.00万円未満	03 2.00~3.00万円未満
04 3.00~4.00万円未満	05 4.00~5.00万円未満	06 5.00~6.00万円未満
07 6.00~7.00万円未満	08 7.00~8.00万円未満	09 8.00~9.00万円未満
10 9.00~10.00万円未満	11 10.00万円以上	

問I-6 ご自身の現在の暮らし向きの状況を総合的にみて、どう感じますか。(あてはまるもの一つに○)

01 大変苦しい	02 やや苦しい	03 普通	04 ややゆとりがある	05 大変ゆとりがある
----------	----------	-------	-------------	-------------

問I-7 現在の事業所・施設において、ご自身は介護職として利用者の生活全般のサポートができていますと感じていますか。(あてはまるもの一つに○)

01 非常に出来ている	02 やや出来ている	03 あまり出来ていない	04 まったくできていない
-------------	------------	--------------	---------------

問I-8 ご自身の利用者へのサポートの提供方法の希望として、該当するものを1つ選択してください。(あてはまるもの一つに○)

01 主担当として利用者の生活を全般的にサポートしたい
02 複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい
03 どちらでもない・分からない

問I-9 ご本人の現在の仕事の満足度を総合的にみて、どう感じますか。(あてはまるもの一つに○)

01 大変満足している	02 やや満足している	03 普通	04 やや不満がある	05 大変不満がある
-------------	-------------	-------	------------	------------

問I-10 ご本人の現在の人生の満足度を総合的にみて、どう感じますか。(あてはまるもの一つに○)

01 大変満足している	02 やや満足している	03 普通	04 やや不満がある	05 大変不満がある
-------------	-------------	-------	------------	------------

問Ⅲ-4 現在の事業所・施設への就業を決める際に、重視した要素として該当するものについて、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	事業所・施設への就業を決める際に		
	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視して いなかった
キャリアアップの機会	01	02	03
賃金水準	01	02	03
労働時間・休日等の労働条件	01	02	03
人事評価・処遇のあり方	01	02	03
立地条件（通勤利便性）	01	02	03
人間関係・雰囲気	01	02	03
雇用の安定性	01	02	03
福利厚生	01	02	03
教育訓練・能力開発のあり方	01	02	03
知識や経験の活用可能性	01	02	03
周囲（家族等）からの評判	01	02	03
事業所の理念・方針	01	02	03

上記の選択肢以外に、就業を決める際に重視した要素があれば、その具体的な内容をご記入ください。

問Ⅲ-5 現在の事業所・施設における人間関係・雰囲気への満足度について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	現在の事業所・施設における人間関係・雰囲気について		
	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない
事業所の人間関係・雰囲気全般	01	02	03
上司との人間関係・雰囲気	01	02	03
同僚（上司、部下を除く）との人間関係・雰囲気	01	02	03
部下との人間関係・雰囲気	01	02	03
利用者との人間関係・雰囲気	01	02	03
利用者の家族との人間関係・雰囲気	01	02	03

問Ⅲ-6 現在の事業所・施設の職員向けの福利厚生の取組への満足度をご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

01 大変満足している	02 やや満足している	03 普通	04 やや不満がある	05 大変不満がある
-------------	-------------	-------	------------	------------

事業所・施設に実施して欲しい福利厚生の取組があれば、その具体的な内容をご記入ください。

Ⅲ 事業所・施設での就業継続意向について

問Ⅲ-1 ご本人の現在の事業所・施設での就業継続意向についてお答えください。(平成30年1月1日現在)
(Ⅲ-1-1) 現況、動いている事業所・施設での就業継続意向について、ご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

01 現在の事業所・施設で、今後できるだけ長く働き続ける予定	⇒ (Ⅲ-1-2-1) 回答後、問Ⅲ-2へ
02 現在の事業所・施設で、当面2、3年程度は働き続ける予定	⇒ (Ⅲ-1-2-1) 回答後、問Ⅲ-2へ
03 条件等があり事業所・施設があれば転職する	⇒ (Ⅲ-1-2-2) 回答後、問Ⅲ-2へ
04 できるだけ早く違う事業所・施設に転職したい	⇒ (Ⅲ-1-2-2) 回答後、問Ⅲ-2へ
05 その他（具体的に：)	⇒問Ⅲ-2へ 06 分からない・未定 ⇒問Ⅲ-2へ

(Ⅲ-1-2-1) 現在の職場で、介護の仕事を継続していきたいと思う理由として、該当するものを全て選択してください。(あてはまるもの全てに○)

01 職員や同僚との人間関係・雰囲気は満足しているから
02 利用者やその家族との人間関係・雰囲気は満足しているから
03 勤務時間・シフトに満足しているから
04 給与・待遇面に満足しているから
05 職場の立地（通勤利便性）に満足しているから
06 業務内容に満足しているから
07 職場の経営方針やビジョンに満足しているから
08 キャリアアップの機会が豊富にあるから
09 他事業所に転職することに對して、不安があるから
10 その他（具体的に：)

(Ⅲ-1-2-2) 現在の職場で、介護の仕事を継続していきたいと思う理由として、該当するものを全て選択してください。(あてはまるもの全てに○)

01 職員や同僚との人間関係・雰囲気は満足しているから
02 被介護者やその家族との人間関係に不満があるから
03 勤務時間・シフトに不満があるから
04 給与・待遇面に不満があるから
05 職場の立地（通勤利便性）に不満があるから
06 業務内容に不満があるから
07 職場の経営方針やビジョンに不満があるから
08 体力的に限界だから
09 キャリアアップの機会が乏しいから
10 その他（具体的に：)

問Ⅲ-2 現在の職場で今後も継続的に働いていくために事業所・施設に実施して欲しい支援や施策があれば、ご自由にご記入ください。

問Ⅲ-3 現在の事業所・施設の人評評価制度への満足度をご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

人事評価制度全般	非者に満足		どちらとも いえない		やや不満		非常に不満	
	01	02	03	04	05	06	07	
人事評価に関する具体的な情報開示・説明	01	02	03	04	05	06	07	
評価基準の明確性	01	02	03	04	05	06	07	
努力した結果の処遇への反映	01	02	03	04	05	06	07	
評価の観点・手続きの公正性	01	02	03	04	05	06	07	
評価者の信頼性	01	02	03	04	05	06	07	

IV キャリアパスについて

問IV-1 介護業界に入る以前のキャリアについてお答えください。

(IV-1-1) 介護業界に初めて入った時期、前職の有無、前職がある場合にはその職種時期をご回答ください。

- ① 介護の仕事に初めて就業した時期：西暦 年 月 日
 ② 介護の仕事に就業する前の職種：01 あり ⇒ ⑤ 年 月 日
 ③ 前職を辞めた時期：西暦 年 月 日

(IV-1-2) 介護業界に入る以前の職業等についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 学生 (福祉系の学校) 02 学生 (福祉系以外の学校)
 03 他の業界で正社員 04 他の業界でパート・アルバイト 05 他の業界で派遣社員
 06 育児・子育てで休職していた 07 家族の介護・看病のために休職していた
 08 主婦 (主夫) 09 自営業 10 職についていなかった
 11 その他 (具体的に：)

※04 他の業界で正社員/パート・アルバイト/派遣社員 ⇒ (IV-1-3、4、5、6)へお進みください
 ※上記以外 ⇒ IV-2へお進みください

(IV-1-3) 介護業界に入る以前に就業していた産業区分についてご回答ください。職歴が複数ある場合、直近の職歴についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 農業・林業 02 漁業 03 鉱業、採石業、砂利採取業
 04 建設業 05 製造業 06 電気・ガス・熱供給、水道業
 07 情報通信業 08 運輸業、郵便業 09 卸売業・小売業
 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業
 13 宿泊業、飲食業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 医療、福祉
 16 複合サービス業 17 サービス業 (他に分類されないもの)
 18 その他 (具体的に：)

(IV-1-4) 介護業界に入る以前に就業していた職種区分についてご回答ください。職歴が複数ある場合、直近の職歴についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 事務職 02 販売職 03 専門的・技術的職 04 生産工程職 05 サービス職
 06 保安職 07 建設・採掘職 08 輸送・機械運転職 09 運輸・清掃・包装等職
 10 農林漁業職 11 管理職 12 その他 (具体的に：)

(IV-1-5) 介護業界に入る以前に就業していた仕事を辞めた理由についてご回答ください。職歴が複数ある場合、直近の職歴についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 会社倒産・事業閉鎖のため 02 人員整理・編成退職のため 03 事業不振や先行き不安のため
 04 定年のため 05 雇用契約満了のため 06 収入が少なかったため
 07 労働条件が悪かったため 08 結婚のため 09 出産・育児のため
 10 介護・看護のため 11 病気・高齢のため 12 自分に向かない仕事だった
 13 一時的にいた仕事だから 14 家族の転職・転動又は事業所の移転のため
 15 キャリアアップやキャリアの幅を広げるため 16 その他 (具体的に：)

問III-7 介護事業所・施設に入る際に利用したことがある情報入手・応募ルートをご回答ください。

(III-7-1) 各情報入手・応募ルートの満足度について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	情報入手・応募ルートとして				利用した経験がない	
	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満		非常に不満
ハローワーク	01	02	03	04	05	06
福祉人材センター	01	02	03	04	05	06
自治体等が主催する合同説明会	01	02	03	04	05	06
人材紹介会社の紹介	01	02	03	04	05	06

(III-7-2) 各情報入手・応募ルートを利用した理由について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

	情報入手・応募ルートとして利用した理由						利用した経験がない
	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	求職の情報が豊富で、求職のしやすさ	
ハローワーク	01	02	03	04	05	06	07
福祉人材センター	01	02	03	04	05	06	07
自治体等が主催する合同説明会	01	02	03	04	05	06	07
人材紹介会社の紹介	01	02	03	04	05	06	07

問III-8 普段の業務の中で感じているやりがい及び業務の得意意識について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。

【業務の中で感じているやりがいの状況】(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	日常の業務内容として						実施経験がない
	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	まったく自信がない	
身体介護*	01	02	03	04	05	06	
生活援助*	01	02	03	04	05	06	
認知症の行動・心理症状(BFSD)への対応	01	02	03	04	05	06	

【業務の得意意識】(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	日常の業務内容として						まったく自信がない
	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	まったく自信がない	
身体介護*	01	02	03	04	05	06	
生活援助*	01	02	03	04	05	06	
認知症の行動・心理症状(BFSD)への対応	01	02	03	04	05	06	

*身体介護：利用者の身体に直接触れる介助及びその準備・後始末 (入浴、排泄、食事介助等)

*生活援助：利用者の身体に直接触れない介助及びその準備・後始末 (洗濯、食事の準備・後始末、掃除等)

(IV-4-3) 介護業界に就業した後に、ご自身が経験したことがあるサービス種別についてご回答ください。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 01 訪問介護 | 02 訪問入浴介護 |
| 03 通所介護 | 04 通所リハビリテーション |
| 05 短期入所生活介護 | 06 特定施設入居者生活介護 |
| 07 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 08 夜間対応型訪問介護 |
| 09 小規模多機能型居宅介護 | 10 認知症対応型通所介護 |
| 11 認知症対応型共同生活介護 | 12 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 13 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 14 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 15 地域密着型介護老人福祉施設 | 16 介護老人保健施設 |
| 17 介護療養型医療施設 | 18 その他(具体的に) |

問IV-5 介護業界での就業継続意向について、ご回答ください。また、そのように考えている理由を記入してください。(あてはまるもの一つに○)

※個別の事業所・施設についてはなく、介護の仕事全般に関する就業継続意向についてご回答ください。

- | |
|-----------------------------|
| 01 介護業界で、今後でもできるだけ長く働き続ける予定 |
| 02 介護業界で、当面2、3年程度は働き続ける予定 |
| 03 条件等があう介護業界以外での仕事があれば転職する |
| 04 できるだけ早く違う業界に転職したい |
| 05 分からない・未定 |

『介護業界での就業継続意向』について、そのように考える理由をご記入ください。

問IV-6 ご自身の今後の介護業界でのキャリア意向についてお答えください。

(IV-6-1) 将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標(置きたい職種や習得したいスキル等)の有無についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- | |
|------------------------------|
| 01 目標を定め、実現するための計画も具体的に考えている |
| 02 目標は決めたが、実現の計画は漠然としている |
| 03 目標はなんとなく考えている |
| 04 考えていない |

※01 目標を定め、実現するための計画も具体的に考えている。02 目標は決めたが、実現の計画は漠然としている。03 目標はなんとなく考えている ⇒(IV-6-2) (IV-6-3)へお進みください

※04 考えていない ⇒ 次ページの(IV-6-4)へお進みください

(IV-6-2) 今後、将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標の方向性についてご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 01 現状維持 | 02 介護の特定分野に関する専門性を深めていきたい |
| 03 管理職・経営者を目指していきたい | 04 介護の専門性の幅を広げていきたい |
| 05 その他(具体的に) | |

(IV-1-6) 介護業界に入る前後の前後の賃金水準の変化に關してご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 01 介護業界に入る前(転職前)と比較して給与(賃金)が10%前後下がった |
| 02 介護業界に入る前(転職前)と比較して給与(賃金)が20%前後下がった |
| 03 介護業界に入る前(転職前)と比較して給与(賃金)が30%以上下がった |
| 04 介護業界に入る前(転職前)と比較して給与(賃金)は変わらない |
| 05 介護業界に入る前(転職前)と比較して給与(賃金)が上がった |
| 06 わからない |

問IV-2 介護業界での就業をはじめた時点で決めた当時の転職についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- | |
|----------------------------|
| 01 介護業界にぜひ就業したいと希望していた |
| 02 介護業界だったら就業してもよいと思っていた |
| 03 介護業界に就職したいとはあまり思っていなかった |
| 04 特に考えていなかった |

問IV-3 介護業界に最初に入った動機、きっかけについて、就業を決める際の影響度に対する認識についてご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	まったく影響していなかった
介護の仕事の社会的意義・やりがい	01	02	03	04
資格や技能を活用できること	01	02	03	04
就業前の介護経験(家族介護、インターン等)	01	02	03	04
介護業界の将来性	01	02	03	04
介護業界の待遇の良さ	01	02	03	04
家族・知人・親戚の勧め	01	02	03	04
ハローワーク・人材センターの勧め	01	02	03	04
他に選択の余地がないこと	01	02	03	04
正規雇用の仕事に就けること	01	02	03	04

上記の選択以外に、介護業界に最初に入った動機・きっかけがあれば、具体的な内容をご記入ください。

問IV-4 介護業界に入った後のキャリアについてお答えください。

(IV-4-1) ご自身の介護業界内での転職経験、経験がある場合は転職回数についてご回答ください。

(あてはまるもの一つに○)

- | |
|--|
| 01 介護業界内での転職経験あり ⇒ 転職回数 <input type="text"/> 回 |
| 02 介護業界内での転職経験なし |

(IV-4-2) 介護業界に就業した後の、介護職以外での業務経験(人事・総務などの管理部門、地域包括支援センターへの出向等)についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

- | |
|--------------------------|
| 01 介護業界に就業後、介護職以外の業務経験なし |
| 02 介護業界に就業後、介護職以外の業務経験あり |

V 就業地域に関する意向について

問V-1 ご自身の今後の就業地域に関する意向についてお答えください。

今後、他の介護事業所・施設に転職を行う場合、希望する就業地域についてご回答ください。また、そのように考えている理由を記入してください。(あてはまるもの一つに○)

- 01 現在の勤務地域で就業したい
- 02 勤務地域に特にこだわりはない
- 03 現在の勤務地域以外で、現在の勤務地域と同程度の生活環境がある地域で就業したい
- 04 現在の勤務地域よりも都市部で就業したい
- 05 現在の勤務地域よりも地方で就業したい

ご回答いただいた地域での就業を希望する理由をご記入ください。

問V-2 地方又は都市部の事業所・施設に就業する場合に、重視する条件・環境について以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ、あてはまるもの一つに○)

	地方又は都市部の事業所・施設に就業する場合に、		
	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも、同程度重視する
現在と同等の生活水準を維持できる収入	01	02	03 04
社宅、家賃補助等の住居に関する福利厚生	01	02	03 04
所内保育施設等の子育てに関する福利厚生	01	02	03 04
医療・福祉・介護サービスの充実	01	02	03 04
キャリアアップの機会	01	02	03 04
交通の利便性	01	02	03 04
生活時間のゆとり	01	02	03 04
趣味が楽しめること	01	02	03 04
治安が良いこと	01	02	03 04

問V-3 地方/都市部の事業所・施設に就業する場合に、国もしくは事業所・施設から実施してもらいたい支援等があれば、その具体的な内容をご記入ください。

【地方の事業所・施設に就業する場合】

【都市部の事業所・施設に就業する場合】

(W-6-3) 今後、将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標の具体的な内容として、あてはまるものを全て選択してください。また、そのうちで最も実現したいキャリア目標の一つを選択してください。(あてはまるもの全てに○、最も実現したい目標一つに○)

	実現したい目標 (あてはまるもの全てに○)	最も実現したい目標 (あてはまるもの一つに○)
経営マネジメント担当	01	01
事業所・施設の管理責任者	02	02
サービス提供責任者	03	03
介護の特定分野に関する高度な プロフェッショナル(認知症ケア等)	04	04
介護の現場スタッフの教育リーダー、 スーパーバイザー	05	05
介護の現場(ユニットケアフロア等) のチームリーダー職	06	06
訪問介護員	07	07
訪問介護員以外の介護職員	08	08
独立開業	09	09
福祉分野の教育者(指導者)	10	10
ケアマネジャー	11	11
相談援助職(社会福祉士資格保有者等)	12	12
看護職	13	13

上記選択肢以外に「介護の仕事」のキャリア目標があれば、具体的な内容をご記入ください。

(W-6-4) キャリア目標について考えていない理由についてご回答ください。(あてはまるもの一つに○)

※<問V-6 (W-6-1)>で、04. 考えていない、を選択した方のみご回答ください。

01 今はまだ必要ないと思うから

02 どうやって考えたらいいかわからないから

03 現在の仕事がいから

04 その他(具体的に)

【職員の定着・離職防止に向けた独自の取組や工夫に関して】	取組・工夫は職員の定着・離職防止に		
	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果が無いと思う
離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う	01	02	03
長期研修に対して手当支給・報償・メッセージカード手紙を送る	01	02	03
人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行う	01	02	03
昇進・昇格に必要な能力等を明確にする	01	02	03
従業員に対してキャリアパスを周知する	01	02	03
新人の指導担当者やアドバイザーを置く	01	02	03
経験年数・職務別の体系的な研修・育成制度を整備する	01	02	03
丁寧なキャリアアップ支援を行う	01	02	03
資格取得支援を奨励する	01	02	03
(学習日等の勤務調整や取得費用の助成など)賃金水準を相場や業務員給与などからみて納得感のあるものとする	01	02	03
勤務時間割、時間割等の調整や前番異動など、職員の希望を反映できる制度を導入する	01	02	03
非正規職員から正規職員への転換機会を設ける	01	02	03
年次有給休暇取得を計画的・組織的に行う	01	02	03
ICTや介護ロボットを導入する	01	02	03
心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	01	02	03
子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費用助や事業所内保育所の設置等)を整備している	01	02	03
悩み、不安などの相談窓口を設ける	01	02	03
職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設ける	01	02	03
近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設ける	01	02	03
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設ける	01	02	03

上記選択肢以外に職員の定着・離職防止に有効と思う取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

問VI-3 最後に、どのようなことでも結構ですので、ご感想・ご提案があれば、ご記入ください。

※この欄の記載について報告書等への取扱い（許可する・許可しない）
 取組は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
 取組の取組日に入力して報告したのち、平成30年1月31日（水）までに
 事業所・施設の実任者さままで提出してください。

VI 事業所・施設の職員確保・定着・離職防止に関する取組について

問VI-1 現在、勤務している事業所・施設における、職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組や工夫の実施状況に対する認識についてご回答ください。（あてはまるもの一つに○）

01 事業所・施設は職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組・工夫を積極的にやっていると思う
 02 事業所・施設は職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組・工夫はある程度は行っていると思う
 03 事業所・施設は職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組・工夫を行っていないと思う

問VI-2 職員の確保・定着・離職防止に向けて、各事業所・施設が行っている独自の取組や工夫に対するご意見を、以下の枠組みに沿ってご回答ください。（それぞれ、あてはまるもの一つに○）

※現在、ご自身が勤務している事業所・施設での改善する取組や工夫の実施状況は問いません。

	【職員の確保に向けた独自の取組や工夫に関して】			取組・工夫は職員の確保に		
	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果が無いと思う	効果があると思う	あまり効果が無いと思う	効果が無いと思う
PR方法	01	02	03	01	02	03
事業所・施設IPやSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所・施設の個性を紹介する	01	02	03	01	02	03
パフリンを作成する	01	02	03	01	02	03
インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入する	01	02	03	01	02	03
一般大学・高校にも訪問して求人活動を行う	01	02	03	01	02	03
地域行事への参加や福祉の地域住民への開放等、地域住民との交流を行う	01	02	03	01	02	03
福祉系養成校の実習を積極的に受け入れる	01	02	03	01	02	03
大学や養成校、高校において事業所の職員が講義や説明会を行っている	01	02	03	01	02	03
地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行う	01	02	03	01	02	03
資金体系の見直しを行う	01	02	03	01	02	03
時間勤務など、職員の勤務時間や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する	01	02	03	01	02	03
資金、労働時間などの求人条件を明確にする	01	02	03	01	02	03
職員による紹介制や制度を導入する	01	02	03	01	02	03
未経験者・無資格者の採用も積極的に行う	01	02	03	01	02	03
夜勤専従職員を採用する	01	02	03	01	02	03
職体験や見学を実施する	01	02	03	01	02	03
元職員への働きかけを行う	01	02	03	01	02	03
採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をする	01	02	03	01	02	03

上記選択肢以外に職員の確保に有効と思う取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

(3) 潜在介護人材調査

潜在人材調査

選択肢記号の説明
 選択肢1 (オウがホウア)
 選択肢2 (エウがホウア)
 選択肢3 (ウラウラウ)

SQ1

あなたは介護職としての就業経験について、あてはまるものどちらを選択してください。
 ※ここでの介護職とは、主に要介護の方のケアに従事している人を指し、主に要
 介護者に従事している人は含みません。
 ※パート・アルバイトなどの職務も含めてお答えください。

1. 現在、介護職として介護事業所に勤務している

2. 現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある

3. 介護職として介護事業所に勤務してはいない

SQ2

あなとの保有している介護・福祉・医療関連の資格について、あてはまるものをすべて
 選択してください。
 ※あてはまらない場合は該当する資格はついでにないを選択してください。

1. 介護福祉士

2. 介護職員初任者研修修了者（初級介護職員養成研修1級・基礎研修修了者を含む）

3. 介護職員2年研修修了者（初級介護職員養成研修2級修了者を含む）

4. 介護職員3年研修修了者

5. 保健師

6. 医療的ケア（認知症対応）研修修了者

7. 介護支援専門員（ケアマネジャー）

8. 福祉士（社会福祉士・児童福祉士）

9. 精神保健福祉士

10. OT・PT・ST

11. 認知症介護実践研修修了者

12. 社会福祉士

13. 臨床心理士

14. その他に該当する資格はついでにない

SQ3

現在、あなたに所属している部署について、あてはまるものどちらを選択してください。
 ※あてはまらない場合は該当する部署はついでにないを選択してください。

1. 介護・福祉・医療

2. 販売・百貨店・卸売・百貨店

3. 建設業

4. 飲食業

5. その他（詳細記入）

6. 福祉施設

7. 建設業

8. 製造業

9. 流通業

10. 金融業

11. 不動産業

12. 情報通信業

13. 運輸業

14. 教育業

15. その他（詳細記入）

16. その他（詳細記入）

17. その他（詳細記入）

18. その他（詳細記入）

Q1

あなたのお名前について、選択してください。

1. 男性

2. 女性

Q2

あなたのお年齢について、選択してください。

1. 19歳以下

2. 20～24歳

3. 25～29歳

4. 30～34歳

5. 35～39歳

6. 40～44歳

7. 45～49歳

8. 50～54歳

9. 55～59歳

10. 60～64歳

11. 65歳以上

Q8

現在の、ご自身の健康形態により、該当するものを1つ選択してください。
なお、本アンケートにはお持ちのタイム/パートタイムの任意欄は以下とします。
フルタイム：1週間の労働時間が40時間以上
パートタイム：1週間の労働時間が40時間未満

- 1. フルタイムで働いている
- 2. パートタイムで働いている
- 3. 働いていない

Q9

現在の、ご自身の1年あたりの個人所得（税込み）として該当するものを1つ選択してください。

- 1. 103万円未満（非課税）
- 2. 130万円未満（扶養内）
- 3. 130～400万円
- 4. 401～800万円
- 5. 801～1000万円
- 6. 1001万円～

Q10

現在の、ご自身の1年あたりの世帯所得（税込み）として該当するものを1つ選択してください。

- 1. 100万円未満
- 2. 100～200万円
- 3. 201～300万円
- 4. 301～400万円
- 5. 401～800万円
- 6. 801～1000万円
- 7. 1001万円～

Q11

現在の、ご自身の貯金額として該当するものを1つ選択してください。

- 1. 貯蓄なし
- 2. 50万円未満
- 3. 50～100万円
- 4. 101～200万円
- 5. 201～300万円
- 6. 301～400万円
- 7. 401～800万円
- 8. 801～1000万円
- 9. 1001万円～

Q3

あなたの配偶関係について、該当するものを1つ選択してください。

- 1. 既婚
- 2. 未婚
- 3. 離別別

Q4

子供の有無へ数について、該当するものを選択してください。

- 1. 子供はいない
- 2. 1人
- 3. 2人
- 4. 3人以上

Q5

あなたの家での主たる生計の維持者（世帯を最も生活費を負担している方）として、該当するものを1つ選択してください。

- 1. 自分（本人）
- 2. 自分（本人）以外
- 3. 生活費負担者等

Q6

専修・専門学校を除く最終学歴として、該当するものを1つ選択してください。

- 1. 中学校
- 2. 高等学校（介護福祉関係の学科）
- 3. 高等学校（上記以外）
- 4. 専門学校（介護福祉関係の学科）
- 5. 専門学校（上記以外）
- 6. 大学・大学院（介護福祉関係の学科）
- 7. 大学・大学院（上記以外）

Q7

専修・専門学校への進学経験として、該当するものを全て選択してください。

- 1. 専修・専門学校に進学していない
- 2. 介護福祉関係の専修・専門学校に進学している/卒業
- 3. 介護福祉関係以外の専修・専門学校に進学している/卒業

Q15

介護への就業希望として、最も希望が強い職種を選んでください。
※複数の介護職种・業種に就業希望がある方は、
介護職に就業したい業種の中で最も希望が強い業種を選んでください。

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上2年未満
- 3. 2年以上3年未満
- 4. 3年以上4年未満
- 5. 4年以上5年未満
- 6. 5年以上7年未満
- 7. 7年以上10年未満
- 8. 10年以上15年未満
- 9. 15年以上20年未満
- 10. 20年以上

Q16

介護をした、経験がある介護職に就きたい職種を選んでください。
※複数回答可

- 1. 訪問介護
- 2. 施設入居介護
- 3. 通所介護
- 4. 通所介護に付随する業務
- 5. 別居入居生活介護
- 6. 特別養護老人ホーム生活介護
- 7. 短期入所・療養介護施設生活介護
- 8. 夜間対応型訪問介護
- 9. 小規模多機能型居宅介護
- 10. 認知症対応型共同生活介護
- 11. 認知症対応型共同生活介護
- 12. 認知症対応型共同生活介護
- 13. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 14. 介護小規模多機能型居宅介護
- 15. 認知症対応型共同生活介護
- 16. 介護老人福祉施設
- 17. 介護療養型医療施設（介護医療部）
- 18. その他（具体的に記入）

Q12

ご自身の現在の働き方と、希望する働き方とを比べてください。

- 1. 大変楽しい
- 2. やや楽しい
- 3. 普通
- 4. やや辛い
- 5. 大変辛い

Q13

F 介護職に就く理由として、最も希望が強い理由を選んでください。
※複数回答可

・介護福祉士
・介護福祉系資格取得希望（施設介護職員初任者研修、施設介護士研修
など）
・介護福祉系資格取得希望（介護福祉系資格取得希望）

- 1. すでに介護職に就いたことがある
- 2. 自分が介護職に就く理由として、介護職に就きたい理由がある
- 3. 介護職に就く理由として、介護職に就きたい理由がある
- 4. その他
- 5. 希望する理由がある（具体的に記入）
- 6. 希望する理由がある（具体的に記入）
- 7. 希望する理由がある（具体的に記入）
- 8. その他（具体的に記入）
- 9. その他（具体的に記入）

Q14

F 介護職に就く理由として、最も希望が強い理由を選んでください。
※複数回答可

・介護福祉士
・介護福祉系資格取得希望（施設介護職員初任者研修、施設介護士研修
など）
・介護福祉系資格取得希望（介護福祉系資格取得希望）

- 1. 介護職に就く理由として、介護職に就きたい理由がある
- 2. 介護職に就く理由として、介護職に就きたい理由がある
- 3. その他（具体的に記入）

Q20 介護福祉士として働く上で、最もやるべきことを選んでください。(1つだけ)

- 1. 社会的責任を全うすること
- 2. 介護の専門性を高めること
- 3. 高齢者の生活の質を向上させること
- 4. 介護の現場での安全を確保すること
- 5. 介護の現場での効率性を向上させること
- 6. 介護の現場でのコスト削減を図ること
- 7. 介護の現場でのサービスの向上を図ること
- 8. 介護の現場でのサービスの質を向上させること
- 9. 介護の現場でのサービスの量を向上させること
- 10. 介護の現場でのサービスの範囲を向上させること
- 11. 介護の現場でのサービスの質を向上させること
- 12. 介護の現場でのサービスの量を向上させること
- 13. 介護の現場でのサービスの範囲を向上させること

5033-1021

Q21 介護福祉士として働く上で、最もやるべきことを選んでください。(1つだけ)

- 1. 職員の人間関係の改善 (2つ以上が正解を期待)
- 2. 給与・処遇の改善
- 3. 就業環境の改善 (仕事内容・負担の軽減)
- 4. 介護現場でのサービスの向上
- 5. 労働時間の短縮
- 6. 職員のスキルアップ
- 7. 職員のモチベーションの向上
- 8. 職員の健康・安全の確保
- 9. 職員の生活・福祉の向上
- 10. 子育て支援
- 11. 職員の介護・福祉の向上
- 12. 職員の介護・福祉の向上
- 13. 職員の介護・福祉の向上
- 14. 職員の介護・福祉の向上
- 15. 5033-1021 (2つ以上が正解を期待)

5033-1021

Q17 最近の介護福祉士として働く上で、最もやるべきことを選んでください。(1つだけ)

- 1. 社会的責任を全うすること
- 2. 介護の専門性を高めること
- 3. 高齢者の生活の質を向上させること
- 4. 介護の現場での安全を確保すること
- 5. 介護の現場での効率性を向上させること
- 6. 介護の現場でのコスト削減を図ること

Q18 最近の介護福祉士として働く上で、最もやるべきことを選んでください。(1つだけ)

- 1. 職員の人間関係の改善 (2つ以上が正解を期待)
- 2. 給与・処遇の改善
- 3. 就業環境の改善 (仕事内容・負担の軽減)

5033-1021

Q19 最近の介護福祉士として働く上で、最もやるべきことを選んでください。(1つだけ)

- 1. 社会的責任を全うすること
- 2. 介護の専門性を高めること
- 3. 高齢者の生活の質を向上させること
- 4. 介護の現場での安全を確保すること

Q25 以下の一覧の中から、貴社が保有する個人情報の種別を選択してください。

- 1. Q2551 (FA) 02551FA
- 2. Q2552 (FA) 02552FA
- 3. Q2553 (FA) 02553FA
- 4. Q2554 (FA) 02554FA
- 5. Q2555 (FA) 02555FA
- 6. Q2556 (FA) 02556FA
- 7. Q2557 (FA) 02557FA
- 8. Q2558 (FA) 02558FA
- 9. Q2559 (FA) 02559FA
- 10. Q2560 (FA) 02560FA
- 11. Q2561 (FA) 02561FA
- 12. Q2562 (FA) 02562FA
- 13. Q2563 (FA) 02563FA
- 14. Q2564 (FA) 02564FA
- 15. Q2565 (FA) 02565FA
- 16. Q2566 (FA) 02566FA
- 17. Q2567 (FA) 02567FA
- 18. Q2568 (FA) 02568FA

Q26 今後、付属への就業予定の理由に、就業先希望する法人の種別（複数回答）を選択してください。

- 1. 社会福祉法人（社会福祉協議会系等）
- 2. 社会福祉協議会
- 3. (公益)一般社団法人・財団法人
- 4. 株式会社（株式会社・有限会社等）
- 5. 特定非営利活動法人（NPO法人）
- 6. 医療法人
- 7. 信託会社
- 8. 電子自治体
- 9. その他（具体的にFA）
- 10. 回答しない・考えなし

Q27 今後、付属への就業予定の理由に、就業先希望する法人の組織として選択してください。

- 1. 常勤スタッフ・大半法人
- 2. 非常勤・大半法人
- 3. 常勤・大半法人
- 4. 非常勤・大半法人

Q22 今後、付属への就業予定の理由として、貴社が保有する個人情報の種別を選択してください。

- 1. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 2. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 3. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 4. 採用履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 5. 給与情報（給与明細書）
- 6. その他
- 7. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 8. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 9. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 10. その他（具体的にFA）

Q23 今後、付属への就業予定の理由として、貴社が保有する個人情報の種別を選択してください。

- 1. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 2. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）
- 3. 就業履歴情報（履歴書・職務経歴書）

Q24 今後、付属への就業予定の理由に、就業先希望する法人の組織として選択してください。

- 1. 常勤大半
- 2. 非常勤大半
- 3. 常勤小
- 4. 非常勤小
- 5. 常勤小
- 6. 非常勤小
- 7. 非常勤小
- 8. 非常勤小
- 9. 非常勤小
- 10. 非常勤小
- 11. 非常勤小
- 12. 非常勤小
- 13. 非常勤小
- 14. 非常勤小
- 15. 非常勤小
- 16. 非常勤小
- 17. 非常勤小
- 18. 非常勤小
- 19. 非常勤小

Q34

關於個人理財的理財目標,下列何者最不適宜?
取得正利率存款,如定期存款,以分散存款的匯率風險。
以退休的人員,以備退休生活開支與醫療保險,以備日後醫療保險費
以人壽保險作為資產配置,以備退休生活開支,以備日後醫療保險費
為孩子教育目的,以存儲教育基金。

選出1項

- Q34S1 1. 取得正利率存款,如定期存款,以分散存款的匯率風險。
- Q34S2 2. 以退休的人員,以備退休生活開支與醫療保險,以備日後醫療保險費。
- Q34S3 3. 以備日後醫療保險費。
- Q34S4 4. 以備退休生活開支。
- Q34S5 5. 以備日後醫療保險費。
- Q34S6 6. 以備日後醫療保險費。
- Q34S7 7. 以備日後醫療保險費。
- Q34S8 8. 以備日後醫療保險費。
- Q34S9 9. 以備日後醫療保險費。
- Q34S10 10. 以備日後醫療保險費。

選出3項

- 1. 取得正利率存款,如定期存款,以分散存款的匯率風險。
- 2. 以退休的人員,以備退休生活開支與醫療保險,以備日後醫療保險費。
- 3. 以備日後醫療保險費。
- 4. 以備退休生活開支。

Q35

關於退休計畫,下列何者最不適宜?
將退休計畫與個人保險計畫分開。
將退休計畫與個人保險計畫分開。

Q35S1

關於退休計畫,下列何者最不適宜?
將退休計畫與個人保險計畫分開。
將退休計畫與個人保險計畫分開。

(4) 介護福祉士養成施設の学生向け調査

あなた自身のことについてお伺いします。

Q1. あなたの性別について選択してください。(単一選択)

男性
 女性

Q2. あなたの学年について、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

1年

Q3. あなたの在留施設の種類について、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)
※在留施設：外国人が日本に在留(滞在)するための必要な施設。

留学生ではない
 在留施設「留学」に基づく留学生である
 わからない

Q4. 滞在・配属期間について該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

未定
 数ヶ月
 数年以上

Q5. 現在、同居されている方はいらっしゃいますか、世帯単位について該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

一人暮らしである
 家族と同居している
 家族以外と同居している

現在在籍されている学校についてお伺いします。

Q6. 現在在籍中の学校が所在する都道府県について、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

選択してください

Q7. 現在在籍中の学校名について以下の枠に記入してください。(記述回答)
(学校名を記入)

文字

Q8. 現在在籍している学校の種別について、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

4年制養成施設
 3年制養成施設
 2年制養成施設
 1年制養成施設(保育士養成施設等卒業生対象)
 その他(具体的に記入ください)

Q9. 現在の学年について選択してください。(単一選択)

1年生
 2年生
 3年生
 4年生

現在の所属している学校の種類を選択してください。

Q12. 現在在学中の学校を除く最終卒業として、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

- 中学校卒業
- 高等学校卒業
- 高専、短大卒業
- 専門学校卒業
- 大学・大学院卒業
- その他はまるものはなし

Q13. 最終卒業で選択された学校における所属した学部・専攻科・専門課程は分属部は選択してください。該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

- 介護福祉関係の学部・専攻科
- 介護福祉関係の学部・専門科はなかった

Q14. あなたは就職専任職員または専任職員として、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

- 専任者(非正規社員)
- 専任者(正規社員)
- わからず

Q15. 現在の学初に入学するまでの経歴として、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

- 学生・生徒であった
- 正社員として働いていた
- パート・アルバイトとして働いていた
- 派遣社員として働いていた
- 育児・子育てで休職していた
- 高校の介護・福祉のために休職していた
- 専業主婦(主夫)であった
- 専ら二ついで、なかった
- その他はまるものはなし

Q10. 現在在籍している学校とご出身の地域の立地関係についてお訊ねします。該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

※出身の地域は高校卒業まで(旧県まで)に最も長く在住した地域として回答してください。

- 学校と出身地は同じ市区町村である
- 学校と出身地は異なる市区町村であるが、同一都道府県内である
- 学校と出身地は別の都道府県である

Q11. 現在在籍している学校の修学資金(学校の学費など)の負担状況について、該当するものを一つ選択してください。(単一選択)

- 主に自分(本人)がアルバイト等の仕事をしながら支払っている
- 主に自分(本人)が過去の貯蓄等を使って支払っている
- 主に自分(本人)が奨学金(介護福祉士専門学校等)を受けて支払っている
- 主に自分(本人)が奨学金(日本学生支援機構 給付、貸付)を受けて支払っている
- 主に自分(本人)が奨学金(上記以外)を受けて支払っている
- 主に親等の家族が支払っている
- その他はまるものはなし

次へ

Q20 現在の学校への入学を決めた理由についてお聞かせください。該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- 就職しやすいから
- 親に勧められたから
- 学校の先生に勧められたから
- 友達に勧められたから
- 自宅から通学できるから
- 他に理由がなかったから
- 経済的な負担が比較的少なかったから
- 自分の学力に合ったから
- 施設やキャンパスの雰囲気が良いから
- その他はまるものはなし

Q21 現在の学校への入学を決めた理由についてお聞かせください。該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- 就職しやすいから
- 親に勧められたから
- 学校の先生に勧められたから
- 友達に勧められたから
- 自宅から通学できるから
- 他に理由がなかったから
- 経済的な負担が比較的少なかったから
- 自分の学力に合ったから
- 施設やキャンパスの雰囲気が良いから
- その他はまるものはなし

Q22 現在の学校への入学を決めた理由についてお聞かせください。該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- 就職しやすいから
- 親に勧められたから
- 学校の先生に勧められたから
- 友達に勧められたから
- 自宅から通学できるから
- 他に理由がなかったから
- 経済的な負担が比較的少なかったから
- 自分の学力に合ったから
- 施設やキャンパスの雰囲気が良いから
- その他はまるものはなし

Q23 現時点で介護や医療に関する資格や免許をお持ちの場合、該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- 介護職員実務者研修修了者(1級)介護職員実務者研修(2級)基礎研修修了者を含む)
- 介護職員初任者研修修了者(1級)介護職員初任者研修(2級)修了者を含む)
- 看護師、准看護師
- 保健師
- 医師(ケア(在宅訪問)専攻)研修修了者
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 管理栄養士・栄養士
- 精神保健福祉士
- 福祉相談指導員(PT・OT・ST)
- 認知症介護実践研修修了者
- 社会福祉士
- 臨床心理士
- その他はまるものはなし

Q26. すでに就職先が決まっている場合にお知らせします。あなたの就職予定について該当するものをお一つ選択してください。(単一選択)

- 高専専修科の分野
- 随時・専修科の分野
- 採育の分野
- 医療関係の分野
- 上記以外の介護・福祉分野
- 介護・福祉以外の分野

Q27. 進学先、他の学校へ進学予定の方にお知らせします。予定している学校について該当するものをお一つ選択してください。(単一選択)

- 高専専修科関連の学校を予定
- 高専専修科以外の福祉関連の学校を予定
- 介護・福祉とは関係ない学校を予定

Q24. 現在、卒業生の就職に向けて活動の準備が着々と進められていますか。該当するものをお一つ選択してください。(単一選択)

- 就職先が決まったので活動は終了した
- 現在、就職に向けて具体的な応募活動中である
- 現在、就職に向けて情報収集は実施している
- まだ就職に向けて活動はしていない
- 進学先、別の学校に行くことを予定しているため就職活動はしていない
- その他

Q25. あなたが卒業後に就職を希望する分野について、該当するものをおすべて選択してください。(複数選択)

- 高専専修科の分野
- 随時・専修科の分野
- 採育の分野
- 医療関係の分野
- 上記以外の介護・福祉分野
- 介護・福祉以外の分野
- 未定・考えていない

Q31. 就業先を希望する、あるいは就業予定となっている職種や労働の仕様の詳細について該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

雇用パート・アルバイト
 専業主婦
 専業主夫
 専業主婦パート・アルバイト
 専業主夫パート・アルバイト

就業先を希望する、あるいは就業予定となっている職種や労働の仕様の詳細について該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

Q32. 就業先を希望する、あるいは就業予定となっている法人の種別(就業先種別)について該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

法人種別	選択
個人事業主(個人事業主)	<input type="radio"/>
個人事業主(個人事業主)	<input type="radio"/>
個人事業主(個人事業主)	<input type="radio"/>
個人事業主(個人事業主)	<input type="radio"/>

Q32. 就業先を希望する、あるいは就業予定となっている職種や労働の仕様の詳細について該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

雇用パート・アルバイト(就業先種別)の種別
 雇用パート・アルバイト(就業先種別)の種別
 雇用パート・アルバイト(就業先種別)の種別
 上記の複数サービスについて複数中
 未定(特にありません)

就業先を希望する、あるいは就業予定となっている法人の種別(就業先種別)について該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

社会福祉法人(社会福祉協議会等)
 社会福祉協議会
 (公益一般)社団法人・財団法人
 財団法人(株式会社・有限会社等)
 特定非営利活動法人(NPO法人)
 基幹法人
 協同組合(生協・農協)
 地方自治体
 その他
 未定(特にありません)

結果 削除 この質問を表示する条件“Q34”で“就職先が決まったので活動は終了した”を“選択した”

Q36. すでに就職が決まっている方にお伺いします。就業予定地域について、該当するものをご一つ選択してください。(単一選択)

現在の居住地域
 現在の居住地域より都会・都市部の地域
 現在の居住地域より地方部の地域
 現在の居住地域と同程度の他の地域
 勤務地域は未定

Q46. 就職に向けた情報収集・相談等を行う際に、今後、利用したいと思うものについてすべて選択してください。(複数回答可)

※ (複数選択)

- ハローワーク
- 福祉人材センター
- 新聞、雑誌等の業界に関する記事・ニュース
- 求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報
- インターネットの就職サイト
- 企業・事業所・施設等の個別説明会
- 法人・事業所のHP
- 就職フェアや合同説明会等の就職イベント
- 自主的な職場体験・実習・インターンやボランティア
- 学校のキャリア・ラムの一環としての職場体験・実習・インターンやボランティア
- SNSやブログ、口コミサイトの情報
- 人材紹介会社の紹介
- 学校の就職支援部署の紹介・推薦
- 学校の先生からの情報・紹介
- 学校のクラスメイトからの情報・口コミ
- 介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介
- 家族・友人・知人の紹介
- その他
- あてはまるものはない

就職情報に向けた情報収集や相談等を行う際に「あてはまるものはない」を選択してはなりません。

※ (複数選択)

Q45. 就職に向けた情報収集・相談等を行う際に、これまでに利用したことがあるものについてすべて選択してください。(複数回答可)
※まだ情報収集、相談したことがない場合はあてはまるものがないりを選択してください。

※ (複数選択)

- ハローワーク
- 福祉人材センター
- 新聞、雑誌等の業界に関する記事・ニュース
- 求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報
- インターネットの就職サイト
- 企業・事業所・施設等の個別説明会
- 法人・事業所のHP
- 就職フェアや合同説明会等の就職イベント
- 自主的な職場体験・実習・インターンやボランティア
- 学校のキャリア・ラムの一環としての職場体験・実習・インターンやボランティア
- SNSやブログ、口コミサイトの情報
- 人材紹介会社の紹介
- 学校の就職支援部署の紹介・推薦
- 学校の先生からの情報・紹介
- 学校のクラスメイトからの情報・口コミ
- 介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介
- 家族・友人・知人の紹介
- その他
- あてはまるものはない

110 就職先決定の参考に、就職先決定に役立つ・有効と考えるものについてすべて選択してください。
 (複数回答可)

就職先決定の参考に、就職先決定に役立つ・有効と考えるものについて	必ず	やや	少し	ほとんど	全く
求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットの就職サイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業・事業所・施設等の個別説明会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法人・事業所のHP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就職フェアや合同説明会等の就職イベント	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自主的な職場体験・実習・インターンやボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校のカリキュラムの一環としての職場体験・実習・インターンやボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SNSやブログ、口コミサイトの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人材紹介会社の紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校の就職支援部署の紹介・推薦	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校の先生からの情報・紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校のクラスメイトからの情報・口コミ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族・友人・知人の紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q47. 就職を行う際に、就職先決定に役立つ・有効と考えるものについてすべて選択してください。
 (複数回答可)

※すでに就職が決まっている方は実際に役立った・有効だったと感じるものを選択してください。

● (複数選択)

- ハローワーク
- 福祉人材センター
- 新聞、雑誌等の業界に関する記事・ニュース
- 求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報
- インターネットの就職サイト
- 企業・事業所・施設等の個別説明会
- 法人・事業所のHP
- 就職フェアや合同説明会等の就職イベント
- 自主的な職場体験・実習・インターンやボランティア
- 学校のカリキュラムの一環としての職場体験・実習・インターンやボランティア
- SNSやブログ、口コミサイトの情報
- 人材紹介会社の紹介
- 学校の就職支援部署の紹介・推薦
- 学校の先生からの情報・紹介
- 学校のクラスメイトからの情報・口コミ
- 介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介
- 家族・友人・知人の紹介
- その他
- あてはまるものがない

Q21) 特定の目標を考えている場合は、その目標の達成はどの程度難しいと感じていますか、以下の選択肢のうち最も近いものをお一つ選択してください。(単一選択)

1～3程度
 4～6程度
 7～9程度
 10以上
 10/5A/1～80/7/1A/1
 その他

※ 選択した回答を基に、次のようなメッセージが表示されます。

Q22) 特定の目標を考えている場合は、その目標の達成はどの程度難しいと感じていますか、以下の選択肢のうち最も近いものをお一つ選択してください。(単一選択)

目標達成が容易に感じている
 目標達成がやや難しいと感じている
 目標達成が非常に難しいと感じている
 目標達成が不可能に感じている
 その他

Q21) 特定の目標を考えている場合は、その目標の達成はどの程度難しいと感じていますか、以下の選択肢のうち最も近いものをお一つ選択してください。(単一選択)

達成が容易
 達成がやや難しい
 達成が非常に難しい
 達成が不可能
 その他

※ 選択した回答を基に、次のようなメッセージが表示されます。

Q22) 特定の目標を考えている場合は、その目標の達成はどの程度難しいと感じていますか、以下の選択肢のうち最も近いものをお一つ選択してください。(単一選択)

目標達成が容易に感じている
 目標達成がやや難しいと感じている
 目標達成が非常に難しいと感じている
 目標達成が不可能に感じている
 その他

(5) インフォーマルケア調査

インフォーマルケア調査

調査員 (行かたのり)
 単一調査 (ひとがた)
 単一調査 (ひとりごと)

9Q1

現在、あなたがお住みの地域の介護保険についてご存知ですか。該当するものを一つ選択してください。
 2人以上の方の介護を行っている場合は、任意の1人について回答ください。
 ※介護保険でサービスを受けられている方や、自宅外に介護施設への介護を受けている方

1. 現在、介護保険のサービスについてご存知です。
 2. 現在は介護保険のサービスについてご存知ありませんが、過去に介護保険のサービスについてご存知です。
 3. 介護保険のサービスについてご存知ありません。

▲ 回答をお願いします

9Q2

現在、あなたが介護を行っている方は、あなたが介護している方(被介護者)にどのような介護サービスを受けていますか。
 2人以上の方の介護を行っている場合は、任意の1人について回答ください。

1. 食事の援助
 2. 服薬の援助
 3. 排泄の援助
 4. 移動の援助 (車椅子の操作)
 5. 入浴の援助
 6. 子どもの世話
 7. その他

▲ 回答をお願いします

9Q3

現在、あなたが介護を行っている方の介護サービスについてご存知ですか。該当するものを一つ選択してください。
 2人以上の方の介護を行っている場合は、任意の1人について回答ください。

1. 介護士
 2. 介護員
 3. 介護士
 4. 介護士
 5. 介護士
 6. 介護士
 7. 介護士
 8. 介護士 (介護士はすべて)

▲ 回答をお願いします

9Q4

現在、あなたが介護を行っている方に介護サービスを提供する方(介護者)は、どのような経路で介護サービスを受けていますか。該当するものを一つ選択してください。
 2人以上の方の介護を行っている場合は、任意の1人について回答ください。

1. 65歳未満
 2. 65歳～74歳未満
 3. 75歳～79歳未満
 4. 80歳～84歳未満
 5. 85歳～89歳未満
 6. 90歳～94歳未満
 7. 95歳以上

▲ 回答をお願いします

Q1

あなたの性別について選択してください。

1. 女性
 2. 男性

▲ 回答をお願いします

Q2

あなたの年齢について、該当するものを一つ選択してください。

1. ～19歳
 2. 20～24歳
 3. 25～29歳
 4. 30～34歳
 5. 35～39歳
 6. 40～44歳
 7. 45～49歳
 8. 50～54歳
 9. 55～59歳
 10. 60～64歳
 11. 65歳以上

▲ 回答をお願いします

Q3

あなたの職業について、該当するものを一つ選択してください。

1. 医師
 2. 看護師
 3. 介護士

▲ 回答をお願いします

Q4 貴部・専門学校の志望を教えてください。 該当するもの一つ選択してください。

▲ 複数回答可

1. 中学校

2. 高等学校（介護福祉科の学科）

3. 高等学校（上記以外）

4. 専門学校（介護福祉科の学科）

5. 専門学校（上記以外）

6. 大学・大学院（介護福祉科の学科）

7. 大学・大学院（上記以外）

Q5 貴部・専門学校の志望理由を教えてください。 該当するものを全て選択してください。

▲ 複数回答可

1. 貴部・専門学校の志望していない

2. 介護福祉科以外の専修・専門学校に通っている/卒業

3. 介護福祉科以外の専修・専門学校に通っていた/卒業

Q10 あなたが所属している機関について、該当するものすべて選択してください。

▲ 複数回答可

1. 介護福祉士

2. 介護福祉学校教員候補者（期間介護福祉学校教員候補者修了者を含む）

3. 介護福祉学校教員候補者（期間介護福祉学校教員候補者修了者を含む）

4. 職員候補者

5. 役員候補者

6. 医師候補者（医師免許取得済）

7. 介護士候補者（介護士修了者）

8. 介護福祉士/介護士

9. 介護福祉学校教員候補者

10. その他

11. 期間介護福祉学校教員候補者

12. 職員候補者

13. 医師候補者

14. 該当する機関はない

Q4 あなたの所属する機関について、該当するもの一つ選択してください。

▲ 複数回答可

1. 子育て支援施設

2. 1人

3. 2人

4. 3人以上

Q5 あなたの所属する機関について、該当するもの一つ選択してください。

▲ 複数回答可

1. 児童福祉施設

2. 児童福祉施設以外

Q6 あなたの所属する機関について、該当するもの一つ選択してください。

▲ 複数回答可

1. 職員候補者

2. 役員候補者

Q7 あなたの所属する機関について、該当するもの一つ選択してください。

▲ 複数回答可

1. 1人

2. 2人

3. 3人以上

Q15 現在行っている介護サービスの提供形態はどの方が適切か、1つ選択してください。
 該当するものをすべて選択してください。(1つでも)

▲ 回答を併用ください

1. 介護士などの専門的な人の介護サービスを受ける
 2. 在宅サービス(訪問介護)を受けるサービスを受ける
 3. 学校や児童センターなどの介護サービスを受ける
 4. 介護施設などの介護サービスを受ける施設がある
 5. 上記以外の介護サービスがある
 6. 介護施設がなかった

Q16 あなたが日本国内に介護を行っているのはどのような理由か、1つ選択してください。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. 男性
 2. 女性

Q17 あなたが日本国内に介護を行っているのはどのような理由か、1つ選択してください。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. ～49歳
 2. 50～54歳
 3. 55～59歳
 4. 60～64歳
 5. 65～69歳
 6. 70～74歳
 7. 75～79歳
 8. 80～84歳
 9. 85～89歳
 10. 90歳～

Q11 現在の、ご自身の介護サービスを受けている介護サービスの提供形態はどの方が適切か、1つ選択してください。
 なお、本アンケートには「訪問介護/ヘルパー/パートタイムの高齢者福祉サービス/ヘルパー」は「訪問介護/ヘルパー/パートタイムの高齢者福祉サービス」の項目に含めさせていただきます。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. ヘルパーが来てくれる
 2. ヘルパーが来てくれる
 3. 施設で受けたい

Q12 現在の、ご自身の介護サービスを受けている介護サービスの提供形態はどの方が適切か、1つ選択してください。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. 10万円未満 (所得税)
 2. 10万円未満 (住民税)
 3. 130～400万円
 4. 401～800万円
 5. 801～1,000万円
 6. 1,001万円～

Q13 現在の、ご自身の介護サービスを受けている介護サービスの提供形態はどの方が適切か、1つ選択してください。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. 100万円未満
 2. 100～200万円
 3. 201～300万円
 4. 301～400万円
 5. 401～800万円
 6. 801～1,000万円
 7. 1,001万円～

Q14 現在の、ご自身の介護サービスを受けている介護サービスの提供形態はどの方が適切か、1つ選択してください。
 ※ 複数の理由がある場合は、主要な理由を1つだけ選択してください。

▲ 回答を併用ください

1. 貯蓄引当
 2. 50万円未満
 3. 50～100万円
 4. 101～200万円
 5. 201～300万円
 6. 301～400万円
 7. 401～800万円
 8. 801～1,000万円
 9. 1,001万円～

Q21 あなたが日常的に行っている行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 学び直し
 2. 貯蓄
 3. 50万円未満
 4. 50～100万円
 5. 101～200万円
 6. 201～300万円
 7. 301～400万円
 8. 401～600万円
 9. 601～1,000万円
 10. 1,001万円～

▲ 複数文を併記した日

Q22 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 回復している
 2. 回復していない

▲ 複数文を併記した日

Q23 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 5分未満
 2. 5分以上10分未満
 3. 20分以上40分未満
 4. 40分以上60分未満
 5. 60分以上80分未満
 6. 80分以上

▲ 複数文を併記した日

Q24 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 1人暮らし
 2. 夫婦2人暮らし（配偶者は専業主婦）
 3. 夫婦2人暮らし（配偶者は専業主夫）
 4. 母子・父子・核心3人暮らし
 5. 50歳以下

024_358

▲ 複数文を併記した日

Q18 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 貯蓄
 2. 心療内科
 3. 学び直し
 4. 貯蓄と心療内科（貯蓄は専業主婦専業主夫）
 5. 貯蓄と心療内科（貯蓄は専業主夫）
 6. 貯蓄と心療内科（心療内科は専業主夫）
 7. 貯蓄と心療内科（心療内科は専業主夫）
 8. 貯蓄と心療内科
 9. 貯蓄と心療内科
 10. 貯蓄と心療内科
 11. 貯蓄と心療内科
 12. 貯蓄と心療内科
 13. 貯蓄と心療内科
 14. 50歳以下
 15. 不明

018_302A

▲ 複数文を併記した日

Q19 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 貯蓄
 2. 101万円未満（非専業主婦）
 3. 130万円未満（非専業主夫）
 4. 130～200万円
 5. 401～600万円
 6. 801～1,000万円
 7. 1,001万円～

▲ 複数文を併記した日

Q20 あなたが日常的に行っている行為のうち、最も一人ひとりに対して効果的だと感じるものはどれか。
※ 複数の行為を行っている場合は、主要な一人ひとりに対して効果的だと感じるものを選びなさい。

1. 貯蓄
 2. 100万円未満
 3. 100～200万円
 4. 201～300万円
 5. 301～400万円
 6. 401～600万円
 7. 601～1,000万円
 8. 1,001万円～

▲ 複数文を併記した日

Q24

あなたが日常生活に介護を行う方法に関して、
利用している介護サービスについて該当するものを
すべて選択してください。(すべてでも)

※複数回の介護を行っている場合は、主要な一人について回答ください。

▲ 介護サービスの状況

- 1. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、食事・掃除・洗濯・洗濯物を干すなどの介護を行っている。
- 2. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 3. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 4. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 5. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 6. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 7. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 8. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 9. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 10. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 11. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。

Q25

Q25

あなたが日常生活に介護を行う方法に関して、
利用している介護サービスについて該当するものを
すべて選択してください。(すべてでも)

※複数回の介護を行っている場合は、主要な一人について回答ください。

▲ 介護サービスの状況

- 1. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、食事・掃除・洗濯・洗濯物を干すなどの介護を行っている。
- 2. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。
- 3. 訪問介護サービスヘルパーが週に数回、入浴・排泄・食事・洗濯物の干すなどの介護を行っている。

Q27 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 利用希望書と介護保険証の提示
 2. 利用希望書と本人の同意書

Q28 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 介護保険証の提示
 2. 本人の同意書
 3. 利用希望書と本人の同意書
 4. 本人の同意書と介護保険証の提示
 5. 本人の同意書
 6. 介護保険証の提示

Q29 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 本人
 2. 2人以上

Q30 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 10%以下
 2. 10%～20%未満
 3. 20%～50%未満
 4. 50%～70%未満
 5. 70%～90%未満
 6. 90%以上

Q31 事業者の個人用（事業者）サービス（利用者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 利用希望書と本人の同意書
 2. 利用希望書と本人の同意書

Q32 事業者の個人用（事業者）サービス（利用者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 本人の同意書
 2. 本人の同意書と本人の同意書
 3. 本人の同意書と本人の同意書
 4. 本人の同意書と本人の同意書
 5. 本人の同意書
 6. 本人の同意書

Q33 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 本人
 2. 2人以上

Q34 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 10%以下
 2. 10%～20%未満
 3. 20%～50%未満
 4. 50%～70%未満
 5. 70%～90%未満
 6. 90%以上

Q27 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 利用希望書と本人の同意書
 2. 利用希望書と本人の同意書

Q28 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 本人
 2. 2人以上

Q29 個人、介護施設サービス提供事業者（事業者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 10%以下
 2. 10%～20%未満
 3. 20%～50%未満
 4. 50%～70%未満
 5. 70%～90%未満
 6. 90%以上

Q30 事業者の個人用（事業者）サービス（利用者）の特定利用者が、
提供されるサービスを受けようとする場合、
どのような手続きが必要ですか。

1. 本人の同意書
 2. 本人の同意書と本人の同意書
 3. 本人の同意書と本人の同意書
 4. 本人の同意書と本人の同意書
 5. 本人の同意書
 6. 本人の同意書

Q39

あなたが所属しているか、または日本の主要な労働市場について、
 最近、職業的行動の国際的な移動の傾向、職業の志望や
 職業的行動の傾向の予測、キャリア戦略（職業的
 行動の方向から期待される職業的行動）を以下の
 ※ 労働者の行動を行っている場合は、
 主要な一人について回答してください。

- ▲ 回答を新ページに
 1. Q39S1 → 日本での行動
 2. Q39S2 → 日本での行動
 3. Q39S3 → 日本での行動

Q40

あなたが現在行っている労働者の行動について、
 該当するものすべてを選択してください。（複数可）

- ▲ 回答を新ページに
 1. 日本国内
 2. 海外の国
 3. 職業の国（個人企業）
 4. 入社企業
 5. 自営企業（自営・自営企業）
 6. 非営利組織
 7. 労働組合、団体
 8. 労働組合、団体
 9. 労働組合、団体
 10. 労働組合への参加
 11. 労働組合の参加（労働組合、21〜7年）
 12. 労働組合の参加（労働組合）
 13. 労働組合の参加（労働組合、企業、業、組合）
 14. 労働組合の参加（労働組合）
 15. その他（注）
- Q39-Q39A

Q41

労働者への行動方針の傾向に、あなたの意見が反映する
 程度について、該当するものすべてを選択してください。

- ▲ 回答を新ページに
 1. 非常に反映する
 2. やや反映する
 3. 多少反映しない
 4. 全く反映しない

Q35

出陣の準備を手伝っているか、一時的に仕事を中断している
 家族の人はいますか。該当するものすべてを選択してください。
 ※ 応答： 自動車での移動手段の確保の困難さ、および

- ▲ 回答を新ページに
 1. 出陣の準備を手伝っているか、一時的に仕事を中断している家族の一人がいる
 2. 出陣の準備を手伝っているか、一時的に仕事を中断している家族の一人はいない

Q36

このまでに労働者の行動の傾向として、
 該当するものすべてを選択してください。
 （出陣の準備を行っている労働者への行動のみです）

- ▲ 回答を新ページに
 1. 6か月未満
 2. 6か月～1年未満
 3. 1年～2年未満
 4. 2年～3年未満
 5. 3年～5年未満
 6. 5年以上

Q37

あなたが行っている労働者への行動の傾向として、
 該当するものすべてを選択してください。
 ※ 労働者の行動を行っている場合は、主要な一人について回答してください。

- ▲ 回答を新ページに
 1. ほとんどない
 2. 少ない
 3. 多い
 4. 非常に多い

Q38

あなたが行っている労働者への行動の傾向として、
 該当するものすべてを選択してください。
 ※ 労働者の行動を行っている場合は、主要な一人について回答してください。
 ※ 労働者の行動を行っている場合は、

- ▲ 回答を新ページに
 1. ほとんどない
 2. 少ない
 3. 多い
 4. 非常に多い

Q46

介護サービスで、抱っこは好きですが、
抱っこは苦手な人が多くいます。
抱っこは嫌いな人が多くいます。
抱っこは嫌いな人が多くいます。

▲ 介護士も対応して

Q46-1
Q46-2

- 抱っこリスト
1. 抱っこは好きです。
 2. 抱っこは好きです。
 3. 抱っこは好きです。
 4. 抱っこは好きです。
 5. 抱っこは好きです。
 6. 抱っこは好きです。
 7. 抱っこは好きです。
 8. 抱っこは好きです。
 9. 抱っこは好きです。
 10. 抱っこは好きです。
 11. 抱っこは好きです。
 12. 抱っこは好きです。
 13. 抱っこは好きです。
 14. 抱っこは好きです。
 15. 抱っこは好きです。
 16. 抱っこは好きです。

74

Q49

介護士は抱っこが好きです。
抱っこは好きです。
抱っこは好きです。
抱っこは好きです。

▲ 介護士も対応して

Q49-1
Q49-2

1. 抱っこは好きです。
2. 抱っこは好きです。
3. 抱っこは好きです。
4. 抱っこは好きです。
5. 抱っこは好きです。
6. 抱っこは好きです。
7. 抱っこは好きです。

74

Q47

介護士は抱っこが好きです。
抱っこは好きです。
抱っこは好きです。
抱っこは好きです。

▲ 介護士も対応して

Q47-1
Q47-2

- 抱っこリスト
1. 抱っこは好きです。
 2. 抱っこは好きです。
 3. 抱っこは好きです。
 4. 抱っこは好きです。
 5. 抱っこは好きです。
 6. 抱っこは好きです。
 7. 抱っこは好きです。
 8. 抱っこは好きです。
 9. 抱っこは好きです。
 10. 抱っこは好きです。
 11. 抱っこは好きです。
 12. 抱っこは好きです。
 13. 抱っこは好きです。
 14. 抱っこは好きです。
 15. 抱っこは好きです。
 16. 抱っこは好きです。
 17. 抱っこは好きです。
 18. 抱っこは好きです。

74

Q37 あなたは、銀行融資のなか、今後、おに多くの行に融資の心算が出来る
 とお考えか、銀行融資のなか、銀行融資の心算が出来るかお考えですか。
 該当するものをすべて選択してください。
 注、おの融資を受けるおの銀行に選択してください。

▲ 銀行を複数選択

項目リスト

Q37S1 該当するおの銀行(複数)

Q37S2 該当しない銀行(複数)

選択リスト

1. 自分(あなた)

2. 自分以外の個人(友人、家族、親戚)

3. 自分以外の個人(会社、商店、個人)

4. 自分以外の個人(銀行、信用金庫、信託)

5. 銀行、信託

6. その他

7. 行名がわからないおの銀行(複数)

P.4

Q37 あなたは、銀行融資のなか、今後、おに多くの行に融資の心算が出来る
 とお考えか、銀行融資のなか、銀行融資の心算が出来るかお考えですか。
 該当するものをすべて選択してください。
 注、おの融資を受けるおの銀行に選択してください。

▲ 銀行を複数選択

項目リスト

Q37S1 該当するおの銀行(複数)

Q37S2 該当しない銀行(複数)

選択リスト

1. 友だちの家

2. 銀行融資の心算

3. 銀行以外の個人(友人、家族、親戚)

4. 銀行以外の個人(会社、商店、個人)

5. 銀行、信託

6. 銀行以外の個人(銀行)

7. その他

P.4

Q68

ご自身の身体の不調による医療機関での受診状況についてお伺いします。
 該当するものをお選びください。
 ※身体的不調の例：高血圧、腰痛、むくみ等

▲ 設問文を折り返す

1. 身体の不調はない

2. 受診している

3. 受診したいができない

4. 受診していない

Q69

ご自身のこのご不調による医療機関での受診状況についてお伺いします。
 該当するものをお選びください。

▲ 設問文を折り返す

1. このご不調はない

2. 受診している

3. 受診したいができない

4. 受診していない

5. 受診していたが今はしていない

Q70

ご自身の健康状態の受診状況についてお伺いします。
 該当するものをお選びください。

▲ 設問文を折り返す

1. 受けている

2. 受けたいができない

3. 受けていない

Q71

ご自身が介護を行う中で、不安に感じられたときの相談相手として、
 該当するものをお選びください。(いくつでも)
 相談相手がない場合は、「相談する相手はいない」
 欄から相談したいと思っただけがない場合は「欄外」に相談したいと
 思っただけがない様子を各行選択してください。

▲ 設問文を折り返す

1. 同様の資格・職種

2. 別居の家族・関係

3. 介護事業者（ケアマネジャーなどの専門職）

4. カガリ介護

5. 友人・知人

6. 行政の民生課等の担当者（地域包括センターなど）

7. 病院の相談窓口

8. 民生委員

9. その他【FA】 Q71_DFA

10. 相談する相手はいない

11. 欄外に相談したいと思っただけはない

Q64

ご自身でも実施されている介護での介護方法等に際する
 情報の伝達方法について、該当するものをお選びください。

▲ 設問文を折り返す

1. 講習や講座に参加する

2. 講習が実施されていない場合は参加したい

3. 講習が実施されている場合は参加しない

Q65

居住している自治体で実施されている介護方法等に際する講習や
 講座などの参加の意向について、該当するものをお選び
 ください。また、「参加したいが参加できない」
 選択した場合はその理由をお答えください。

▲ 設問文を折り返す

1. 参加したいと思ふ

2. 参加したいが参加できない Q65_DFA

Q66

居住している自治体で実施されている講習や講座などの参加
 意向について、該当するものをお選びください。また、「参加したいが
 参加できない」場合はその理由をお答えください。

▲ 設問文を折り返す

1. 参加したいと思ふ

2. 参加したいが参加できない Q66_DFA

Q67

事業所の関係者の介護に関する研修や講習を受けているお申し込み
 意向について参加する意向についてお伺いします。また、介護方法
 に関する研修や講習の参加方法、参加の手段や手段の手段
 によって参加する意向をお伺いします。ご自身のご記入に
 ※参加の意向は「参加したいが参加できない」を選択してください。

▲ 設問文を折り返す

Q67_DFA

【参考資料2 データ編】

(1)事業所・施設調査

(2)介護従事者調査

(3)潜在介護人材調査

(4)介護福祉士養成施設の学生向け調査

(5)インフォーマルケア調査

(1)事業所・施設調査

サービス類型別集計(常勤職員のみ対象)

● 基本情報:サービス種別

	n	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	認知症対応型 共同生活介護	訪問介護	通所介護
施設系	648	44.8%	18.8%	16.5%	19.9%	0.0%	0.0%
訪問系	513	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
通所系	220	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

● 基本情報:法人種別

	n	営利法人	社会福祉法人 (社協)	社会福祉法人 (社協以外)	医療法人	NPO法人	生協・農協	地方公共団体	社団・財団	その他法人
施設系	648	23.0%	0.5%	54.5%	17.0%	1.4%	0.8%	1.1%	0.3%	1.5%
訪問系	513	66.5%	7.8%	10.5%	4.1%	4.9%	2.1%	1.0%	1.0%	2.1%
通所系	220	40.0%	11.8%	35.5%	5.5%	2.7%	2.7%	0.5%	0.0%	1.4%

● 問 I -2①:展開事業所数・施設数

	n	1事業所・施設のみ	2事業所・施設	3~5 事業所・施設	6~10 事業所・施設	11以上の 事業所・施設	無回答
施設系	648	12.0%	7.6%	25.5%	20.2%	33.6%	1.1%
訪問系	513	37.2%	10.3%	19.9%	9.6%	20.5%	2.5%
通所系	220	25.5%	6.4%	18.2%	12.7%	36.8%	0.5%

● 問 I -2②:展開エリア

	n	一つの市区町村に のみ	複数の市区町村 (同一都道府県内 のみ)	2つ以上の 都道府県	無回答
施設系	648	51.4%	23.6%	23.0%	2.0%
訪問系	513	62.0%	13.3%	15.4%	9.4%
通所系	220	55.9%	16.8%	21.8%	5.5%

● 問Ⅱ-1:人材の過不足感(訪問介護員・正規職員)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	2.2%	4.0%	2.5%	6.0%	0.2%	0.2%	85.0%
訪問系	513	19.1%	24.2%	20.5%	23.8%	1.6%	0.4%	10.5%
通所系	220	3.6%	2.3%	2.7%	4.1%	0.5%	0.5%	86.4%

● 問Ⅱ-1:人材の過不足感(訪問介護員・非正規職員)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	3.1%	5.2%	3.5%	1.9%	0.0%	2.8%	83.5%
訪問系	513	35.9%	25.5%	18.9%	7.8%	0.0%	0.4%	11.5%
通所系	220	5.9%	1.8%	2.7%	0.9%	0.0%	1.4%	87.3%

● 問Ⅱ-1:人材の過不足感(介護職員・正規職員)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	22.5%	26.7%	28.7%	17.9%	1.4%	0.0%	2.8%
訪問系	513	9.9%	11.5%	10.1%	9.6%	0.6%	0.2%	58.1%
通所系	220	11.8%	18.6%	25.0%	39.1%	1.4%	0.0%	4.1%

● 問Ⅱ-1:人材の過不足感(介護職員・非正規職員)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員 はいない	無回答
施設系	648	15.3%	21.6%	29.0%	22.5%	1.7%	0.8%	9.1%
訪問系	513	11.3%	11.9%	9.6%	5.5%	0.0%	1.2%	60.6%
通所系	220	13.6%	20.9%	25.5%	30.5%	0.5%	0.5%	8.6%

● 問Ⅱ-2:採用が困難になっている理由(施設系)

	非常に影響 がある	多少影響 がある	あまり影響 はない	まったく影響はない /あてはまらない	無回答
地域の労働人口が減少しているため	28.7%	39.4%	23.5%	4.8%	3.7%
地域内の労働力が他の地域(近隣都市部等)に流出しているため	19.3%	38.4%	32.6%	5.9%	3.9%
地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため	41.7%	41.5%	13.0%	1.7%	2.2%
新設の事業所・施設(他の法人)への転職者が増加しているため	14.7%	45.5%	32.6%	4.6%	2.6%
介護業界以外への転職者が増加しているため	23.6%	44.1%	27.2%	2.8%	2.3%
事業所・施設の立地条件がよくないため	10.6%	32.4%	39.7%	14.5%	2.8%
事業所・施設のPR不足のため	4.3%	41.4%	43.7%	8.0%	2.6%
地域での評判がよくない、良好な人間関係が作れていないため	0.9%	11.0%	57.3%	28.1%	2.8%
運営体制、職員育成体制に課題があるため	3.2%	26.1%	51.7%	16.0%	2.9%
希望する人材要件に合致する人材が不足しているため	27.2%	50.9%	16.7%	2.5%	2.8%
介護業界についてのマイナスイメージ	44.3%	43.4%	9.1%	1.1%	2.2%
定員割れで養成校からの採用が困難	42.0%	28.7%	19.9%	6.5%	2.9%
シフト勤務や夜勤等の不規則勤務を敬遠(日勤施設を選ぶ傾向)	34.0%	45.5%	17.0%	1.5%	2.0%
介護度の低い利用者が多い事業所・施設を選ぶ傾向	9.9%	39.4%	43.8%	4.3%	2.6%

● 問Ⅱ-2:採用が困難になっている理由(訪問系)

	非常に影響 がある	多少影響 がある	あまり影響 はない	まったく影響はない /あてはまらない	無回答
地域の労働人口が減少しているため	16.0%	35.9%	32.2%	11.7%	4.3%
地域内の労働力が他の地域(近隣都市部等)に流出しているため	9.6%	31.0%	41.1%	13.3%	5.1%
地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため	27.9%	44.1%	20.3%	4.1%	3.7%
新設の事業所・施設(他の法人)への転職者が増加しているため	9.0%	41.1%	40.0%	5.8%	4.1%
介護業界以外への転職者が増加しているため	31.8%	38.2%	21.1%	5.1%	3.9%
事業所・施設の立地条件がよくないため	3.7%	17.3%	55.6%	19.7%	3.7%
事業所・施設のPR不足のため	3.7%	40.5%	44.2%	7.8%	3.7%
地域での評判がよくない、良好な人間関係が作れていないため	1.4%	9.7%	49.3%	35.7%	3.9%
運営体制、職員育成体制に課題があるため	4.3%	21.8%	48.5%	20.7%	4.7%
希望する人材要件に合致する人材が不足しているため	29.2%	51.5%	13.1%	2.7%	3.5%
介護業界についてのマイナスイメージ	43.3%	43.3%	8.6%	1.9%	2.9%
定員割れで養成校からの採用が困難	13.8%	30.0%	35.5%	17.0%	3.7%
シフト勤務や夜勤等の不規則勤務を敬遠(日勤施設を選ぶ傾向)	23.0%	33.3%	22.2%	17.7%	3.7%
介護度の低い利用者が多い事業所・施設を選ぶ傾向	6.0%	25.7%	49.9%	14.6%	3.7%

● 問Ⅱ-2:採用が困難になっている理由(通所系)

	非常に影響 がある	多少影響 がある	あまり影響 はない	まったく影響はない /あてはまらない	無回答
地域の労働人口が減少しているため	21.8%	35.9%	30.5%	8.6%	3.2%
地域内の労働力が他の地域(近隣都市部等)に流出しているため	13.2%	32.3%	43.6%	7.7%	3.2%
地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため	32.3%	45.9%	16.8%	3.2%	1.8%
新設の事業所・施設(他の法人)への転職者が増加しているため	6.4%	39.5%	44.5%	8.2%	1.4%
介護業界以外への転職者が増加しているため	24.1%	42.7%	27.3%	3.6%	2.3%
事業所・施設の立地条件がよくないため	6.4%	21.4%	50.5%	20.5%	1.4%
事業所・施設のPR不足のため	4.5%	36.8%	48.6%	8.2%	1.8%
地域での評判がよくない、良好な人間関係が作れていないため	0.5%	8.6%	55.0%	34.5%	1.4%
運営体制、職員育成体制に課題があるため	4.1%	26.4%	48.2%	20.5%	0.9%
希望する人材要件に合致する人材が不足しているため	21.8%	56.4%	18.2%	1.8%	1.8%
介護業界についてのマイナスイメージ	41.4%	45.9%	10.0%	1.8%	0.9%
定員割れで養成校からの採用が困難	22.7%	31.4%	27.3%	16.4%	2.3%
シフト勤務や夜勤等の不規則勤務を敬遠(日勤施設を選ぶ傾向)	19.5%	27.3%	28.6%	22.7%	1.8%
介護度の低い利用者が多い事業所・施設を選ぶ傾向	4.1%	29.1%	46.8%	18.2%	1.8%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(訪問介護員・正規職員・新卒採用)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用して いない	無回答
施設系	648	0.0%	0.5%	0.6%	5.7%	50.2%	43.1%
訪問系	513	0.4%	2.3%	6.0%	17.7%	67.1%	6.4%
通所系	220	0.0%	0.0%	0.9%	4.1%	40.5%	54.5%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(訪問介護員・正規職員・中途採用)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用して いない	無回答
施設系	648	0.0%	0.9%	2.8%	6.0%	47.5%	42.7%
訪問系	513	1.4%	9.4%	20.3%	30.0%	34.7%	4.3%
通所系	220	0.5%	0.9%	0.9%	5.5%	38.2%	54.1%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(訪問介護員・非正規職員)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用して いない	無回答
施設系	648	0.3%	0.5%	2.8%	9.1%	44.4%	42.9%
訪問系	513	1.0%	8.2%	21.2%	50.7%	14.0%	4.9%
通所系	220	0.5%	0.0%	3.2%	8.2%	34.1%	54.1%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(介護職員・正規職員・新卒採用)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用して いない	無回答
施設系	648	1.2%	13.0%	15.3%	45.1%	22.7%	2.8%
訪問系	513	0.2%	1.8%	4.9%	10.5%	46.2%	36.5%
通所系	220	1.4%	7.3%	8.2%	23.2%	55.5%	4.5%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(介護職員・正規職員・中途採用)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用して いない	無回答
施設系	648	1.1%	10.5%	26.9%	50.9%	8.3%	2.3%
訪問系	513	0.4%	2.7%	12.1%	15.6%	33.3%	35.9%
通所系	220	2.7%	11.4%	16.4%	32.3%	35.5%	1.8%

● 問Ⅱ-3:採用の状況(介護職員・非正規職員)

	n	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用していない	無回答
施設系	648	0.6%	13.6%	30.9%	44.3%	7.6%	3.1%
訪問系	513	0.2%	4.5%	9.7%	19.1%	29.6%	36.8%
通所系	220	0.5%	15.9%	28.2%	36.4%	17.7%	1.4%

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(正規職員・新卒採用・活用しているもの)(MA)

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞雑誌等の求人広告	求人情報誌	電車やバスの車内広告	転職フェア、自治体等が主催する合同説明会	人材紹介会社の紹介	学校の紹介・推薦	家族・友人・知人の紹介	HP・事業所・施設の	Twitter(ブログ等)	HP以外事業所E・Bサイトの	その他
施設系	648	49.2%	18.1%	13.9%	12.2%	0.9%	30.4%	11.6%	47.7%	21.8%	44.0%	5.9%	15.7%	5.7%
訪問系	513	22.8%	3.5%	7.8%	6.8%	0.2%	8.0%	4.3%	11.7%	12.7%	14.2%	2.1%	5.1%	1.9%
通所系	220	31.8%	8.2%	12.3%	11.4%	0.0%	19.5%	5.0%	26.4%	15.5%	28.2%	4.1%	6.4%	5.5%

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(正規職員・新卒採用・効果があるもの)(MA)

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞雑誌等の求人広告	求人情報誌	電車やバスの車内広告	転職フェア、自治体等が主催する合同説明会	人材紹介会社の紹介	学校の紹介・推薦	家族・友人・知人の紹介	HP・事業所・施設の	Twitter(ブログ等)	HP以外事業所E・Bサイトの	その他
施設系	648	16.2%	2.6%	4.0%	3.2%	0.0%	9.9%	5.2%	29.0%	10.2%	14.2%	2.5%	6.2%	3.5%
訪問系	513	6.4%	0.2%	2.3%	1.9%	0.0%	2.9%	1.8%	7.0%	5.7%	4.5%	0.2%	1.8%	1.2%
通所系	220	14.5%	2.3%	4.1%	3.6%	0.0%	7.3%	0.5%	17.3%	7.7%	11.8%	2.3%	2.7%	1.4%

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(正規職員・中途採用・活用しているもの)(MA)

	n	ハロ ー ワ ー ク	福 祉 人 材 セ ン タ ー	告 ・ 新 聞 や 雑 誌 等 の 求 人 広 告	求 人 情 報 誌	電 車 や バ ス の 車 内 広 告	主 催 す る 合 同 説 明 会 等 が	転 職 フ ェ ア 、 自 治 体 等 が	人 材 紹 介 会 社 の 紹 介	学 校 の 紹 介 ・ 推 薦	家 族 ・ 友 人 ・ 知 人 の 紹 介	H P 法 人 ・ 事 業 所 ・ 施 設 の	T w i t t e r 等)	S N S (プ ロ グ 、 等)	H P 法 人 ・ 以 外 の 事 業 所 ・ E B 施 設 の サ イ ト	そ の 他
施設系	648	76.7%	29.9%	39.8%	30.6%	2.9%	39.7%	38.0%	15.9%	53.9%	55.6%	6.5%	21.3%	5.7%		
訪問系	513	55.2%	9.6%	23.0%	23.8%	1.2%	11.9%	13.5%	4.5%	36.6%	26.9%	3.3%	9.7%	4.9%		
通所系	220	58.2%	14.5%	24.5%	25.9%	0.9%	23.2%	19.1%	7.7%	35.5%	33.2%	5.0%	10.9%	4.1%		

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(正規職員・中途採用・効果があるもの)(MA)

	n	ハロ ー ワ ー ク	福 祉 人 材 セ ン タ ー	告 ・ 新 聞 や 雑 誌 等 の 求 人 広 告	求 人 情 報 誌	電 車 や バ ス の 車 内 広 告	主 催 す る 合 同 説 明 会 等 が	転 職 フ ェ ア 、 自 治 体 等 が	人 材 紹 介 会 社 の 紹 介	学 校 の 紹 介 ・ 推 薦	家 族 ・ 友 人 ・ 知 人 の 紹 介	H P 法 人 ・ 事 業 所 ・ 施 設 の	T w i t t e r 等)	S N S (プ ロ グ 、 等)	H P 法 人 ・ 以 外 の 事 業 所 ・ E B 施 設 の サ イ ト	そ の 他
施設系	648	41.8%	4.8%	12.3%	9.9%	0.2%	9.6%	22.7%	3.4%	31.6%	20.7%	1.9%	9.0%	3.9%		
訪問系	513	24.8%	1.0%	6.2%	9.7%	0.0%	2.5%	7.0%	0.8%	23.0%	8.0%	1.0%	4.9%	3.7%		
通所系	220	37.3%	3.2%	10.9%	10.9%	0.0%	7.7%	10.9%	2.3%	21.8%	15.0%	2.7%	4.1%	0.5%		

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(非正規職員・活用しているもの)(MA)

	n	ハロ ー ワ ー ク	福 祉 人 材 セ ン タ ー	告 ・ 新 聞 や 雑 誌 等 の 求 人 広 告	求 人 情 報 誌	電 車 や バ ス の 車 内 広 告	主 催 す る 合 同 説 明 会 等 が	転 職 フ ェ ア 、 自 治 体 等 が	人 材 紹 介 会 社 の 紹 介	学 校 の 紹 介 ・ 推 薦	家 族 ・ 友 人 ・ 知 人 の 紹 介	H P 法 人 ・ 事 業 所 ・ 施 設 の	T w i t t e r 等)	S N S (プ ロ グ 、 等)	H P 法 人 ・ 以 外 の 事 業 所 ・ E B 施 設 の サ イ ト	そ の 他
施設系	648	66.5%	23.3%	36.0%	24.2%	2.6%	27.6%	28.4%	9.7%	45.8%	41.0%	5.4%	15.3%	6.5%		
訪問系	513	49.3%	9.4%	27.9%	25.5%	1.2%	11.1%	12.3%	4.5%	47.2%	28.5%	3.5%	9.7%	7.4%		
通所系	220	58.2%	12.3%	28.2%	25.0%	0.9%	18.2%	16.4%	5.9%	37.7%	32.7%	4.5%	10.5%	5.5%		

● 問Ⅱ-4:採用ルート及び採用に関する情報発信ルート(非正規職員・効果があるもの)(MA)

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞・雑誌等の求人広告	求人情報誌	電車やバスの車内広告	転職する会社、自治体等が主催するフェア	人材紹介会社の紹介	学校の紹介・推薦	家族・友人・知人の紹介	H P 法人・事業所・施設の	T w i t t e r (プ ロ グ ラ ム 等)	H P 以外事業所・施設のサイト	その他
施設系	648	34.9%	2.8%	13.7%	9.6%	0.0%	4.8%	14.7%	1.5%	28.2%	13.4%	1.4%	6.3%	3.9%
訪問系	513	17.9%	0.8%	7.6%	10.5%	0.0%	2.3%	5.8%	1.6%	31.8%	8.4%	1.0%	5.3%	4.9%
通所系	220	35.0%	3.2%	11.8%	11.4%	0.0%	5.9%	10.5%	2.3%	25.0%	13.2%	2.3%	5.0%	2.7%

● 問Ⅱ-5:正規職員の採用の方法(MA)

	n	採用は法人本部や地域の統括本部で行う	採用は事業所・施設ごとに行う	その他
施設系	648	51.1%	56.6%	3.9%
訪問系	513	43.7%	55.4%	4.3%
通所系	220	60.5%	45.5%	1.8%

● 問Ⅱ-6:高齢者の活用への取り組み状況

	n	積極的に取り組んでいる	ある程度は取り組んでいる	取り組んでいないが、今後取り組みたい	取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない	無回答
施設系	648	47.2%	44.3%	3.7%	3.4%	1.4%
訪問系	513	53.4%	37.6%	4.1%	2.7%	2.1%
通所系	220	37.3%	51.4%	5.5%	4.5%	1.4%

● 問Ⅱ-6:障がい者の活用への取り組み状況

	n	積極的に取り組んでいる	ある程度は取り組んでいる	取り組んでいないが、今後取り組みたい	取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない	無回答
施設系	648	15.6%	47.5%	19.6%	14.8%	2.5%
訪問系	513	5.1%	21.6%	24.4%	43.9%	5.1%
通所系	220	8.2%	36.4%	25.9%	26.8%	2.7%

● 問Ⅱ-6:外国人の活用への取り組み状況

	n	積極的に 取り組んでいる	ある程度は 取り組んでいる	取り組んでいないが、 今後取り組みたい	取り組んでおらず、今 後も取り組む予定はない	無回答
施設系	648	10.3%	18.1%	40.7%	28.7%	2.2%
訪問系	513	2.9%	12.9%	34.1%	44.4%	5.7%
通所系	220	5.0%	16.4%	31.4%	42.7%	4.5%

● 問Ⅱ-7:中途採用時の条件(就業経験)

	n	経験者に 限定	経験者を 優先	就業経験は 問わない	無回答
施設系	648	1.9%	22.1%	75.6%	0.5%
訪問系	513	3.1%	28.1%	66.5%	2.3%
通所系	220	0.5%	31.8%	66.4%	1.4%

● 問Ⅱ-7:中途採用時の条件(資格)

	n	資格保有者 に限定	資格は 問わない	無回答
施設系	648	13.6%	85.2%	1.2%
訪問系	513	66.1%	31.6%	2.3%
通所系	220	24.5%	73.2%	2.3%

● 問Ⅱ-7:中途採用時の条件(年齢)

	n	概ね45歳 未満	概ね60歳 未満	年齢は 問わない	無回答
施設系	648	7.1%	34.9%	56.9%	1.1%
訪問系	513	3.5%	22.6%	72.1%	1.8%
通所系	220	7.7%	33.6%	57.7%	0.9%

● 問Ⅱ-7:中途採用時の条件(時間制約)

	n	フルタイム 勤務限定	時間制約がある人 でも良い	無回答
施設系	648	19.8%	79.2%	1.1%
訪問系	513	6.2%	92.0%	1.8%
通所系	220	14.1%	83.2%	2.7%

● 問Ⅱ-7:中途採用時の条件(夜勤の可否)

	n	夜勤ができる 人に限定	夜勤の可否 は問わない	無回答
施設系	648	16.7%	81.8%	1.5%
訪問系	513	2.1%	86.4%	11.5%
通所系	220	2.3%	75.0%	22.7%

● 問Ⅱ-8:事業所・施設への応募者が重視した要素と想定されるもの(施設系)

	n	非常に重視 したと思う	ある程度重視 したと思う	あまり重視して いなかったと思う	まったく重視して いなかったと思う	無回答
キャリアアップの機会	648	9.4%	57.1%	28.9%	2.6%	2.0%
賃金水準	648	44.0%	51.9%	3.2%	0.0%	0.9%
労働時間・休日等の労働条件	648	38.7%	54.6%	5.6%	0.0%	1.1%
人事評価・処遇のあり方	648	9.1%	51.7%	35.0%	2.3%	1.9%
立地条件(通勤利便性)	648	25.8%	57.6%	15.0%	0.6%	1.1%
人間関係・雰囲気	648	33.5%	57.7%	7.4%	0.3%	1.1%
雇用の安定性	648	30.2%	56.5%	11.4%	0.8%	1.1%
福利厚生	648	16.4%	55.4%	26.1%	1.2%	0.9%
教育訓練・能力開発のあり方	648	11.4%	53.1%	32.3%	2.2%	1.1%
知識や経験の活用可能性	648	7.1%	61.9%	28.4%	1.5%	1.1%
周囲(家族等)からの評判	648	11.4%	56.6%	29.8%	1.2%	0.9%
事業所・施設の理念・方針	648	8.8%	46.9%	39.7%	3.7%	0.9%

● 問Ⅱ-8:事業所・施設への応募者が重視した要素と想定されるもの(訪問系)

	n	非常に重視 したと思う	ある程度重視 したと思う	あまり重視して いなかったと思う	まったく重視して いなかったと思う	無回答
キャリアアップの機会	513	9.7%	49.5%	30.2%	5.3%	5.3%
賃金水準	513	37.0%	53.8%	6.2%	0.4%	2.5%
労働時間・休日等の労働条件	513	35.5%	58.1%	3.3%	0.4%	2.7%
人事評価・処遇のあり方	513	11.5%	55.0%	27.1%	2.7%	3.7%
立地条件(通勤利便性)	513	22.8%	58.5%	13.8%	1.6%	3.3%
人間関係・雰囲気	513	29.0%	58.5%	9.0%	1.0%	2.5%
雇用の安定性	513	21.2%	61.2%	12.7%	1.4%	3.5%
福利厚生	513	16.2%	48.3%	28.5%	3.3%	3.7%
教育訓練・能力開発のあり方	513	8.4%	50.5%	33.7%	4.1%	3.3%
知識や経験の活用可能性	513	8.2%	65.7%	20.9%	2.1%	3.1%
周囲(家族等)からの評判	513	11.9%	50.1%	30.8%	3.9%	3.3%
事業所・施設の理念・方針	513	9.7%	50.3%	33.1%	3.5%	3.3%

● 問Ⅱ－8:事業所・施設への応募者が重視した要素と想定されるもの(通所系)

	n	非常に重視したと思う	ある程度重視したと思う	あまり重視していなかったと思う	まったく重視していなかったと思う	無回答
キャリアアップの機会	220	5.5%	53.2%	30.9%	6.4%	4.1%
賃金水準	220	37.3%	56.4%	5.0%	0.0%	1.4%
労働時間・休日等の労働条件	220	44.5%	50.5%	3.6%	0.0%	1.4%
人事評価・処遇のあり方	220	5.5%	57.3%	31.4%	3.6%	2.3%
立地条件(通勤利便性)	220	23.6%	56.4%	15.9%	2.3%	1.8%
人間関係・雰囲気	220	32.7%	56.8%	7.3%	1.8%	1.4%
雇用の安定性	220	23.6%	62.3%	10.5%	2.3%	1.4%
福利厚生	220	15.9%	50.9%	28.2%	3.6%	1.4%
教育訓練・能力開発のあり方	220	8.2%	45.0%	40.5%	5.0%	1.4%
知識や経験の活用可能性	220	5.9%	64.1%	25.5%	3.2%	1.4%
周囲(家族等)からの評判	220	8.2%	59.1%	29.5%	1.8%	1.4%
事業所・施設理念・方針	220	6.8%	49.1%	39.5%	3.2%	1.4%

● 問Ⅱ－11:人材の定着率の認識(正規職員・新卒採用)

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	22.2%	39.0%	7.6%	1.2%	26.2%	3.7%
訪問系	513	6.2%	12.1%	4.5%	1.0%	62.0%	14.2%
通所系	220	14.1%	31.4%	6.8%	1.4%	37.3%	9.1%

● 問Ⅱ－11:人材の定着率の認識(正規職員・中途採用)

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	14.4%	53.9%	22.4%	3.5%	2.9%	2.9%
訪問系	513	18.9%	42.5%	11.1%	4.1%	16.8%	6.6%
通所系	220	21.8%	45.0%	13.2%	5.5%	11.4%	3.2%

● 問Ⅱ－11:人材の定着率の認識(非正規職員)

	n	定着率は十分に高い	定着率はある程度高い	定着率はあまり高くない	定着率は低い	採用者はいない	無回答
施設系	648	14.5%	48.8%	22.1%	5.1%	3.7%	5.9%
訪問系	513	18.9%	51.7%	12.5%	4.1%	6.2%	6.6%
通所系	220	18.2%	55.5%	15.0%	4.5%	3.2%	3.6%

● 問Ⅱ－11:介護職員が離職する理由(上位3つ選択)

	n	のキ 機 会 ア ッ プ	体 調 不 調	と職 の員 ・同 僚 係	と利 の用 者 や そ の 家 族	結 婚	賃 金 水 準	出 産 ・ 育 児	親 族 の 介 護 ・ 看 護	分 か ら な い
施設系	648	16.5%	63.0%	69.4%	8.2%	17.9%	45.2%	17.1%	23.6%	1.4%
訪問系	513	13.6%	60.8%	42.1%	17.9%	5.8%	47.8%	9.4%	37.8%	2.5%
通所系	220	15.9%	50.9%	65.9%	5.9%	8.6%	46.4%	22.3%	27.7%	2.7%

● 問Ⅲ－1:職員の確保・定着・離職防止の取り組みの実施状況

	n	積極的 に行っている	ある程度 行っている	行っていない	無回答
施設系	648	17.4%	50.2%	4.9%	27.5%
訪問系	513	11.1%	47.0%	12.9%	29.0%
通所系	220	12.7%	50.0%	11.4%	25.9%

● 問Ⅲ－2－1:職員の「確保」に向けた取り組みの具体的な実施状況(施設系)

	n	実施している	実施していない
P R 方 法	事業所・施設HPやSNS(フェイスブック、ブログ等)で事業所の個性をアピールする	75.2%	24.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	79.0%	21.0%
	インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入している	49.1%	50.9%
地 域 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	56.3%	43.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	81.8%	18.2%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	67.7%	32.3%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	40.7%	59.3%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	55.1%	44.9%
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	78.7%	21.3%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	80.7%	19.3%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	92.1%	7.9%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	48.9%	51.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	87.3%	12.7%
	夜勤専従職員を採用している	47.1%	52.9%
	職場体験や見学を実施している	84.9%	15.1%
	元職員への働きかけを行っている	61.6%	38.4%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	72.7%	27.3%

● 問Ⅲ-2-1:職員の「確保」に向けた取り組みの具体的な実施状況(訪問系)

訪問系		n	実施している	実施していない
P R 方 法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	513	49.7%	50.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	513	65.9%	34.1%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	513	24.4%	75.6%
地 域 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	513	18.5%	81.5%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	513	45.2%	54.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	513	35.7%	64.3%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	513	14.8%	85.2%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	513	44.8%	55.2%
条 件 人	賃金体系の見直しを行っている	513	72.5%	27.5%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	513	72.9%	27.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	513	80.9%	19.1%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	513	44.8%	55.2%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	513	56.1%	43.9%
	夜勤専従職員を採用している	513	24.8%	75.2%
	職場体験や見学を実施している	513	42.3%	57.7%
	元職員への働きかけを行っている	513	53.4%	46.6%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	513	60.2%	39.8%

● 問Ⅲ-2-1:職員の「確保」に向けた取り組みの具体的な実施状況(通所系)

通所系		n	実施している	実施していない
P R 方 法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	220	62.7%	37.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	220	68.6%	31.4%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	220	37.7%	62.3%
地 域 交 流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	220	34.1%	65.9%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	220	63.2%	36.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	220	51.8%	48.2%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	220	25.0%	75.0%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	220	41.8%	58.2%
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	220	70.0%	30.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	220	67.3%	32.7%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	220	82.3%	17.7%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	220	30.0%	70.0%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	220	75.9%	24.1%
	夜勤専従職員を採用している	220	14.5%	85.5%
	職場体験や見学を実施している	220	66.8%	33.2%
	元職員への働きかけを行っている	220	45.5%	54.5%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	220	65.0%	35.0%

● 問Ⅲ-2-1:職員の「確保」に向けた取り組みの効果認識(施設系)

施設系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	487	6.8%	45.6%	42.1%	5.5%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	512	2.3%	40.8%	50.0%	6.8%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	318	8.2%	46.5%	38.4%	6.9%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	365	7.1%	43.6%	37.3%	12.1%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	530	5.1%	27.7%	55.1%	12.1%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	439	16.6%	41.0%	35.3%	7.1%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	264	5.7%	42.8%	46.6%	4.9%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	357	1.7%	28.9%	55.5%	14.0%
条 求 人 件	賃金体系の見直しを行っている	510	10.4%	55.3%	31.2%	3.1%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	523	11.5%	60.2%	25.2%	3.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	597	9.2%	55.6%	30.7%	4.5%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	317	10.4%	44.2%	37.9%	7.6%
	未経験者・無資格者の採用も積極的にやっている	566	14.1%	56.4%	26.3%	3.2%
	夜勤専従職員を採用している	305	8.9%	49.8%	31.5%	9.8%
	職場体験や見学を実施している	550	9.6%	47.6%	36.2%	6.5%
	元職員への働きかけを行っている	399	5.0%	41.4%	42.9%	10.8%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	471	3.6%	41.4%	48.4%	6.6%

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-2-1:職員の「確保」に向けた取り組みの効果認識(訪問系)

訪問系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	255	4.7%	34.5%	49.0%	11.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	338	1.8%	32.5%	51.8%	13.9%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	125	7.2%	37.6%	45.6%	9.6%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	95	6.3%	37.9%	41.1%	14.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	232	1.3%	35.3%	48.3%	15.1%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	183	6.6%	31.7%	47.0%	14.8%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	76	9.2%	39.5%	39.5%	11.8%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	230	2.6%	23.0%	53.0%	21.3%
条 求 人 件	賃金体系の見直しを行っている	372	10.2%	53.8%	29.0%	7.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	374	14.2%	55.9%	24.6%	5.3%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	415	12.3%	52.3%	29.2%	6.3%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	230	13.9%	36.5%	39.6%	10.0%
	未経験者・無資格者の採用も積極的にやっている	288	12.8%	49.0%	28.5%	9.7%
	夜勤専従職員を採用している	127	7.9%	47.2%	35.4%	9.4%
	職場体験や見学を実施している	217	7.4%	40.6%	39.2%	12.9%
	元職員への働きかけを行っている	274	5.1%	30.3%	46.4%	18.2%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	309	5.5%	35.6%	46.3%	12.6%

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-2-1:職員の「確保」に向けた取り組みの効果認識(通所系)

通所系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
PR方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	138	3.6%	43.5%	48.6%	4.3%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	151	2.0%	41.1%	51.7%	5.3%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	83	1.2%	47.0%	44.6%	7.2%
地域交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	75	4.0%	49.3%	40.0%	6.7%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	139	3.6%	36.0%	49.6%	10.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	114	7.9%	39.5%	44.7%	7.9%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	55	5.5%	50.9%	36.4%	7.3%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	92	2.2%	28.3%	50.0%	19.6%
求人条件	賃金体系の見直しを行っている	154	9.7%	62.3%	26.0%	1.9%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	148	10.1%	70.3%	18.2%	1.4%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	181	7.7%	63.0%	27.1%	2.2%
その他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	66	12.1%	34.8%	47.0%	6.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	167	9.0%	65.3%	19.2%	6.6%
	夜勤専従職員を採用している	32	6.3%	56.3%	28.1%	9.4%
	職場体験や見学を実施している	147	8.8%	50.3%	38.8%	2.0%
	元職員への働きかけを行っている	100	8.0%	35.0%	45.0%	12.0%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	143	3.5%	41.3%	46.9%	8.4%

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの具体的な実施状況(施設系)

		n	実施している	実施していない
処遇評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	648	67.7%	32.3%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	648	53.5%	46.5%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	648	67.0%	33.0%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	648	72.1%	27.9%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	648	79.5%	20.5%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	648	71.6%	28.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	648	70.5%	29.5%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	648	38.0%	62.0%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	648	86.0%	14.0%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	648	83.0%	17.0%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	648	78.4%	21.6%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	648	87.3%	12.7%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	648	69.8%	30.2%
	ICTや介護ロボットを導入している	648	34.1%	65.9%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	648	79.2%	20.8%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	648	49.8%	50.2%
人間関係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	648	72.8%	27.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	648	76.9%	23.1%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	648	49.7%	50.3%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	648	79.5%	20.5%

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの具体的な実施状況(訪問系)

訪問系		n	実施している	実施していない	
配 置 処 遇 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	513	38.2%	61.8%	
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	513	44.8%	55.2%	
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	513	54.2%	45.8%	
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	513	63.9%	36.1%	
	従業員に対してキャリアパスを周知している	513	67.8%	32.2%	
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	513	53.0%	47.0%	
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	513	58.1%	41.9%	
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	513	40.4%	59.6%	
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	513	72.3%	27.7%	
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	513	74.1%	25.9%	
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	513	70.0%	30.0%	
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	513	73.5%	26.5%	
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	513	65.1%	34.9%	
	ICTや介護ロボットを導入している	513	10.7%	89.3%	
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	513	64.3%	35.7%	
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	513	36.1%	63.9%	
	人 間 関 係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	513	65.1%	34.9%
		職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	513	72.7%	27.3%
近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている		513	47.2%	52.8%	
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている		513	70.6%	29.4%	

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの具体的な実施状況(通所系)

通所系		n	実施している	実施していない	
配 置 処 遇 評 価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	220	54.5%	45.5%	
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	220	45.5%	54.5%	
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	220	62.3%	37.7%	
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	220	63.6%	36.4%	
	従業員に対してキャリアパスを周知している	220	73.6%	26.4%	
能 力 開 発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	220	55.9%	44.1%	
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	220	56.4%	43.6%	
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	513	40.4%	59.6%	
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	220	74.1%	25.9%	
労 働 条 件 ・ 労 働 環 境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	220	74.5%	25.5%	
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	220	71.8%	28.2%	
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	220	78.2%	21.8%	
	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行っている	220	61.4%	38.6%	
	ICTや介護ロボットを導入している	220	23.6%	76.4%	
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	220	71.4%	28.6%	
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	220	35.5%	64.5%	
	人 間 関 係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	220	60.5%	39.5%
		職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	220	72.3%	27.7%
近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている		220	45.9%	54.1%	
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている		220	75.5%	24.5%	

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの効果認識(施設系)

施設系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	439	4.6%	50.1%	37.4%	8.0%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	347	6.9%	55.9%	32.3%	4.9%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	434	5.3%	50.0%	39.4%	5.3%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	467	6.0%	43.9%	42.6%	7.5%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	515	3.7%	40.4%	47.8%	8.2%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	464	11.0%	61.4%	25.0%	2.6%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	457	6.6%	51.0%	38.7%	3.7%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	246	4.9%	42.3%	45.1%	7.7%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	557	13.5%	59.4%	24.1%	3.1%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	538	7.4%	55.0%	32.7%	4.8%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	508	9.6%	64.0%	22.0%	4.3%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	566	17.3%	60.2%	19.6%	2.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	452	7.7%	57.3%	29.9%	5.1%
	ICTや介護ロボットを導入している	221	4.1%	41.6%	41.6%	12.7%
人間関係	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	513	7.8%	56.1%	28.8%	7.2%
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	323	22.0%	56.7%	18.0%	3.4%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	472	4.9%	46.2%	38.8%	10.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	498	6.6%	52.4%	34.5%	6.4%
人間関係	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	322	4.7%	45.0%	41.9%	8.4%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	515	5.2%	47.6%	39.2%	8.0%

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの効果認識(訪問系)

訪問系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	196	2.0%	44.4%	41.8%	11.7%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	230	10.0%	58.7%	24.8%	6.5%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	278	3.6%	48.9%	37.8%	9.7%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	328	4.9%	48.5%	38.4%	8.2%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	348	4.0%	41.4%	43.4%	11.2%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	272	5.9%	59.2%	27.9%	7.0%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	298	4.0%	51.0%	34.6%	10.4%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	207	2.4%	42.0%	42.0%	13.5%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	371	15.4%	56.3%	22.6%	5.7%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	380	8.2%	54.5%	31.6%	5.8%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	359	11.4%	64.1%	20.9%	3.6%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	377	13.5%	55.4%	26.0%	5.0%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	334	10.2%	55.7%	29.6%	4.5%
	ICTや介護ロボットを導入している	55	5.5%	36.4%	43.6%	14.5%
人間関係	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	330	10.6%	55.8%	27.3%	6.4%
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	185	14.1%	63.2%	18.4%	4.3%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	334	8.4%	49.4%	35.3%	6.9%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	373	11.8%	59.2%	23.6%	5.4%
人間関係	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	242	6.2%	41.7%	39.7%	12.4%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	362	7.2%	46.1%	38.7%	8.0%

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-2-2:職員の「定着・離職防止」に向けた取り組みの効果認識(通所系)

通所系		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
処遇・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	120	0.8%	55.0%	35.0%	9.2%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	100	7.0%	63.0%	28.0%	2.0%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	137	4.4%	48.2%	38.0%	9.5%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	140	4.3%	51.4%	36.4%	7.9%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	162	3.7%	42.6%	47.5%	6.2%
能力開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	123	6.5%	65.9%	25.2%	2.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	124	6.5%	44.4%	44.4%	4.8%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	207	2.4%	42.0%	42.0%	13.5%
	資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	163	14.7%	58.3%	23.9%	3.1%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとしている	164	6.7%	57.3%	31.7%	4.3%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	158	7.6%	70.3%	18.4%	3.8%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	172	13.4%	61.6%	19.2%	5.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	135	14.1%	60.7%	18.5%	6.7%
	ICTや介護ロボットを導入している	52	1.9%	46.2%	40.4%	11.5%
人間関係	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	157	8.3%	60.5%	24.8%	6.4%
	子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している	78	23.1%	56.4%	17.9%	2.6%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	133	5.3%	52.6%	35.3%	6.8%
	職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設けている	159	5.7%	60.4%	28.9%	5.0%
近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	101	2.0%	49.5%	38.6%	9.9%	
経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	166	6.0%	51.2%	36.1%	6.6%	

※該当の取り組みを実施している事業所・施設のみを対象に集計

● 問Ⅲ-4:職員向けの福利厚生への取り組みの状況(MA)

	n	研修の充実・補助をして	退職共済への加入	法人独自の退職金の支給	退職者復帰支援	単身寮	事業所内保育所を設置	保育費用補助	社宅	シヨク健康管理・レクリエーション	その他
施設系	648	77.6%	54.2%	32.6%	23.0%	15.9%	17.4%	9.7%	9.1%	48.9%	10.6%
訪問系	513	74.3%	25.0%	22.6%	21.2%	2.7%	5.3%	4.3%	4.7%	43.9%	9.7%
通所系	220	67.3%	45.0%	25.9%	18.6%	6.8%	4.1%	3.2%	3.2%	45.0%	6.8%

● 問Ⅲ-5:職員向けの資格取得支援の取り組みの状況(MA)

	n	実習日等の勤務調整	資格取得費用の助成	(資格取得後に上手に乗せ)	一時金(資格取得祝い金等の)	奨励金等の支給	(勤務としての研修参加)	その他
施設系	648	79.3%	56.6%	77.8%	23.9%	70.2%	3.9%	
訪問系	513	67.8%	62.2%	63.4%	16.8%	57.9%	1.6%	
通所系	220	69.5%	50.0%	62.7%	18.6%	62.7%	0.9%	

● 問Ⅲ-6:ICT および機器・ロボット等の活用状況(MA)

	n	利用者請求システム	介護・業務記録システム (タブレット)	勤怠管理システム	移動支援機器 (歩行支援機器等)	排せつ支援機器 (移動可能トイレ等)	見守り機器 (カメラ、センサー等)	入浴支援機器 (出入り用リフト等)	事業所内グループウェア	事業所間グループウェア	その他
施設系	648	69.6%	36.7%	33.6%	9.9%	4.6%	48.1%	26.4%	27.2%	17.4%	3.2%
訪問系	513	58.9%	13.8%	23.8%	0.6%	1.2%	7.2%	7.0%	17.7%	10.7%	1.6%
通所系	220	66.4%	25.5%	29.5%	3.6%	1.8%	20.9%	17.3%	23.2%	18.2%	2.7%

(2) 介護従事者調査

サービス類型別集計(常勤職員のみ対象)

問 I-1-①：年齢 12区分 (SA)

	n	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上	無回答
施設系	14,275	0.9%	9.4%	12.3%	13.1%	12.7%	12.1%	10.2%	9.5%	7.7%	3.8%	1.5%	0.3%	6.5%
訪問系	3,760	0.2%	3.9%	5.5%	7.6%	8.5%	11.7%	13.1%	13.3%	12.0%	8.4%	5.4%	3.1%	7.2%
通所系	1,408	0.4%	4.9%	10.2%	10.4%	11.1%	12.6%	13.1%	12.0%	9.7%	4.9%	2.1%	0.7%	8.0%

問 I-1-②：性別 (SA)

	n	男性	女性	無回答
施設系	14,275	36.0%	63.5%	0.4%
訪問系	3,760	23.1%	76.5%	0.5%
通所系	1,408	27.2%	72.2%	0.6%

問 I-1-③：学歴 (SA)

	n	高等学校 (介護福祉関係の学科)	高等学校 (左記以外)	高専、短大 (介護福祉関係の学科)	高専、短大 (左記以外)	大学・大学院 (介護福祉関係の学科)	大学・大学院 (左記以外)	小・中学校	その他	無回答
施設系	14,275	5.7%	51.1%	8.7%	9.3%	5.9%	13.3%	2.8%	1.4%	1.7%
訪問系	3,760	3.9%	55.7%	4.7%	12.8%	2.7%	12.4%	4.1%	2.1%	1.5%
通所系	1,408	3.8%	52.1%	6.8%	11.3%	6.2%	13.2%	2.5%	2.5%	1.6%

問 I-1-④：専修・専門学校への通学経験 (SA)

	n	専修・専門学校に 通学していない	介護福祉関係の専修・専門学 校を卒業 (中退含む)	介護福祉関係以外の専修・専 門学校を卒業 (中退含む)	無回答
施設系	14,275	47.3%	20.8%	10.4%	21.6%
訪問系	3,760	48.5%	10.6%	12.3%	28.6%
通所系	1,408	44.0%	14.8%	15.5%	25.8%

問 I-1-⑤：居住地 (地域区分)

	n	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他	無回答
施設系	14,275	8.0%	8.7%	3.4%	3.8%	6.4%	10.6%	9.7%	37.3%	12.0%
訪問系	3,760	15.3%	7.0%	4.7%	3.8%	9.5%	9.9%	8.2%	27.0%	14.6%
通所系	1,408	19.5%	4.7%	2.6%	1.1%	3.7%	6.1%	9.4%	39.1%	13.8%

問Ⅰ-1-⑥：出身地（地域区分）

	n	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他	無回答
施設系	14,275	5.6%	5.1%	2.7%	3.2%	5.3%	9.0%	9.4%	41.4%	18.3%
訪問系	3,760	8.0%	5.1%	3.3%	3.6%	7.2%	8.4%	8.8%	33.4%	22.1%
通所系	1,408	11.2%	3.4%	2.6%	1.1%	3.8%	6.6%	9.9%	41.8%	19.6%

問Ⅰ-1-⑦：配偶関係（SA）

	n	既婚	未婚	離死別	無回答
施設系	14,275	41.9%	44.1%	12.2%	1.8%
訪問系	3,760	51.9%	27.8%	18.3%	2.1%
通所系	1,408	53.4%	31.3%	13.7%	1.6%

問Ⅰ-1-⑧：子供の有無 0歳児（SA）

	n	あり	なし	無回答
施設系	14,275	88.1%	2.3%	9.6%
訪問系	3,760	90.9%	1.6%	7.6%
通所系	1,408	91.8%	1.9%	6.3%

問Ⅰ-1-⑧：子供の有無 未就学児（1歳以上）（SA）

	n	あり	なし	無回答
施設系	14,275	78.8%	11.6%	9.6%
訪問系	3,760	85.2%	7.2%	7.6%
通所系	1,408	81.5%	12.2%	6.3%

問Ⅰ-1-⑧：子供の有無 小学生（SA）

	n	あり	なし	無回答
施設系	14,275	79.8%	10.6%	9.6%
訪問系	3,760	82.8%	9.7%	7.6%
通所系	1,408	80.0%	13.7%	6.3%

問Ⅰ-1-⑧：子供の有無 中学生（SA）

	n	あり	なし	無回答
施設系	14,275	84.1%	6.3%	9.6%
訪問系	3,760	84.5%	8.0%	7.6%
通所系	1,408	82.1%	11.6%	6.3%

問 I-1-⑧：上記に該当する子供はいない (SA)

	n	あり	なし	無回答
施設系	14,275	23.1%	67.3%	9.6%
訪問系	3,760	20.2%	72.3%	7.6%
通所系	1,408	29.8%	63.9%	6.3%

問 I-1-⑨：介護の仕事の経験年数 (10区分) (SA)

	n	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答
施設系	14,275	4.8%	4.3%	5.8%	6.0%	5.8%	12.0%	15.8%	21.5%	12.9%	6.6%	4.5%
訪問系	3,760	3.5%	3.7%	3.8%	5.5%	5.1%	11.8%	14.8%	23.8%	17.7%	7.4%	3.0%
通所系	1,408	4.4%	4.2%	5.0%	5.1%	6.3%	13.4%	12.6%	22.0%	15.5%	8.2%	3.3%

問 I-1-⑩：就業前の介護経験 (MA)

	n	家族などの身近な人の介護をしたことがある	ボランティアとして介護をしたことがある	学校の実習・インターンとして介護をしたことがある	左記以外の介護経験がある	介護経験はない	無回答
施設系	14,275	29.9%	15.0%	24.0%	4.1%	44.6%	1.0%
訪問系	3,760	38.4%	10.6%	12.3%	5.2%	45.5%	1.5%
通所系	1,408	38.0%	12.3%	19.0%	4.8%	42.1%	0.6%

問 I-1-⑪：保有資格 (MA)

	n	介護福祉士	社会福祉士	介護職員実務者研修修了者 級・基礎研修修了者を含む 1	介護職員初任者研修修了者 級（訪問介護員養成施設研修 修了者を含む） 2	介護職員研修修了者 3	医療的ケア（喀痰吸引等） 研修修了者 4	保健師	介護支援専門員 （ケアマネジャー） 5	管理栄養士・栄養士 6	精神保健福祉士 7	機能訓練指導員・ST （PT・OT・ST） 8	認知症介護実践研修修了者 9	臨床心理士 10	看護師・准看護師 11	は該当する資格 がない 12	無回答
施設系	14,275	67.5%	2.2%	12.5%	27.0%	9.8%	0.0%	9.2%	0.8%	0.2%	0.2%	6.5%	0.0%	1.3%	8.7%	1.0%	
訪問系	3,760	61.4%	1.5%	17.0%	37.9%	6.9%	0.1%	13.9%	1.2%	0.3%	0.2%	4.3%	0.0%	3.1%	3.5%	1.3%	
通所系	1,408	60.9%	2.8%	9.5%	28.6%	5.4%	0.2%	11.5%	1.1%	0.4%	2.0%	8.0%	0.1%	7.2%	8.1%	0.7%	

問 I-2-⑫：役職・役割 (SA)

	n	訪問介護員（一般職）	（一般職） 訪問介護員以外の介護職員	リニダットやフロア等のチーム	任当、スパーパイザー（専任）	介護の現場スタッフの教育担当 （管理職、経営職以外）	サービス提供責任者 （ケアマネジャー）	介護支援専門員 （ケアマネジャー）	等） （看護師、機能訓練指導員）	その他専門職	管理職	経営職	その他	無回答
施設系	14,275	4.6%	65.9%	15.0%	1.1%	1.1%	1.7%	1.0%	2.5%	0.0%	3.7%	3.4%		
訪問系	3,760	44.8%	12.2%	2.7%	0.2%	22.0%	4.3%	1.6%	6.2%	0.5%	2.8%	2.8%		
通所系	1,408	6.4%	5.8%	6.7%	2.1%	3.3%	1.0%	7.3%	5.5%	0.1%	7.3%	4.5%		

問 1-2-③：事業所・施設の勤続年数（年）（10区分）（SA）

	n	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
施設系	14,275	9.5%	8.7%	9.4%	8.9%	7.4%	12.5%	14.1%	14.7%	6.6%	3.4%	4.7%
訪問系	3,760	9.2%	8.9%	9.0%	8.9%	7.1%	11.7%	13.8%	16.0%	9.5%	2.9%	3.1%
通所系	1,408	9.8%	9.2%	8.2%	6.9%	8.0%	13.8%	12.4%	14.6%	8.5%	4.5%	4.0%

問 1-2-③：そのうち、現在の役職・役割での勤続年数（年）（10区分）（SA）

	n	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
施設系	14,275	10.6%	8.7%	8.9%	7.5%	5.2%	8.0%	6.5%	5.2%	1.5%	0.7%	37.2%
訪問系	3,760	11.8%	9.3%	9.3%	7.4%	5.7%	8.0%	6.9%	6.1%	2.1%	0.5%	33.0%
通所系	1,408	9.8%	9.6%	8.4%	6.5%	6.0%	8.7%	6.5%	5.8%	1.8%	0.6%	36.4%

問 1-2-④：勤務形態（SA）

	n	正規職員	非正規職員
施設系	14,275	88.2%	11.8%
訪問系	3,760	78.9%	21.1%
通所系	1,408	77.6%	22.4%

問 1-3：現在の主な通勤手段と通勤時間【通勤手段】（SA）

	n	徒歩	自転車	電車・バス	自動二輪車	自家用車	その他	無回答
施設系	14,275	5.1%	14.1%	17.6%	4.2%	58.5%	0.3%	0.2%
訪問系	3,760	5.2%	24.0%	19.4%	5.6%	44.8%	0.9%	0.1%
通所系	1,408	6.7%	15.0%	23.2%	2.6%	52.0%	0.4%	0.1%

問 1-3：現在の主な通勤手段と通勤時間【通勤時間】（SA）

	n	5分未満	5分以上20分未満	20分以上40分未満	40分以上60分未満	60分以上80分未満	80分以上	無回答
施設系	14,275	5.9%	45.9%	29.1%	12.0%	5.0%	1.5%	0.5%
訪問系	3,760	7.0%	47.4%	27.4%	11.3%	4.1%	1.9%	0.9%
通所系	1,408	9.7%	48.7%	21.3%	11.2%	6.7%	2.1%	0.4%

問 1-4-1：1週間に働いた日数（日）（「0」と「7」を超える回答は無効、小数点以下は四捨五入）

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無効回答	無回答
施設系	14,275	0.1%	0.1%	1.0%	9.6%	79.4%	4.9%	0.2%	0.4%	4.3%
訪問系	3,760	0.3%	0.7%	1.8%	7.2%	74.8%	11.2%	0.9%	0.5%	2.6%
通所系	1,408	0.1%	0.2%	0.9%	4.5%	86.8%	5.5%	0.1%	0.1%	1.6%

問 I - 4 - 1 : 1週間に働いた時間数(整数に加工)

	n	5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上15時間未満	15時間以上20時間未満	20時間以上25時間未満	25時間以上30時間未満	30時間以上35時間未満	35時間以上40時間未満	40時間以上45時間未満	45時間以上50時間未満	50時間以上	無回答
施設系	14,275	0.2%	2.7%	0.3%	0.2%	0.8%	0.6%	5.6%	8.7%	50.8%	13.1%	9.1%	8.0%
訪問系	3,760	1.2%	3.8%	1.9%	1.5%	2.3%	1.1%	4.1%	6.2%	49.3%	12.3%	9.7%	6.8%
通所系	1,408	0.1%	4.0%	0.8%	0.4%	1.1%	0.7%	3.3%	6.5%	52.2%	15.1%	10.8%	4.9%

問 I - 4 - 2 : 1週間の残業時間数(時間)(6区分)

	n	残業なし	5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上15時間未満	15時間以上20時間未満	20時間以上	無回答
施設系	14,275	41.2%	37.3%	10.3%	3.2%	0.6%	1.1%	6.3%
訪問系	3,760	47.9%	27.1%	10.7%	4.2%	0.9%	1.6%	7.6%
通所系	1,408	40.8%	32.8%	12.8%	3.9%	1.6%	1.8%	6.3%

問 I - 4 - 2 : 1ヶ月の深夜勤務の回数(回)(7区分)

	n	なし	1回以上3回未満	3回以上5回未満	5回以上7回未満	7回以上9回未満	9回以上11回未満	11回以上	無回答
施設系	14,275	21.9%	5.0%	29.7%	32.5%	5.4%	0.7%	0.5%	4.3%
訪問系	3,760	64.5%	3.2%	9.4%	10.6%	2.8%	0.5%	1.3%	7.7%
通所系	1,408	80.6%	1.9%	2.8%	4.4%	1.2%	0.0%	0.4%	8.7%

問 I - 5 - 1 : 賃金の支払い形態(SA)

	n	時給制	日給制	月給制	訪問件数に応じた出来高払い制(歩合制)	その他	無回答
施設系	14,275	6.5%	2.1%	84.0%	0.1%	0.3%	7.0%
訪問系	3,760	15.7%	2.5%	72.6%	2.3%	0.6%	6.3%
通所系	1,408	14.7%	2.4%	76.0%	0.1%	0.1%	6.6%

問 I - 5 - 1 : 時給額(円/時)(13区分)

	n	800円未満	800円以上850円未満	850円以上900円未満	900円以上950円未満	950円以上1000円未満	1000円以上1100円未満	1100円以上1200円未満	1200円以上1300円未満	1300円以上1400円未満	1400円以上1500円未満	1500円以上2000円未満	2000円以上3000円未満	3000円以上	無回答
施設系	935	2.5%	7.9%	12.5%	16.0%	9.4%	20.1%	8.4%	5.2%	3.7%	1.9%	2.0%	0.9%	1.0%	8.3%
訪問系	592	1.0%	5.4%	4.1%	7.3%	6.4%	23.6%	11.0%	17.4%	6.3%	1.5%	7.8%	1.2%	0.7%	6.4%
通所系	207	1.0%	8.2%	8.2%	11.1%	9.2%	25.1%	14.0%	8.7%	5.3%	2.4%	2.9%	0.0%	0.5%	3.4%

問 I - 5 - 1 : 日給額(円/日)(13区分)

	n	6000円未満	6000円以上6500円未満	6500円以上7000円未満	7000円以上7500円未満	7500円以上8000円未満	8000円以上8500円未満	8500円以上9000円未満	9000円以上9500円未満	9500円以上10000円未満	10000円以上13000円未満	13000円以上15000円未満	15000円以上20000円未満	20000円以上	無回答
施設系	302	5.0%	9.6%	9.3%	15.2%	7.6%	8.6%	1.3%	3.6%	1.7%	9.6%	0.7%	3.0%	1.7%	23.2%
訪問系	94	0.0%	5.3%	8.5%	17.0%	9.6%	10.6%	3.2%	1.1%	1.1%	19.1%	0.0%	2.1%	4.3%	18.1%
通所系	34	2.9%	11.8%	14.7%	8.8%	17.6%	2.9%	5.9%	5.9%	0.0%	8.8%	2.9%	0.0%	0.0%	17.6%

問 I - 5 - 2 : 現在働いている事業所・施設での税込み月収(円/月)(15区分)

	n	3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上13万円未満	13万円以上15万円未満	15万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上23万円未満	23万円以上25万円未満	25万円以上28万円未満	28万円以上30万円未満	30万円以上35万円未満	35万円以上40万円未満	40万円以上	無回答
施設系	10,801	0.6%	0.1%	0.2%	0.5%	2.1%	6.5%	20.3%	17.2%	27.7%	11.1%	13.5%	4.5%	5.7%	1.4%	0.4%	20.2%
訪問系	2,841	1.5%	0.9%	2.9%	1.9%	4.2%	6.5%	20.0%	15.2%	24.4%	10.8%	11.5%	4.5%	6.1%	1.9%	1.4%	18.4%
通所系	1,079	0.5%	0.3%	0.7%	0.9%	4.4%	12.2%	22.5%	17.1%	24.0%	8.8%	8.5%	3.2%	5.4%	1.2%	0.5%	20.3%

問 I - 5 - 3 : 生計維持者 (SA)

	n	自分 (本人)	自分 (本人) 以外	生活費 は折半等	無回答
施設系	14,275	53.6%	28.7%	16.2%	1.5%
訪問系	3,760	51.7%	31.0%	16.0%	1.3%
通所系	1,408	46.0%	33.8%	18.9%	1.3%

問 I - 5 - 4 : 本調査票を渡された職場以外での収入を伴う仕事の有無 (MA)

	n	兼業・兼務はしていない	同一の事業所・施設内で、 介護サービスの兼務をして いる	複数の介護事業所・施設で 働いている	介護以外の仕事もしている	無回答
施設系	14,275	95.1%	1.0%	0.5%	1.5%	2.0%
訪問系	3,760	87.6%	4.5%	2.4%	3.9%	2.1%
通所系	1,408	92.3%	2.5%	0.8%	2.8%	1.7%

問 I - 5 - 5 : 昨年1年間の就業状況 (SA)

	n	昨年は1年を通して働いた	昨年は途中から働いた	昨年は働いていなかった	無回答
施設系	14,275	91.0%	6.7%	1.2%	1.1%
訪問系	3,760	92.8%	5.6%	0.6%	1.0%
通所系	1,408	91.8%	6.5%	0.9%	0.9%

問 I - 5 - 5 : 昨年1年間の個人収入 (SA)

	n	103万円 未満	103~130万 円	130~200 万円未満	200~250 万円未満	250~300 万円未満	300~400 万円未満	400~600 万円未満	600万円 以上	無回答
施設系	14,275	2.6%	2.6%	11.4%	17.3%	18.2%	26.9%	11.6%	0.3%	9.0%
訪問系	3,760	6.6%	4.1%	12.8%	19.6%	17.7%	20.8%	9.6%	0.9%	7.9%
通所系	1,408	3.5%	4.7%	15.8%	19.7%	17.8%	20.3%	9.1%	0.6%	8.6%

問 I - 5 - 5 : 昨年1年間の世帯収入 (SA)

	n	100万円 未満	100~200 万円未満	200~300 万円未満	300~400 万円未満	400~500 万円未満	500~600 万円未満	600~700 万円未満	700~800 万円未満	800~900 万円未満	900~1000 万円未満	1000 万円以上	無回答
施設系	14,275	2.1%	6.2%	18.1%	18.8%	14.0%	9.1%	6.3%	5.8%	2.8%	2.1%	2.4%	12.1%
訪問系	3,760	3.4%	8.0%	19.5%	15.4%	12.3%	8.4%	6.7%	5.9%	3.1%	2.8%	3.9%	10.6%
通所系	1,408	2.1%	8.1%	18.3%	14.6%	12.9%	8.7%	6.7%	7.3%	3.6%	2.9%	3.3%	11.5%

問 I - 6 : 現在の暮らし向きの総合的状況 (SA)

	n	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりが ある	大変ゆとりが ある	無回答
施設系	14,275	18.9%	37.8%	38.0%	3.9%	0.7%	0.6%
訪問系	3,760	19.6%	35.6%	38.3%	4.9%	0.7%	0.9%
通所系	1,408	21.1%	39.8%	34.0%	3.6%	0.6%	0.9%

問 1-7：介護職として、利用者の生活全般のサポートが出来ている感じている（SA）

	n	非常に出来ている	やや出来ている	あまり出来ない	まったくできていない	無回答
施設系	14,275	8.4%	64.1%	24.6%	2.1%	0.9%
訪問系	3,760	13.5%	66.6%	16.9%	1.6%	1.3%
通所系	1,408	8.2%	65.6%	23.5%	1.6%	1.1%

問 1-8：利用者へのサポートの提供方法の希望（SA）

	n	主担当として利用者の生活を全般的にサポートしたい	複数の介護職で分担を行い、利用者の生活を部分的にサポートしたい	どちらでもない・分からない	無回答
施設系	14,275	17.8%	62.2%	18.5%	1.5%
訪問系	3,760	16.2%	62.8%	18.7%	2.3%
通所系	1,408	9.3%	71.0%	18.1%	1.6%

問 1-9：現在の仕事の満足度（SA）

	n	大変満足している	やや満足している	普通	やや不満がある	大変不満がある	無回答
施設系	14,275	3.2%	17.8%	40.8%	25.8%	12.0%	0.5%
訪問系	3,760	6.8%	25.7%	40.3%	19.5%	7.0%	0.7%
通所系	1,408	4.7%	24.0%	39.1%	23.9%	8.0%	0.4%

問 1-10：現在の人生の満足度（SA）

	n	大変満足している	やや満足している	普通	やや不満がある	大変不満がある	無回答
施設系	14,275	4.2%	18.3%	40.6%	27.3%	8.9%	0.5%
訪問系	3,760	5.7%	23.5%	40.8%	21.8%	7.4%	0.7%
通所系	1,408	4.3%	21.7%	43.1%	23.2%	7.2%	0.6%

問 1-11-①：同業他社と比べて労働時間（残業時間を含めて）は多い方だと思う。（SA）

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	9.5%	18.5%	51.6%	11.8%	6.0%	2.6%
訪問系	3,760	7.7%	15.1%	53.6%	11.4%	9.2%	3.1%
通所系	1,408	8.9%	16.0%	52.0%	12.6%	7.8%	2.8%

問 1-11-②：仕事が終わるととても疲れてしまうことがある。（SA）

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	32.5%	45.4%	14.5%	4.8%	1.2%	1.7%
訪問系	3,760	24.5%	42.6%	22.3%	6.5%	2.2%	1.8%
通所系	1,408	28.6%	44.8%	18.3%	4.8%	1.6%	1.9%

問Ⅰ-1 1-③：仕事がつらくて辞めてしまいたいと思うことがある。(SA)

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	20.3%	29.8%	27.2%	12.8%	8.0%	1.9%
訪問系	3,760	14.7%	24.2%	32.3%	13.8%	12.6%	2.5%
通所系	1,408	15.6%	28.6%	28.8%	14.4%	10.1%	2.4%

問Ⅰ-1 1-④：悩みがあったり健康状態が悪くても上司や周囲の人達に言いたせないようなことがある。

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	11.7%	23.8%	30.0%	21.3%	11.3%	1.9%
訪問系	3,760	9.7%	20.8%	30.8%	20.8%	16.0%	1.9%
通所系	1,408	10.7%	22.4%	30.0%	22.4%	12.4%	2.1%

問Ⅰ-1 1-⑤：業務の繁忙期でなくても休暇が取にくいことがある。(SA)

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	25.0%	26.2%	24.6%	14.1%	7.9%	2.1%
訪問系	3,760	17.8%	24.1%	26.4%	16.2%	13.1%	2.4%
通所系	1,408	18.8%	23.6%	27.1%	17.0%	10.9%	2.6%

問Ⅰ-1 1-⑥：休暇中でも家で仕事をしなければいけないことがある。(SA)

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	13.5%	21.9%	24.7%	17.5%	20.4%	2.1%
訪問系	3,760	13.6%	22.1%	23.7%	14.9%	23.4%	2.4%
通所系	1,408	12.9%	25.3%	24.1%	15.3%	20.1%	2.4%

問Ⅰ-1 1-⑦：同業他社に比べて自分の給与・賞与はある程度満足いくものだと思う。(SA)

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	2.7%	14.7%	36.0%	25.7%	18.7%	2.2%
訪問系	3,760	3.9%	15.1%	37.3%	24.1%	17.3%	2.4%
通所系	1,408	2.8%	12.1%	35.0%	29.0%	18.3%	2.8%

問Ⅰ-1 1-⑧：同期や同僚と比べて自分の給与・賞与の結果はある程度納得のいくものになっている。(SA)

	n	全くその通り	その通り	どちらでもない	やや違う	全く違う	無回答
施設系	14,275	2.2%	14.9%	44.4%	22.5%	13.7%	2.3%
訪問系	3,760	3.6%	15.7%	43.4%	21.2%	13.5%	2.7%
通所系	1,408	2.1%	12.1%	44.1%	24.7%	14.2%	2.8%

問II-1：介護業界に抱いているポジティブなイメージ（MA）

	n	社会において必要とされている業界だと思う	社会的地位・評判が高い業界だと思う	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	職場の雰囲気が良い業界だと思う	自分の仕事に人に感謝される機会が多い業界だと思う	給料水準が高めの業界だと思う	資格取得や勉強の機会が充実している業界だと思う	やりがいがある仕事ができる業界だと思う	ポジティブなイメージは抱いていない	無回答
施設系	14,275	79.0%	2.3%	36.5%	4.9%	41.4%	0.5%	10.3%	36.1%	9.5%	2.0%
訪問系	3,760	82.7%	3.1%	42.4%	7.1%	49.4%	1.2%	12.8%	39.6%	5.6%	2.2%
通所系	1,408	83.2%	3.1%	41.3%	6.7%	54.8%	0.5%	11.9%	42.2%	4.8%	1.8%

問II-2：介護業界に抱いているネガティブなイメージ（MA）

	n	体力的にきつい仕事が多い業界だと思う	精神的にきつい仕事が多い業界だと思う	給与水準が低めの業界だと思う	離職率が高い業界だと思う	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思う	職場の雰囲気が悪い業界だと思う	他の業界に転職するのが難しい業界だと思う	働く人が特定の層に偏っている業界だと思う	ネガティブなイメージは抱いていない	無回答
施設系	14,275	80.1%	77.2%	83.6%	76.3%	51.2%	20.7%	23.1%	23.6%	0.6%	1.7%
訪問系	3,760	70.0%	69.7%	78.4%	67.6%	48.5%	16.1%	16.9%	27.4%	1.6%	1.9%
通所系	1,408	73.2%	67.7%	82.7%	71.6%	46.1%	17.8%	18.8%	24.8%	1.1%	2.2%

問II-3：介護業界の入職前後のイメージギャップ（SA）

	n	思ったよりも良かった	思ったよりも悪かった	イメージ通りだった	無回答
施設系	14,275	21.9%	35.4%	40.3%	2.3%
訪問系	3,760	25.2%	29.4%	42.2%	3.3%
通所系	1,408	25.9%	28.4%	42.5%	3.3%

問III-1：現在、勤めている事業所・施設での就業継続意向（SA）

	n	現在の事業所・施設で、今後できるだけ長く働き続ける予定	現在の事業所・施設で、当面2、3年程度働き続ける予定	条件等が合う事業所・施設があれば転職する	できるだけ早く違う事業所・施設に転職したい	その他	分からない	無回答
施設系	14,275	38.7%	23.4%	17.9%	4.2%	2.1%	6.1%	7.5%
訪問系	3,760	44.1%	23.0%	14.0%	3.1%	2.7%	5.9%	7.4%
通所系	1,408	42.0%	23.1%	15.1%	3.6%	1.9%	7.4%	7.0%

問III-1-2-1：職員や同僚との人間関係・雰囲気に満足しているから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	43.8%	48.4%	7.8%
訪問系	2,520	40.4%	50.0%	9.6%
通所系	916	44.7%	47.8%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：利用者やその家族との人間関係・雰囲気満足しているから（S）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	73.5%	18.7%	7.8%
訪問系	2,520	64.4%	26.0%	9.6%
通所系	916	62.4%	30.0%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：勤務時間・シフト満足しているから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	69.4%	22.8%	7.8%
訪問系	2,520	61.9%	28.5%	9.6%
通所系	916	59.3%	33.2%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：給与・待遇面満足しているから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	79.0%	13.2%	7.8%
訪問系	2,520	76.3%	14.1%	9.6%
通所系	916	82.0%	10.5%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：職場の立地（通勤利便性）満足しているから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	57.4%	34.8%	7.8%
訪問系	2,520	56.3%	34.1%	9.6%
通所系	916	52.7%	39.7%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：業務内容に関して満足しているから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	85.3%	6.9%	7.8%
訪問系	2,520	78.5%	11.9%	9.6%
通所系	916	82.5%	9.9%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：職場の経営方針やビジョンに満足しているか (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	87.6%	4.6%	7.8%
訪問系	2,520	83.0%	7.4%	9.6%
通所系	916	86.2%	6.2%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：キャリアアップの機会が豊富にあるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	86.2%	6.0%	7.8%
訪問系	2,520	83.2%	7.2%	9.6%
通所系	916	86.8%	5.7%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：他事業所に転職することに対して、不安があるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	54.7%	37.5%	7.8%
訪問系	2,520	61.2%	29.2%	9.6%
通所系	916	61.8%	30.7%	7.5%

問Ⅲ-1-2-1：その他 (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	8,876	84.8%	7.4%	7.8%
訪問系	2,520	84.9%	5.5%	9.6%
通所系	916	85.7%	6.8%	7.5%

問Ⅲ-1-2-2：職員や同僚との人間関係・雰囲気にも不満があるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	59.3%	36.0%	4.8%
訪問系	640	60.8%	33.6%	5.6%
通所系	262	59.2%	37.4%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：被介護者やその家族との人間関係に不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	87.8%	7.5%	4.8%
訪問系	640	87.3%	7.0%	5.6%
通所系	262	95.8%	0.8%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：勤務時間・シフトに不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	65.4%	29.9%	4.8%
訪問系	640	67.7%	26.7%	5.6%
通所系	262	69.1%	27.5%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：給与・待遇面に不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	38.8%	56.5%	4.8%
訪問系	640	37.3%	57.0%	5.6%
通所系	262	40.8%	55.7%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：職場の立地（通勤利便性）に不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	83.0%	12.3%	4.8%
訪問系	640	83.0%	11.4%	5.6%
通所系	262	84.7%	11.8%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：業務内容に関して不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	59.1%	36.2%	4.8%
訪問系	640	64.8%	29.5%	5.6%
通所系	262	57.6%	38.9%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：職場の経営方針やビジョンに不満があるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	60.8%	34.4%	4.8%
訪問系	640	62.7%	31.7%	5.6%
通所系	262	64.5%	32.1%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：体力的に限界だから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	60.8%	34.4%	4.8%
訪問系	640	70.0%	24.4%	5.6%
通所系	262	71.4%	25.2%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：キャリアアップの機会が乏しいから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	76.6%	18.6%	4.8%
訪問系	640	78.4%	15.9%	5.6%
通所系	262	75.2%	21.4%	3.4%

問Ⅲ-1-2-2：その他（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,156	85.3%	9.9%	4.8%
訪問系	640	84.8%	9.5%	5.6%
通所系	262	82.8%	13.7%	3.4%

問Ⅲ-3-①：人事評価制度全般（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	1.5%	9.5%	46.1%	13.5%	9.7%	19.7%
訪問系	3,760	3.7%	12.2%	43.7%	11.4%	7.7%	21.4%
通所系	1,408	1.8%	9.6%	45.5%	14.3%	8.3%	20.5%

問III-3-②：人事評価に関する具体的な情報の開示・説明（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	2.0%	11.2%	49.5%	17.9%	12.4%	7.0%
訪問系	3,760	4.1%	13.3%	48.6%	15.0%	9.6%	9.4%
通所系	1,408	1.7%	10.9%	49.7%	19.0%	11.0%	7.7%

問III-3-③：評価基準の明確性（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	1.7%	10.4%	47.8%	19.2%	13.6%	7.2%
訪問系	3,760	3.8%	13.2%	46.5%	16.1%	10.4%	9.9%
通所系	1,408	1.8%	10.0%	48.4%	20.1%	11.3%	8.3%

問III-3-④：努力した結果の処遇への反映（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	2.1%	11.8%	44.2%	20.0%	14.9%	7.2%
訪問系	3,760	4.7%	15.7%	41.8%	16.8%	11.8%	9.3%
通所系	1,408	3.1%	11.9%	41.6%	21.4%	14.2%	7.7%

問III-3-⑤：評価の観点・手続きの公正性（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	1.9%	10.6%	51.7%	17.0%	11.7%	7.1%
訪問系	3,760	4.0%	13.9%	49.1%	13.7%	9.6%	9.7%
通所系	1,408	2.1%	10.5%	50.1%	18.3%	11.2%	8.0%

問III-3-⑥：評価者の信頼性（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	2.9%	13.3%	48.2%	15.9%	12.9%	6.8%
訪問系	3,760	5.3%	16.2%	46.4%	13.1%	9.7%	9.3%
通所系	1,408	3.3%	12.9%	47.9%	16.5%	11.9%	7.5%

問III-4-①：キャリアアップの機会 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	4.1%	24.9%	45.3%	20.6%	5.2%
訪問系	3,760	5.2%	27.5%	41.8%	18.3%	7.2%
通所系	1,408	4.1%	27.5%	45.3%	17.2%	5.9%

問III-4-②：賃金水準 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	13.2%	44.8%	29.8%	8.4%	3.8%
訪問系	3,760	10.3%	45.4%	29.8%	8.3%	6.1%
通所系	1,408	10.2%	44.5%	32.2%	8.7%	4.4%

問III-4-③：労働時間・休日等の労働条件 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	14.4%	45.8%	27.9%	7.8%	4.0%
訪問系	3,760	16.0%	46.7%	25.4%	6.3%	5.7%
通所系	1,408	21.7%	48.7%	20.7%	5.4%	3.5%

問III-4-④：人事評価・処遇のあり方 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	4.2%	26.7%	49.1%	15.1%	4.9%
訪問系	3,760	4.3%	29.7%	46.5%	12.0%	7.6%
通所系	1,408	5.0%	28.3%	48.7%	12.5%	5.6%

問III-4-⑤：立地条件（通勤利便性） (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	27.5%	42.5%	20.3%	6.1%	3.5%
訪問系	3,760	27.0%	43.3%	19.7%	4.8%	5.1%
通所系	1,408	30.7%	43.5%	16.9%	5.4%	3.5%

問III-4-⑥：人間関係・雰囲気 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	14.3%	38.5%	32.8%	10.3%	4.0%
訪問系	3,760	14.8%	43.5%	28.6%	7.9%	5.2%
通所系	1,408	15.7%	41.6%	30.8%	7.9%	4.0%

問III-4-⑦：雇用の安定性 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	16.6%	48.5%	24.1%	7.0%	3.8%
訪問系	3,760	15.6%	48.2%	24.9%	5.9%	5.5%
通所系	1,408	17.5%	48.5%	24.1%	6.3%	3.7%

問III-4-⑧：福利厚生(SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	15.1%	40.0%	31.7%	9.3%	3.9%
訪問系	3,760	12.0%	36.2%	35.1%	10.5%	6.3%
通所系	1,408	14.3%	41.3%	32.3%	7.8%	4.2%

問III-4-⑨：教育訓練・能力開発のあり方 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	4.7%	26.5%	50.3%	14.2%	4.4%
訪問系	3,760	5.3%	28.6%	46.9%	12.4%	6.7%
通所系	1,408	5.0%	25.9%	52.4%	11.8%	4.9%

問III-4-⑩：知識や経験の活用可能性 (SA)

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	5.9%	34.3%	43.4%	12.2%	4.3%
訪問系	3,760	7.8%	38.0%	38.5%	9.5%	6.3%
通所系	1,408	7.1%	37.4%	41.3%	9.6%	4.6%

問III-4-⑪：周囲（家族等）からの評判（SA）

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	4.6%	27.1%	45.7%	18.3%	4.3%
訪問系	3,760	4.9%	27.8%	44.2%	16.7%	6.4%
通所系	1,408	5.5%	29.8%	44.2%	15.8%	4.8%

問III-4-⑫：事業所の理念・方針（SA）

	n	非常に重視した	ある程度重視した	あまり重視していなかった	まったく重視していなかった	無回答
施設系	14,275	4.8%	27.6%	46.3%	17.1%	4.2%
訪問系	3,760	6.6%	30.8%	41.8%	14.9%	5.9%
通所系	1,408	5.7%	31.5%	44.2%	14.4%	4.2%

問III-5-①：事業所の人間関係・雰囲気全般（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	6.5%	32.4%	33.8%	11.0%	4.9%	11.5%
訪問系	3,760	12.3%	36.7%	26.7%	7.9%	4.3%	12.0%
通所系	1,408	8.2%	37.6%	30.0%	8.9%	3.6%	11.6%

問III-5-②：上司との人間関係・雰囲気（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	9.8%	35.7%	32.5%	12.5%	7.3%	2.3%
訪問系	3,760	14.5%	38.4%	29.0%	9.4%	5.6%	3.0%
通所系	1,408	10.9%	37.4%	31.6%	10.9%	7.0%	2.1%

問III-5-③：同僚（上司、部下を除く）との人間関係・雰囲気（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	12.6%	42.9%	31.2%	8.0%	3.1%	2.2%
訪問系	3,760	16.0%	42.4%	28.5%	6.8%	2.7%	3.5%
通所系	1,408	13.0%	42.8%	30.6%	8.1%	3.5%	2.0%

問III-5-④：部下との人間関係・雰囲気 (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	7.8%	34.5%	44.1%	6.3%	2.3%	4.9%
訪問系	3,760	11.7%	34.9%	39.0%	4.7%	2.1%	7.6%
通所系	1,408	8.7%	36.0%	40.6%	7.0%	2.3%	5.4%

問III-5-⑤：利用者との人間関係・雰囲気 (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	9.4%	46.9%	35.6%	4.5%	1.5%	2.1%
訪問系	3,760	12.5%	48.8%	32.1%	3.0%	0.9%	2.7%
通所系	1,408	17.3%	53.5%	24.9%	2.0%	0.6%	1.7%

問III-5-⑥：利用者の家族との人間関係・雰囲気 (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	6.5%	38.8%	46.5%	4.9%	1.4%	1.9%
訪問系	3,760	9.5%	44.0%	39.5%	3.1%	1.0%	2.8%
通所系	1,408	11.4%	48.2%	35.7%	2.3%	0.4%	2.0%

問III-6：現在の職場の福利厚生への取り組みへの満足度 (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	無回答
施設系	14,275	3.1%	16.8%	50.9%	18.0%	8.9%	2.2%
訪問系	3,760	5.6%	17.6%	47.4%	17.5%	8.8%	3.1%
通所系	1,408	4.3%	17.1%	50.3%	18.0%	8.5%	1.7%

問III-7-1-①：ハローワーク (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	利用した経験 がない	無回答
施設系	14,275	4.7%	16.6%	26.0%	3.2%	1.1%	42.8%	5.6%
訪問系	3,760	4.5%	16.2%	24.8%	3.3%	1.2%	42.0%	8.0%
通所系	1,408	5.2%	19.2%	26.5%	2.3%	1.1%	39.8%	5.9%

問III-7-1-②：福祉人材センター (SA)

	n	非常に満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満	利用した経験 がない	無回答
施設系	14,275	0.9%	4.3%	14.0%	1.1%	0.4%	67.1%	12.3%
訪問系	3,760	0.9%	3.2%	13.5%	1.1%	0.5%	66.0%	14.9%
通所系	1,408	0.8%	3.2%	14.1%	1.3%	0.4%	66.4%	13.8%

問Ⅲ-7-1-③：自治体等が主催する合同説明会（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	利用した経験がない	無回答
施設系	14,275	0.7%	3.6%	14.3%	1.0%	0.3%	67.5%	12.6%
訪問系	3,760	0.5%	2.3%	13.0%	1.1%	0.4%	67.4%	15.2%
通所系	1,408	0.4%	2.1%	14.2%	1.2%	0.4%	67.3%	14.3%

問Ⅲ-7-1-④：人材紹介会社の紹介（SA）

	n	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	利用した経験がない	無回答
施設系	14,275	1.4%	4.2%	15.0%	1.5%	0.6%	65.6%	11.8%
訪問系	3,760	1.4%	4.4%	14.5%	1.3%	0.9%	63.8%	13.8%
通所系	1,408	0.6%	3.7%	14.4%	1.7%	0.7%	65.3%	13.6%

問Ⅲ-7-2-①：ハローワーク利用理由：就職の相談にのってもらえるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	74.3%	23.2%	2.5%
訪問系	1,883	74.3%	22.5%	3.2%
通所系	764	72.9%	24.3%	2.7%

問Ⅲ-7-2-②：ハローワーク利用理由：職業訓練や能力開発に関する相談ができるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	85.9%	11.5%	2.5%
訪問系	1,883	84.5%	12.3%	3.2%
通所系	764	85.6%	11.6%	2.7%

問Ⅲ-7-2-③：ハローワーク利用理由：就職の成功率が高いから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	89.2%	8.3%	2.5%
訪問系	1,883	87.7%	9.1%	3.2%
通所系	764	87.7%	9.6%	2.7%

問Ⅲ-7-2-④：ハローワーク利用理由：求人内容が信用できると思うから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	73.7%	23.7%	2.5%
訪問系	1,883	68.4%	28.4%	3.2%
通所系	764	69.5%	27.7%	2.7%

問Ⅲ-7-2-⑤：ハローワーク利用理由：多くの求人が見られるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	54.5%	42.9%	2.5%
訪問系	1,883	55.5%	41.3%	3.2%
通所系	764	55.8%	41.5%	2.7%

問Ⅲ-7-2-⑥：ハローワーク利用理由：他のルートをしらなかつたから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	77.9%	19.5%	2.5%
訪問系	1,883	81.6%	15.2%	3.2%
通所系	764	79.8%	17.4%	2.7%

問Ⅲ-7-2-⑦：ハローワーク利用理由：利用した経験がない (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	7,357	90.5%	7.0%	2.5%
訪問系	1,883	90.3%	6.5%	3.2%
通所系	764	92.5%	4.7%	2.7%

問Ⅲ-7-2-①：福祉人材センター利用理由：就職の相談にのってもらえるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	80.0%	12.9%	7.1%
訪問系	719	79.6%	12.5%	7.9%
通所系	278	78.8%	11.9%	9.4%

問Ⅲ-7-2-②：福祉人材センター利用理由：職業訓練や能力開発に関する相談ができるから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	86.6%	6.3%	7.1%
訪問系	719	86.4%	5.7%	7.9%
通所系	278	86.3%	4.3%	9.4%

問Ⅲ-7-2-③：福祉人材センター利用理由：就職の成功率が高いから (SA)

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	84.0%	8.9%	7.1%
訪問系	719	84.7%	7.4%	7.9%
通所系	278	81.3%	9.4%	9.4%

問Ⅲ-7-2-④：福祉人材センター利用理由：求人内容が信用できると思うから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	75.4%	17.5%	7.1%
訪問系	719	71.6%	20.4%	7.9%
通所系	278	75.2%	15.5%	9.4%

問Ⅲ-7-2-⑤：福祉人材センター利用理由：多くの求人が見られるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	74.1%	18.8%	7.1%
訪問系	719	77.6%	14.5%	7.9%
通所系	278	74.5%	16.2%	9.4%

問Ⅲ-7-2-⑥：福祉人材センター利用理由：他のルートをしらなかつたから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,945	86.5%	6.5%	7.1%
訪問系	719	86.2%	5.8%	7.9%
通所系	278	87.1%	3.6%	9.4%

問Ⅲ-7-2-①：自治体等が主催する合同説明会利用理由：就職の相談にのってもらえるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	82.6%	9.7%	7.7%
訪問系	653	83.6%	7.2%	9.2%
通所系	258	83.7%	7.0%	9.3%

問Ⅲ-7-2-②：自治体等が主催する合同説明会利用理由：職業訓練や能力開発に関する相談ができるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	88.6%	3.7%	7.7%
訪問系	653	85.6%	5.2%	9.2%
通所系	258	87.2%	3.5%	9.3%

問Ⅲ-7-2-③：自治体等が主催する合同説明会利用理由：就職の成功率が高いから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	84.1%	8.2%	7.7%
訪問系	653	83.8%	7.0%	9.2%
通所系	258	84.5%	6.2%	9.3%

問Ⅲ-7-2-④：自治体等が主催する合同説明会利用理由：求人内容が信用できると思うから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	79.4%	13.0%	7.7%
訪問系	653	74.6%	16.2%	9.2%
通所系	258	79.1%	11.6%	9.3%

問Ⅲ-7-2-⑤：自治体等が主催する合同説明会利用理由：多くの求人が見られるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	72.8%	19.6%	7.7%
訪問系	653	78.6%	12.3%	9.2%
通所系	258	77.5%	13.2%	9.3%

問Ⅲ-7-2-⑥：自治体等が主催する合同説明会利用理由：他のルートをしらなかつたから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	2,838	85.4%	6.9%	7.7%
訪問系	653	85.6%	5.2%	9.2%
通所系	258	84.9%	5.8%	9.3%

問Ⅲ-7-2-①：人材紹介会社の紹介利用理由：就職の相談にのってもらえるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	77.8%	15.7%	6.5%
訪問系	845	77.3%	14.8%	7.9%
通所系	297	78.8%	13.1%	8.1%

問Ⅲ-7-2-②：人材紹介会社の紹介利用理由：職業訓練や能力開発に関する相談ができるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	89.9%	3.6%	6.5%
訪問系	845	88.4%	3.7%	7.9%
通所系	297	88.2%	3.7%	8.1%

問Ⅲ-7-2-③：人材紹介会社の紹介利用理由：就職の成功率が高いから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	79.4%	14.2%	6.5%
訪問系	845	79.9%	12.2%	7.9%
通所系	297	83.2%	8.8%	8.1%

問III-7-2-④：人材紹介会社の紹介利用理由：求人内容が信用できると思うから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	81.2%	12.3%	6.5%
訪問系	845	77.8%	14.3%	7.9%
通所系	297	82.2%	9.8%	8.1%

問III-7-2-⑤：人材紹介会社の紹介利用理由：多くの求人が見られるから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	74.5%	19.0%	6.5%
訪問系	845	72.1%	20.0%	7.9%
通所系	297	70.7%	21.2%	8.1%

問III-7-2-⑥：人材紹介会社の紹介利用理由：他のルートをしらなかつたから（SA）

	n	該当しない	該当する	無回答
施設系	3,236	86.2%	7.3%	6.5%
訪問系	845	85.2%	6.9%	7.9%
通所系	297	87.2%	4.7%	8.1%

問III-8-①：やりがい 身体介護（SA）

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	13.9%	41.4%	35.1%	4.5%	2.0%	0.8%	2.2%
訪問系	3,760	24.3%	42.0%	25.1%	2.3%	0.7%	2.4%	3.2%
通所系	1,408	17.5%	44.6%	29.9%	3.3%	0.8%	1.8%	2.1%

問III-8-②：やりがい 生活援助（SA）

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	10.4%	38.0%	38.5%	5.5%	2.2%	2.6%	2.7%
訪問系	3,760	11.5%	35.6%	36.1%	6.9%	2.4%	4.1%	3.3%
通所系	1,408	9.9%	33.2%	37.2%	4.8%	1.1%	10.9%	2.9%

問III-8-③：やりがい 認知症の行動・心理症状（BPSD）への対応（SA）

	n	非常にやりがいがある	やややりがいがある	どちらともいえない	あまりやりがいがない	まったくやりがいがない	実施経験がない	無回答
施設系	14,275	12.0%	34.4%	40.5%	6.5%	3.0%	1.2%	2.5%
訪問系	3,760	16.4%	35.5%	35.0%	4.0%	1.1%	4.0%	4.0%
通所系	1,408	15.3%	39.2%	35.1%	3.6%	1.3%	3.0%	2.5%

問III-8-④：得意意識 身体介護 (SA)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,837	8.7%	40.4%	43.3%	6.3%	0.9%	0.4%
訪問系	3,552	11.2%	41.3%	40.0%	6.1%	1.0%	0.4%
通所系	1,352	9.6%	42.1%	41.6%	5.6%	0.7%	0.4%

問III-8-⑤：得意意識 生活援助 (SA)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,508	5.7%	34.4%	51.9%	6.5%	1.0%	0.4%
訪問系	3,483	7.3%	37.6%	47.1%	6.2%	1.4%	0.4%
通所系	1,214	6.4%	34.0%	51.6%	6.6%	1.0%	0.4%

問III-8-⑥：得意意識 認知症の行動・心理症状 (BPSD) への対応 (SA)

	n	非常に自信がある	やや自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	まったく自信がない	無回答
施設系	13,746	4.6%	28.3%	52.3%	12.1%	2.2%	0.4%
訪問系	3,456	5.9%	32.5%	50.3%	9.3%	1.5%	0.5%
通所系	1,331	5.0%	35.5%	47.9%	9.9%	1.6%	0.2%

問IV-1：前職の有無(SA)

	n	職歴あり	職歴なし	その他	無回答
施設系	14,275	44.5%	39.4%	3.2%	12.9%
訪問系	3,760	57.9%	23.7%	4.0%	14.4%
通所系	1,408	52.4%	30.0%	3.8%	13.7%

問IV-1-2：介護業界に入る以前の職業等 (11区分) (SA)

	n	(福祉系の学校)	(福祉系以外の学校)	他の業界で正社員	他のアルバイト・パート	他の業界で派遣社員	子育て・子育てで休職	家族に介護・看病のため休職した	主婦(主夫)	自営業	職についていなかった	その他	無回答
施設系	14,275	24.6%	11.3%	23.5%	15.7%	2.4%	1.1%	0.3%	2.4%	1.5%	1.1%	3.2%	12.9%
訪問系	3,760	9.2%	6.2%	25.0%	22.4%	2.8%	3.2%	0.6%	7.2%	3.9%	1.1%	4.0%	14.4%
通所系	1,408	15.8%	9.1%	25.6%	18.8%	2.9%	2.3%	0.4%	3.5%	2.4%	1.7%	3.8%	13.7%

問IV-1-3：介護業界に入る以前に就業していた産業区分(SA)

	n	農業・林業	漁業	利採業・採石業・砂	建設業	製造業	給電・水道業	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業、保険業	貸業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業・飲食業	業、娯楽業	生活関連サービス業	医療、福祉	複合サービス業	分類されない（他に）	サービス業（他に）	その他	無回答
施設系	6,358	0.9%	0.2%	0.1%	4.1%	19.1%	1.1%	2.3%	3.5%	10.5%	3.1%	0.8%	1.8%	8.1%	4.4%	8.0%	2.5%	17.7%	5.5%	6.4%				
訪問系	2,177	1.1%	0.0%	0.1%	3.7%	14.4%	1.0%	2.7%	3.3%	9.3%	4.5%	0.9%	1.7%	8.2%	4.7%	9.0%	2.7%	18.3%	6.8%	7.8%				
通所系	738	0.7%	0.1%	0.1%	3.8%	15.2%	0.9%	1.6%	3.4%	8.0%	3.5%	0.5%	2.2%	7.2%	4.5%	14.4%	2.4%	17.5%	5.6%	8.4%				

問IV-1-4：介護業界に入る以前に就業していた職業区分(SA)

	n	事務職	販売職	専門的・技術的	生産工程職	サービス職	保安職	建設・採掘職	職	輸送・機械運転	装等職・清掃・包装	運搬・清掃・包装	農林漁業職	管理職	その他	無回答
施設系	6,358	17.2%	15.7%	11.6%	11.6%	23.5%	0.3%	1.2%	1.1%	2.5%	0.3%	1.6%	5.6%	7.8%		
訪問系	2,177	23.2%	14.8%	10.2%	7.7%	21.3%	0.4%	0.8%	1.8%	2.3%	0.0%	1.9%	5.1%	10.6%		
通所系	738	23.0%	11.4%	15.3%	8.3%	22.0%	0.1%	1.1%	0.8%	1.2%	0.0%	1.8%	5.6%	9.5%		

問IV-1-5：介護業界に入る以前の仕事の離職理由(SA)

	n	会社倒産・事業所閉鎖のため	人員整理・推奨退職のため	安業不振や先行きの不安のため	定年のため	雇用契約満了のため	収入が少なかったため	労働条件が悪かったため	結婚のため	出産・育児のため	介護・看護のため	病気が高齢のため	自分に向かない仕事だった	から時的に転じた	家族の転職・転勤のため	キャリア幅を広げたいため	その他	無回答
施設系	6,358	8.9%	4.7%	9.3%	0.7%	3.1%	12.2%	9.2%	3.4%	3.2%	2.9%	1.7%	9.4%	7.4%	1.7%	6.2%	10.6%	5.5%
訪問系	2,177	9.0%	3.5%	7.1%	2.1%	3.4%	10.2%	6.8%	6.0%	7.1%	3.1%	2.8%	6.2%	7.0%	1.9%	6.5%	9.8%	7.6%
通所系	738	10.3%	2.8%	5.6%	0.9%	4.2%	7.5%	9.5%	4.5%	6.6%	4.1%	1.1%	7.0%	6.5%	1.9%	6.6%	12.6%	8.3%

問IV-1-6：介護業界に入る前後の賃金水準の変化(SA)

	n	給与が10%前後下がった	給与が20%前後下がった	給与が30%以上下がった	給与は変わらない	給与が上がった	分からない	無回答
施設系	6,358	11.1%	13.5%	17.3%	12.4%	30.0%	10.1%	5.6%
訪問系	2,177	9.6%	12.5%	19.6%	12.4%	26.3%	11.9%	7.7%
通所系	738	10.4%	14.5%	17.6%	15.3%	23.3%	10.6%	8.3%

問IV-2：介護業界での就業がはじめて決まった当時の認識(SA)

	n	ぜひ就業したいと希望して	就業してもよいと思ってい	あまり思っていなかった	特に考えていなかった	無回答
施設系	14,275	29.6%	26.5%	14.5%	22.1%	7.4%
訪問系	3,760	26.2%	25.7%	16.4%	24.8%	6.9%
通所系	1,408	28.3%	26.0%	16.0%	22.3%	7.4%

問IV-3-①：介護業界に入職した動機：介護の仕事の社会的意義・やりがい(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	15.3%	43.2%	22.6%	12.4%	6.5%
訪問系	3,760	15.7%	41.3%	22.8%	10.6%	9.6%
通所系	1,408	18.1%	40.8%	23.4%	10.8%	6.8%

問IV-3-②：介護業界に入職した動機：資格や技能を活用できること(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	14.5%	39.2%	24.4%	15.4%	6.5%
訪問系	3,760	17.3%	42.7%	19.6%	11.2%	9.1%
通所系	1,408	17.1%	39.8%	23.7%	12.5%	6.9%

問IV-3-③：介護業界に入職した動機：就業前の介護経験（家族介護、インターン等）(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	7.6%	22.2%	24.7%	37.5%	8.0%
訪問系	3,760	7.1%	20.5%	24.5%	36.0%	11.9%
通所系	1,408	7.3%	21.7%	25.5%	36.2%	9.3%

問IV-3-④：介護業界に入職した動機：介護業界の将来性(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	9.7%	35.7%	29.9%	17.6%	7.1%
訪問系	3,760	10.2%	34.0%	28.0%	16.9%	10.8%
通所系	1,408	9.4%	33.3%	31.5%	17.7%	8.1%

問IV-3-⑤：介護業界に入職した動機：介護業界の処遇の良さ(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	1.6%	12.0%	43.2%	35.6%	7.7%
訪問系	3,760	1.8%	13.6%	39.7%	33.1%	11.8%
通所系	1,408	1.4%	13.1%	41.5%	35.0%	8.9%

問IV-3-⑥：介護業界に入職した動機：家族・知人・親戚の勧め(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	11.1%	22.8%	24.9%	34.4%	6.9%
訪問系	3,760	11.2%	19.4%	22.7%	36.9%	9.9%
通所系	1,408	12.5%	21.2%	25.4%	33.2%	7.7%

問IV-3-⑦：介護業界に入職した動機：ハローワーク・人材センターの勧め(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	2.5%	12.1%	23.2%	53.9%	8.3%
訪問系	3,760	2.3%	10.4%	21.2%	53.4%	12.7%
通所系	1,408	2.8%	11.9%	23.9%	52.3%	9.2%

問IV-3-⑧：介護業界に入職した動機：他に適切な職がないこと(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	11.5%	26.8%	23.6%	30.5%	7.6%
訪問系	3,760	10.5%	23.8%	22.8%	31.1%	11.9%
通所系	1,408	8.7%	23.2%	26.3%	32.9%	8.9%

問IV-3-⑨：介護業界に入職した動機：正規雇用の仕事に就けること(SA)

	n	非常に影響した	ある程度影響した	あまり影響していなかった	全く影響していなかった	無回答
施設系	14,275	20.1%	34.1%	18.6%	20.0%	7.2%
訪問系	3,760	15.3%	27.3%	20.4%	25.3%	11.7%
通所系	1,408	17.6%	29.1%	20.2%	24.7%	8.4%

問IV-4-1：介護業界内での転職経験の有無(SA)

	n	経験あり	経験なし	無回答
施設系	14,275	40.3%	54.9%	4.8%
訪問系	3,760	49.4%	45.0%	5.6%
通所系	1,408	40.6%	54.3%	5.0%

問IV-4-2：介護業界内での介護職以外での業務経験(SA)

	n	経験あり	経験なし	無回答
施設系	14,275	82.1%	11.1%	6.8%
訪問系	3,760	76.2%	15.2%	8.6%
通所系	1,408	77.2%	15.8%	7.0%

問IV-4-3：従事経験があるサービス種別(MA)

	n	訪問介護	訪問入浴介護	通所介護	通所リハビリテーション	短期施設生活介護	特定施設入居者生活介護	看護	定期巡回・随時対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護	認知症対応型共同生活介護	活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	看護小規模多機能型居宅介護	地域密着型介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	その他	無回答
施設系	14,275	10.7%	3.0%	16.5%	5.1%	13.4%	7.9%	0.4%	0.5%	3.8%	2.1%	10.5%	1.1%	53.6%	0.2%	2.1%	2.1%	21.5%	4.3%	4.9%	11.1%	
訪問系	3,760	70.7%	10.1%	22.6%	2.6%	5.2%	5.5%	4.1%	2.3%	5.2%	2.2%	7.8%	1.1%	16.0%	0.3%	1.5%	7.3%	3.4%	8.8%	9.3%		
通所系	1,408	19.7%	5.0%	73.4%	5.1%	10.3%	3.4%	0.7%	0.6%	4.2%	7.1%	7.0%	0.9%	22.3%	0.2%	2.0%	7.5%	2.7%	7.2%	8.6%		

問IV-5：介護業界での就業継続意向(SA)

	n	できるだけ長く働きたい	当面2、3年程度は働きたい	条件等がある介護以外の仕事があれば転職する	できるだけ早く違う業界に転職したい	分からない・未定	無回答
施設系	14,275	46.9%	19.1%	14.2%	3.5%	12.7%	3.6%
訪問系	3,760	49.1%	19.5%	11.5%	2.5%	12.9%	4.5%
通所系	1,408	46.6%	20.5%	12.7%	2.8%	13.3%	4.2%

問IV-6-1：将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標(SA)

	n	目標を決め、実現するための計画も具体的に考えている	目標は決めたが、実際の計画は漠然としている	目標はなんとなく考えている	考えていない	無回答
施設系	14,275	11.1%	21.9%	27.4%	35.4%	4.1%
訪問系	3,760	11.8%	18.9%	26.8%	36.7%	5.8%
通所系	1,408	11.8%	20.8%	27.4%	35.7%	4.3%

問IV-6-2：キャリア目標の方向性(MA)

	n	現状維持	介護の特定分野に関する専門性を深めていきたい	管理職・経営者を目指していきたい	介護の専門性の幅を広げていきたい	その他	無回答
施設系	8,631	22.8%	36.1%	12.9%	48.0%	3.7%	2.3%
訪問系	2,162	24.7%	31.4%	14.2%	44.5%	4.7%	2.9%
通所系	845	23.6%	32.2%	11.2%	47.6%	4.5%	2.5%

問IV-6-3：キャリア目標の具体的な内容 (MA：あてはまるものすべて)

	n	経営マネジメント担当	事業所・施設の管理責任者	サービス提供責任者	（認知症ケア等） 介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル	介護の現場スタッフの教育	介護の現場（ユニットケアやフロア等）のチムリトケア	訪問介護員	訪問介護員以外の介護職員	独立開業	福祉分野の教育者（指導者）	ケアマネジャー	（社会福祉士資格保有者等） 相談援助職	看護職	無回答
施設系	8,631	10.1%	14.2%	15.0%	42.2%	24.4%	24.3%	7.5%	11.8%	8.6%	13.9%	43.6%	18.9%	8.7%	12.8%
訪問系	2,162	13.6%	17.5%	22.2%	32.1%	19.0%	12.0%	16.0%	11.8%	9.9%	12.5%	36.5%	18.4%	6.8%	15.0%
通所系	845	13.6%	15.0%	14.6%	37.5%	22.5%	19.2%	7.1%	12.5%	7.3%	11.7%	38.1%	21.4%	9.0%	14.0%

問IV-6-3：キャリア目標の具体的な内容 (SA：最もあてはまるもの1つ)

	n	経営マネジメント担当	事業所・施設の管理責任者	サービス提供責任者	（認知症ケア等） 介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル	介護の現場スタッフの教育	介護の現場（ユニットケアやフロア等）のチムリトケア	訪問介護員	訪問介護員以外の介護職員	独立開業	福祉分野の教育者（指導者）	ケアマネジャー	（社会福祉士資格保有者等） 相談援助職	看護職	無回答
全体	11,638	3.4%	3.7%	2.7%	15.9%	4.1%	4.8%	1.6%	3.1%	2.5%	2.6%	18.0%	5.7%	2.1%	29.6%
施設系	8,631	3.0%	3.5%	2.0%	17.3%	4.3%	5.5%	1.0%	3.2%	2.3%	2.7%	18.7%	5.6%	2.3%	28.6%
訪問系	2,162	5.2%	4.6%	5.6%	11.7%	3.6%	2.1%	4.0%	2.5%	3.6%	2.5%	15.2%	5.0%	1.2%	33.3%
通所系	845	3.3%	3.6%	2.7%	12.7%	4.3%	4.0%	1.1%	3.6%	1.9%	2.5%	18.3%	8.5%	3.1%	30.5%

問IV-6-4：キャリア目標を考えていない理由(SA)

	n	今はまだ必要ないと思うから	どうやって考えたらいいかわからないから	現在の仕事が忙しいから	その他	無回答
施設系	5,057	15.0%	15.0%	38.4%	26.5%	5.0%
訪問系	1,381	16.8%	9.3%	38.7%	28.7%	6.4%
通所系	502	12.2%	14.5%	38.2%	29.1%	6.0%

問 V-1：希望する就業地域(SA)

	n	現在の勤務地域で就業したい	勤務地域に特にこだわらない	現在の勤務地域以外で、現在の勤務地域と同程度の生活環境がある地域で就業したい	現在の勤務地域よりも都市部で就業したい	現在の勤務地域よりも地方で就業したい	無回答
施設系	14,275	51.4%	25.3%	10.3%	3.2%	2.3%	7.5%
訪問系	3,760	59.0%	18.8%	9.0%	1.5%	1.7%	10.0%
通所系	1,408	57.7%	20.3%	9.6%	2.3%	2.1%	8.0%

問 V-2-①：現在と同等の生活水準を維持できる収入(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	15.1%	11.3%	53.9%	4.0%	15.7%
訪問系	3,760	14.3%	13.2%	46.5%	4.7%	21.3%
通所系	1,408	16.2%	12.4%	51.7%	3.5%	16.3%

問 V-2-②：社宅、家賃補助等の住居に関する福利厚生(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	11.1%	12.4%	50.6%	7.9%	18.0%
訪問系	3,760	10.1%	13.4%	41.9%	9.6%	25.0%
通所系	1,408	11.6%	13.1%	47.7%	7.9%	19.7%

問 V-2-③：所内保育施設等の子育てに関する福利厚生(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	8.4%	8.4%	43.0%	20.5%	19.6%
訪問系	3,760	6.9%	8.4%	35.7%	21.6%	27.4%
通所系	1,408	8.4%	8.5%	42.6%	18.3%	22.2%

問 V-2-④：医療・福祉・介護サービスに充実(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	10.2%	8.8%	55.2%	7.0%	18.8%
訪問系	3,760	9.5%	10.2%	47.3%	7.2%	25.7%
通所系	1,408	11.0%	8.9%	53.7%	5.6%	20.8%

問 V-2-⑤：キャリアアップの機会(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	8.0%	9.1%	47.2%	16.6%	19.2%
訪問系	3,760	7.1%	10.1%	41.9%	14.3%	26.6%
通所系	1,408	8.5%	9.8%	47.2%	13.3%	21.3%

問V-2-⑥：交通の利便性(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	15.6%	11.5%	52.3%	3.9%	16.8%
訪問系	3,760	14.2%	12.2%	47.3%	3.7%	22.6%
通所系	1,408	16.7%	12.4%	51.1%	2.2%	17.5%

問V-2-⑦：生活時間のゆとり(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	12.7%	9.4%	56.6%	3.7%	17.6%
訪問系	3,760	11.8%	10.9%	50.3%	3.5%	23.5%
通所系	1,408	13.8%	11.1%	54.1%	2.4%	18.6%

問V-2-⑧：趣味が楽しめること(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	11.4%	9.0%	54.3%	7.3%	18.0%
訪問系	3,760	10.3%	9.8%	47.8%	7.5%	24.6%
通所系	1,408	12.1%	9.4%	52.8%	6.5%	19.1%

問V-2-⑨：治安が良いこと(SA)

	n	地方での就業時に特に重視する	都市部での就業時に特に重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも同程度重視する	地方・都市部のどちらに就業する場合でも重視しない	無回答
施設系	14,275	11.5%	10.3%	55.2%	5.2%	17.9%
訪問系	3,760	10.5%	11.8%	48.3%	5.2%	24.2%
通所系	1,408	12.3%	9.6%	54.3%	4.5%	19.4%

問VI-1職員の確保・定着・離職防止に向けた独自の取組や工夫の実施状況(SA)

	n	積極的に 行っていると思う	ある程度は 行っていると思う	行っていない と思う
施設系	12,108	8.8%	46.5%	44.6%
訪問系	3,057	13.3%	51.8%	34.8%
通所系	1,181	9.2%	48.5%	42.3%

問VI-2：職員の確保に向けた取り組みの効果認識①施設系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	14,275	7.8%	43.1%	29.8%	9.9%	9.4%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	14,275	6.5%	44.6%	31.4%	8.0%	9.4%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	14,275	13.4%	52.5%	19.1%	5.4%	9.6%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	14,275	14.0%	50.6%	20.7%	5.1%	9.6%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	14,275	13.1%	50.7%	22.0%	4.7%	9.5%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	14,275	20.6%	53.2%	13.8%	3.3%	9.1%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	14,275	10.9%	48.6%	24.8%	5.5%	10.2%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	14,275	10.5%	51.0%	23.4%	4.8%	10.3%
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	14,275	51.8%	32.0%	5.8%	1.6%	8.8%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	14,275	43.1%	38.9%	7.1%	1.8%	9.1%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	14,275	44.2%	38.4%	6.8%	1.6%	9.0%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	14,275	20.3%	35.6%	28.7%	5.7%	9.7%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	14,275	19.5%	44.8%	21.1%	5.5%	9.2%
	夜勤専従職員を採用している	14,275	16.2%	39.6%	28.7%	6.0%	9.5%
	職場体験や見学を実施している	14,275	19.6%	49.4%	18.1%	3.6%	9.3%
	元職員への働きかけを行っている	14,275	7.4%	28.2%	40.1%	14.8%	9.5%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	14,275	10.1%	45.0%	29.5%	5.5%	10.0%

問VI-2：職員の確保に向けた取り組みの効果認識②通所系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	1,408	8.6%	45.1%	28.3%	7.0%	11.1%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	1,408	7.8%	48.5%	26.7%	6.2%	10.8%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	1,408	12.1%	53.7%	17.9%	5.0%	11.2%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	1,408	12.3%	49.1%	22.0%	4.6%	11.9%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	1,408	13.1%	54.3%	18.1%	3.3%	11.2%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	1,408	19.2%	54.8%	12.9%	2.4%	10.7%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	1,408	10.9%	48.7%	23.8%	4.6%	12.1%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	1,408	10.5%	52.1%	21.2%	4.0%	12.2%
求 人 条 件	賃金体系の見直しを行っている	1,408	52.6%	31.3%	4.6%	1.4%	10.0%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	1,408	44.7%	37.1%	6.3%	1.4%	10.5%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	1,408	45.6%	36.5%	5.8%	1.4%	10.7%
そ の 他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	1,408	17.7%	35.4%	29.1%	5.7%	12.1%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	1,408	19.1%	44.1%	21.4%	4.5%	10.9%
	夜勤専従職員を採用している	1,408	12.2%	39.9%	23.9%	9.2%	14.8%
	職場体験や見学を実施している	1,408	17.8%	52.3%	15.8%	3.0%	11.1%
	元職員への働きかけを行っている	1,408	7.2%	30.8%	37.4%	13.3%	11.3%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	1,408	9.6%	46.9%	26.3%	4.9%	12.2%

問VI-2：職員の確保に向けた取り組みの効果認識③訪問系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
PR 方法	事業所・施設HPやSNS（フェイスブック、ブログ等）で事業所の個性をアピールする	3,760	7.6%	41.4%	28.4%	7.8%	14.8%
	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成している	3,760	6.5%	43.0%	29.8%	6.1%	14.6%
	インターンシップ（就業希望者に就業体験の機会を提供する制度）を導入している	3,760	9.9%	48.1%	20.9%	5.6%	15.6%
地域 学校 交流	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている	3,760	9.8%	41.4%	26.4%	6.5%	16.0%
	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行っている	3,760	10.1%	47.2%	21.6%	5.3%	15.8%
	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている	3,760	14.1%	48.6%	17.8%	4.4%	15.2%
	大学や養成校、高校において事業所・施設の職員が講義や説明会を行っている	3,760	7.7%	41.3%	28.1%	6.3%	16.6%
	地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行っている	3,760	8.0%	46.5%	24.6%	5.0%	16.0%
求人 条件	賃金体系の見直しを行っている	3,760	44.0%	34.4%	5.9%	1.5%	14.2%
	時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入している	3,760	36.2%	40.4%	7.5%	1.5%	14.4%
	賃金、労働時間などの求人条件を明確にしている	3,760	37.5%	39.8%	7.4%	1.3%	13.9%
その他	職員による紹介謝礼金制度を導入している	3,760	16.4%	34.9%	28.7%	4.7%	15.3%
	未経験者・無資格者の採用も積極的に行っている	3,760	15.2%	40.7%	22.5%	6.5%	15.2%
	夜勤専従職員を採用している	3,760	11.7%	37.1%	25.3%	9.2%	16.7%
	職場体験や見学を実施している	3,760	14.3%	45.4%	19.8%	4.9%	15.5%
	元職員への働きかけを行っている	3,760	6.5%	29.9%	35.7%	12.7%	15.2%
	採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をしている	3,760	8.5%	43.2%	26.9%	5.4%	15.9%

問VI-2-2：職員の定着・離職防止に向けた取り組みの効果認識①施設系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
処遇 評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	14,275	6.1%	34.7%	41.4%	11.6%	6.3%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	14,275	26.3%	51.7%	13.0%	3.0%	6.1%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	14,275	16.5%	50.2%	23.1%	3.4%	6.8%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	14,275	20.5%	52.8%	17.7%	2.8%	6.2%
	従業員に対してキャリアパスを周知している	14,275	12.7%	50.7%	26.2%	3.3%	7.0%
能力 開発	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	14,275	19.9%	52.7%	18.1%	3.0%	6.4%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	14,275	16.4%	53.6%	20.6%	2.8%	6.6%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	14,275	11.9%	48.8%	28.6%	3.7%	6.9%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	14,275	26.6%	53.9%	11.1%	1.8%	6.5%
労働 条件 労働 環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	14,275	44.4%	41.4%	6.2%	1.4%	6.7%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	14,275	36.6%	47.1%	8.4%	1.6%	6.4%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	14,275	31.8%	48.6%	11.5%	1.8%	6.2%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	14,275	44.9%	41.1%	6.4%	1.5%	6.1%
	ICTや介護ロボットを導入している	14,275	12.3%	31.8%	37.2%	12.0%	6.7%
	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	14,275	36.8%	45.9%	8.9%	2.2%	6.2%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	14,275	40.3%	43.8%	7.2%	2.1%	6.5%
人間 関係	悩み、不安などの相談窓口を設けている	14,275	20.4%	41.5%	26.4%	5.5%	6.2%
	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	14,275	15.6%	42.8%	29.3%	6.2%	6.2%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	14,275	12.1%	42.4%	32.9%	6.2%	6.4%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	14,275	12.7%	40.9%	32.3%	7.6%	6.5%

問VI-2-2：職員の定着・離職防止に向けた取り組みの効果認識②通所系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
処遇・評価	配置・評価						
	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	1,408	6.8%	36.5%	39.1%	9.4%	8.2%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	1,408	26.1%	50.4%	13.0%	2.4%	8.0%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	1,408	18.7%	50.4%	19.9%	2.4%	8.6%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	1,408	21.8%	53.7%	15.1%	1.8%	7.5%
能力開発	従業員に対してキャリアパスを周知している	1,408	12.5%	53.2%	22.6%	2.6%	9.1%
	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	1,408	19.7%	53.9%	16.8%	1.8%	7.8%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	1,408	16.3%	56.8%	16.8%	1.9%	8.2%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	1,408	11.6%	50.9%	26.7%	2.4%	8.4%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	1,408	29.2%	53.6%	8.0%	1.4%	7.7%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	1,408	43.8%	42.4%	5.3%	0.9%	7.7%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	1,408	38.1%	46.6%	6.3%	1.2%	7.8%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	1,408	32.6%	48.1%	10.9%	1.1%	7.4%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	1,408	43.3%	42.2%	6.1%	0.9%	7.6%
	ICTや介護ロボットを導入している	1,408	9.2%	30.8%	39.8%	11.8%	8.5%
人間関係	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	1,408	35.8%	47.3%	8.0%	1.1%	7.9%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	1,408	40.8%	44.0%	6.0%	1.3%	7.7%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	1,408	20.0%	45.7%	22.7%	4.0%	7.7%
人間関係	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	1,408	15.3%	48.9%	24.4%	3.8%	7.7%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	1,408	12.6%	46.8%	28.5%	4.0%	8.1%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	1,408	14.3%	45.7%	27.3%	4.5%	8.2%

問VI-2-2：職員の定着・離職防止に向けた取り組みの効果認識③訪問系

		n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う	無回答
処遇・評価	配置・評価						
	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行っている	3,760	4.7%	32.1%	41.2%	10.3%	11.7%
	長期勤続に対して手当支給・褒賞・メッセージカード手交を行っている	3,760	21.8%	50.2%	14.3%	2.8%	10.9%
	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行っている	3,760	13.5%	49.3%	22.2%	3.1%	11.9%
	昇進・昇格に必要な能力等を明確にしている	3,760	17.0%	52.3%	17.6%	2.3%	10.8%
能力開発	従業員に対してキャリアパスを周知している	3,760	11.6%	48.9%	24.9%	2.6%	12.0%
	新人の指導担当者やアドバイザーを置いている	3,760	16.3%	50.5%	19.4%	2.8%	11.1%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備している	3,760	13.1%	53.8%	20.2%	1.9%	11.0%
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的スキルの評価を行っている	3,760	10.3%	47.6%	27.3%	3.0%	11.8%
	資格取得支援を奨励している（実習日等の勤務調整や取得費用の助成など）	3,760	23.7%	53.0%	10.9%	1.5%	11.0%
労働条件・労働環境	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとしている	3,760	37.0%	43.9%	6.9%	1.0%	11.2%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入している	3,760	30.9%	48.4%	8.6%	1.0%	11.0%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設けている	3,760	27.3%	47.8%	12.8%	1.3%	10.8%
	年次有給休暇取得を計画的・組織的にしている	3,760	35.1%	43.7%	8.8%	1.1%	11.4%
	ICTや介護ロボットを導入している	3,760	8.4%	26.8%	40.0%	12.7%	12.0%
人間関係	心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入している	3,760	29.9%	47.6%	9.8%	2.0%	10.7%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備している	3,760	32.4%	46.5%	7.6%	2.3%	11.3%
	悩み、不安などの相談窓口を設けている	3,760	19.5%	45.0%	21.0%	4.3%	10.1%
人間関係	職場内のコミュニケーションを図る機会（意見交換会、社内レクリエーション等）を設けている	3,760	14.8%	46.4%	23.6%	4.7%	10.5%
	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設けている	3,760	11.0%	43.0%	30.2%	5.2%	10.6%
	経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設けている	3,760	12.4%	44.8%	26.5%	5.7%	10.7%

(3) 潜在介護人材調査

性・年齢別集計

基本情報：現在の職業

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
女性・30代以下	419	1.4%	0.2%	8.1%	2.4%	6.9%	2.6%	0.0%	44.9%	22.9%	3.3%	2.6%	4.5%
女性・40～50代	214	0.5%	0.0%	12.6%	3.3%	8.9%	3.7%	1.9%	35.5%	26.6%	0.0%	3.7%	3.3%
女性・60代以上	94	1.1%	2.1%	5.3%	1.1%	0.0%	1.1%	3.2%	55.3%	13.8%	0.0%	1.1%	16.0%
男性・30代以下	102	2.0%	1.0%	15.7%	14.7%	30.4%	4.9%	1.0%	1.0%	17.6%	3.9%	2.0%	5.9%
男性・40～50代	136	1.5%	3.7%	16.2%	8.8%	34.6%	14.0%	5.1%	0.7%	5.1%	0.0%	2.2%	8.1%
男性・60代以上	65	1.5%	3.1%	4.6%	3.1%	13.8%	7.7%	1.5%	3.1%	21.5%	0.0%	0.0%	40.0%

SQ1 あなたの介護職としての就業経験について、あてはまるものをひとつ選択してください。

	n	現在、介護職として介護事業所に勤務している	現在は従事していないが、過去に介護職として介護事業所に勤務していたことがある	介護職として介護事業所に勤務していたことはない
女性・30代以下	419	0.0%	68.5%	31.5%
女性・40～50代	214	0.0%	63.6%	36.4%
女性・60代以上	94	0.0%	67.0%	33.0%
男性・30代以下	102	0.0%	83.3%	16.7%
男性・40～50代	136	0.0%	67.6%	32.4%
男性・60代以上	65	0.0%	55.4%	44.6%

SQ2 あなたの保有している介護・福祉・医療関連の資格について、あてはまるものをすべて選択してください。

	n	介護福祉士	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	看護師・准看護師	保健師	医療的ケア(嚥食吸引等)研修修了者	介護支援専門員(ケアマネジャー)	管理栄養士・栄養士	精神保健福祉士	OT・PT・ST	認知症介護実践研修修了者	社会福祉士	臨床心理士	左記に該当する資格を持っていない
女性・30代以下	419	30.1%	5.5%	47.0%	6.7%	0.5%	2.1%	3.8%	1.4%	1.4%	1.7%	1.7%	7.4%	0.2%	14.6%
女性・40～50代	214	21.0%	7.0%	56.5%	5.6%	0.9%	1.4%	7.5%	0.9%	0.5%	0.0%	1.4%	1.9%	0.5%	16.8%
女性・60代以上	94	11.7%	16.0%	59.6%	7.4%	0.0%	0.0%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	12.8%
男性・30代以下	102	31.4%	13.7%	32.4%	5.9%	0.0%	1.0%	4.9%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	8.8%	2.9%	21.6%
男性・40～50代	136	32.4%	14.0%	50.7%	2.9%	0.7%	2.9%	11.0%	2.2%	2.9%	1.5%	2.2%	9.6%	1.5%	13.2%
男性・60代以上	65	7.7%	15.4%	58.5%	1.5%	1.5%	0.0%	7.7%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	13.8%

SQ3 現在、あなたが就業している業界について、あてはまるものを1つ選択してください。

	n	農業・林業・漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食業	生活関連サービス業・娯楽業	医療・福祉	複合サービス業	サービス業(他に分類されないもの)	その他	現在働いていない
女性・30代以下	419	1.0%	0.2%	1.0%	3.3%	0.2%	1.0%	1.4%	4.8%	1.4%	1.2%	0.7%	2.6%	2.9%	12.9%	0.5%	7.6%	9.5%	47.7%
女性・40～50代	214	0.0%	0.0%	1.9%	5.6%	0.5%	0.9%	0.9%	7.5%	0.5%	2.3%	0.5%	3.3%	3.3%	11.7%	0.0%	13.1%	8.4%	39.7%
女性・60代以上	94	1.1%	0.0%	1.1%	3.2%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	3.2%	0.0%	4.3%	8.5%	61.1%
男性・30代以下	102	2.0%	0.0%	5.9%	17.6%	2.0%	2.9%	3.9%	8.8%	1.0%	4.9%	0.0%	2.9%	2.0%	16.7%	1.0%	11.8%	7.8%	8.8%
男性・40～50代	136	1.5%	0.0%	4.4%	14.7%	2.2%	2.9%	7.4%	4.4%	2.9%	2.2%	3.7%	2.9%	0.7%	17.6%	1.5%	13.2%	6.6%	11.0%
男性・60代以上	65	0.0%	0.0%	1.5%	3.1%	0.0%	1.5%	1.5%	7.7%	1.5%	4.6%	0.0%	0.0%	1.5%	4.6%	0.0%	18.5%	4.6%	49.2%

Q1 あなたの性別について選択してください。

	n	女性	男性
女性・30代以下	419	100.0%	0.0%
女性・40～50代	214	100.0%	0.0%
女性・60代以上	94	100.0%	0.0%
男性・30代以下	102	0.0%	100.0%
男性・40～50代	136	0.0%	100.0%
男性・60代以上	65	0.0%	100.0%

Q2 あなたの年齢について、該当するもの一つ選択してください。

	n	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
女性・30代以下	419	2.1%	9.1%	28.6%	31.0%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・40～50代	214	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.0%	26.2%	25.7%	19.2%	0.0%	0.0%
女性・60代以上	94	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.6%	57.4%
男性・30代以下	102	0.0%	12.7%	18.6%	30.4%	38.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・40～50代	136	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.9%	19.1%	33.1%	19.9%	0.0%	0.0%
男性・60代以上	65	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	46.2%

Q3 あなたの配偶関係について、該当するもの一つ選択してください。

	n	既婚	未婚	離死別
女性・30代以下	419	70.4%	25.3%	4.3%
女性・40～50代	214	67.3%	13.1%	19.6%
女性・60代以上	94	64.9%	5.3%	29.8%
男性・30代以下	102	39.2%	57.8%	2.9%
男性・40～50代	136	55.1%	32.4%	12.5%
男性・60代以上	65	66.2%	15.4%	18.5%

Q4 子供の有無・人数について、該当するものを選択してください。

	n	子供は いない	1人	2人	3人以上
女性・30代以下	419	43.9%	25.3%	22.7%	8.1%
女性・40～50代	214	30.8%	23.8%	31.3%	14.0%
女性・60代以上	94	14.9%	12.8%	45.7%	26.6%
男性・30代以下	102	65.7%	17.6%	11.8%	4.9%
男性・40～50代	136	47.8%	14.7%	27.9%	9.6%
男性・60代以上	65	26.2%	10.8%	43.1%	20.0%

Q5 あなたの家庭での主たる生計の維持者(世帯で最も生活費を負担している方)として、該当するものを一つ選択してください。

	n	自分(本人)	自分(本人)以外	生活費は折半等
女性・30代以下	419	14.3%	79.0%	6.7%
女性・40～50代	214	25.2%	67.8%	7.0%
女性・60代以上	94	30.9%	62.8%	6.4%
男性・30代以下	102	69.6%	24.5%	5.9%
男性・40～50代	136	80.9%	13.2%	5.9%
男性・60代以上	65	87.7%	6.2%	6.2%

Q6 専修・専門学校を除く最終学歴として、該当するものを一つ選択してください。

	n	中学校	高等学校(介護福祉関係の学科)	高等学校(左記以外)	高専、短大(介護福祉関係の学科)	高専、短大(左記以外)	大学・大学院(介護福祉関係の学科)	大学・大学院(左記以外)
女性・30代以下	419	4.8%	5.7%	32.9%	14.1%	16.9%	9.5%	16.0%
女性・40～50代	214	2.3%	0.5%	37.9%	7.5%	34.6%	6.5%	10.7%
女性・60代以上	94	3.2%	2.1%	45.7%	4.3%	19.1%	4.3%	21.3%
男性・30代以下	102	3.9%	0.0%	32.4%	4.9%	10.8%	13.7%	34.3%
男性・40～50代	136	0.7%	0.7%	30.9%	3.7%	8.1%	13.2%	42.6%
男性・60代以上	65	4.6%	1.5%	26.2%	1.5%	4.6%	9.2%	52.3%

Q7 専修・専門学校への通学経験として、該当するものを全て選択してください。

	n	専修・専門学校に通学していない	介護福祉関係の専修・専門学校に通っている／卒業	介護福祉関係以外の専修・専門学校に通っている／卒業
女性・30代以下	419	63.7%	21.5%	16.0%
女性・40～50代	214	69.6%	13.6%	16.8%
女性・60代以上	94	81.9%	10.6%	7.4%
男性・30代以下	102	64.7%	22.5%	12.7%
男性・40～50代	136	70.6%	17.6%	12.5%
男性・60代以上	65	70.8%	15.4%	13.8%

Q8 現在の、ご自身の就業形態として該当するものを1つ選択してください。

	n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
女性・30代以下	419	24.8%	29.6%	45.6%
女性・40～50代	214	30.4%	28.5%	41.1%
女性・60代以上	94	10.6%	16.0%	73.4%
男性・30代以下	102	78.4%	12.7%	8.8%
男性・40～50代	136	75.7%	13.2%	11.0%
男性・60代以上	65	26.2%	21.5%	52.3%

Q9 現在の、ご自身の1年あたりの個人所得(税込み)として該当するものを1つ選択してください。

	n	103万円未満 (非課税)	130万円未満 (扶養内)	130～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	419	62.3%	11.2%	22.4%	4.1%	0.0%	0.0%
女性・40～50代	214	53.3%	8.4%	32.7%	4.2%	0.9%	0.5%
女性・60代以上	94	52.1%	11.7%	29.8%	5.3%	0.0%	1.1%
男性・30代以下	102	10.8%	3.9%	57.8%	21.6%	2.9%	2.9%
男性・40～50代	136	12.5%	5.9%	38.2%	36.8%	4.4%	2.2%
男性・60代以上	65	15.4%	3.1%	63.1%	16.9%	1.5%	0.0%

Q10 現在の、ご自身の1年あたりの世帯所得(税込み)として該当するものを1つ選択してください。

	n	100万円未満	100～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	419	24.6%	9.1%	11.9%	14.6%	33.9%	2.6%	3.3%
女性・40～50代	214	19.2%	9.8%	10.3%	10.7%	30.8%	11.7%	7.5%
女性・60代以上	94	12.8%	19.1%	12.8%	20.2%	23.4%	5.3%	6.4%
男性・30代以下	102	3.9%	6.9%	13.7%	22.5%	39.2%	8.8%	4.9%
男性・40～50代	136	5.1%	13.2%	10.3%	15.4%	37.5%	12.5%	5.9%
男性・60代以上	65	9.2%	16.9%	26.2%	9.2%	29.2%	4.6%	4.6%

Q11 現在の、ご自身の貯金額として該当するものを1つ選択してください。

	n	貯蓄なし	50万円未満	50～100万円	101～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	419	28.2%	26.3%	12.9%	11.2%	7.4%	4.1%	5.7%	1.0%	3.3%
女性・40～50代	214	27.1%	13.6%	11.7%	9.8%	6.1%	6.5%	12.1%	2.8%	10.3%
女性・60代以上	94	10.6%	7.4%	9.6%	5.3%	7.4%	5.3%	11.7%	9.6%	33.0%
男性・30代以下	102	20.6%	17.6%	12.7%	9.8%	8.8%	5.9%	14.7%	3.9%	5.9%
男性・40～50代	136	21.3%	11.8%	11.0%	7.4%	8.1%	3.7%	9.6%	5.9%	21.3%
男性・60代以上	65	15.4%	10.8%	12.3%	1.5%	12.3%	3.1%	6.2%	3.1%	35.4%

Q12 ご自身の現在の暮らし向きを総合的にみて、どう感じますか。

	n	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
女性・30代以下	419	20.8%	40.3%	34.6%	4.3%	0.0%
女性・40～50代	214	23.8%	32.2%	36.0%	6.5%	1.4%
女性・60代以上	94	5.3%	22.3%	59.6%	11.7%	1.1%
男性・30代以下	102	23.5%	43.1%	27.5%	4.9%	1.0%
男性・40～50代	136	24.3%	43.4%	27.2%	3.7%	1.5%
男性・60代以上	65	21.5%	38.5%	32.3%	6.2%	1.5%

Q13 介護資格を取得した動機・きっかけとして、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	すぐに介護職として働きたかったから	将来の就職・転職で有利になるため	無資格で介護職に従事していたが、さらなる知識・技術を得るため	介護に関する理式・技術を得て、介護職以外の仕事や、自分・家族の老後に活かすため	学校を卒業したら資格がとれたため	家族等の介護のために必要だったため	福祉ボランティア等の地域活動に活かすため	ハローワーク等で紹介されたため	その他
女性・30代以下	316	21.5%	41.8%	9.5%	23.7%	23.7%	4.4%	6.6%	2.2%	7.6%
女性・40～50代	164	14.6%	39.0%	15.2%	32.9%	3.7%	11.0%	5.5%	7.9%	7.3%
女性・60代以上	75	17.3%	20.0%	4.0%	49.3%	0.0%	14.7%	16.0%	13.3%	4.0%
男性・30代以下	68	19.1%	42.6%	19.1%	30.9%	14.7%	10.3%	16.2%	8.8%	7.4%
男性・40～50代	112	15.2%	41.1%	21.4%	24.1%	5.4%	13.4%	10.7%	13.4%	5.4%
男性・60代以上	52	7.7%	19.2%	7.7%	36.5%	1.9%	30.8%	11.5%	25.0%	0.0%

Q14 介護資格を取得した当時の就業意向として、該当するものを1つ選択してください。

	n	介護職に従事するつもりで資格を取得した	介護職に従事するつもりはなかったが資格を取得した	わからない・考えていなかった
女性・30代以下	316	58.5%	35.1%	6.3%
女性・40～50代	164	53.7%	37.8%	8.5%
女性・60代以上	75	48.0%	46.7%	5.3%
男性・30代以下	68	50.0%	38.2%	11.8%
男性・40～50代	112	52.7%	40.2%	7.1%
男性・60代以上	52	40.4%	51.9%	7.7%

Q15 介護職への従事年数として、該当するものを1つ選択してください。

	n	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上
女性・30代以下	287	24.7%	14.3%	17.4%	8.4%	10.5%	10.8%	9.4%	4.5%	0.0%	0.0%
女性・40～50代	136	18.4%	16.9%	11.0%	11.8%	8.1%	9.6%	11.0%	10.3%	2.9%	0.0%
女性・60代以上	63	15.9%	19.0%	12.7%	1.6%	7.9%	11.1%	9.5%	14.3%	3.2%	4.8%
男性・30代以下	85	27.1%	28.2%	11.8%	8.2%	9.4%	7.1%	5.9%	2.4%	0.0%	0.0%
男性・40～50代	92	31.5%	15.2%	10.9%	7.6%	6.5%	8.7%	7.6%	5.4%	5.4%	1.1%
男性・60代以上	36	27.8%	16.7%	13.9%	13.9%	2.8%	0.0%	2.8%	13.9%	0.0%	8.3%

Q16 介護職として、就業経験のあるサービス種別として該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	訪問介護	訪問入浴介護	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	特定施設入居者生活介護	定額返還・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	看護小規模多機能型居宅介護	地域密着型老人福祉施設入居者生活介護	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	その他
女性・30代以下	287	9.4%	4.9%	22.6%	10.1%	5.9%	4.5%	1.0%	0.7%	7.0%	3.5%	9.4%	2.4%	35.5%	1.4%	2.8%	14.3%	7.3%	12.5%
女性・40～50代	136	27.2%	5.9%	25.0%	8.8%	5.1%	5.1%	3.7%	2.2%	8.8%	5.1%	6.8%	0.0%	25.0%	1.5%	2.2%	17.6%	6.6%	5.9%
女性・60代以上	63	50.8%	4.8%	15.9%	7.9%	3.2%	4.8%	3.2%	0.0%	4.8%	3.2%	7.9%	7.9%	4.8%	3.2%	6.3%	6.3%	3.2%	6.3%
男性・30代以下	85	10.6%	5.9%	9.4%	16.5%	7.1%	11.8%	3.5%	3.5%	11.8%	3.5%	7.1%	9.4%	18.8%	3.5%	5.9%	15.3%	3.5%	7.1%
男性・40～50代	92	10.9%	4.3%	21.7%	18.5%	7.6%	6.5%	1.1%	4.3%	12.0%	6.5%	8.7%	4.3%	19.6%	4.3%	7.6%	15.2%	7.6%	10.9%
男性・60代以上	36	11.1%	5.6%	19.4%	16.7%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	22.2%	0.0%	11.1%	2.8%	8.3%	11.1%

Q17 最後に介護職に従事していた時期は、今からどのくらい前ですか。該当するものを1つ選択してください。

	n	3ヶ月未満	3ヶ月以上～6ヶ月未満	6ヶ月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上
女性・30代以下	287	5.2%	8.0%	11.5%	21.6%	19.2%	34.5%
女性・40～50代	136	6.6%	2.2%	5.1%	13.2%	12.5%	60.3%
女性・60代以上	63	6.3%	1.6%	3.2%	11.1%	20.6%	57.1%
男性・30代以下	85	8.2%	10.6%	16.5%	16.5%	22.4%	25.9%
男性・40～50代	92	15.2%	4.3%	7.6%	16.3%	19.6%	37.0%
男性・60代以上	36	2.8%	5.6%	0.0%	19.4%	19.4%	52.8%

Q18 最後に介護職に従事していた時の勤務形態について、該当するものを1つ選択してください。

	n	フルタイムで働いていた	パートタイムで働いていた	その他
女性・30代以下	287	65.9%	32.4%	1.7%
女性・40～50代	136	52.2%	47.1%	0.7%
女性・60代以上	63	27.0%	73.0%	0.0%
男性・30代以下	85	72.9%	24.7%	2.4%
男性・40～50代	92	72.8%	27.2%	0.0%
男性・60代以上	36	44.4%	55.6%	0.0%

Q19 これまで介護職として働いたことのある事業所の数(最後に勤めていた事業所を含む)について、該当するものを1つ選択してください。

	n	1事業所	2～3事業所	4～5事業所	6事業所以上
女性・30代以下	287	57.8%	35.5%	5.9%	0.7%
女性・40～50代	136	59.6%	28.7%	8.1%	3.7%
女性・60代以上	63	65.1%	31.7%	1.6%	1.6%
男性・30代以下	85	56.5%	36.5%	7.1%	0.0%
男性・40～50代	92	58.7%	33.7%	5.4%	2.2%
男性・60代以上	36	72.2%	22.2%	5.6%	0.0%

Q20 介護業界に最初に入られた動機・きっかけについて、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	社会的意義のある仕事だから	やりがいのある仕事だと思ったから	資格や技能を活かせるから	学生の頃の職業体験・インターン	将来性のある業界だから	職場の立地条件	処遇が良かったから	家族・知人・親戚の勧め	ハローワーク・人材センターの勧め	学校の先生の勧め	他に適切な仕事が無かったから	その他	特に理由はない
女性・30代以下	287	11.1%	40.4%	31.0%	8.7%	10.1%	9.4%	5.2%	16.4%	7.0%	4.2%	7.0%	7.3%	4.9%
女性・40～50代	136	17.6%	36.8%	29.4%	4.4%	11.8%	14.7%	8.1%	16.9%	6.6%	2.2%	14.0%	5.1%	8.1%
女性・60代以上	63	12.7%	30.2%	34.9%	1.6%	3.2%	14.3%	11.1%	7.9%	4.8%	1.6%	15.9%	14.3%	9.5%
男性・30代以下	85	23.5%	27.1%	21.2%	7.1%	9.4%	12.9%	7.1%	12.9%	14.1%	4.7%	15.3%	1.2%	7.1%
男性・40～50代	92	25.0%	23.9%	17.4%	3.3%	14.1%	4.3%	6.5%	19.6%	18.5%	1.1%	25.0%	2.2%	10.9%
男性・60代以上	36	30.6%	22.2%	22.2%	2.8%	5.6%	16.7%	0.0%	13.9%	22.2%	5.6%	8.3%	2.8%	8.3%

Q21 介護職をやめた理由について、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	職場の人間関係、雰囲気(セクハラ、パワハラ等を含む)	給与・処遇面	仕事の内容が面白くない等	キャリア形成のイメージがわかなかった	労働時間が長い	勤務シフトがあわなかった	夜勤への対応	家族の転動等に伴う引っ越し	結婚・出産等のライフイベント	子育て	家族の介護・看護	身体的に介護職を継続することが難しくなった	精神的に介護職を継続することが難しくなった	介護職以外にやりたい仕事が見つかった	その他
女性・30代以下	287	17.8%	19.2%	9.8%	3.5%	8.4%	7.3%	10.1%	6.6%	41.8%	12.9%	1.4%	14.3%	19.5%	10.8%	4.9%
女性・40～50代	136	16.2%	16.9%	8.8%	1.5%	5.9%	8.8%	6.6%	7.4%	15.4%	9.6%	8.8%	30.1%	27.9%	12.5%	12.5%
女性・60代以上	63	12.7%	17.5%	6.3%	6.3%	3.2%	6.3%	3.2%	3.2%	1.6%	0.0%	19.0%	27.0%	7.9%	3.2%	31.7%
男性・30代以下	85	20.0%	43.5%	20.0%	14.1%	14.1%	5.9%	15.3%	7.1%	0.0%	0.0%	4.7%	17.6%	21.2%	21.2%	7.1%
男性・40～50代	92	33.7%	39.1%	18.5%	13.0%	8.7%	8.7%	12.0%	4.3%	3.3%	1.1%	5.4%	7.6%	26.1%	19.6%	10.9%
男性・60代以上	36	11.1%	19.4%	11.1%	2.8%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	36.1%	11.1%	16.7%	19.4%

Q22 介護職に従事しなかった理由として、該当するものを全て選択してください。(いくつでも)

	n	仕事の内容が体力的に大変そうだと感じたため	仕事の内容が精神的に大変そうだと感じたため	職員間の人間関係が難しそうだと感じたため	利用者やその家族とのコミュニケーションに自信がなかったため	給与や条件等が悪いため	労働時間・休日等の労働条件が希望に合わないため(夜勤や不規則業務があるなど)	研修や職員教育が不十分でスキルアップが望めないと考えたため	家族等の介護・看護で就業が難しい状況のため	他の職業にやりがいや魅力を感じたため	その他
女性・30代以下	132	35.6%	31.1%	15.2%	12.1%	31.8%	25.0%	0.0%	1.5%	37.1%	12.9%
女性・40～50代	78	39.7%	37.2%	17.9%	16.7%	24.4%	29.5%	5.1%	7.7%	15.4%	10.3%
女性・60代以上	31	41.9%	29.0%	0.0%	6.5%	6.5%	16.1%	6.5%	6.5%	19.4%	19.4%
男性・30代以下	17	41.2%	35.3%	5.9%	23.5%	52.9%	35.3%	5.9%	11.8%	35.3%	5.9%
男性・40～50代	44	6.8%	15.9%	13.6%	6.8%	38.6%	20.5%	11.4%	2.3%	29.5%	15.9%
男性・60代以上	29	41.4%	34.5%	13.8%	24.1%	31.0%	24.1%	3.4%	10.3%	17.2%	10.3%

Q23 今後の介護職への就業意向として、該当するものを1つ選択してください。

	n	すぐにでも介護職として働きたい	いつか介護職として働きたい	介護職として働きたくない
女性・30代以下	419	4.5%	45.6%	49.9%
女性・40～50代	214	4.7%	35.0%	60.3%
女性・60代以上	94	2.1%	12.8%	85.1%
男性・30代以下	102	6.9%	48.0%	45.1%
男性・40～50代	136	7.4%	40.4%	52.2%
男性・60代以上	65	1.5%	27.7%	70.8%

Q24 今後、介護職への就業をする場合に、就業を希望するサービス種別として該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	訪問介護	訪問入浴介護	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	看護小規模多機能型居宅介護	地域密着型老人福祉施設入居者生活介護	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	その他	決めていない・考えていない
女性・30代以下	210	17.1%	7.6%	40.5%	27.1%	11.9%	6.2%	1.4%	0.5%	17.1%	7.6%	10.5%	6.2%	24.3%	1.4%	5.2%	17.1%	7.6%	2.4%	13.3%
女性・40～50代	85	25.9%	5.9%	35.3%	23.5%	8.2%	5.9%	0.0%	3.5%	10.6%	4.7%	8.2%	4.7%	8.2%	2.4%	3.5%	8.2%	2.4%	1.2%	23.5%
女性・60代以上	14	28.6%	7.1%	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	28.6%
男性・30代以下	56	28.6%	12.5%	25.0%	44.6%	7.1%	8.9%	3.6%	8.9%	12.5%	8.9%	7.1%	8.9%	16.1%	3.6%	5.4%	8.9%	1.8%	0.0%	8.9%
男性・40～50代	65	27.7%	7.7%	35.4%	20.0%	18.5%	7.7%	4.6%	6.2%	16.9%	9.2%	9.2%	6.2%	18.5%	3.1%	12.3%	7.7%	7.7%	1.5%	15.4%
男性・60代以上	19	21.1%	10.5%	42.1%	21.1%	5.3%	10.5%	5.3%	5.3%	15.8%	5.3%	5.3%	15.8%	10.5%	5.3%	15.8%	5.3%	10.5%	5.3%	31.6%

Q26 今後、介護職への就業をする場合に、就業を希望する法人の種類(事業形態)として該当するものをすべて選択してください。

	n	社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)	社会福祉協議会	(公益・一般)社団・財団法人	営利法人(株式会社・有限会社等)	特定非営利活動法人(NPO法人)	医療法人	協同組合	地方自治体	その他	決めていない・考えていない
女性・30代以下	210	34.8%	14.8%	8.1%	8.6%	9.0%	24.8%	3.3%	8.6%	0.0%	48.1%
女性・40～50代	85	20.0%	15.3%	11.8%	11.8%	11.8%	17.6%	4.7%	14.1%	0.0%	54.1%
女性・60代以上	14	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	7.1%	21.4%	7.1%	21.4%	0.0%	35.7%
男性・30代以下	56	37.5%	26.8%	19.6%	21.4%	16.1%	28.6%	8.9%	30.4%	0.0%	8.9%
男性・40～50代	65	40.0%	18.5%	21.5%	29.2%	7.7%	24.6%	7.7%	23.1%	0.0%	16.9%
男性・60代以上	19	21.1%	21.1%	26.3%	21.1%	21.1%	26.3%	0.0%	26.3%	0.0%	36.8%

Q27 今後、介護職への就業する場合に、就業を希望する法人の規模として該当するものを1つ選択してください。

	n	業界トップ・大手法人	中堅・中小法人	規模にこだわりはない	決めていない・考えていない
女性・30代以下	210	6.7%	8.1%	51.9%	33.3%
女性・40～50代	85	2.4%	9.4%	50.6%	37.6%
女性・60代以上	14	0.0%	14.3%	64.3%	21.4%
男性・30代以下	56	16.1%	21.4%	50.0%	12.5%
男性・40～50代	65	10.8%	16.9%	49.2%	23.1%
男性・60代以上	19	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%

Q28 介護職への就職活動の実施状況に関して、該当するものを1つ選択してください。

	n	現在、就職活動を行っている	まだ就職活動を行っていない
女性・30代以下	210	10.0%	90.0%
女性・40～50代	85	15.3%	84.7%
女性・60代以上	14	21.4%	78.6%
男性・30代以下	56	46.4%	53.6%
男性・40～50代	65	24.6%	75.4%
男性・60代以上	19	10.5%	89.5%

Q29 介護職に関する求人情報を入手している方法について、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞や雑誌等の求人広告・チラシ	求人情報誌	電車やバスの車内広告	法人・事業所のHP	転職フェア、自治体等が主催する合同説明会	ボランティアや職場体験・実習	インターネットでの検索	人材紹介会社の紹介	学校の紹介・推薦	家族・友人・知人の紹介	その他	まだ情報収集していない
女性・30代以下	210	37.6%	11.9%	16.7%	32.9%	1.9%	7.1%	6.7%	5.2%	41.9%	7.1%	1.9%	17.1%	0.5%	21.9%
女性・40～50代	85	38.8%	11.8%	24.7%	22.4%	0.0%	9.4%	4.7%	2.4%	35.3%	11.8%	3.5%	15.3%	1.2%	30.6%
女性・60代以上	14	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	28.6%
男性・30代以下	56	42.9%	23.2%	21.4%	35.7%	7.1%	8.9%	17.9%	7.1%	39.3%	17.9%	8.9%	16.1%	0.0%	10.7%
男性・40～50代	65	56.9%	27.7%	20.0%	30.8%	1.5%	13.8%	15.4%	0.0%	47.7%	18.5%	6.2%	18.5%	0.0%	10.8%
男性・60代以上	19	26.3%	10.5%	21.1%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%	31.6%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	31.6%

Q31 今後、介護関連のボランティア(安否確認、交流活動など)への参加意向として該当するものを1つ選択してください。

	n	すぐにも参加したい	いつか参加したい	参加したくない
女性・30代以下	419	5.0%	53.9%	41.1%
女性・40～50代	214	3.7%	53.7%	42.5%
女性・60代以上	94	7.4%	51.1%	41.5%
男性・30代以下	102	17.6%	47.1%	35.3%
男性・40～50代	136	6.6%	49.3%	44.1%
男性・60代以上	65	9.2%	46.2%	44.6%

Q32 家族などの身近の人への介護経験についてご回答ください。

	n	現在、家族などの身近の人の介護を行っている	現在は家族などの身近の人の介護を行っていないが、過去に行っていたことがある	家族などの身近の人への介護を行ったことはない
女性・30代以下	419	6.9%	22.9%	70.2%
女性・40～50代	214	12.6%	28.0%	59.3%
女性・60代以上	94	10.6%	55.3%	34.0%
男性・30代以下	102	15.7%	31.4%	52.9%
男性・40～50代	136	8.1%	30.1%	61.8%
男性・60代以上	65	13.8%	41.5%	44.6%

Q33 家族介護実施の負担感【あなたが介護をしている人の行動に対し、困ってしまうことがある】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	6.9%	44.8%	17.2%	20.7%	10.3%
女性・40～50代	27	3.7%	51.9%	14.8%	22.2%	7.4%
女性・60代以上	10	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	30.0%
男性・30代以下	16	25.0%	31.3%	18.8%	18.8%	6.3%
男性・40～50代	11	0.0%	45.5%	18.2%	18.2%	18.2%
男性・60代以上	9	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【あなたが介護をしている人のそばにいと腹が立つ】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	44.8%	27.6%	20.7%	3.4%	3.4%
女性・40～50代	27	29.6%	33.3%	29.6%	3.7%	3.7%
女性・60代以上	10	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%
男性・30代以下	16	25.0%	50.0%	18.8%	0.0%	6.3%
男性・40～50代	11	45.5%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%
男性・60代以上	9	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【介護があるので家族や友人と付き合いづらくなっている】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	48.3%	20.7%	17.2%	3.4%	10.3%
女性・40～50代	27	33.3%	44.4%	14.8%	3.7%	3.7%
女性・60代以上	10	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	30.0%
男性・30代以下	16	31.3%	43.8%	12.5%	6.3%	6.3%
男性・40～50代	11	18.2%	45.5%	27.3%	9.1%	0.0%
男性・60代以上	9	55.6%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【あなたが介護をしている人のそばにいと、気が休まらない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	51.7%	10.3%	13.8%	17.2%	6.9%
女性・40～50代	27	22.2%	33.3%	29.6%	7.4%	7.4%
女性・60代以上	10	20.0%	20.0%	10.0%	30.0%	20.0%
男性・30代以下	16	31.3%	43.8%	12.5%	0.0%	12.5%
男性・40～50代	11	18.2%	9.1%	36.4%	18.2%	18.2%
男性・60代以上	9	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思う】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	72.4%	10.3%	6.9%	3.4%	6.9%
女性・40～50代	27	29.6%	29.6%	18.5%	14.8%	7.4%
女性・60代以上	10	40.0%	10.0%	10.0%	10.0%	30.0%
男性・30代以下	16	25.0%	25.0%	31.3%	12.5%	6.3%
男性・40～50代	11	9.1%	18.2%	36.4%	27.3%	9.1%
男性・60代以上	9	55.6%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【友だちを自宅に呼びたくてもよべない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	55.2%	20.7%	6.9%	6.9%	10.3%
女性・40～50代	27	59.3%	18.5%	11.1%	11.1%	0.0%
女性・60代以上	10	50.0%	10.0%	20.0%	0.0%	20.0%
男性・30代以下	16	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%
男性・40～50代	11	45.5%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%
男性・60代以上	9	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【介護を誰かに任せてしまいたい】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	37.9%	37.9%	10.3%	3.4%	10.3%
女性・40～50代	27	18.5%	40.7%	7.4%	22.2%	11.1%
女性・60代以上	10	30.0%	0.0%	30.0%	20.0%	20.0%
男性・30代以下	16	18.8%	50.0%	12.5%	12.5%	6.3%
男性・40～50代	11	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%
男性・60代以上	9	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%

Q33 家族介護実施の負担感【あなたが介護をしている人に対して、どうしてよいかわからない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	29	44.8%	27.6%	17.2%	6.9%	3.4%
女性・40～50代	27	48.1%	25.9%	18.5%	7.4%	0.0%
女性・60代以上	10	60.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%
男性・30代以下	16	12.5%	56.3%	12.5%	6.3%	12.5%
男性・40～50代	11	27.3%	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%
男性・60代以上	9	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%

Q34 潜在人材の入職促進施策【インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入する】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.0%	55.4%	22.7%	6.9%
女性・40～50代	214	15.4%	52.3%	24.8%	7.5%
女性・60代以上	94	7.4%	72.3%	11.7%	8.5%
男性・30代以下	102	15.7%	49.0%	23.5%	11.8%
男性・40～50代	136	12.5%	51.5%	27.2%	8.8%
男性・60代以上	65	6.2%	73.8%	18.5%	1.5%

Q34 潜在人材の入職促進施策【時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	43.2%	45.1%	8.8%	2.9%
女性・40～50代	214	29.0%	55.6%	12.1%	3.3%
女性・60代以上	94	27.7%	60.6%	7.4%	4.3%
男性・30代以下	102	24.5%	55.9%	12.7%	6.9%
男性・40～50代	136	19.1%	53.7%	19.1%	8.1%
男性・60代以上	65	13.8%	78.5%	6.2%	1.5%

Q34 潜在人材の入職促進施策【賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	48.7%	37.7%	9.8%	3.8%
女性・40～50代	214	47.2%	40.2%	8.9%	3.7%
女性・60代以上	94	47.9%	41.5%	6.4%	4.3%
男性・30代以下	102	36.3%	42.2%	13.7%	7.8%
男性・40～50代	136	36.8%	46.3%	9.6%	7.4%
男性・60代以上	65	41.5%	53.8%	4.6%	0.0%

Q34 潜在人材の入職促進施策【夜勤専従職員を採用する】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	22.0%	48.7%	25.1%	4.3%
女性・40～50代	214	17.8%	52.8%	25.2%	4.2%
女性・60代以上	94	14.9%	56.4%	22.3%	6.4%
男性・30代以下	102	22.5%	46.1%	24.5%	6.9%
男性・40～50代	136	15.4%	47.8%	28.7%	8.1%
男性・60代以上	65	12.3%	53.8%	30.8%	3.1%

Q34 潜在人材の入職促進施策【モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	9.3%	34.4%	48.2%	8.1%
女性・40～50代	214	7.5%	44.4%	43.9%	4.2%
女性・60代以上	94	6.4%	44.7%	39.4%	9.6%
男性・30代以下	102	18.6%	37.3%	33.3%	10.8%
男性・40～50代	136	13.2%	36.8%	36.8%	13.2%
男性・60代以上	65	6.2%	53.8%	32.3%	7.7%

Q34 潜在人材の入職促進施策【経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.0%	52.0%	28.2%	4.8%
女性・40～50代	214	16.8%	59.3%	18.7%	5.1%
女性・60代以上	94	14.9%	63.8%	13.8%	7.4%
男性・30代以下	102	20.6%	47.1%	21.6%	10.8%
男性・40～50代	136	18.4%	46.3%	25.0%	10.3%
男性・60代以上	65	12.3%	70.8%	13.8%	3.1%

Q34 潜在人材の入職促進施策【子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備している】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	52.5%	39.4%	5.7%	2.4%
女性・40～50代	214	36.4%	51.9%	8.9%	2.8%
女性・60代以上	94	39.4%	46.8%	8.5%	5.3%
男性・30代以下	102	31.4%	40.2%	17.6%	10.8%
男性・40～50代	136	25.0%	52.9%	14.0%	8.1%
男性・60代以上	65	21.5%	69.2%	6.2%	3.1%

Q34 潜在人材の入職促進施策【潜在介護人材を対象に就職情報の提供を行う】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	15.3%	51.1%	27.7%	6.0%
女性・40～50代	214	17.3%	54.2%	26.2%	2.3%
女性・60代以上	94	16.0%	61.7%	14.9%	7.4%
男性・30代以下	102	17.6%	45.1%	25.5%	11.8%
男性・40～50代	136	16.2%	43.4%	29.4%	11.0%
男性・60代以上	65	10.8%	70.8%	13.8%	4.6%

Q34 潜在人材の入職促進施策【無利子の就職準備金貸付制度を導入する】

	n	非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	13.6%	43.0%	33.7%	9.8%
女性・40～50代	214	15.0%	36.4%	43.5%	5.1%
女性・60代以上	94	8.5%	35.1%	45.7%	10.6%
男性・30代以下	102	23.5%	38.2%	25.5%	12.7%
男性・40～50代	136	19.1%	38.2%	29.4%	13.2%
男性・60代以上	65	10.8%	55.4%	26.2%	7.7%

Q34 潜在人材の入職促進施策【就職促進給付等、入職者を対象とした金銭の給付を行う】

	n	非常に効果があると思う	効果が あると思う	あまり効果が ないと思う	効果が ないと思う
女性・30代以下	419	24.8%	49.9%	19.3%	6.0%
女性・40～50代	214	20.1%	51.4%	24.3%	4.2%
女性・60代以上	94	13.8%	55.3%	25.5%	5.3%
男性・30代以下	102	31.4%	42.2%	18.6%	7.8%
男性・40～50代	136	22.8%	53.7%	14.7%	8.8%
男性・60代以上	65	20.0%	61.5%	13.8%	4.6%

(4) 介護福祉士養成施設の学生向け調査

養成課程別集計

Q1 あなたの性別について選択してください。（単一選択）

	n	男性	女性
4年制養成施設	159	27.0%	73.0%
3年制養成施設	76	39.5%	60.5%
2年制養成施設	1,232	38.1%	61.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	22.6%	77.4%

Q2 あなたの年齢について、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
4年制養成施設	159	19.5%	79.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
3年制養成施設	76	18.4%	72.4%	1.3%	1.3%	3.9%	2.6%
2年制養成施設	1,232	35.4%	44.2%	7.1%	7.6%	5.0%	0.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q3 あなたの在留資格の保有状況について、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	留学生 ではない	在留資格 「留学」に基づく 留学生である	わからない
4年制養成施設	159	93.7%	1.3%	5.0%
3年制養成施設	76	89.5%	1.3%	9.2%
2年制養成施設	1,232	86.1%	4.1%	9.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	94.3%	1.9%	3.8%

Q4 婚姻・配偶関係について該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	未婚	既婚	離死別
4年制養成施設	159	99.4%	0.6%	0.0%
3年制養成施設	76	92.1%	6.6%	1.3%
2年制養成施設	1,232	87.3%	9.4%	3.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	100.0%	0.0%	0.0%

Q5 現在、同居されている方はいらっしゃいますか。世帯状況について該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	一人暮らしである	家族と同居している	家族以外と同居している
4年制養成施設	159	21.4%	75.5%	3.1%
3年制養成施設	76	27.6%	71.1%	1.3%
2年制養成施設	1,232	20.4%	76.8%	2.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	10.4%	86.8%	2.8%

Q9 現在の学年について選択してください。（単一選択）

	n	1年生	2年生	3年生	4年生
4年制養成施設	159	18.9%	22.0%	37.7%	21.4%
3年制養成施設	76	22.4%	26.3%	51.3%	0.0%
2年制養成施設	1,232	48.1%	51.9%	0.0%	0.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q10 現在在籍している学校とご出身の地域の立地関係についてお伺いします。（単一選択）

	n	学校と出身地は同じ市区町村である	学校と出身地は異なる市区町村であるが、同一都道府県内である	学校と出身地は別の都道府県である
4年制養成施設	159	22.0%	45.9%	32.1%
3年制養成施設	76	34.2%	38.2%	27.6%
2年制養成施設	1,232	29.3%	50.9%	19.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	27.4%	64.2%	8.5%

Q11 現在在席している学校の修学資金（学校の学費など）の負担状況について、該当するもの一つ選択してください。（単一選択）

	n	主に自分（本人）がアルバイト等の仕事をしながら支払っている	主に自分（本人）が過去の貯蓄等を使って支払っている	主に自分（本人）が奨学金（介護福祉士修学資金貸与制度）を受けて支払っている	主に自分（本人）が奨学金（日本学生支援機構 給付、貸与）を受けて支払っている	主に自分（本人）が奨学金（上記以外）を受けて支払っている	主に親等の家族が支払っている	あてはまるものはない
4年制養成施設	159	1.9%	1.3%	13.2%	20.1%	1.9%	59.7%	1.9%
3年制養成施設	76	2.6%	1.3%	23.7%	34.2%	1.3%	34.2%	2.6%
2年制養成施設	1,232	2.4%	2.8%	18.4%	16.6%	5.2%	36.0%	18.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	1.9%	1.9%	24.5%	24.5%	3.8%	43.4%	0.0%

Q12 現在在籍中の学校を除く最終学歴として、該当するもの一つ選択してください。（単一選択）

	n	中学校卒業	高等学校卒業	高専、短大卒業	専門学校卒業
4年制養成施設	159	0.6%	95.6%	0.6%	1.3%
3年制養成施設	76	0.0%	88.2%	6.6%	1.3%
2年制養成施設	1,232	0.2%	83.9%	3.5%	5.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	0.0%	23.6%	61.3%	13.2%

Q13 最終学歴で選択された学校における所属学科・専門領域は介護福祉関係でしたか。（単一選択）

	n	介護福祉関係の学科・専門であった	介護福祉関係の学科・専門ではなかった
4年制養成施設	156	13.5%	86.5%
3年制養成施設	76	15.8%	84.2%
2年制養成施設	1,224	19.6%	80.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	30.2%	69.8%

Q14 あなたは離職者訓練委託生ですか。該当するもの一つ選択してください。（単一選択）

	n	離職者訓練委託生である	離職者訓練委託生ではない	わからない
4年制養成施設	159	0.6%	79.2%	20.1%
3年制養成施設	76	2.6%	75.0%	22.4%
2年制養成施設	1,232	21.4%	59.9%	18.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	0.9%	87.7%	11.3%

Q15 現在の学校に入学する直前の経歴として、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	学生・生徒であった	正社員として働いていた	パート・アルバイトとして働いていた	派遣社員として働いていた
4年制養成施設	159	94.3%	1.9%	0.6%	0.0%
3年制養成施設	76	84.2%	3.9%	3.9%	1.3%
2年制養成施設	1,232	71.3%	13.2%	8.9%	2.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	97.2%	0.9%	0.9%	0.0%

Q16 学校に入学する以前に社会人として働いていた業界は高齢者介護関連でしたか。（単一選択）

	n	高齢者介護関係であった	高齢者介護関係以外であった
4年制養成施設	4	25.0%	75.0%
3年制養成施設	7	14.3%	85.7%
2年制養成施設	298	18.1%	81.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	2	0.0%	100.0%

Q17 現在の学校に入学する以前に働いていた業界・産業について、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	農業・林業・漁業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業・小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス	宿泊業、飲食業	生活関連サービス業、娯楽業	教育学習支援業	医療、福祉	複合サービス業	サービス業（他に分類されないもの）	あてはまるものはない
4年制養成施設	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
3年制養成施設	6	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	
2年制養成施設	244	0.8%	6.1%	15.6%	0.8%	2.5%	0.8%	8.6%	6.6%	1.6%	3.7%	3.7%	5.7%	2.9%	11.5%	1.2%	20.1%	7.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

Q18 現在の学校に入学する以前に働いていた際の職種として、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	サービス職	事務職	販売職	専門的・技術的職	生産工程職	保安職	建設・採掘職	輸送・機械運転職	運搬・清掃・包装	農林漁業職	管理職	あてはまるものはない
4年制養成施設	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
3年制養成施設	6	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
2年制養成施設	244	20.9%	27.0%	11.5%	12.7%	6.6%	0.8%	1.2%	0.4%	0.8%	0.0%	3.7%	14.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q19 学校入学以前の社会人経験年数について、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	社会人経験 はない	～6ヵ月 未満	6ヵ月以上 1年未満	1年以上 2年未満
4年制養成施設	159	96.2%	0.6%	0.0%	0.0%
3年制養成施設	76	81.6%	2.6%	2.6%	1.3%
2年制養成施設	1,232	70.6%	0.9%	1.5%	2.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	97.2%	0.0%	0.9%	0.9%

Q20 現在の学校に入学される前のご自身の介護経験や介護への関わりについて伺います。該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

	n	同居の家族などの 身近な人の介護をした ことがある	同居の家族などの 身近な人に介護が必要 な方がいたが介護をし たことはない	ボランティアとして 介護に関わったこと がある	学校の実習・インター ンシップとして介護に 関わったことがある	アルバイト・パート として介護に関わった ことがある	介護職（アルバイト・ パートは除く）として働 いていた経験がある	上記以外の介護 経験がある	上記の介護に関 する経験はな かった
4年制養成施設	159	15.1%	22.6%	37.1%	29.6%	1.9%	1.3%	1.9%	29.6%
3年制養成施設	76	23.7%	22.4%	28.9%	30.3%	10.5%	3.9%	1.3%	28.9%
2年制養成施設	1,232	20.9%	19.4%	34.2%	28.3%	6.3%	3.9%	3.2%	27.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	17.0%	17.9%	43.4%	41.5%	3.8%	0.9%	0.9%	30.2%

Q21 ご家族等の介護に関わった経験をお持ちの方にお伺いします。現在も介護に関わっていますか。該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	現在も家族等への介護 に関わっている	現在は家族等への介護 に関わっていない
4年制養成施設	24	25.0%	75.0%
3年制養成施設	18	38.9%	61.1%
2年制養成施設	258	38.8%	61.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	18	16.7%	83.3%

Q22 現在の学校への入学を決めた理由について伺います。該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

	n	就職しやすそう だったから（就職 実績が良かったから）	親に薦められた から	学校の先生に薦 められたから	友達に薦められ たから	自宅から通学で きるから	他に進路が なかったから	経済的な負担が 比較的少なかった から	自分の学力に 合っているから	施設やキャンパ スの雰囲気が良い から	あてはまる ものはない
4年制養成施設	159	27.7%	15.1%	18.2%	1.9%	31.4%	7.5%	11.9%	29.6%	30.8%	17.0%
3年制養成施設	76	11.8%	23.7%	23.7%	9.2%	26.3%	10.5%	3.9%	10.5%	21.1%	19.7%
2年制養成施設	1,232	23.9%	12.7%	14.4%	5.1%	28.2%	8.8%	15.4%	11.0%	36.1%	16.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	12.3%	17.9%	29.2%	1.9%	24.5%	0.9%	10.4%	16.0%	15.1%	23.6%

Q23 現時点で介護や医療に関連する資格等をお持ちの場合、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

	n	介護職員実務者研修修了者（訪問介護員養成研修1級・基礎研修修了者を含む）	介護職員初任者研修修了者（訪問介護員養成研修2級修了者を含む）	看護師・准看護師	保健師	医療的ケア（喀痰吸引等）研修修了者	介護支援専門員（ケアマネジャー）	管理栄養士・栄養士	精神保健福祉士	機能訓練指導員（PT・OT・ST）	認知症介護実践研修修了者	社会福祉士	臨床心理士	あてはまるものはない
4年制養成施設	159	1.3%	4.4%	0.6%	0.6%	3.8%	1.3%	0.0%	0.6%	0.6%	0.6%	1.9%	0.0%	88.7%
3年制養成施設	76	2.6%	17.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	78.9%
2年制養成施設	1,232	3.2%	15.7%	0.6%	0.2%	5.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%	0.1%	76.4%
1年制養成施設 （保育士養成施設等卒業生対象）	106	1.9%	9.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.8%

Q24 現在、卒業後の就職に向けた活動（情報収集等含む）を実施されていますか。（単一選択）

	n	就職先が決まったので活動は終了した	現在、就職に向けて具体的な応募活動をしている	現在、就職に向けて情報収集は実施している	まだ就職に向けた活動はしていない	進学等、別の学校に行くことを予定しているため就職活動はしていない	その他
4年制養成施設	159	20.8%	0.6%	23.3%	54.1%	0.6%	0.6%
3年制養成施設	76	43.4%	3.9%	11.8%	36.8%	0.0%	3.9%
2年制養成施設	1,232	43.0%	4.8%	15.7%	33.1%	2.4%	0.9%
1年制養成施設 （保育士養成施設等卒業生対象）	106	89.6%	1.9%	7.5%	0.9%	0.0%	0.0%

Q25 あなたが卒業後に就職を希望する分野について、該当するものをすべて選択してください。（複数選択）

	n	高齢者介護の分野	障がい者介護の分野	保育の分野	医療関係の分野	上記以外の介護・福祉分野	介護・福祉以外の分野	未定・考えていない
4年制養成施設	124	71.8%	27.4%	6.5%	19.4%	20.2%	16.1%	11.3%
3年制養成施設	40	67.5%	40.0%	20.0%	12.5%	10.0%	10.0%	12.5%
2年制養成施設	661	77.0%	34.0%	5.0%	13.5%	8.6%	7.1%	10.3%
1年制養成施設 （保育士養成施設等卒業生対象）	11	81.8%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%

Q26 すでに就職先が決まっている場合にお伺いします。あなたの就職予定先について該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	高齢者介護の分野	障がい者介護の分野	保育の分野	医療関係の分野	上記以外の介護・福祉分野	介護・福祉以外の分野
4年制養成施設	33	60.6%	12.1%	0.0%	9.1%	6.1%	12.1%
3年制養成施設	33	72.7%	21.2%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%
2年制養成施設	530	86.6%	9.1%	0.0%	2.5%	1.1%	0.8%
1年制養成施設 （保育士養成施設等卒業生対象）	95	44.2%	14.7%	36.8%	4.2%	0.0%	0.0%

Q27 進学等、他の学校へ進む予定の方にお伺いします。予定している学校について該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	高齢者介護関連の学校を予定	高齢者介護以外の福祉関連（障がい・保育・医療関係等）の学校を予定	介護・福祉とは関係ない学校を予定
4年制養成施設	1	100.0%	0.0%	0.0%
3年制養成施設	0	0.0%	0.0%	0.0%
2年制養成施設	30	36.7%	50.0%	13.3%
1年制養成施設 （保育士養成施設等卒業生対象）	0	0.0%	0.0%	0.0%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【社会的意義のある仕事だと思うから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	2.8%	3.7%	12.8%	40.4%	40.4%
3年制養成施設	51	7.8%	7.8%	15.7%	45.1%	23.5%
2年制養成施設	968	3.9%	4.6%	19.1%	38.9%	33.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	2.0%	2.0%	23.5%	47.1%	25.5%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【やりがいのある仕事だと思うから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	2.8%	1.8%	4.6%	35.8%	55.0%
3年制養成施設	51	5.9%	5.9%	5.9%	45.1%	37.3%
2年制養成施設	968	2.4%	3.3%	12.5%	35.4%	46.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	2.0%	0.0%	11.8%	29.4%	56.9%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【資格や技能を活かせるから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	5.5%	3.7%	13.8%	42.2%	34.9%
3年制養成施設	51	7.8%	7.8%	11.8%	47.1%	25.5%
2年制養成施設	968	6.7%	4.1%	20.1%	36.1%	33.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	2.0%	0.0%	17.6%	39.2%	41.2%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【学生の頃の職業体験・インターン】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	21.1%	13.8%	16.5%	27.5%	21.1%
3年制養成施設	51	35.3%	13.7%	25.5%	19.6%	5.9%
2年制養成施設	968	26.0%	8.8%	20.9%	25.0%	19.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	17.6%	3.9%	17.6%	33.3%	27.5%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【処遇が良いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	23.9%	25.7%	33.9%	13.8%	2.8%
3年制養成施設	51	21.6%	19.6%	43.1%	11.8%	3.9%
2年制養成施設	968	17.8%	18.2%	42.5%	16.6%	5.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	19.6%	17.6%	37.3%	21.6%	3.9%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【家族・知人・親戚の勧め】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	41.3%	15.6%	18.3%	18.3%	6.4%
3年制養成施設	51	23.5%	21.6%	21.6%	23.5%	9.8%
2年制養成施設	968	28.0%	15.6%	27.3%	20.9%	8.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	31.4%	13.7%	19.6%	25.5%	9.8%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【ハローワーク・人材センターの勧め】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	69.7%	8.3%	14.7%	6.4%	0.9%
3年制養成施設	51	62.7%	13.7%	17.6%	5.9%	0.0%
2年制養成施設	968	60.1%	8.8%	19.1%	7.5%	4.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	72.5%	9.8%	15.7%	0.0%	2.0%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【学校の先生の勧め】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	35.8%	14.7%	19.3%	24.8%	5.5%
3年制養成施設	51	31.4%	13.7%	23.5%	21.6%	9.8%
2年制養成施設	968	29.1%	14.3%	29.4%	19.7%	7.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	25.5%	9.8%	23.5%	29.4%	11.8%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【他に適切な仕事がないから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	32.1%	19.3%	29.4%	15.6%	3.7%
3年制養成施設	51	43.1%	15.7%	17.6%	19.6%	3.9%
2年制養成施設	968	28.6%	19.1%	35.1%	12.6%	4.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	47.1%	23.5%	21.6%	7.8%	0.0%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【正規雇用の仕事に就けるから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	13.8%	11.0%	33.0%	29.4%	12.8%
3年制養成施設	51	17.6%	7.8%	27.5%	27.5%	19.6%
2年制養成施設	968	10.0%	8.2%	28.9%	29.0%	23.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	9.8%	2.0%	33.3%	29.4%	25.5%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【家族への介護経験】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	46.8%	11.0%	12.8%	19.3%	10.1%
3年制養成施設	51	52.9%	5.9%	19.6%	13.7%	7.8%
2年制養成施設	968	39.8%	11.6%	20.4%	18.9%	9.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	41.2%	7.8%	17.6%	19.6%	13.7%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【ボランティアとしての介護経験】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	21.1%	6.4%	19.3%	35.8%	17.4%
3年制養成施設	51	31.4%	13.7%	17.6%	35.3%	2.0%
2年制養成施設	968	20.9%	10.3%	21.3%	31.8%	15.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	19.6%	7.8%	23.5%	29.4%	19.6%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【対人・サービス業につきたかったから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	14.7%	12.8%	20.2%	38.5%	13.8%
3年制養成施設	51	21.6%	19.6%	27.5%	27.5%	3.9%
2年制養成施設	968	16.8%	11.6%	35.3%	22.0%	14.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	19.6%	9.8%	17.6%	39.2%	13.7%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【安定して継続的に働けそうだから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	11.0%	15.6%	33.9%	31.2%	8.3%
3年制養成施設	51	19.6%	13.7%	29.4%	21.6%	15.7%
2年制養成施設	968	7.5%	8.8%	32.0%	32.7%	18.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	9.8%	7.8%	39.2%	29.4%	13.7%

Q28 高齢者介護の分野を希望する動機・きっかけ【お年寄りが好きだから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	109	1.8%	6.4%	6.4%	43.1%	42.2%
3年制養成施設	51	9.8%	5.9%	11.8%	35.3%	37.3%
2年制養成施設	968	3.8%	4.2%	21.4%	33.9%	36.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	2.0%	0.0%	9.8%	41.2%	47.1%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【給与・処遇が希望と合わない】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	12.5%	6.3%	16.7%	35.4%	29.2%
3年制養成施設	22	18.2%	13.6%	22.7%	22.7%	22.7%
2年制養成施設	223	17.5%	9.9%	40.4%	15.7%	16.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	29.1%	12.7%	23.6%	21.8%	12.7%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【自身の健康・体力への不安】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	20.8%	8.3%	16.7%	29.2%	25.0%
3年制養成施設	22	9.1%	4.5%	31.8%	36.4%	18.2%
2年制養成施設	223	18.8%	11.7%	31.8%	21.5%	16.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	30.9%	21.8%	16.4%	18.2%	12.7%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【休暇が少ない・休暇がとりにくい】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	12.5%	8.3%	18.8%	37.5%	22.9%
3年制養成施設	22	18.2%	18.2%	31.8%	22.7%	9.1%
2年制養成施設	223	16.1%	9.4%	37.2%	21.5%	15.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	30.9%	18.2%	16.4%	18.2%	16.4%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【子育て・家事との両立が難しい】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	16.7%	8.3%	37.5%	22.9%	14.6%
3年制養成施設	22	31.8%	22.7%	27.3%	13.6%	4.5%
2年制養成施設	223	30.0%	11.2%	38.1%	9.9%	10.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	41.8%	12.7%	21.8%	16.4%	7.3%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【将来への展望が見えない】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	18.8%	16.7%	31.3%	27.1%	6.3%
3年制養成施設	22	18.2%	18.2%	31.8%	31.8%	0.0%
2年制養成施設	223	19.7%	14.3%	39.0%	14.3%	12.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	40.0%	27.3%	20.0%	7.3%	5.5%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【他業界・他職種への興味】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	8.3%	10.4%	8.3%	35.4%	37.5%
3年制養成施設	22	9.1%	9.1%	27.3%	31.8%	22.7%
2年制養成施設	223	14.3%	8.1%	38.6%	18.8%	20.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	14.5%	9.1%	21.8%	29.1%	25.5%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【介護職に対する社会的評価が低い】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	16.7%	12.5%	27.1%	29.2%	14.6%
3年制養成施設	22	22.7%	13.6%	31.8%	22.7%	9.1%
2年制養成施設	223	21.1%	14.3%	37.2%	12.6%	14.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	47.3%	10.9%	21.8%	14.5%	5.5%

Q30 高齢者介護の分野を希望しない理由【仕事から生じる精神的負担が大きい】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	48	10.4%	10.4%	22.9%	27.1%	29.2%
3年制養成施設	22	18.2%	4.5%	27.3%	31.8%	18.2%
2年制養成施設	223	15.7%	7.6%	34.5%	22.0%	20.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	55	30.9%	14.5%	23.6%	18.2%	12.7%

Q32 就業を希望する、あるいは就業予定となっている高齢者介護の仕事のサービス類型として該当するもの一つ選択してください。(単一選択)

	n	訪問系サービスの事業所 (訪問介護等)	通所系サービスの事業所 (通所介護等)	施設・居住系 サービスの事業所 (特別養護老人ホーム等)	上記の複数サービス について検討中	未定・特に決めていない
4年制養成施設	109	1.8%	9.2%	56.9%	13.8%	18.3%
3年制養成施設	51	7.8%	2.0%	58.8%	3.9%	27.5%
2年制養成施設	968	2.2%	11.4%	62.7%	9.9%	13.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	0.0%	7.8%	78.4%	3.9%	9.8%

Q33 就業を希望する、あるいは就業予定となっている法人の種類(事業形態)として該当するもの一つ選択してください。(単一選択)

	n	社会福祉法人(社 会福祉協議会を除 く)	社会福祉協議会	(公益・一般)社 団法人・財団法人	営利法人(株式会 社・有限会社等)	特定非営利活動法 人(NPO法人)	医療法人	協同組合 (生協・農協)	地方自治体	その他	未定・特に決めて いない・わからな い
4年制養成施設	109	41.3%	4.6%	1.8%	5.5%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	44.0%
3年制養成施設	51	51.0%	2.0%	3.9%	2.0%	0.0%	5.9%	0.0%	3.9%	0.0%	31.4%
2年制養成施設	968	41.1%	5.1%	3.6%	4.4%	1.0%	11.6%	1.2%	1.2%	0.4%	30.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	66.7%	3.9%	3.9%	2.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	3.9%	7.8%

Q34 就業を希望する、あるいは就業予定となっている法人の規模として該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	業界トップ・大手法人	中堅・中小法人	規模にこだわりはない	未定・わからない
4年制養成施設	109	5.5%	14.7%	36.7%	43.1%
3年制養成施設	51	7.8%	25.5%	17.6%	49.0%
2年制養成施設	968	9.5%	20.4%	20.2%	49.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	9.8%	27.5%	9.8%	52.9%

Q35 就職地域の希望【現在の居住地域】（単一選択）

	n	ぜひ働きたい	働いてもよい	あまり働きたくない	絶対に働きたくない
4年制養成施設	124	26.6%	56.5%	14.5%	2.4%
3年制養成施設	40	27.5%	52.5%	17.5%	2.5%
2年制養成施設	661	36.3%	49.9%	11.3%	2.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%

Q35 就職地域の希望【現在の居住地域より都会・都市部の地域】（単一選択）

	n	ぜひ働きたい	働いてもよい	あまり働きたくない	絶対に働きたくない
4年制養成施設	124	8.1%	50.0%	32.3%	9.7%
3年制養成施設	40	20.0%	45.0%	30.0%	5.0%
2年制養成施設	661	12.3%	47.5%	28.7%	11.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	27.3%	63.6%	0.0%	9.1%

Q35 就職地域の希望【現在の居住地域より地方部の地域】（単一選択）

	n	ぜひ働きたい	働いてもよい	あまり働きたくない	絶対に働きたくない
4年制養成施設	124	4.8%	54.8%	31.5%	8.9%
3年制養成施設	40	7.5%	50.0%	32.5%	10.0%
2年制養成施設	661	8.2%	45.4%	32.1%	14.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%

Q35 就職地域の希望【現在の居住地域と同程度の他の地域】（単一選択）

	n	ぜひ働きたい	働いてもよい	あまり働きたくない	絶対に働きたくない
4年制養成施設	124	7.3%	68.5%	18.5%	5.6%
3年制養成施設	40	7.5%	60.0%	22.5%	10.0%
2年制養成施設	661	10.7%	53.4%	26.8%	9.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	11	36.4%	45.5%	9.1%	9.1%

Q36 すでに就職が決まっている方にお伺いします。就業予定地域について、該当するものを一つ選択してください。（単一選択）

	n	現在の居住地域	現在の居住地域より 都会・都市部の地域	現在の居住地域より 地方部の地域	現在の居住地域と 同程度の他の地域
4年制養成施設	33	18.2%	30.3%	15.2%	21.2%
3年制養成施設	33	48.5%	6.1%	9.1%	30.3%
2年制養成施設	530	52.6%	13.0%	15.8%	15.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	95	52.6%	18.9%	10.5%	13.7%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【仕事、キャリアアップの機会が充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	3.7%	8.5%	39.0%	36.6%	12.2%
3年制養成施設	28	7.1%	17.9%	21.4%	42.9%	10.7%
2年制養成施設	464	6.3%	8.6%	43.3%	31.7%	10.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	28	17.9%	10.7%	39.3%	10.7%	21.4%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【給与・賃金の水準が高いから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	3.7%	9.8%	30.5%	46.3%	9.8%
3年制養成施設	28	7.1%	21.4%	35.7%	35.7%	0.0%
2年制養成施設	464	7.1%	8.4%	42.7%	31.0%	10.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	28	17.9%	10.7%	35.7%	25.0%	10.7%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【住宅補助などの福利厚生が充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	4.9%	13.4%	40.2%	37.8%	3.7%
3年制養成施設	28	7.1%	14.3%	35.7%	39.3%	3.6%
2年制養成施設	464	6.3%	8.2%	51.5%	26.5%	7.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	14.3%	17.9%	25.0%	28.6%	14.3%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【研修や学習の機会が多いから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	4.9%	6.1%	34.1%	47.6%	7.3%
3年制養成施設	28	17.9%	14.3%	32.1%	32.1%	3.6%
2年制養成施設	464	9.9%	9.5%	45.5%	26.3%	8.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	32.1%	17.9%	32.1%	14.3%	3.6%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【子育て環境（保育園など）が充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	4.9%	19.5%	47.6%	25.6%	2.4%
3年制養成施設	28	10.7%	28.6%	35.7%	25.0%	0.0%
2年制養成施設	464	19.0%	10.1%	50.9%	15.3%	4.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	28.6%	21.4%	42.9%	7.1%	0.0%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【医療・介護サービスが充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	2.4%	13.4%	32.9%	45.1%	6.1%
3年制養成施設	28	7.1%	14.3%	39.3%	32.1%	7.1%
2年制養成施設	464	6.3%	9.3%	39.0%	34.1%	11.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	17.9%	10.7%	42.9%	17.9%	10.7%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【業界内での転職の機会が多そうだから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	14.6%	17.1%	40.2%	26.8%	1.2%
3年制養成施設	28	21.4%	17.9%	42.9%	17.9%	0.0%
2年制養成施設	464	11.4%	14.0%	51.5%	17.9%	5.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	32.1%	14.3%	39.3%	14.3%	0.0%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【交通機関が整備されている・交通の便が良いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	82	2.4%	9.8%	13.4%	51.2%	23.2%
3年制養成施設	28	7.1%	10.7%	25.0%	42.9%	14.3%
2年制養成施設	464	7.8%	7.3%	31.3%	35.1%	18.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	10.7%	7.1%	35.7%	25.0%	21.4%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【商業・娯楽施設が充実しているから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	82	6.1%	14.6%	22.0%	47.6%	9.8%
3年制養成施設	28	7.1%	14.3%	46.4%	32.1%	0.0%
2年制養成施設	464	9.1%	8.8%	37.5%	32.8%	11.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	21.4%	0.0%	35.7%	25.0%	17.9%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【豊かな文化や流行に触れられるから（芸術、スポーツ、ファッションなど）】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	82	13.4%	17.1%	17.1%	39.0%	13.4%
3年制養成施設	28	10.7%	14.3%	28.6%	39.3%	7.1%
2年制養成施設	464	10.6%	11.4%	40.3%	25.9%	11.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	21.4%	14.3%	32.1%	21.4%	10.7%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【自然環境がよいから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	82	8.5%	24.4%	48.8%	13.4%	4.9%
3年制養成施設	28	17.9%	17.9%	39.3%	21.4%	3.6%
2年制養成施設	464	13.4%	15.9%	44.2%	19.6%	6.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	28.6%	17.9%	28.6%	17.9%	7.1%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【近くに親族や知人が多いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	82	29.3%	15.9%	34.1%	15.9%	4.9%
3年制養成施設	28	10.7%	17.9%	50.0%	10.7%	10.7%
2年制養成施設	464	23.3%	17.2%	37.3%	17.9%	4.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	35.7%	14.3%	39.3%	3.6%	7.1%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【家庭と仕事の両立が実現できると思うから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	11.0%	15.9%	34.1%	32.9%	6.1%
3年制養成施設	28	7.1%	14.3%	50.0%	25.0%	3.6%
2年制養成施設	464	9.9%	10.3%	48.9%	22.6%	8.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	35.7%	7.1%	46.4%	10.7%	0.0%

Q37 現在の居住地域よりも都会・都市部で就職する・就職したい理由【自分又は配偶者の出身地だから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	82	42.7%	13.4%	25.6%	12.2%	6.1%
3年制養成施設	28	32.1%	25.0%	25.0%	14.3%	3.6%
2年制養成施設	464	38.8%	10.8%	37.3%	9.3%	3.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	28	57.1%	10.7%	21.4%	10.7%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【仕事、キャリアアップの機会が充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	79	7.6%	19.0%	57.0%	13.9%	2.5%
3年制養成施設	26	11.5%	19.2%	30.8%	26.9%	11.5%
2年制養成施設	438	9.1%	11.6%	56.6%	15.8%	6.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	15.8%	26.3%	36.8%	10.5%	10.5%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【給与・賃金の水準が高いから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	79	7.6%	26.6%	55.7%	7.6%	2.5%
3年制養成施設	26	15.4%	23.1%	38.5%	19.2%	3.8%
2年制養成施設	438	11.6%	16.7%	53.9%	13.5%	4.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	15.8%	21.1%	36.8%	21.1%	5.3%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【住宅補助などの福利厚生が充実しているから】

	n	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらともいえない ・わからない	ややあてはまる	とても あてはまる
4年制養成施設	79	5.1%	16.5%	62.0%	15.2%	1.3%
3年制養成施設	26	11.5%	11.5%	50.0%	23.1%	3.8%
2年制養成施設	438	7.5%	11.0%	58.4%	18.5%	4.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	10.5%	21.1%	36.8%	26.3%	5.3%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【研修や学習の機会が多いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	5.1%	27.8%	54.4%	11.4%	1.3%
3年制養成施設	26	26.9%	11.5%	46.2%	15.4%	0.0%
2年制養成施設	438	8.9%	10.7%	55.5%	19.2%	5.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	15.8%	21.1%	31.6%	26.3%	5.3%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【子育て環境（保育園など）が充実しているから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	7.6%	20.3%	63.3%	7.6%	1.3%
3年制養成施設	26	11.5%	19.2%	46.2%	19.2%	3.8%
2年制養成施設	438	15.5%	13.0%	55.3%	11.6%	4.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	26.3%	15.8%	31.6%	15.8%	10.5%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【医療・介護サービスが充実しているから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	5.1%	17.7%	58.2%	17.7%	1.3%
3年制養成施設	26	15.4%	11.5%	53.8%	15.4%	3.8%
2年制養成施設	438	8.4%	12.1%	53.9%	19.6%	5.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	21.1%	21.1%	42.1%	15.8%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【業界内での転職の機会が多そうだから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	15.2%	27.8%	49.4%	7.6%	0.0%
3年制養成施設	26	15.4%	26.9%	42.3%	15.4%	0.0%
2年制養成施設	438	14.8%	16.4%	56.6%	9.4%	2.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	31.6%	36.8%	15.8%	15.8%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【交通機関が整備されている・交通の便が良いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	20.3%	31.6%	39.2%	8.9%	0.0%
3年制養成施設	26	15.4%	11.5%	50.0%	19.2%	3.8%
2年制養成施設	438	13.9%	16.4%	47.7%	14.8%	7.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	31.6%	15.8%	42.1%	10.5%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【商業・娯楽施設が充実しているから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	12.7%	26.6%	49.4%	10.1%	1.3%
3年制養成施設	26	19.2%	19.2%	46.2%	11.5%	3.8%
2年制養成施設	438	14.6%	17.1%	49.8%	14.4%	4.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	26.3%	26.3%	36.8%	10.5%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【豊かな文化や流行に触れられるから(芸術、スポーツ、ファッションなど)】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	12.7%	27.8%	46.8%	10.1%	2.5%
3年制養成施設	26	15.4%	26.9%	30.8%	23.1%	3.8%
2年制養成施設	438	15.8%	14.8%	51.1%	13.0%	5.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	26.3%	26.3%	36.8%	10.5%	0.0%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【自然環境がよいから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	2.5%	8.9%	17.7%	51.9%	19.0%
3年制養成施設	26	11.5%	19.2%	26.9%	38.5%	3.8%
2年制養成施設	438	6.4%	5.3%	37.4%	32.0%	18.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	15.8%	10.5%	26.3%	26.3%	21.1%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【近くに親族や知人が多いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	20.3%	15.2%	34.2%	24.1%	6.3%
3年制養成施設	26	26.9%	19.2%	23.1%	23.1%	7.7%
2年制養成施設	438	16.7%	11.9%	38.8%	18.7%	13.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	26.3%	15.8%	26.3%	10.5%	21.1%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【家庭と仕事の両立が実現できると思うから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	6.3%	20.3%	39.2%	27.8%	6.3%
3年制養成施設	26	19.2%	11.5%	38.5%	26.9%	3.8%
2年制養成施設	438	10.0%	11.6%	50.5%	18.5%	9.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	21.1%	26.3%	26.3%	21.1%	5.3%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【自分又は配偶者の出身地だから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	30.4%	8.9%	34.2%	17.7%	8.9%
3年制養成施設	26	34.6%	15.4%	26.9%	19.2%	3.8%
2年制養成施設	438	22.1%	10.7%	38.4%	16.0%	12.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	31.6%	10.5%	36.8%	10.5%	10.5%

Q39 現在の居住地域よりも地方部で就職する・就職したい理由【物価・生活にかかる費用が安いから】

	n	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない・わからない	ややあてはまる	とてもあてはまる
4年制養成施設	79	2.5%	16.5%	36.7%	35.4%	8.9%
3年制養成施設	26	23.1%	11.5%	38.5%	19.2%	7.7%
2年制養成施設	438	8.4%	8.7%	50.9%	21.5%	10.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	19	21.1%	10.5%	42.1%	26.3%	0.0%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【現在と同等の生活水準を維持できる収入があること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	3.8%	10.1%	42.1%	44.0%
3年制養成施設	76	3.9%	13.2%	35.5%	47.4%
2年制養成施設	1,232	4.3%	14.4%	37.7%	43.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	15.1%	38.7%	40.6%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【社宅完備、家賃補助等の住居に関する福利厚生が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	3.1%	13.2%	42.8%	40.9%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	28.9%	51.3%
2年制養成施設	1,232	4.3%	16.0%	40.4%	39.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	11.3%	34.0%	48.1%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【事業所内保育施設（託児所）等の子育てに関する福利厚生が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	6.3%	18.2%	44.0%	31.4%
3年制養成施設	76	6.6%	22.4%	28.9%	42.1%
2年制養成施設	1,232	12.3%	23.0%	36.5%	28.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	11.3%	13.2%	32.1%	43.4%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【医療・福祉・介護サービスが充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	3.8%	7.5%	47.2%	41.5%
3年制養成施設	76	3.9%	14.5%	38.2%	43.4%
2年制養成施設	1,232	3.6%	13.6%	42.0%	40.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	4.7%	14.2%	44.3%	36.8%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【キャリアアップの機会が豊富にあること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	3.8%	17.6%	41.5%	37.1%
3年制養成施設	76	5.3%	11.8%	47.4%	35.5%
2年制養成施設	1,232	5.5%	18.9%	43.3%	32.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	15.1%	37.7%	39.6%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【交通の利便性がよいこと】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.7%	5.0%	44.7%	44.7%
3年制養成施設	76	2.6%	7.9%	38.2%	51.3%
2年制養成施設	1,232	4.0%	11.7%	36.0%	48.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	12.3%	34.9%	46.2%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【生活時間にゆとりが持てること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.0%	9.4%	32.7%	52.8%
3年制養成施設	76	2.6%	13.2%	27.6%	56.6%
2年制養成施設	1,232	4.6%	12.7%	33.5%	49.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	13.2%	23.6%	57.5%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【趣味が楽しめること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.7%	11.9%	37.7%	44.7%
3年制養成施設	76	3.9%	14.5%	30.3%	51.3%
2年制養成施設	1,232	5.0%	16.2%	33.8%	45.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	4.7%	17.0%	28.3%	50.0%

Q41 都会・都市部で働く場合の条件【治安が良いこと】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	6.9%	12.6%	35.8%	44.7%
3年制養成施設	76	2.6%	15.8%	36.8%	44.7%
2年制養成施設	1,232	5.0%	14.4%	36.6%	44.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	10.4%	15.1%	27.4%	47.2%

Q42 都会・都市部で働く場合の条件【実習日のための勤務調整等の資格取得支援施策が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.0%	16.4%	50.9%	27.7%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	43.4%	36.8%
2年制養成施設	1,232	4.5%	19.6%	44.3%	31.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	21.7%	45.3%	25.5%

Q43 都会・都市部で働く場合の条件【大手の法人が運営する事業所で勤務できること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	12.6%	33.3%	37.1%	17.0%
3年制養成施設	76	9.2%	25.0%	43.4%	22.4%
2年制養成施設	1,232	8.4%	32.3%	37.9%	21.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	9.4%	36.8%	30.2%	23.6%

Q44 地方部で働く場合の条件【現在と同等の生活水準を維持できる収入があること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	4.4%	13.8%	37.7%	44.0%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	35.5%	44.7%
2年制養成施設	1,232	4.8%	14.1%	36.5%	44.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	12.3%	34.0%	48.1%

Q45 地方部で働く場合の条件【社宅完備、家賃補助等の住居に関する福利厚生が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	4.4%	14.5%	37.1%	44.0%
3年制養成施設	76	3.9%	22.4%	34.2%	39.5%
2年制養成施設	1,232	5.4%	15.3%	39.9%	39.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	13.2%	29.2%	50.0%

Q43 地方部で働く場合の条件【事業所内保育施設（託児所）等の子育てに関する福利厚生が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	6.3%	18.2%	41.5%	34.0%
3年制養成施設	76	7.9%	17.1%	32.9%	42.1%
2年制養成施設	1,232	11.7%	23.4%	33.9%	31.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	17.9%	33.0%	41.5%

Q43 地方部で働く場合の条件【医療・福祉・介護サービスが充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.0%	13.8%	39.6%	41.5%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	40.8%	39.5%
2年制養成施設	1,232	4.5%	14.0%	40.7%	40.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	15.1%	34.9%	42.5%

Q43 地方部で働く場合の条件【キャリアアップの機会が豊富にあること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.0%	17.6%	43.4%	34.0%
3年制養成施設	76	6.6%	21.1%	39.5%	32.9%
2年制養成施設	1,232	5.6%	19.7%	41.3%	33.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	20.8%	33.0%	38.7%

Q43 地方部で働く場合の条件【交通の利便性がよいこと】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.0%	10.1%	38.4%	46.5%
3年制養成施設	76	3.9%	10.5%	47.4%	38.2%
2年制養成施設	1,232	5.4%	14.6%	34.3%	45.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	12.3%	34.9%	46.2%

Q43 地方部で働く場合の条件【生活時間にゆとりが持てること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	3.8%	8.2%	37.1%	50.9%
3年制養成施設	76	2.6%	11.8%	31.6%	53.9%
2年制養成施設	1,232	4.3%	10.6%	34.9%	50.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	12.3%	27.4%	54.7%

Q43 地方部で働く場合の条件【趣味が楽しめること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	5.7%	14.5%	36.5%	43.4%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	35.5%	44.7%
2年制養成施設	1,232	5.0%	16.7%	32.7%	45.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	15.1%	23.6%	54.7%

Q43 地方部で働く場合の条件【治安が良いこと】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	8.2%	11.3%	36.5%	44.0%
3年制養成施設	76	3.9%	21.1%	28.9%	46.1%
2年制養成施設	1,232	4.6%	13.7%	35.8%	45.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	7.5%	16.0%	30.2%	46.2%

Q43 地方部で働く場合の条件【実習日のための勤務調整等の資格取得支援施策が充実していること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	6.3%	18.9%	44.7%	30.2%
3年制養成施設	76	3.9%	21.1%	43.4%	31.6%
2年制養成施設	1,232	5.9%	19.6%	42.9%	31.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	17.9%	41.5%	34.9%

Q43 地方部で働く場合の条件【大手の法人が運営する事業所で勤務できること】

	n	まったく関係ない	あまり関係ない	多少は検討する	前向きに検討できる
4年制養成施設	159	14.5%	35.2%	32.7%	17.6%
3年制養成施設	76	11.8%	32.9%	38.2%	17.1%
2年制養成施設	1,232	9.9%	29.8%	36.7%	23.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	11.3%	33.0%	26.4%	29.2%

Q45 就職に向けた情報収集・相談等を行う際に、これまでに利用したことがあるものについてすべて選択してください。(複数回答可)

	n	ローワーク	福祉人材センター	新聞・雑誌等のニュース	求人情報誌や新聞・雑誌等に載る求人情報	インターネットの就職サイト	企業説明会・事業所の説明会等の開催	法人・事業所のHP	就職フェアやイベント合同説明会等	自主的なオンラインやポータルサイトの活用	学校のキャリア講座や授業の活用	SNSやブログ・口コミの活用	人材紹介会社の紹介	学校の推薦・就職支援部署の紹介	学校の先生からの情報・紹介	学校の教職員からの情報・紹介	保護者の情報・紹介	家族・友人・知人の紹介	その他	あてはまるものはない
4年制養成施設	159	8.8%	13.8%	15.1%	18.9%	37.7%	14.5%	22.0%	19.5%	18.5%	30.2%	5.7%	1.9%	16.4%	29.6%	8.2%	15.7%	14.5%	0.0%	27.0%
3年制養成施設	76	17.1%	7.9%	6.6%	18.4%	34.2%	17.1%	17.1%	22.4%	13.2%	21.1%	6.6%	3.9%	14.5%	42.1%	13.2%	19.7%	17.1%	0.0%	17.1%
2年制養成施設	1,232	27.8%	9.0%	10.6%	21.4%	26.6%	12.3%	12.8%	16.7%	21.7%	30.5%	4.2%	1.9%	14.1%	37.7%	13.6%	13.0%	17.5%	0.4%	14.6%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	4.7%	4.7%	17.9%	25.5%	7.5%	21.7%	12.3%	28.3%	21.7%	4.7%	0.0%	29.2%	51.9%	11.3%	13.2%	12.3%	0.0%	5.7%

Q46 就職に向けた情報収集・相談等を行う際に、今後、利用したいと思うものについてすべて選択してください。（複数回答可）

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞・雑誌等の業界に関する記事・ニュース	求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報	インターネットの就職サイト	企業説明会・事業所・施設等の個別説明会	法人・事業所のHP	就職フェアや合同説明会等	自主的な職場体験やボランティア	学校のキャリアセンターや授業の一環	SNSやブログ、口コミ	人材紹介会社の紹介	学校の就職支援部署の紹介	学校の先生からの情報・紹介	学校のクラスメイトからの情報・紹介	介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介	家族・友人・知人の紹介	その他	あてはまるものはない
4年制養成施設	124	25.0%	37.1%	26.6%	37.9%	50.8%	50.0%	41.9%	48.4%	44.4%	41.9%	14.5%	9.7%	48.4%	63.7%	29.0%	44.4%	33.1%	※RFI	4.0%
3年制養成施設	40	32.5%	32.5%	20.0%	40.0%	47.5%	25.0%	42.5%	30.0%	32.5%	22.5%	15.0%	7.5%	27.5%	50.0%	20.0%	30.0%	22.5%	0.0%	2.5%
2年制養成施設	651	44.3%	26.2%	19.4%	31.5%	37.1%	25.9%	20.4%	24.2%	29.8%	31.2%	8.5%	7.0%	29.7%	52.8%	24.7%	28.1%	24.2%	0.0%	7.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	11	27.3%	0.0%	9.1%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%

Q47 就職を行う際に、就職先決定に役立つ・有効と考えるものについてすべて選択してください。（複数回答可）

	n	ハローワーク	福祉人材センター	新聞・雑誌等の業界に関する記事・ニュース	求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報	インターネットの就職サイト	企業説明会・事業所・施設等の個別説明会	法人・事業所のHP	就職フェアや合同説明会等	自主的な職場体験やボランティア	学校のキャリアセンターや授業の一環	SNSやブログ、口コミ	人材紹介会社の紹介	学校の就職支援部署の紹介	学校の先生からの情報・紹介	学校のクラスメイトからの情報・紹介	介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介	家族・友人・知人の紹介	その他	あてはまるものはない
4年制養成施設	159	30.8%	42.1%	25.2%	29.6%	42.1%	47.8%	40.3%	51.6%	44.0%	41.5%	8.2%	13.8%	44.0%	55.3%	23.9%	40.3%	25.8%	※RFI	6.9%
3年制養成施設	76	30.3%	30.3%	11.8%	21.1%	35.5%	30.3%	26.3%	34.2%	23.7%	34.2%	10.5%	10.5%	22.4%	56.6%	11.8%	38.2%	19.7%	0.0%	2.6%
2年制養成施設	1,232	36.1%	23.3%	14.3%	23.1%	28.0%	23.6%	18.5%	26.7%	32.7%	33.6%	7.9%	6.9%	26.7%	49.6%	22.1%	28.1%	19.6%	0.2%	7.7%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	15.1%	13.2%	8.5%	28.3%	35.8%	20.8%	20.8%	19.8%	36.8%	28.3%	9.4%	3.8%	36.8%	59.4%	21.7%	20.8%	17.9%	0.0%	2.8%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護職員の賃金面の処遇改善（賃金引上げ等）】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	5.0%	10.1%	84.9%
3年制養成施設	76	3.9%	14.5%	81.6%
2年制養成施設	1,232	2.7%	21.9%	75.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	4.7%	15.1%	80.2%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護職員の賃金面以外の処遇改善（休暇取得等）】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	5.7%	10.7%	83.6%
3年制養成施設	76	3.9%	11.8%	84.2%
2年制養成施設	1,232	2.7%	22.1%	75.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	15.1%	78.3%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護職員の社会的地位・評価の向上】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	5.0%	23.3%	71.7%
3年制養成施設	76	3.9%	25.0%	71.1%
2年制養成施設	1,232	4.0%	26.9%	69.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	5.7%	30.2%	64.2%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護業界・仕事のイメージアップ】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	4.4%	13.8%	81.8%
3年制養成施設	76	3.9%	19.7%	76.3%
2年制養成施設	1,232	3.8%	21.0%	75.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	3.8%	17.9%	78.3%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護ロボットやITの仕組み等の導入による業務負担軽減】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	19.5%	43.4%	37.1%
3年制養成施設	76	14.5%	44.7%	40.8%
2年制養成施設	1,232	11.5%	48.4%	40.1%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	17.9%	45.3%	36.8%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護プロフェッショナルキャリア段位制度の導入による職業能力評価の明確化】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	4.4%	40.3%	55.3%
3年制養成施設	76	6.6%	38.2%	55.3%
2年制養成施設	1,232	5.1%	42.1%	52.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	5.7%	46.2%	48.1%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【夜勤専従や週休3日制など、多様な働き方を認める勤務体系の実現】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	3.1%	24.5%	72.3%
3年制養成施設	76	6.6%	22.4%	71.1%
2年制養成施設	1,232	4.3%	26.5%	69.2%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	3.8%	25.5%	70.8%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【福祉人材センターやハローワークでの専門員による、介護業界への就業斡旋、的確なマッチング実施】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	6.3%	44.7%	49.1%
3年制養成施設	76	6.6%	43.4%	50.0%
2年制養成施設	1,232	6.0%	48.7%	45.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業者対象)	106	6.6%	48.1%	45.3%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護福祉士等養成施設の入学者に対しての就学資金の貸与】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	5.7%	33.3%	61.0%
3年制養成施設	76	3.9%	22.4%	73.7%
2年制養成施設	1,232	4.4%	36.9%	58.8%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	27.4%	66.0%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【現在の教育課程に加え、更に高い職業能力（知識・スキル）を身につけるための新たな教育課程を設ける】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	6.9%	42.8%	50.3%
3年制養成施設	76	6.6%	35.5%	57.9%
2年制養成施設	1,232	5.9%	41.2%	52.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	39.6%	53.8%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【キャリアパスとして介護福祉士の上位に位置づく認定介護福祉士の仕組みを活用】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	8.8%	40.9%	50.3%
3年制養成施設	76	5.3%	36.8%	57.9%
2年制養成施設	1,232	5.5%	41.6%	52.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	6.6%	38.7%	54.7%

Q48 人材が入職・定着するために重要なこと【介護の現場を知ってもらう機会を増やす】

	n	効果的・重要とは思わない	どちらともいえない・わからない	効果的・重要だと思う
4年制養成施設	159	5.0%	18.9%	76.1%
3年制養成施設	76	3.9%	15.8%	80.3%
2年制養成施設	1,232	4.5%	25.2%	70.4%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	106	2.8%	21.7%	75.5%

Q49 将来、高齢者介護の分野・高齢者介護の仕事において実現したい目標（目指したい役割・役職、職種、習得したい技術等）

	n	経営者になる	管理職になる	高齢者介護における専門性を追求する（特定分野で活躍できる専門家や多様なニーズに対応できるプロフェッショナルになる）	長く現場のスタッフとして活動する（入職する職種を長く続ける）	その他	現時点では特に考えていない
4年制養成施設	109	15.6%	33.9%	59.6%	64.2%	1.8%	9.2%
3年制養成施設	51	13.7%	9.8%	45.1%	33.3%	0.0%	23.5%
2年制養成施設	968	15.2%	22.4%	40.9%	50.2%	1.5%	16.5%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	51	19.6%	31.4%	51.0%	47.1%	0.0%	17.6%

Q50 将来の目標を考えている場合、その目標を実現するための計画・方法を考えていますか。以下から該当するもの一つ選択してください。（単一選択）

	n	計画・方法を具体的に 考えている	計画・方法を漠然と だけ考えている	計画・方法はまだ ほとんど考えてはいない	計画・方法はまったく 考えていない
4年制養成施設	98	10.2%	46.9%	30.6%	12.2%
3年制養成施設	39	17.9%	35.9%	35.9%	10.3%
2年制養成施設	801	15.4%	40.4%	33.3%	10.9%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	42	16.7%	47.6%	26.2%	9.5%

Q51 将来の目標を考えている場合、その目標の実現は介護業界に入職後、いつごろの時期を目安と考えていますか。以下の選択肢からもっとも近いもの一つ選択してください。（単一選択）

	n	1～3年程度	4～6年程度	7～9年程度	10年以上先	わからない ・決めていない	その他
4年制養成施設	98	13.3%	36.7%	11.2%	8.2%	30.6%	0.0%
3年制養成施設	39	20.5%	30.8%	2.6%	17.9%	28.2%	0.0%
2年制養成施設	801	17.2%	34.3%	11.4%	9.9%	27.2%	0.0%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	42	14.3%	42.9%	9.5%	14.3%	19.0%	0.0%

Q52 現時点で特に目標を定めていない理由について、以下の項目から該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

	n	いまはまだ必要性を 感じていないから	目標の定め方が わからないから	学校などで忙しく 考える時間がないから	考えてもそうなる とは限らないから	その他	あてはまるもの はない
4年制養成施設	10	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%
3年制養成施設	12	16.7%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
2年制養成施設	176	11.9%	21.6%	15.3%	18.2%	1.7%	31.3%
1年制養成施設 (保育士養成施設等卒業生対象)	9	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%

(5) インフォーマルケア調査

性・年齢別集計

基本情報：現在の職業

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
女性・30代以下	72	2.8%	0.0%	12.5%	6.9%	8.3%	2.8%	0.0%	22.2%	22.2%	1.4%	4.2%	16.7%
女性・40～50代	288	2.4%	0.0%	14.2%	1.7%	7.6%	5.2%	2.8%	31.3%	22.6%	0.0%	4.5%	7.6%
女性・60代以上	107	0.9%	0.0%	5.6%	0.9%	0.9%	3.7%	2.8%	57.0%	12.1%	0.0%	1.9%	14.0%
男性・30代以下	44	0.0%	2.3%	15.9%	18.2%	18.2%	15.9%	4.5%	2.3%	4.5%	0.0%	6.8%	11.4%
男性・40～50代	307	6.8%	5.5%	20.2%	11.7%	19.5%	12.7%	3.9%	0.7%	5.2%	0.0%	3.9%	9.8%
男性・60代以上	212	6.1%	5.7%	6.6%	6.1%	5.7%	11.3%	0.9%	1.9%	5.7%	0.0%	8.5%	41.5%

SQ1 家族などの身近の人への介護経験についてご回答ください。

	n	現在、家族などの身近の人の介護を行っている	現在は家族などの身近の人の介護を行っていないが、過去に行っていたことがある	家族などの身近の人への介護を行ったことはない
女性・30代以下	72	100.0%	0.0%	0.0%
女性・40～50代	288	100.0%	0.0%	0.0%
女性・60代以上	107	100.0%	0.0%	0.0%
男性・30代以下	44	100.0%	0.0%	0.0%
男性・40～50代	307	100.0%	0.0%	0.0%
男性・60代以上	212	100.0%	0.0%	0.0%

SQ2 現在、あなたが介護を行っている方は、あなたからみてどのような関係(続柄)にありますか。

	n	実父・実母	義父・義母	祖父母	配偶者(夫または妻)	兄弟・姉妹	子ども・子どもの配偶者	その他
女性・30代以下	72	41.7%	13.9%	33.3%	2.8%	0.0%	4.2%	4.2%
女性・40～50代	288	68.8%	14.2%	4.5%	5.2%	1.0%	4.9%	1.4%
女性・60代以上	107	67.3%	15.9%	0.0%	15.9%	0.0%	0.9%	0.0%
男性・30代以下	44	40.9%	2.3%	40.9%	2.3%	6.8%	4.5%	2.3%
男性・40～50代	307	83.7%	6.2%	4.2%	1.3%	1.0%	2.3%	1.3%
男性・60代以上	212	69.3%	6.1%	0.0%	18.4%	1.4%	4.2%	0.5%

SQ3 現在、あなたが介護を行っている方の要介護・要支援度についてご回答ください。

	n	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援・要介護認定は受けていない
女性・30代以下	72	6.9%	5.6%	13.9%	26.4%	22.2%	2.8%	9.7%	12.5%
女性・40～50代	288	6.6%	11.8%	16.7%	20.1%	13.5%	11.1%	9.0%	11.1%
女性・60代以上	107	9.3%	7.5%	15.0%	28.0%	10.3%	15.0%	8.4%	6.5%
男性・30代以下	44	6.8%	9.1%	15.9%	25.0%	20.5%	11.4%	0.0%	11.4%
男性・40～50代	307	8.1%	8.5%	16.3%	24.4%	16.6%	9.4%	9.8%	6.8%
男性・60代以上	212	5.7%	14.2%	14.6%	26.4%	13.2%	12.7%	9.9%	3.3%

SQ4 現在、あなたが介護を行っている方に対して介護を始めてから、どの程度の期間が経過していますか。該当するものを一つ選択してください。

	n	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
女性・30代以下	72	9.7%	8.3%	15.3%	23.6%	16.7%	15.3%	11.1%
女性・40～50代	288	1.7%	4.5%	18.8%	21.2%	19.8%	20.5%	13.5%
女性・60代以上	107	0.9%	2.8%	11.2%	14.0%	28.0%	31.8%	11.2%
男性・30代以下	44	9.1%	6.8%	18.2%	11.4%	27.3%	13.6%	13.6%
男性・40～50代	307	4.2%	7.8%	16.6%	19.2%	20.8%	20.5%	10.7%
男性・60代以上	212	2.4%	7.1%	16.5%	20.8%	20.8%	17.9%	14.6%

Q1 あなたの性別について選択してください。

	n	女性	男性
女性・30代以下	72	100.0%	0.0%
女性・40～50代	288	100.0%	0.0%
女性・60代以上	107	100.0%	0.0%
男性・30代以下	44	0.0%	100.0%
男性・40～50代	307	0.0%	100.0%
男性・60代以上	212	0.0%	100.0%

Q2 あなたの年齢について、該当するものを一つ選択してください。

	n	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
女性・30代以下	72	0.0%	4.2%	13.9%	29.2%	52.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・40～50代	288	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.4%	20.8%	27.1%	32.6%	0.0%	0.0%
女性・60代以上	107	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.1%	58.9%
男性・30代以下	44	0.0%	2.3%	9.1%	40.9%	47.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・40～50代	307	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%	23.1%	29.3%	35.8%	0.0%	0.0%
男性・60代以上	212	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%

Q3 あなたの配偶関係について、該当するものを一つ選択してください。

	n	既婚	未婚	離死別
女性・30代以下	72	45.8%	52.8%	1.4%
女性・40～50代	288	59.7%	28.5%	11.8%
女性・60代以上	107	71.0%	15.9%	13.1%
男性・30代以下	44	31.8%	68.2%	0.0%
男性・40～50代	307	46.9%	47.2%	5.9%
男性・60代以上	212	77.4%	13.7%	9.0%

Q4 子供の有無・人数について、該当するものを選択してください。

	n	子供はいない	1人	2人	3人以上
女性・30代以下	72	63.9%	16.7%	12.5%	6.9%
女性・40～50代	288	43.1%	17.4%	27.1%	12.5%
女性・60代以上	107	26.2%	17.8%	39.3%	16.8%
男性・30代以下	44	72.7%	9.1%	11.4%	6.8%
男性・40～50代	307	57.7%	12.4%	17.3%	12.7%
男性・60代以上	212	23.6%	13.7%	45.3%	17.5%

Q5 あなたの現在の育児の実施状況について、該当するものを一つ選択してください。

	n	現在、育児をしている	現在、育児をしていない
女性・30代以下	26	96.2%	3.8%
女性・40～50代	164	21.3%	78.7%
女性・60代以上	79	5.1%	94.9%
男性・30代以下	12	83.3%	16.7%
男性・40～50代	130	24.6%	75.4%
男性・60代以上	162	3.7%	96.3%

Q6 あなたの家庭での主たる生計の維持者(世帯で最も生活費を負担している方)として、該当するものを一つ選択してください。

	n	自分(本人)	自分(本人)以外	生活費は折半等
女性・30代以下	72	22.2%	65.3%	12.5%
女性・40～50代	288	22.9%	67.7%	9.4%
女性・60代以上	107	15.0%	66.4%	18.7%
男性・30代以下	44	56.8%	27.3%	15.9%
男性・40～50代	307	77.5%	14.7%	7.8%
男性・60代以上	212	81.1%	10.4%	8.5%

Q7 現在あなたが介護を行っている方の人数について、該当するものを一つ選択してください。

	n	1人	2人	3人以上
女性・30代以下	72	93.1%	5.6%	1.4%
女性・40～50代	288	84.7%	13.9%	1.4%
女性・60代以上	107	86.0%	12.1%	1.9%
男性・30代以下	44	90.9%	6.8%	2.3%
男性・40～50代	307	90.2%	9.1%	0.7%
男性・60代以上	212	92.5%	6.6%	0.9%

Q8 専修・専門学校を除く最終学歴として、該当するものを一つ選択してください。

	n	中学校	高等学校 (介護福祉関係 の学科)	高等学校 (左記以外)	高専、短大(介護 福祉関係の学 科)	高専、短大 (左記以外)	大学・大学院 (介護福祉関係 の学科)	大学・大学院 (左記以外)
女性・30代以下	72	5.6%	0.0%	41.7%	1.4%	16.7%	8.3%	26.4%
女性・40～50代	288	1.4%	0.3%	39.2%	2.4%	31.3%	4.5%	20.8%
女性・60代以上	107	0.0%	0.0%	44.9%	2.8%	22.4%	4.7%	25.2%
男性・30代以下	44	2.3%	0.0%	34.1%	4.5%	9.1%	9.1%	40.9%
男性・40～50代	307	3.9%	0.3%	29.3%	2.0%	5.9%	10.7%	47.9%
男性・60代以上	212	0.9%	0.0%	23.1%	0.9%	3.3%	9.9%	61.8%

Q9 専修・専門学校への通学経験として、該当するものを全て選択してください。

	n	専修・専門学校に 通学していない	介護福祉関係の専修・専門学校 に通っている／卒業	介護福祉関係以外の専修・専門 学校に通っている／卒業
女性・30代以下	72	84.7%	4.2%	11.1%
女性・40～50代	288	87.2%	2.1%	10.8%
女性・60代以上	107	91.6%	0.9%	7.5%
男性・30代以下	44	81.8%	9.1%	9.1%
男性・40～50代	307	93.5%	2.0%	4.6%
男性・60代以上	212	95.8%	0.9%	3.3%

Q10 あなたが保有している資格について、該当するものをすべて選択してください。

	n	介護 福祉士	了介 護職 員実 務者 研修 修	了介 護職 員初 任者 研修 修	看護 師・ 准看 護師	保健 師	等医 療的 ケア 研修 了者 (喀 痰吸 引)	介 護支 援専 門員 (ケ ア マ ネ ジ ャー)	管 理 栄 養 士・ 栄 養 士	精 神 保 健 福 祉 士	O T・ P T・ S T	了認 知 症 介 護 実 践 研 修 修	社 会 福 祉 士	臨 床 心 理 士	該 当 す る 資 格 は も つ て い な い
女性・30代以下	72	1.4%	2.8%	6.9%	5.6%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	77.8%
女性・40～50代	288	4.5%	1.4%	5.2%	3.1%	0.3%	0.3%	2.4%	2.8%	0.3%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	84.7%
女性・60代以上	107	2.8%	0.0%	3.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	89.7%
男性・30代以下	44	18.2%	2.3%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	4.5%	2.3%	72.7%
男性・40～50代	307	2.3%	2.3%	4.9%	0.3%	0.0%	0.7%	1.6%	0.7%	0.3%	0.0%	0.7%	1.3%	0.3%	90.6%
男性・60代以上	212	0.0%	0.5%	2.8%	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	94.3%

Q11 現在の、ご自身の就業形態として該当するものを1つ選択してください。

	n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
女性・30代以下	72	31.9%	19.4%	48.6%
女性・40～50代	288	30.6%	28.5%	41.0%
女性・60代以上	107	10.3%	21.5%	68.2%
男性・30代以下	44	68.2%	13.6%	18.2%
男性・40～50代	307	76.5%	9.1%	14.3%
男性・60代以上	212	34.4%	12.7%	52.8%

Q12 現在の、ご自身の1年あたりの個人所得(税込み)として該当するものを1つ選択してください。

	n	103万円未満 (非課税)	130万円未満 (扶養内)	130～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	72	45.8%	13.9%	26.4%	11.1%	0.0%	2.8%
女性・40～50代	288	56.9%	7.6%	26.0%	7.3%	1.0%	1.0%
女性・60代以上	107	56.1%	13.1%	29.9%	0.9%	0.0%	0.0%
男性・30代以下	44	27.3%	2.3%	40.9%	22.7%	4.5%	2.3%
男性・40～50代	307	19.2%	1.6%	21.5%	37.5%	10.7%	9.4%
男性・60代以上	212	17.0%	1.4%	53.3%	19.3%	4.2%	4.7%

Q13 現在の、ご自身の1年あたりの世帯所得(税込み)として該当するものを1つ選択してください。

	n	100万円未満	100～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	72	20.8%	6.9%	12.5%	19.4%	30.6%	2.8%	6.9%
女性・40～50代	288	19.1%	8.0%	10.4%	11.1%	30.9%	9.4%	11.1%
女性・60代以上	107	10.3%	10.3%	15.0%	17.8%	32.7%	7.5%	6.5%
男性・30代以下	44	6.8%	6.8%	11.4%	25.0%	34.1%	11.4%	4.5%
男性・40～50代	307	10.1%	4.6%	6.8%	10.1%	35.2%	14.7%	18.6%
男性・60代以上	212	6.1%	8.0%	17.5%	16.5%	28.8%	7.5%	15.6%

Q14 現在の、ご自身の貯蓄額として該当するものを1つ選択してください。

	n	貯蓄なし	50万円未満	50～100万円	101～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	72	25.0%	25.0%	6.9%	5.6%	5.6%	8.3%	6.9%	1.4%	15.3%
女性・40～50代	288	20.1%	13.9%	8.3%	8.0%	7.3%	6.6%	8.3%	4.9%	22.6%
女性・60代以上	107	8.4%	5.6%	7.5%	4.7%	4.7%	4.7%	14.0%	10.3%	40.2%
男性・30代以下	44	13.6%	22.7%	4.5%	2.3%	9.1%	11.4%	18.2%	4.5%	13.6%
男性・40～50代	307	16.3%	8.1%	7.2%	6.2%	6.2%	4.2%	13.4%	5.5%	32.9%
男性・60代以上	212	12.7%	6.6%	3.8%	4.7%	4.2%	3.8%	9.9%	3.8%	50.5%

Q15 現在行っている介護を始める以前の介護経験として、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	家族などの身近な人の介護をしたことがある	ボランティアとして介護をしたことがある	学校の実習・インターンとして介護をしたことがある	介護職としての介護をした経験がある	上記以外の介護経験がある	介護経験はなかった
女性・30代以下	72	45.8%	15.3%	11.1%	5.6%	2.8%	41.7%
女性・40～50代	288	47.6%	4.9%	1.4%	7.3%	1.7%	46.2%
女性・60代以上	107	51.4%	1.9%	1.9%	3.7%	0.0%	45.8%
男性・30代以下	44	54.5%	13.6%	11.4%	13.6%	9.1%	29.5%
男性・40～50代	307	42.0%	4.6%	1.6%	4.9%	1.0%	54.7%
男性・60代以上	212	38.2%	1.9%	1.4%	1.9%	0.9%	59.0%

Q16 あなたが日常的に介護を行っている方の性別について選択してください。

	n	女性	男性
女性・30代以下	72	69.4%	30.6%
女性・40～50代	288	68.8%	31.3%
女性・60代以上	107	70.1%	29.9%
男性・30代以下	44	45.5%	54.5%
男性・40～50代	307	65.5%	34.5%
男性・60代以上	212	86.3%	13.7%

Q17 あなたが日常的に介護を行っている方の年齢について、該当するものを一つ選択してください。

	n	～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～
女性・30代以下	72	6.9%	1.4%	0.0%	6.9%	18.1%	20.8%	6.9%	8.3%	18.1%	12.5%
女性・40～50代	288	5.6%	2.1%	2.8%	2.4%	3.8%	9.0%	13.5%	26.0%	24.0%	10.8%
女性・60代以上	107	0.9%	0.0%	0.9%	2.8%	1.9%	4.7%	5.6%	4.7%	29.0%	49.5%
男性・30代以下	44	11.4%	0.0%	0.0%	9.1%	22.7%	11.4%	2.3%	15.9%	18.2%	9.1%
男性・40～50代	307	3.3%	1.3%	1.3%	0.0%	2.3%	7.8%	14.7%	35.5%	23.5%	10.4%
男性・60代以上	212	4.2%	0.5%	0.5%	1.4%	4.7%	7.5%	3.8%	4.7%	30.2%	42.5%

Q18 あなたが日常的に介護を行っている方が介護・介助が必要になった主な原因として、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎・気腫・肺炎等)	関節の病気(アルツハイマー病等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明
女性・30代以下	72	27.8%	1.4%	9.7%	0.0%	9.7%	23.6%	5.6%	15.3%	1.4%	2.8%	11.1%	0.0%	19.4%	12.5%	4.2%
女性・40～50代	288	20.5%	4.9%	8.7%	3.8%	2.8%	29.5%	5.2%	8.7%	2.1%	0.7%	17.0%	0.7%	28.8%	11.8%	1.7%
女性・60代以上	107	18.7%	4.7%	10.3%	1.9%	5.6%	27.1%	1.9%	4.7%	1.9%	6.5%	20.6%	3.7%	41.1%	7.5%	2.8%
男性・30代以下	44	31.8%	9.1%	9.1%	6.8%	0.0%	22.7%	4.5%	11.4%	4.5%	2.3%	9.1%	0.0%	27.3%	4.5%	2.3%
男性・40～50代	307	21.8%	6.8%	4.9%	3.9%	7.5%	28.0%	6.8%	8.8%	3.6%	2.3%	20.8%	3.3%	27.4%	7.8%	2.9%
男性・60代以上	212	15.1%	5.2%	2.8%	1.9%	6.1%	35.8%	2.4%	4.7%	1.4%	5.7%	17.0%	4.2%	41.5%	10.4%	1.4%

Q20 あなたが日常的に介護を行っている方の1年間あたりの世帯所得(税込み)として該当するものを1つ選択してください。

	n	わからない	100万円未満	100～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	72	51.4%	20.8%	8.3%	5.6%	5.6%	4.2%	0.0%	4.2%
女性・40～50代	288	32.6%	25.0%	13.2%	11.1%	6.3%	5.6%	3.5%	2.8%
女性・60代以上	107	27.1%	13.1%	21.5%	11.2%	12.1%	11.2%	1.9%	1.9%
男性・30代以下	44	36.4%	25.0%	4.5%	6.8%	15.9%	6.8%	4.5%	0.0%
男性・40～50代	307	27.0%	21.8%	18.2%	11.4%	5.5%	9.1%	2.3%	4.6%
男性・60代以上	212	18.9%	25.9%	22.2%	9.9%	8.5%	7.1%	0.0%	7.5%

Q21 あなたが日常的に介護を行っている方の現在の貯蓄額として該当するものを1つ選択してください。

	n	わからない	貯蓄なし	50万円未満	50～100万円	101～200万円	201～300万円	301～400万円	401～800万円	801～1000万円	1001万円～
女性・30代以下	72	47.2%	20.8%	5.6%	4.2%	4.2%	1.4%	5.6%	1.4%	1.4%	8.3%
女性・40～50代	288	40.3%	19.1%	5.9%	6.3%	3.1%	2.4%	3.1%	5.2%	1.4%	13.2%
女性・60代以上	107	35.5%	12.1%	0.9%	3.7%	4.7%	0.9%	8.4%	5.6%	4.7%	23.4%
男性・30代以下	44	36.4%	15.9%	6.8%	2.3%	9.1%	2.3%	0.0%	13.6%	2.3%	11.4%
男性・40～50代	307	30.9%	14.7%	5.9%	5.2%	5.2%	3.3%	3.3%	6.8%	5.2%	19.5%
男性・60代以上	212	26.9%	16.0%	6.1%	3.8%	4.7%	4.7%	1.9%	8.5%	3.3%	24.1%

Q22 あなたが介護を行っている方とあなたの同居の状況について、該当するものを1つ選択してください。

	n	同居している	同居していない
女性・30代以下	72	62.5%	37.5%
女性・40～50代	288	54.5%	45.5%
女性・60代以上	107	65.4%	34.6%
男性・30代以下	44	77.3%	22.7%
男性・40～50代	307	71.7%	28.3%
男性・60代以上	212	75.5%	24.5%

Q23 あなたが介護を行っている方のご自宅までの移動時間について、該当するものを1つ選択してください。

	n	5分未満	5分以上20分未満	20分以上40分未満	40分以上60分未満	60分以上80分未満	80分以上
女性・30代以下	27	18.5%	29.6%	11.1%	11.1%	7.4%	22.2%
女性・40～50代	131	16.0%	34.4%	15.3%	12.2%	11.5%	10.7%
女性・60代以上	37	16.2%	29.7%	16.2%	10.8%	2.7%	24.3%
男性・30代以下	10	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%
男性・40～50代	87	13.8%	32.2%	24.1%	8.0%	8.0%	13.8%
男性・60代以上	52	11.5%	46.2%	11.5%	9.6%	7.7%	13.5%

Q24 あなたが日常的に介護を行っている方の家族構成について、該当するものを一つ選択してください。

	n	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他
女性・30代以下	72	18.1%	20.8%	6.9%	40.3%	13.9%
女性・40～50代	288	17.7%	17.7%	3.1%	38.2%	23.3%
女性・60代以上	107	19.6%	23.4%	2.8%	27.1%	27.1%
男性・30代以下	44	11.4%	15.9%	6.8%	31.8%	34.1%
男性・40～50代	307	16.6%	14.0%	3.6%	46.3%	19.5%
男性・60代以上	212	14.2%	22.2%	10.4%	30.7%	22.6%

Q25 日常的に介護を行っている方に関して、介護保険サービスの現在の利用状況およびこれまでの利用経験として該当するものを1つ選択してください。

	n	現在利用している	過去に利用したことはあるが、現在は利用していない	利用経験はない
女性・30代以下	72	79.2%	4.2%	16.7%
女性・40～50代	288	71.5%	9.7%	18.8%
女性・60代以上	107	75.7%	7.5%	16.8%
男性・30代以下	44	61.4%	6.8%	31.8%
男性・40～50代	307	76.5%	6.2%	17.3%
男性・60代以上	212	80.7%	4.7%	14.6%

Q26 あなたが日常的に介護を行っている方に関して、利用経験のある介護保険サービスとして該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護(デイサービス)	認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護	(通所リハビリテーション) (デイケア)	夜間対応型訪問介護	看護 定期巡回・随時対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	(ショートステイ)	短期入所療養介護	居宅療養管理指導	その他
女性・30代以下	60	43.3%	11.7%	16.7%	20.0%	43.3%	3.3%	1.7%	20.0%	1.7%	3.3%	1.7%	1.7%	11.7%	1.7%	3.3%	3.3%
女性・40～50代	234	26.9%	11.5%	13.2%	11.5%	53.4%	4.3%	2.1%	17.1%	1.3%	1.7%	2.6%	0.4%	21.8%	1.7%	3.0%	11.5%
女性・60代以上	89	21.3%	12.4%	16.9%	9.0%	52.8%	3.4%	4.5%	19.1%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	25.8%	3.4%	6.7%	10.1%
男性・30代以下	30	50.0%	10.0%	16.7%	23.3%	46.7%	10.0%	6.7%	13.3%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	16.7%	3.3%	3.3%	0.0%
男性・40～50代	254	33.5%	13.8%	17.3%	14.6%	55.9%	3.1%	3.5%	20.9%	1.2%	1.2%	3.1%	2.0%	17.7%	3.1%	3.1%	3.9%
男性・60代以上	181	24.3%	11.6%	14.9%	12.7%	54.7%	2.8%	0.6%	14.4%	0.6%	3.9%	1.7%	0.0%	21.0%	3.3%	2.8%	9.9%

Q27 現在、介護保険サービスを利用していない理由。【該当するもの(いくつでも)】

	n	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたが手続きや利用方法が分からない	その他
女性・30代以下	15	13.3%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	33.3%
女性・40～50代	82	39.0%	14.6%	25.6%	2.4%	15.9%	6.1%	9.8%	8.5%	15.9%
女性・60代以上	26	23.1%	19.2%	26.9%	3.8%	23.1%	11.5%	0.0%	0.0%	15.4%
男性・30代以下	17	11.8%	29.4%	23.5%	0.0%	35.3%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%
男性・40～50代	72	29.2%	23.6%	29.2%	4.2%	13.9%	8.3%	11.1%	9.7%	6.9%
男性・60代以上	41	34.1%	4.9%	29.3%	2.4%	4.9%	12.2%	12.2%	12.2%	2.4%

Q27 現在、介護保険サービスを利用していない理由。【最も大きな理由(ひとつだけ)】

	n	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたが手続きや利用方法が分からない	その他
女性・30代以下	15	13.3%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	33.3%
女性・40～50代	82	30.5%	6.1%	17.1%	1.2%	11.0%	6.1%	7.3%	4.9%	15.9%
女性・60代以上	26	19.2%	15.4%	15.4%	3.8%	19.2%	11.5%	0.0%	0.0%	15.4%
男性・30代以下	17	11.8%	17.6%	11.8%	0.0%	23.5%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%
男性・40～50代	72	19.4%	20.8%	20.8%	1.4%	9.7%	4.2%	8.3%	9.7%	5.6%
男性・60代以上	41	29.3%	4.9%	24.4%	2.4%	4.9%	9.8%	9.8%	12.2%	2.4%

Q28 あなたやご家族の事情などにより、予定外で緊急の短期入所(緊急ショートステイ)を利用した経験として該当するもの1つ選択してください。

	n	利用したことがある	利用を希望しているが、利用したことはない	利用を希望しておらず、利用したことはない
女性・30代以下	72	29.2%	19.4%	51.4%
女性・40～50代	288	28.8%	22.6%	48.6%
女性・60代以上	107	35.5%	18.7%	45.8%
男性・30代以下	44	36.4%	6.8%	56.8%
男性・40～50代	307	36.5%	18.9%	44.6%
男性・60代以上	212	31.1%	18.4%	50.5%

Q29 緊急の短期入所(緊急ショートステイ)を利用したことがある方の1年間当たりの平均的な利用回数

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	21	0.0	21.0	504.0	24.0	54.2	1.0	250.0
女性・40～50代	83	0.0	83.0	1,748.0	21.1	51.3	1.0	300.0
女性・60代以上	38	0.0	38.0	481.0	12.7	22.0	1.0	120.0
男性・30代以下	16	0.0	16.0	182.0	11.4	10.7	1.0	30.0
男性・40～50代	112	0.0	112.0	2,722.0	24.3	60.8	1.0	340.0
男性・60代以上	66	0.0	66.0	1,043.0	15.8	41.5	1.0	300.0

Q29 緊急の短期入所(緊急ショートステイ)を利用したことがある方の利用1回あたりの平均的な利用日数

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	21	0.0	21.0	209.0	10.0	19.2	1.0	90.0
女性・40～50代	83	0.0	83.0	449.0	5.4	11.6	1.0	96.0
女性・60代以上	38	0.0	38.0	262.0	6.9	13.7	1.0	84.0
男性・30代以下	16	0.0	16.0	61.0	3.8	3.4	1.0	14.0
男性・40～50代	112	0.0	112.0	946.0	8.4	19.6	1.0	100.0
男性・60代以上	66	0.0	66.0	361.0	5.5	8.7	1.0	60.0

Q31 緊急の短期入所(緊急ショートステイ)の利用を希望したが断られた経験

	n	断られた経験がある	断られた経験はない
女性・30代以下	35	31.4%	68.6%
女性・40～50代	148	23.6%	76.4%
女性・60代以上	58	22.4%	77.6%
男性・30代以下	19	42.1%	57.9%
男性・40～50代	170	22.9%	77.1%
男性・60代以上	105	27.6%	72.4%

Q32 短期入所(緊急ショートステイ)を断られた理由として、該当するものを全て選択してください。(いくつでも)

	n	満床だったから	病状や医療行為に対応できないから	利用したことがない初めての施設だったから	診療情報提供書等の情報提供書類が不足していたから	その他	わからない
女性・30代以下	11	72.7%	27.3%	9.1%	36.4%	9.1%	9.1%
女性・40～50代	35	85.7%	14.3%	8.6%	2.9%	5.7%	2.9%
女性・60代以上	13	84.6%	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・30代以下	8	87.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
男性・40～50代	39	69.2%	25.6%	17.9%	12.8%	0.0%	7.7%
男性・60代以上	29	65.5%	20.7%	10.3%	3.4%	6.9%	3.4%

Q33 あなたが介護を行っている方への介護に携わっている方の人数について、該当するものを1つ選択してください。※ご自身も含めてお答えください。

	n	1人	2人以上
女性・30代以下	72	41.7%	58.3%
女性・40～50代	288	42.0%	58.0%
女性・60代以上	107	53.3%	46.7%
男性・30代以下	44	29.5%	70.5%
男性・40～50代	307	41.0%	59.0%
男性・60代以上	212	42.9%	57.1%

Q34 介護に携わっている方が複数いる場合に、介護を受けている方が必要としている介護量全体に占める、あなたの介護の占める割合として、該当するものを1つ選択してください。

	n	10%以下	10%～30%程度	30%～50%程度	50%～70%程度	70%～90%程度	90%以上
女性・30代以下	42	4.8%	45.2%	26.2%	9.5%	4.8%	9.5%
女性・40～50代	167	13.2%	22.2%	22.8%	21.0%	12.0%	9.0%
女性・60代以上	50	4.0%	18.0%	20.0%	20.0%	28.0%	10.0%
男性・30代以下	31	9.7%	51.6%	22.6%	9.7%	6.5%	0.0%
男性・40～50代	181	14.4%	37.6%	25.4%	11.0%	9.4%	2.2%
男性・60代以上	121	7.4%	40.5%	24.8%	14.0%	9.9%	3.3%

Q35 近隣に介護を手伝ってくれる又は一時的に代わりに実施してくれる親族・知人はいますか。該当するものを1つ選択してください。

	n	近隣に介護を手伝ってくれる又は一時的に代わりに実施してくれる親族・知人がいる	近隣に介護を手伝ってくれる又は一時的に代わりに実施してくれる親族・知人がいない
女性・30代以下	72	47.2%	52.8%
女性・40～50代	288	45.5%	54.5%
女性・60代以上	107	43.9%	56.1%
男性・30代以下	44	56.8%	43.2%
男性・40～50代	307	48.2%	51.8%
男性・60代以上	212	41.0%	59.0%

Q36 これまでのご自身の介護の実施期間として、該当するものを1つ選択してください。

	n	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年以上
女性・30代以下	72	6.9%	4.2%	13.9%	13.9%	23.6%	37.5%
女性・40～50代	288	1.0%	2.8%	9.4%	22.2%	18.4%	46.2%
女性・60代以上	107	0.0%	2.8%	5.6%	12.1%	19.6%	59.8%
男性・30代以下	44	4.5%	2.3%	13.6%	13.6%	18.2%	47.7%
男性・40～50代	307	2.3%	3.6%	12.7%	15.3%	21.8%	44.3%
男性・60代以上	212	0.9%	3.3%	13.2%	13.2%	24.1%	45.3%

Q37 あなたが介護を行っている要介護者への1週間あたりの介護日数として、該当するものを1つ選択してください。

	n	ほとんどなし	週1日	週2～4日	週5日以上
女性・30代以下	72	11.1%	12.5%	27.8%	48.6%
女性・40～50代	288	7.3%	13.9%	23.6%	55.2%
女性・60代以上	107	4.7%	8.4%	25.2%	61.7%
男性・30代以下	44	9.1%	18.2%	31.8%	40.9%
男性・40～50代	307	10.1%	10.7%	32.2%	46.9%
男性・60代以上	212	6.6%	6.1%	29.7%	57.5%

Q38 あなたが介護を行っている方への1日の平均的な介護時間として、該当するものを1つ選択してください。

	n	ほとんど終日	半日程度	2～3時間程度	必要な時に手をかす程度	その他
女性・30代以下	72	26.4%	26.4%	19.4%	27.8%	0.0%
女性・40～50代	288	19.4%	25.7%	18.1%	34.7%	2.1%
女性・60代以上	107	18.7%	23.4%	14.0%	41.1%	2.8%
男性・30代以下	44	13.6%	18.2%	36.4%	31.8%	0.0%
男性・40～50代	307	12.7%	20.8%	30.9%	35.2%	0.3%
男性・60代以上	212	18.4%	15.6%	22.2%	43.4%	0.5%

Q39 1日の平均的な介護時間【排泄、食事介助などの直接的な介護の時間】

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	72	0	72	254.00	3.53	5.80	0.00	24.00
女性・40～50代	288	0	288	791.00	2.75	3.57	0.00	24.00
女性・60代以上	107	0	107	259.00	2.42	3.41	0.00	24.00
男性・30代以下	44	0	44	124.00	2.82	3.62	0.00	20.00
男性・40～50代	307	0	307	663.00	2.16	3.07	0.00	24.00
男性・60代以上	212	0	212	497.00	2.34	3.77	0.00	24.00

Q39 1日の平均的な介護時間【食事の支度や洗濯などの間接的な介護の時間】

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	72	0	72	226.00	3.14	4.39	0.00	24.00
女性・40～50代	288	0	288	815.00	2.83	3.49	0.00	24.00
女性・60代以上	107	0	107	290.00	2.71	3.25	0.00	24.00
男性・30代以下	44	0	44	120.00	2.73	3.65	0.00	20.00
男性・40～50代	307	0	307	597.00	1.94	2.58	0.00	24.00
男性・60代以上	212	0	212	405.00	1.91	2.18	0.00	17.00

Q39 1日の平均的な介護時間【見守りの時間(家事など別のことをしながら被介護者を見る時間)】

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	72	0	72	397.00	5.51	6.56	0.00	24.00
女性・40～50代	288	0	288	1240.00	4.31	5.26	0.00	24.00
女性・60代以上	107	0	107	613.00	5.73	6.68	0.00	24.00
男性・30代以下	44	0	44	202.00	4.59	5.50	0.00	24.00
男性・40～50代	307	0	307	1164.00	3.79	5.12	0.00	24.00
男性・60代以上	212	0	212	870.00	4.10	4.92	0.00	24.00

Q40 あなたが現在行っている介護等の内容として、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
女性・30代以下	72	34.7%	25.0%	44.4%	36.1%	47.2%	54.2%	38.9%	70.8%	50.0%	20.8%	12.5%	68.1%	63.9%	43.1%	0.0%
女性・40～50代	288	29.2%	20.1%	39.9%	30.9%	39.2%	42.7%	40.3%	78.5%	48.6%	34.0%	13.9%	72.6%	77.8%	69.1%	2.1%
女性・60代以上	107	27.1%	22.4%	42.1%	29.0%	36.4%	48.6%	43.0%	75.7%	44.9%	28.0%	15.9%	75.7%	77.6%	72.0%	5.6%
男性・30代以下	44	27.3%	27.3%	38.6%	25.0%	40.9%	50.0%	40.9%	59.1%	34.1%	38.6%	11.4%	59.1%	59.1%	34.1%	0.0%
男性・40～50代	307	22.1%	17.3%	37.8%	23.8%	30.0%	35.5%	39.7%	64.8%	34.9%	25.4%	10.4%	55.0%	63.2%	60.9%	2.6%
男性・60代以上	212	21.2%	16.5%	43.4%	21.2%	32.1%	41.5%	45.3%	72.2%	50.5%	31.6%	12.7%	55.7%	70.8%	69.8%	2.8%

Q41 要介護者への介護方針を決める際に、あなたの意見が反映される程度について、該当するものを1つ選択してください。

	n	非常に反映される	やや反映される	あまり反映されない	全く反映されない
女性・30代以下	72	31.9%	44.4%	19.4%	4.2%
女性・40～50代	288	43.4%	42.4%	11.5%	2.8%
女性・60代以上	107	55.1%	38.3%	6.5%	0.0%
男性・30代以下	44	34.1%	52.3%	11.4%	2.3%
男性・40～50代	307	40.1%	49.5%	9.4%	1.0%
男性・60代以上	212	50.0%	39.2%	9.4%	1.4%

Q42 現在、一日のうち自分のために自由に使える時間は何時間程度ありますか。該当するものを1つ選択してください。

	n	0時間	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上
女性・30代以下	72	5.6%	12.5%	16.7%	27.8%	11.1%	8.3%	9.7%	1.4%	6.9%
女性・40～50代	288	4.2%	11.5%	19.8%	27.8%	12.8%	11.1%	4.9%	1.4%	6.6%
女性・60代以上	107	2.8%	6.5%	7.5%	27.1%	18.7%	14.0%	4.7%	1.9%	16.8%
男性・30代以下	44	0.0%	11.4%	27.3%	13.6%	11.4%	15.9%	6.8%	2.3%	11.4%
男性・40～50代	307	3.9%	9.4%	21.8%	24.4%	9.8%	6.8%	7.5%	2.3%	14.0%
男性・60代以上	212	2.4%	5.7%	11.8%	17.0%	12.7%	11.3%	5.7%	1.4%	32.1%

Q43 介護を行うために、深夜(0時～5時)に睡眠が中断されることが一晩に何回程度ありますか。該当するものを1つ選択してください。

	n	まったくない	一晩に 1回程度	一晩に 2回程度	一晩に 3回以上
女性・30代以下	72	56.9%	25.0%	6.9%	11.1%
女性・40～50代	288	63.9%	20.5%	8.7%	6.9%
女性・60代以上	107	57.0%	28.0%	9.3%	5.6%
男性・30代以下	44	52.3%	29.5%	11.4%	6.8%
男性・40～50代	307	58.3%	29.6%	8.1%	3.9%
男性・60代以上	212	61.8%	30.2%	4.2%	3.8%

Q44 介護を行うことにより、ご自身の趣味やボランティア、サークル活動などの社会活動の機会は変化しましたか。

	n	かなり減った	ある程度減った	少々減った	変わらない	増えた
女性・30代以下	72	33.3%	25.0%	20.8%	20.8%	0.0%
女性・40～50代	288	27.1%	23.3%	19.4%	30.2%	0.0%
女性・60代以上	107	32.7%	14.0%	24.3%	27.1%	1.9%
男性・30代以下	44	25.0%	18.2%	25.0%	29.5%	2.3%
男性・40～50代	307	24.8%	22.1%	17.6%	35.2%	0.3%
男性・60代以上	212	25.9%	18.9%	17.0%	37.7%	0.5%

Q45 介護負担感【あなたが介護をしている人の行動に対し、困ってしまうことがある】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	8.3%	37.5%	23.6%	15.3%	15.3%
女性・40～50代	288	11.1%	38.2%	22.6%	13.9%	14.2%
女性・60代以上	107	13.1%	37.4%	21.5%	15.9%	12.1%
男性・30代以下	44	13.6%	40.9%	13.6%	20.5%	11.4%
男性・40～50代	307	16.0%	43.6%	18.9%	12.7%	8.8%
男性・60代以上	212	18.9%	38.7%	20.3%	15.1%	7.1%

Q45 介護負担感【あなたが介護をしている人のそばにいと腹が立つ】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	20.8%	30.6%	29.2%	6.9%	12.5%
女性・40～50代	288	25.7%	37.5%	17.0%	10.8%	9.0%
女性・60代以上	107	29.9%	31.8%	27.1%	6.5%	4.7%
男性・30代以下	44	29.5%	25.0%	25.0%	9.1%	11.4%
男性・40～50代	307	32.6%	32.9%	22.5%	8.5%	3.6%
男性・60代以上	212	36.8%	34.0%	18.4%	7.1%	3.8%

Q45 介護負担感【介護があるので家族や友人と付き合いづらくなっている】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	23.6%	31.9%	23.6%	8.3%	12.5%
女性・40～50代	288	29.5%	30.9%	16.7%	11.8%	11.1%
女性・60代以上	107	23.4%	35.5%	19.6%	10.3%	11.2%
男性・30代以下	44	27.3%	22.7%	34.1%	6.8%	9.1%
男性・40～50代	307	32.2%	31.3%	19.5%	9.4%	7.5%
男性・60代以上	212	45.8%	23.1%	17.0%	9.9%	4.2%

Q45 介護負担感【あなたが介護をしている人のそばにいと、気が休まらない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	23.6%	36.1%	19.4%	6.9%	13.9%
女性・40～50代	288	26.0%	34.4%	18.4%	10.4%	10.8%
女性・60代以上	107	25.2%	36.4%	19.6%	9.3%	9.3%
男性・30代以下	44	27.3%	27.3%	22.7%	11.4%	11.4%
男性・40～50代	307	35.8%	28.7%	19.5%	8.1%	7.8%
男性・60代以上	212	37.7%	33.0%	15.6%	9.4%	4.2%

Q45 介護負担感【介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思う】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	34.7%	26.4%	22.2%	6.9%	9.7%
女性・40～50代	288	34.4%	23.6%	18.1%	13.2%	10.8%
女性・60代以上	107	30.8%	27.1%	17.8%	13.1%	11.2%
男性・30代以下	44	38.6%	20.5%	18.2%	9.1%	13.6%
男性・40～50代	307	36.8%	25.7%	16.9%	9.8%	10.7%
男性・60代以上	212	38.7%	28.8%	17.0%	9.9%	5.7%

Q45 介護負担感【友だちを自宅に呼びたくてもよべない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	47.2%	20.8%	6.9%	12.5%	12.5%
女性・40～50代	288	46.5%	18.4%	14.6%	8.0%	12.5%
女性・60代以上	107	37.4%	24.3%	14.0%	10.3%	14.0%
男性・30代以下	44	34.1%	11.4%	27.3%	11.4%	15.9%
男性・40～50代	307	41.4%	19.9%	17.3%	10.4%	11.1%
男性・60代以上	212	52.4%	21.2%	11.8%	8.0%	6.6%

Q45 介護負担感【介護を誰かに任せてしまいたい】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	25.0%	33.3%	15.3%	9.7%	16.7%
女性・40～50代	288	28.1%	30.2%	16.7%	12.5%	12.5%
女性・60代以上	107	30.8%	35.5%	17.8%	5.6%	10.3%
男性・30代以下	44	27.3%	20.5%	20.5%	11.4%	20.5%
男性・40～50代	307	31.3%	30.0%	17.9%	11.1%	9.8%
男性・60代以上	212	39.2%	27.4%	17.0%	8.5%	8.0%

Q45 介護負担感【あなたが介護をしている人に対して、どうしてよいかわからない】

	n	思わない	たまに思う	ときどき思う	よく思う	いつも思う
女性・30代以下	72	29.2%	31.9%	22.2%	5.6%	11.1%
女性・40～50代	288	30.6%	33.0%	19.4%	8.0%	9.0%
女性・60代以上	107	31.8%	33.6%	21.5%	7.5%	5.6%
男性・30代以下	44	25.0%	38.6%	25.0%	4.5%	6.8%
男性・40～50代	307	33.2%	35.5%	19.2%	7.8%	4.2%
男性・60代以上	212	40.1%	37.7%	14.2%	5.7%	2.4%

Q46 あなたが介護をするに至った理由・きっかけとして、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	自分がすべきだと義務感を覚えたから	自分が最も介護しやすい状況であったから	要介護者の周りに自分しかいなかったから	介護すべき人がその役割を果たさなかったから	自分がお世話しあげたいと思ったから	その他
女性・30代以下	72	31.9%	34.7%	38.9%	12.5%	36.1%	5.6%
女性・40～50代	288	45.5%	46.2%	40.3%	9.0%	30.9%	5.2%
女性・60代以上	107	52.3%	46.7%	50.5%	5.6%	32.7%	5.6%
男性・30代以下	44	27.3%	45.5%	22.7%	9.1%	25.0%	11.4%
男性・40～50代	307	54.1%	39.7%	38.1%	9.1%	25.4%	3.6%
男性・60代以上	212	57.5%	42.9%	40.6%	2.8%	23.6%	2.4%

Q47 現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じる介護等の内容【不安に感じるもの(いくつでも)】

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる介助)	入浴・洗身	(身だしなみ歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	(食事の準備(調理等))	(その他の家事(掃除、洗濯、買い物等))	手銭管理や生活面に必要な諸	(介護者の急用等による不在(急病・冠婚葬祭等))	体調急変時の対応	その他	不安に感じていることはない、特にない
女性・30代以下	72	23.6%	36.1%	19.4%	34.7%	15.3%	20.8%	27.8%	41.7%	27.8%	31.9%	19.4%	33.3%	22.2%	33.3%	41.7%	62.5%	1.4%	0.0%
女性・40～50代	288	26.4%	32.3%	15.3%	28.1%	15.3%	12.5%	19.4%	33.3%	15.6%	43.1%	9.7%	22.9%	22.2%	33.3%	52.8%	66.0%	1.4%	4.5%
女性・60代以上	107	25.2%	30.8%	17.8%	34.6%	17.8%	16.8%	31.8%	27.1%	22.4%	38.3%	11.2%	27.1%	15.9%	26.2%	46.7%	66.4%	1.9%	3.7%
男性・30代以下	44	31.8%	43.2%	15.9%	18.2%	11.4%	6.8%	20.5%	22.7%	15.9%	40.9%	15.9%	15.9%	13.6%	38.6%	27.3%	47.7%	0.0%	4.5%
男性・40～50代	307	30.0%	40.4%	20.8%	25.7%	18.2%	15.6%	27.4%	32.9%	18.2%	38.8%	14.7%	24.4%	23.8%	30.3%	36.2%	55.4%	1.6%	7.2%
男性・60代以上	212	20.8%	30.2%	17.5%	26.4%	10.8%	12.7%	22.6%	29.7%	17.0%	41.0%	11.3%	20.3%	18.9%	24.1%	40.6%	57.1%	1.9%	9.9%

Q47 現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じる介護等の内容【最も不安に感じるもの(ひとつだけ)】

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる介助)	入浴・洗身	(身だしなみ歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	(食事の準備(調理等))	(その他の家事(掃除、洗濯、買い物等))	手銭管理や生活面に必要な諸	(介護者の急用等による不在(急病・冠婚葬祭等))	体調急変時の対応	その他	不安に感じていることはない、特にない
女性・30代以下	72	6.9%	6.9%	0.0%	5.6%	0.0%	1.4%	0.0%	8.3%	1.4%	9.7%	2.8%	2.8%	1.4%	4.2%	6.9%	40.3%	1.4%	0.0%
女性・40～50代	288	5.9%	3.1%	1.0%	2.8%	0.3%	0.7%	0.7%	5.6%	1.0%	17.0%	0.7%	1.7%	0.3%	4.5%	13.2%	35.8%	1.0%	4.5%
女性・60代以上	107	4.7%	2.8%	1.9%	3.7%	0.9%	0.0%	0.9%	1.9%	0.9%	17.8%	2.8%	3.7%	0.0%	2.8%	13.1%	37.4%	0.9%	3.7%
男性・30代以下	44	4.5%	11.4%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	18.2%	2.3%	0.0%	0.0%	11.4%	6.8%	27.3%	0.0%	4.5%
男性・40～50代	307	5.9%	10.4%	1.3%	2.0%	1.3%	0.3%	2.6%	2.3%	1.0%	17.9%	2.0%	2.0%	0.7%	4.6%	7.8%	29.6%	1.3%	7.2%
男性・60代以上	212	4.7%	8.5%	1.4%	1.9%	0.5%	0.9%	2.4%	4.7%	1.9%	15.1%	4.2%	1.9%	1.4%	1.9%	12.3%	25.0%	1.4%	9.9%

Q48 介護をするうえで、困っていることは何ですか。困っていることをすべて選択してください。【困っていること(いくつでも)】

	n	介護する方法がわからない	介護サービスの利用方法がわからない	どんな介護サービスがあるかわからない	本人が介護サービスの利用を嫌がるので利用できない	家族の理解が得られない	肉体的に疲れる	精神的に疲れる	相談できる人や窓口がわからない	経済的負担が大きい	仕事との両立が難しい	自分以外に介護を手伝ってくれる人がいない	サービス提供者(ヘルパーなど)と合わない	ケアマネジャーと合わない	相談窓口が遠い	その他	特に困っていることはない
女性・30代以下	72	16.7%	9.7%	15.3%	15.3%	8.3%	52.8%	66.7%	8.3%	40.3%	23.6%	15.3%	2.8%	5.6%	4.2%	2.8%	4.2%
女性・40～50代	288	7.3%	6.3%	9.0%	14.9%	5.6%	44.4%	61.8%	5.9%	28.5%	27.4%	20.1%	2.4%	3.8%	3.1%	5.2%	9.7%
女性・60代以上	107	2.8%	3.7%	4.7%	16.8%	5.6%	30.8%	57.9%	4.7%	14.0%	7.5%	18.7%	1.9%	1.9%	0.9%	4.7%	15.9%
男性・30代以下	44	15.9%	6.8%	9.1%	11.4%	13.6%	34.1%	54.5%	9.1%	29.5%	25.0%	11.4%	4.5%	6.8%	4.5%	2.3%	6.8%
男性・40～50代	307	9.8%	5.2%	9.4%	11.1%	5.9%	41.7%	56.4%	5.2%	30.6%	34.2%	14.3%	2.9%	2.6%	2.9%	2.0%	15.3%
男性・60代以上	212	7.1%	2.8%	5.7%	9.4%	1.4%	27.8%	55.2%	2.4%	19.8%	13.7%	14.2%	0.9%	1.9%	0.9%	0.5%	19.8%

Q48 介護をするうえで、困っていることは何ですか。困っていることをすべて選択してください。【最も困っていること(ひとつだけ)】

	n	介護する方法がわからない	介護サービスの利用方法がわからない	どんな介護サービスがあるかわからない	本人が介護サービスの利用を嫌がるので利用できない	家族の理解が得られない	肉体的に疲れる	精神的に疲れる	相談できる人や窓口がわからない	経済的負担が大きい	仕事との両立が難しい	自分以外に介護を手伝ってくれる人がいない	サービス提供者(ヘルパーなど)と合わない	ケアマネジャーと合わない	相談窓口が遠い	その他	特に困っていることはない
女性・30代以下	72	5.6%	0.0%	4.2%	5.6%	1.4%	12.5%	38.9%	0.0%	9.7%	6.9%	4.2%	1.4%	2.8%	0.0%	2.8%	4.2%
女性・40～50代	288	1.7%	1.4%	1.4%	4.9%	1.0%	9.7%	39.2%	1.4%	10.1%	9.4%	4.9%	0.3%	0.0%	0.7%	4.2%	9.7%
女性・60代以上	107	1.9%	0.9%	0.9%	5.6%	0.9%	12.1%	42.1%	1.9%	6.5%	1.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	15.9%
男性・30代以下	44	0.0%	2.3%	2.3%	9.1%	4.5%	4.5%	36.4%	0.0%	11.4%	13.6%	6.8%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%
男性・40～50代	307	2.3%	1.6%	2.0%	4.2%	1.6%	10.4%	31.6%	0.7%	10.4%	11.4%	4.6%	1.3%	1.3%	0.3%	1.0%	15.3%
男性・60代以上	212	2.8%	0.5%	1.9%	4.2%	0.5%	4.2%	42.5%	0.9%	9.4%	3.3%	8.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	19.8%

Q49 介護をしていて良かったと思うことややりがいを感じることを、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	病状・症状の改善	人間としての絆の深まり	感謝される喜び	恩返しができる	生きがいとなっている	その他	良かったと思うことはない
女性・30代以下	72	20.8%	27.8%	23.6%	36.1%	9.7%	0.0%	29.2%
女性・40～50代	288	24.7%	19.8%	19.8%	34.7%	5.9%	3.5%	32.3%
女性・60代以上	107	22.4%	22.4%	26.2%	36.4%	8.4%	1.9%	30.8%
男性・30代以下	44	20.5%	20.5%	13.6%	38.6%	13.6%	4.5%	40.9%
男性・40～50代	307	23.1%	19.5%	19.9%	41.7%	11.1%	1.3%	29.6%
男性・60代以上	212	19.3%	21.7%	22.6%	38.7%	9.9%	1.4%	28.8%

Q50 全体を通して、介護をするということはどうくらい自分の負担になっていると思われますか。

	n	まったく負担ではない	多少負担に思う	世間並みの負担だと思う	かなりの負担と思う	非常に大きな負担だと思う
女性・30代以下	72	6.9%	37.5%	22.2%	16.7%	16.7%
女性・40～50代	288	4.9%	27.8%	37.2%	17.4%	12.8%
女性・60代以上	107	10.3%	21.5%	36.4%	16.8%	15.0%
男性・30代以下	44	9.1%	29.5%	34.1%	15.9%	11.4%
男性・40～50代	307	8.5%	25.1%	34.9%	20.8%	10.7%
男性・60代以上	212	11.3%	21.7%	43.4%	18.4%	5.2%

Q51 あなたは、介護を行う中で、「自分は孤立している」と感じることはありませんか。

	n	「自分は孤立している」と感じることはない	「自分は孤立している」と感じることはある
女性・30代以下	72	79.2%	20.8%
女性・40～50代	288	80.9%	19.1%
女性・60代以上	107	86.0%	14.0%
男性・30代以下	44	79.5%	20.5%
男性・40～50代	307	84.7%	15.3%
男性・60代以上	212	92.5%	7.5%

Q52 あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

	n	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	その他
女性・30代以下	37	43.2%	27.0%	13.5%	0.0%	13.5%	2.7%
女性・40～50代	170	38.2%	27.6%	18.8%	9.4%	15.9%	2.4%
女性・60代以上	34	47.1%	32.4%	5.9%	8.8%	8.8%	0.0%
男性・30代以下	36	52.8%	25.0%	16.7%	11.1%	5.6%	2.8%
男性・40～50代	263	48.7%	24.0%	17.9%	7.6%	10.6%	2.3%
男性・60代以上	100	47.0%	29.0%	18.0%	7.0%	9.0%	1.0%

Q53 あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

	n	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい
女性・30代以下	37	27.0%	45.9%	16.2%	10.8%
女性・40～50代	170	26.5%	54.1%	12.4%	7.1%
女性・60代以上	34	20.6%	55.9%	11.8%	11.8%
男性・30代以下	36	33.3%	55.6%	8.3%	2.8%
男性・40～50代	263	25.9%	54.4%	14.4%	5.3%
男性・60代以上	100	23.0%	66.0%	9.0%	2.0%

Q54 介護者に対する勤め先からの支援【効果がある(いくつでも)】

	n	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	介護サービス利用料の補助	介護離職者の再雇用制度	自営業・フリーランス等のため、組織には属していない	その他	特になし
女性・30代以下	37	35.1%	35.1%	37.8%	18.9%	16.2%	8.1%	32.4%	35.1%	16.2%	5.4%	0.0%	10.8%
女性・40～50代	170	23.5%	20.6%	30.6%	16.5%	16.5%	8.2%	30.6%	23.5%	14.7%	17.6%	0.6%	16.5%
女性・60代以上	34	23.5%	14.7%	38.2%	26.5%	14.7%	17.6%	17.6%	23.5%	14.7%	20.6%	0.0%	23.5%
男性・30代以下	36	33.3%	30.6%	27.8%	41.7%	44.4%	16.7%	36.1%	36.1%	25.0%	13.9%	0.0%	8.3%
男性・40～50代	263	26.6%	25.9%	34.2%	21.3%	20.2%	13.7%	31.6%	29.3%	17.1%	16.0%	1.1%	13.7%
男性・60代以上	100	24.0%	16.0%	32.0%	11.0%	12.0%	6.0%	17.0%	19.0%	8.0%	17.0%	0.0%	25.0%

Q54 介護者に対する勤め先からの支援【最も効果がある(ひとつだけ)】

	n	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	介護サービス利用料の補助	介護離職者の再雇用制度	自営業・フリーランス等のため、組織には属していない	その他	特になし
女性・30代以下	37	2.7%	8.1%	24.3%	8.1%	8.1%	2.7%	13.5%	16.2%	2.7%	2.7%	0.0%	10.8%
女性・40～50代	170	3.5%	8.2%	17.6%	5.3%	4.1%	2.4%	14.7%	10.0%	2.9%	14.1%	0.6%	16.5%
女性・60代以上	34	14.7%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	2.9%	5.9%	2.9%	5.9%	14.7%	0.0%	23.5%
男性・30代以下	36	8.3%	8.3%	11.1%	11.1%	13.9%	2.8%	11.1%	11.1%	5.6%	8.3%	0.0%	8.3%
男性・40～50代	263	10.3%	7.6%	14.8%	7.2%	3.8%	3.4%	12.9%	8.4%	3.4%	13.3%	1.1%	13.7%
男性・60代以上	100	10.0%	5.0%	19.0%	5.0%	3.0%	1.0%	7.0%	8.0%	2.0%	15.0%	0.0%	25.0%

Q55 介護を行うことによって生じる月額費用【介護保険サービスにかかる月額費用(税込み)】(円)

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	72	0	72	1,699,998	23,611	24,323	0	130,000
女性・40～50代	288	0	288	12,398,915	43,052	296,400	0	5,000,000
女性・60代以上	107	0	107	3,547,950	33,158	47,524	0	300,000
男性・30代以下	44	0	44	1,622,000	36,864	42,524	0	150,000
男性・40～50代	307	0	307	11,143,741	36,299	56,494	0	600,000
男性・60代以上	212	0	212	8,186,285	38,615	58,088	0	400,000

Q55 介護を行うことによって生じる月額費用【介護保険サービス以外(医療費、交通費、食費等)にかかる月額費用(税込み)】(円)

	n	無回答	有効ケース数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値
女性・30代以下	72	0	72	2,377,405	33,020	37,914	0	200,000
女性・40～50代	288	0	288	10,280,223	35,695	92,771	0	1,500,000
女性・60代以上	107	0	107	3,712,010	34,692	32,514	0	200,000
男性・30代以下	44	0	44	1,529,000	34,750	30,675	0	120,000
男性・40～50代	307	0	307	9,790,363	31,890	45,089	0	600,000
男性・60代以上	212	0	212	6,601,908	31,141	29,094	0	200,000

Q56 ご自身の現在の暮らし向きの状況を総合的にみて、どう感じますか。

	n	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
女性・30代以下	72	34.7%	31.9%	26.4%	4.2%	2.8%
女性・40～50代	288	22.2%	33.3%	34.7%	7.3%	2.4%
女性・60代以上	107	12.1%	25.2%	55.1%	6.5%	0.9%
男性・30代以下	44	38.6%	25.0%	31.8%	2.3%	2.3%
男性・40～50代	307	19.5%	37.5%	36.5%	5.5%	1.0%
男性・60代以上	212	8.5%	33.5%	47.2%	6.6%	4.2%

Q57 今後、さらに多くの介護が必要な状態となった場合の要介護者の方の暮らしの場所【希望するもの全て】

	n	あなたの家	要介護者の自宅	あなた以外の、要介護者の家族や親族などの家	老人ホーム等の施設	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	その他
女性・30代以下	72	41.7%	33.3%	8.3%	45.8%	25.0%	22.2%	5.6%
女性・40～50代	288	29.2%	29.2%	3.1%	51.4%	21.9%	14.6%	2.8%
女性・60代以上	107	24.3%	25.2%	4.7%	60.7%	22.4%	9.3%	4.7%
男性・30代以下	44	56.8%	36.4%	9.1%	50.0%	25.0%	22.7%	2.3%
男性・40～50代	307	37.8%	24.1%	5.9%	45.6%	27.7%	15.3%	2.0%
男性・60代以上	212	43.4%	17.9%	2.8%	50.9%	23.6%	12.7%	1.9%

Q57 今後、さらに多くの介護が必要な状態となった場合の要介護者の方の暮らしの場所【最も希望するもの(ひとつだけ)】

	n	あなたの家	要介護者の自宅	あなた以外の、要介護者の家族や親族などの家	老人ホーム等の施設	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	その他
女性・30代以下	72	27.8%	18.1%	5.6%	29.2%	8.3%	5.6%	5.6%
女性・40～50代	288	21.2%	19.1%	0.3%	37.2%	12.2%	7.6%	2.4%
女性・60代以上	107	19.6%	20.6%	0.9%	40.2%	10.3%	3.7%	4.7%
男性・30代以下	44	43.2%	15.9%	2.3%	27.3%	6.8%	2.3%	2.3%
男性・40～50代	307	30.6%	17.6%	1.0%	28.0%	14.3%	6.5%	2.0%
男性・60代以上	212	33.0%	10.8%	1.4%	37.7%	12.7%	2.8%	1.4%

Q58 今後、さらに多くの介護が必要な状態となった場合に最後まで介護を行う人【希望するもの全て】

	n	自分(あなた)	自分以外の同居している家族・親族	自分以外の同居していない家族・親族	自分以外の介護サービス事業者	医師・看護師	その他	介護されたいと思う人はいない
女性・30代以下	72	56.9%	40.3%	13.9%	26.4%	19.4%	2.8%	5.6%
女性・40～50代	288	63.5%	28.1%	18.8%	43.4%	17.4%	0.7%	1.0%
女性・60代以上	107	70.1%	14.0%	20.6%	41.1%	25.2%	0.9%	0.9%
男性・30代以下	44	70.5%	40.9%	9.1%	40.9%	22.7%	0.0%	4.5%
男性・40～50代	307	66.4%	30.6%	18.2%	38.1%	16.0%	0.3%	2.9%
男性・60代以上	212	68.9%	25.0%	16.0%	37.7%	20.3%	0.0%	1.9%

Q58 今後、さらに多くの介護が必要な状態となった場合に最後まで介護を行う人【最も希望するもの(ひとつだけ)】

	n	自分(あなた)	自分以外の同居している家族・親族	自分以外の同居していない家族・親族	自分以外の介護サービス事業者	医師・看護師	その他	介護されたいと思う人はいない
女性・30代以下	72	33.3%	26.4%	5.6%	19.4%	6.9%	2.8%	5.6%
女性・40～50代	288	43.4%	12.5%	6.6%	29.9%	5.9%	0.7%	1.0%
女性・60代以上	107	51.4%	2.8%	5.6%	28.0%	11.2%	0.0%	0.9%
男性・30代以下	44	31.8%	27.3%	4.5%	27.3%	4.5%	0.0%	4.5%
男性・40～50代	307	46.9%	14.0%	5.5%	24.8%	5.5%	0.3%	2.9%
男性・60代以上	212	46.2%	13.7%	4.7%	28.3%	5.2%	0.0%	1.9%

Q59 介護保険以外のサービスに必要な支援【必要と感じるものすべて】

	n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし
女性・30代以下	72	22.2%	27.8%	20.8%	23.6%	11.1%	40.3%	43.1%	45.8%	23.6%	0.0%	9.7%
女性・40～50代	288	20.1%	18.1%	23.6%	21.5%	13.2%	41.7%	49.3%	36.8%	19.1%	2.4%	17.4%
女性・60代以上	107	14.0%	20.6%	24.3%	21.5%	12.1%	32.7%	47.7%	32.7%	12.1%	0.9%	23.4%
男性・30代以下	44	27.3%	18.2%	38.6%	27.3%	29.5%	50.0%	50.0%	56.8%	18.2%	0.0%	9.1%
男性・40～50代	307	22.1%	23.1%	33.6%	23.5%	19.5%	39.1%	38.4%	42.0%	15.0%	1.3%	19.9%
男性・60代以上	212	23.6%	17.9%	25.9%	17.5%	9.9%	28.3%	37.3%	31.1%	14.2%	1.4%	25.0%

Q59 介護保険以外のサービスに必要な支援【最も必要と感じるもの(ひとつだけ)】

	n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし
女性・30代以下	72	4.2%	5.6%	2.8%	5.6%	0.0%	19.4%	19.4%	23.6%	9.7%	0.0%	9.7%
女性・40～50代	288	6.3%	5.6%	4.5%	3.8%	1.4%	13.9%	23.6%	14.9%	6.6%	2.1%	17.4%
女性・60代以上	107	5.6%	2.8%	10.3%	1.9%	0.9%	15.0%	23.4%	9.3%	6.5%	0.9%	23.4%
男性・30代以下	44	4.5%	2.3%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	25.0%	25.0%	6.8%	0.0%	9.1%
男性・40～50代	307	6.8%	6.8%	6.2%	2.6%	3.6%	14.7%	16.0%	17.6%	4.6%	1.3%	19.9%
男性・60代以上	212	9.4%	3.8%	8.0%	4.7%	0.5%	10.4%	19.3%	12.7%	5.2%	0.9%	25.0%

Q60 今後の介護の継続見込みについて、該当するものを1つ選択してください。

	n	このまま続けていくことができる	何らかの支援が整えば続けていくことができる	できればもう続けたくない	すぐにやめたい
女性・30代以下	72	30.6%	47.2%	13.9%	8.3%
女性・40～50代	288	36.5%	49.0%	9.4%	5.2%
女性・60代以上	107	43.9%	43.9%	6.5%	5.6%
男性・30代以下	44	34.1%	40.9%	15.9%	9.1%
男性・40～50代	307	38.8%	47.9%	10.4%	2.9%
男性・60代以上	212	51.4%	41.0%	7.1%	0.5%

Q61 介護継続に必要な支援の内容【希望するもの(いくつでも)】

	n	相談機能の充実	市内会・自治会等の地域の支会活動の充実	家族介護教室	福祉センターの充実	保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化	介護期間の現金給付	介護期間の年金保険料の補助	緊急時の短期入所(ショートステイ)制度	家族介護者のヘルパー研修受講の支援	家族介護者のリフレッシュ旅行	介護の悩みや愚痴を聞いてくれる(例：認知症の方の家族会、介護者の会等)	サ―ビスや制度	その他	特にない
女性・30代以下	34	11.8%	5.9%	5.9%	20.6%	32.4%	55.9%	38.2%	29.4%	14.7%	29.4%	23.5%	20.6%	0.0%	8.8%
女性・40～50代	141	24.8%	9.9%	12.1%	27.0%	34.8%	55.3%	45.4%	49.6%	17.7%	17.0%	19.9%	41.1%	2.1%	3.5%
女性・60代以上	47	27.7%	8.5%	4.3%	23.4%	10.6%	34.0%	34.0%	59.6%	19.1%	14.9%	17.0%	27.7%	2.1%	8.5%
男性・30代以下	18	16.7%	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%	44.4%	44.4%	44.4%	16.7%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%
男性・40～50代	147	25.9%	12.9%	7.5%	32.7%	29.9%	49.0%	43.5%	35.4%	11.6%	19.0%	22.4%	32.7%	0.7%	6.8%
男性・60代以上	87	14.9%	12.6%	3.4%	13.8%	28.7%	31.0%	39.1%	60.9%	4.6%	14.9%	12.6%	28.7%	2.3%	3.4%

Q61 介護継続に必要な支援の内容【最も希望するもの(ひとつだけ)】

	n	相談機能の充実	市内会・自治会等の地域の支会活動の充実	家族介護教室	福祉センターの充実	保険・医療・福祉の連携による情報提供の強化	介護期間の現金給付	介護期間の年金保険料の補助	緊急時の短期入所(ショートステイ)制度	家族介護者のヘルパー研修受講の支援	家族介護者のリフレッシュ旅行	介護の悩みや愚痴を聞いてくれる(例：認知症の方の家族会、介護者の会等)	サ―ビスや制度	その他	特にない
女性・30代以下	34	0.0%	2.9%	0.0%	5.9%	11.8%	32.4%	11.8%	11.8%	0.0%	8.8%	0.0%	5.9%	0.0%	8.8%
女性・40～50代	141	5.0%	0.7%	2.8%	3.5%	2.1%	31.2%	13.5%	19.9%	0.0%	5.0%	2.8%	8.5%	1.4%	3.5%
女性・60代以上	47	6.4%	2.1%	0.0%	6.4%	4.3%	17.0%	4.3%	23.4%	6.4%	2.1%	2.1%	14.9%	2.1%	8.5%
男性・30代以下	18	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	33.3%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%
男性・40～50代	147	5.4%	1.4%	0.7%	10.2%	6.8%	22.4%	16.3%	8.8%	2.7%	2.7%	4.1%	11.6%	0.0%	6.8%
男性・60代以上	87	2.3%	2.3%	0.0%	1.1%	5.7%	17.2%	9.2%	29.9%	1.1%	5.7%	4.6%	16.1%	1.1%	3.4%

Q62 将来、あなたが日常生活を送る上で介護が必要になった場合に、希望する介護のかたちとして、該当するものを1つ選択してください。

	n	自宅で家族からの介護をうけたい	自宅で家族以外(訪問介護員等)からの介護をうけたい	老人ホームで介護職員からの介護をうけたい	その他	分からない／特に希望はない
女性・30代以下	72	25.0%	16.7%	31.9%	1.4%	25.0%
女性・40～50代	288	14.6%	14.2%	31.3%	3.1%	36.8%
女性・60代以上	107	13.1%	8.4%	46.7%	0.0%	31.8%
男性・30代以下	44	27.3%	13.6%	29.5%	4.5%	25.0%
男性・40～50代	307	21.8%	14.0%	29.6%	1.6%	32.9%
男性・60代以上	212	27.4%	8.5%	29.2%	0.5%	34.4%

Q63 介護経験の今後の活用意向について伺います。活用意向として該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

	n	介護経験を活かして、介護の仕事に就きたい	介護経験を活かして、ボランティアとして活動したい	その他	分からない／特に考えていない
女性・30代以下	72	5.6%	12.5%	5.6%	77.8%
女性・40～50代	288	6.9%	8.3%	2.8%	83.7%
女性・60代以上	107	2.8%	7.5%	1.9%	87.9%
男性・30代以下	44	29.5%	13.6%	0.0%	63.6%
男性・40～50代	307	8.5%	12.7%	1.3%	80.8%
男性・60代以上	212	2.4%	5.7%	0.5%	91.5%

Q64 市町村等で実施されている自宅での介護方法等に関する講習の受講歴として、該当するものを1つ選択し

	n	講習を受講した経験がある	講習が実施されていることは知っているが、受講した経験はない	講習が実施されていることを知らない
女性・30代以下	72	4.2%	38.9%	56.9%
女性・40～50代	288	9.0%	38.5%	52.4%
女性・60代以上	107	13.1%	43.9%	43.0%
男性・30代以下	44	22.7%	22.7%	54.5%
男性・40～50代	307	9.8%	31.3%	59.0%
男性・60代以上	212	8.0%	34.9%	57.1%

Q65 居住されている市町村で自宅での介護方法等に関する講習が開催された場合の参加意向として、該当するものを1つ選択してください。

	n	参加したいと思う	参加したいとは思わない
女性・30代以下	69	56.5%	43.5%
女性・40～50代	262	60.3%	39.7%
女性・60代以上	93	55.9%	44.1%
男性・30代以下	34	64.7%	35.3%
男性・40～50代	277	65.3%	34.7%
男性・60代以上	195	54.4%	45.6%

Q66 自宅での介護方法等に関する講習が自宅で受講できる場合(研修指導員が自宅を訪問又はPCやDVDを利用等)の受講意向として、該当するものを1つ選択してください。

	n	受講したいと思う	受講したいとは思わない
女性・30代以下	69	58.0%	42.0%
女性・40～50代	262	62.2%	37.8%
女性・60代以上	93	61.3%	38.7%
男性・30代以下	34	58.8%	41.2%
男性・40～50代	277	67.9%	32.1%
男性・60代以上	195	61.0%	39.0%

Q68 ご自身の身体の不調による医療機関での受診状況についてお伺いします。該当するものを1つ選択してください。

	n	身体の不調はない	受診している	受診したいができない	受診していない
女性・30代以下	72	34.7%	34.7%	9.7%	20.8%
女性・40～50代	288	27.1%	44.4%	12.2%	16.3%
女性・60代以上	107	24.3%	62.6%	3.7%	9.3%
男性・30代以下	44	29.5%	38.6%	6.8%	25.0%
男性・40～50代	307	34.2%	44.6%	8.1%	13.0%
男性・60代以上	212	28.8%	57.1%	3.3%	10.8%

Q69 ご自身のこころの不調による医療機関での受診状況についてお伺いします。該当するものを1つ選択してください。

	n	こころの不調はない	受診している	受診したいができない	受診していない	受診していたが今はしていない
女性・30代以下	72	45.8%	15.3%	18.1%	15.3%	5.6%
女性・40～50代	288	50.3%	12.5%	8.7%	22.2%	6.3%
女性・60代以上	107	61.7%	4.7%	5.6%	25.2%	2.8%
男性・30代以下	44	47.7%	25.0%	9.1%	18.2%	0.0%
男性・40～50代	307	54.4%	16.3%	8.5%	17.3%	3.6%
男性・60代以上	212	64.6%	7.1%	2.8%	22.6%	2.8%

Q70 ご自身の健康診断の受診状況についてお伺いします。該当するものを1つ選択してください。

	n	受けている	受けたいができない	受けていない
女性・30代以下	72	47.2%	15.3%	37.5%
女性・40～50代	288	63.2%	12.5%	24.3%
女性・60代以上	107	74.8%	4.7%	20.6%
男性・30代以下	44	59.1%	9.1%	31.8%
男性・40～50代	307	66.4%	9.4%	24.1%
男性・60代以上	212	75.5%	7.5%	17.0%

Q71 ご自身が介護を行う中で、不安になったりしたときの相談相手として、該当するものを全て選択してください。(いくつでも)

	n	同居の家族・親族	別居の家族・親族	介護事業者 (ケアマネジャーなどの専門職)	かかりつけ医	友人・知人	行政の出先機関の担当者 (地域包括センターなど)	病院の相談窓口	民生委員	その他	相談する相手はいない	誰かに相談したくない
女性・30代以下	72	55.6%	22.2%	19.4%	15.3%	36.1%	5.6%	4.2%	1.4%	0.0%	11.1%	2.8%
女性・40～50代	288	51.7%	33.7%	36.8%	17.7%	31.3%	6.3%	3.8%	1.7%	0.7%	9.0%	4.5%
女性・60代以上	107	56.1%	42.1%	48.6%	24.3%	32.7%	5.6%	4.7%	1.9%	1.9%	5.6%	4.7%
男性・30代以下	44	61.4%	20.5%	20.5%	20.5%	20.5%	6.8%	4.5%	4.5%	0.0%	22.7%	4.5%
男性・40～50代	307	47.6%	27.7%	39.7%	30.0%	13.4%	11.1%	5.9%	1.6%	0.0%	8.1%	7.8%
男性・60代以上	212	52.4%	33.5%	50.0%	36.8%	10.8%	11.3%	5.2%	2.4%	0.5%	3.8%	7.5%

※本調査研究は、平成 29 年度老人保健健康増進等事業として実施したものです。

平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

介護人材の働き方の実態及び働き方の意向等に関する
調査研究事業 報告書

平成 30 年 3 月

株式会社日本総合研究所

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-18-1 大崎フォレストビルディング

TEL: 03-6833-5201 FAX:03-6833-9480